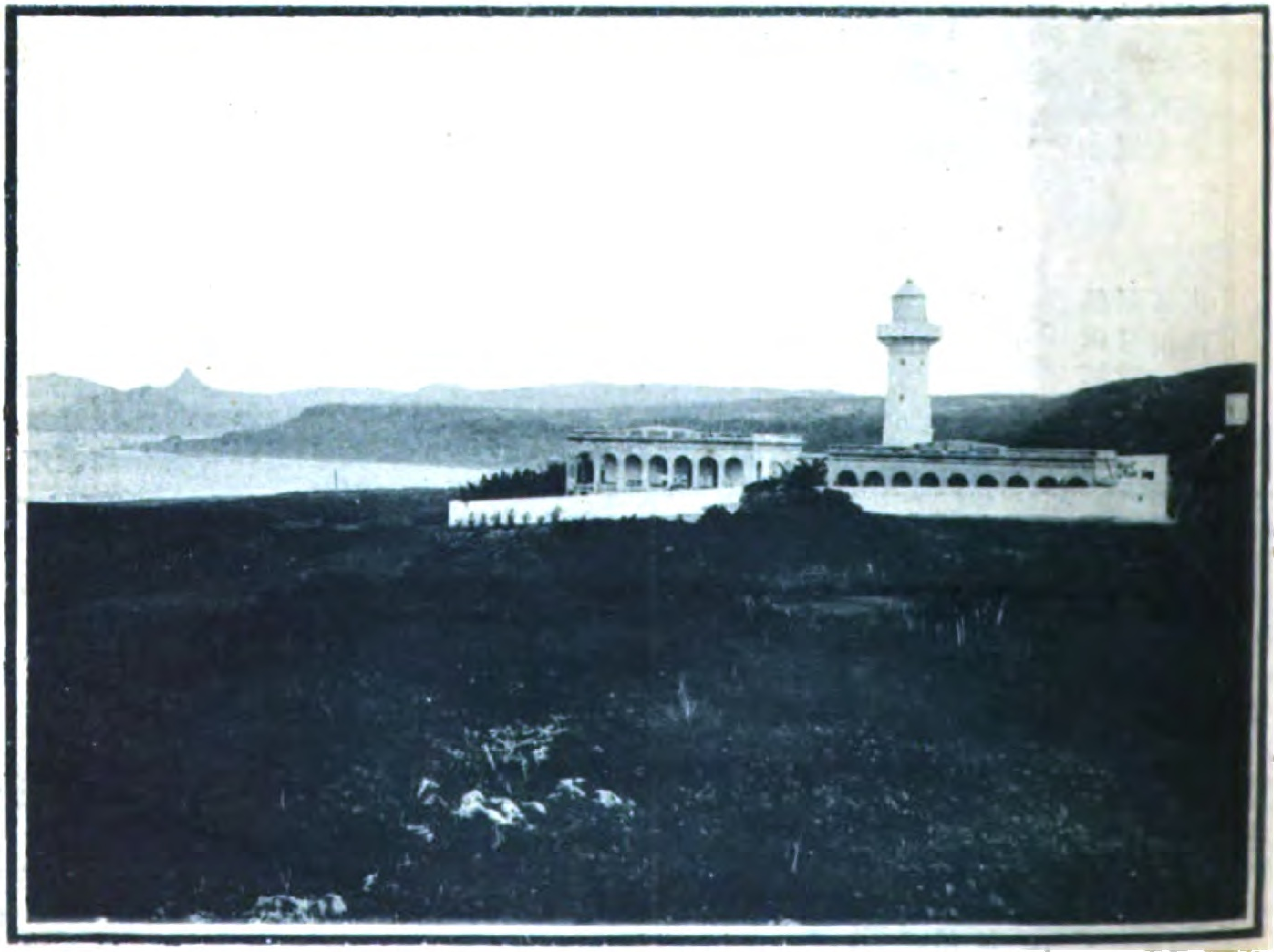
臺灣時報

四月號

MAY 14 1926

內目錄入濟



鵞鑾鼻燈臺

臺灣時報發行所

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況竝に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

臺灣時報發行所役員

評議員長　後藤文夫

評議員（以下イロハ順）

石坂莊作　今井周三郎　井村大吉　伊藤兼吉　岩本多助　西川利藤太　堀内次雄　醫學博士 富地近思　陳鴻鳴　陳中和　林熊徵　林獻堂　林烈堂　林鶴壽　李延禧　大竹勝一郎　農學博士 大島金太郎　大越大藏　大賀基作

太田吾一　渡邊金造　川崎軍治　簡朗山　片山三郎　吉岡荒造　楊吉臣　醫學博士 高木友枝　田村武七　田村藤四郎　田賀奈良吉　高山仰　瀧田傳吉　武田英一　津田毅一　津久井誠一郎　鼓包美　要木栗造　永田隼之輔

宇賀四郎　草鹿砥祐吉　倉岡彥助　日下操　久米孝藏　松岡富雄　牧山清砂　松本晃吉　藤野幹　古木章光　小松吉久　吳昌才　辜顯榮　古賀三千人　黃欣　吳汝祥　黃春帆　後藤和佐二　枝德二　江口良三郎　鄭神寶　赤石定藏　赤司初太郎　後宮信太郎　阿部滂　荒卷鐵之助　相原祐彌　淺田知定

近江時五郎　坂本素魯哉　佐々木紀綱　柵瀨軍之佐　皿谷廣次　桑蓮舫　坂本森一　齋藤透　佐藤得太郎　木村匡　木村久太郎　木村泰治　許延光　北村吉之助　喜多孝治　木下信　三好德三郎　三浦碌郎　生野團六　白勢黎吉　徐杰夫　遠藤所六　平山寅次郎　森廣藏　本山文平　鈴木重臣　諏訪鎮次郎

編纂委員

猪股松之助　今川淵　生駒高常　服部武彥

林田軍五郎　原口竹次郎　富田松彥　大澤清高

大竹勇　和田一次　和田博　鎌田正威　橫光吉規　田端幸三郎　中瀨拙夫　中田榮次郎　中田秀造　內田隆

深川繁治　古山榮三郎　青木敬一　淺野安吉　佐藤續　水越幸一　下村充郎　城間垣人　平山泰

常務員

編輯係　泰滿　懸取田一郎　泉芳德　尾崎保正　葉山石雲

栗山新造　眞倉民治　安藤泰夫　鈴木重男　伊藤憐之助

大正十五年四月十三日印刷
大正十五年四月十五日發行（毎月一回十五日發行）
（定價一部郵稅共金三十五錢　廣告料一頁金二十圓）

發行所　臺灣總督府內　臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣二〇七〇番　電話總督府內第八九番

編輯兼發行人　臺北市新榮町一丁目十一番地　伊藤憐之助
印刷者　臺北市本町一丁目十九番地　中村誠道
印刷所　臺北市榮町一丁目二十七 二十八番地　松浦屋印刷部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪市高麗橋

株式會社 三十四銀行

資本金五千萬圓

各地支店 （東京、京橋（東京）、京都、神戸、兵庫、尼崎、尼崎東、西宮、姫路、廣島、徳島、阿波池田、奈良、伊丹、傳法、臺南、高雄、（大阪市内）南天滿、雑喉場、堀江、日本橋、九條、朝日橋

本行之特色
- 銀行一般の業務の外擔保附社債信託法に依り信託事業を兼營す
- 事業資金部を置き工業資金の供給を爲す
- 外國爲替は香港上海銀行の代理店として最も便宜に取扱を爲す

臺北支店　臺北市本町二丁目
（電話三四、五六、二一九五）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報大正十五年四月號 目次

□口繪□ ▼中部臺灣共進會第一會場夜景▼新虎尾溪別線猫兒干支線

□時言□

伊澤總督の產業組合大會に於ける告辭……一
產業組合大會に於ける後藤會頭の式辭……三
地方改良講習會に於ける內務局長訓示……五
伊澤總督の東部鐵道開通式に於ける祝辭……七
東部鐵道開通式に於ける生野交通局總長の式辭……八
中部臺灣共進會開會式に於ける後藤總務長官祝辭……九

東部鐵道の開通と其利用……片山三郎……一〇

時報……一二
臺灣電力會社總會　第三回地方改良講習會　各地の展覽會及品評會　靑果同業組合聯合評議會　全島の陸軍記念日　臺灣統治狀況言上　第五十一議會閉會　東部鐵道開通　中部臺灣共進會　大連直航と北支那線

□寄書□

臺灣森林問題……靑木繁……一五

□講　演□
伯林の無料宿泊所とジーメンスの廢兵勞働……佐藤佐……二五
少年團訓練の精神……生駒高常……二九
□說　苑□
養豚と豚肉加工業に就て……飯田吉英……四八
□調　査　研　究□
印度支那の旅より……S・I・生……六七
米國の護謨問題と比島……尾崎保正譯……七七
紹興酒釀造法の調査報告……小林一馬譯……八五
ニューギニア「ナッソウ」山脈の科學的探險……山岸祐一譯……一〇一
島情……一一五
大正十五年度臺灣總督府豫算……一一五
臺灣金融統計……財務局金融課……一一九
臺灣貿易統計……總督府稅關……一二七
臺灣日誌　人事消息　任命……一三三
□□□□□□□□□□□□□□□□□□
支那及南洋情報……總督官房調査課……一―五一
支那及南洋其他海外重要記事索引……同上……一―一三

三井物產株式會社

臺北
臺南
支店

出張所、出張員

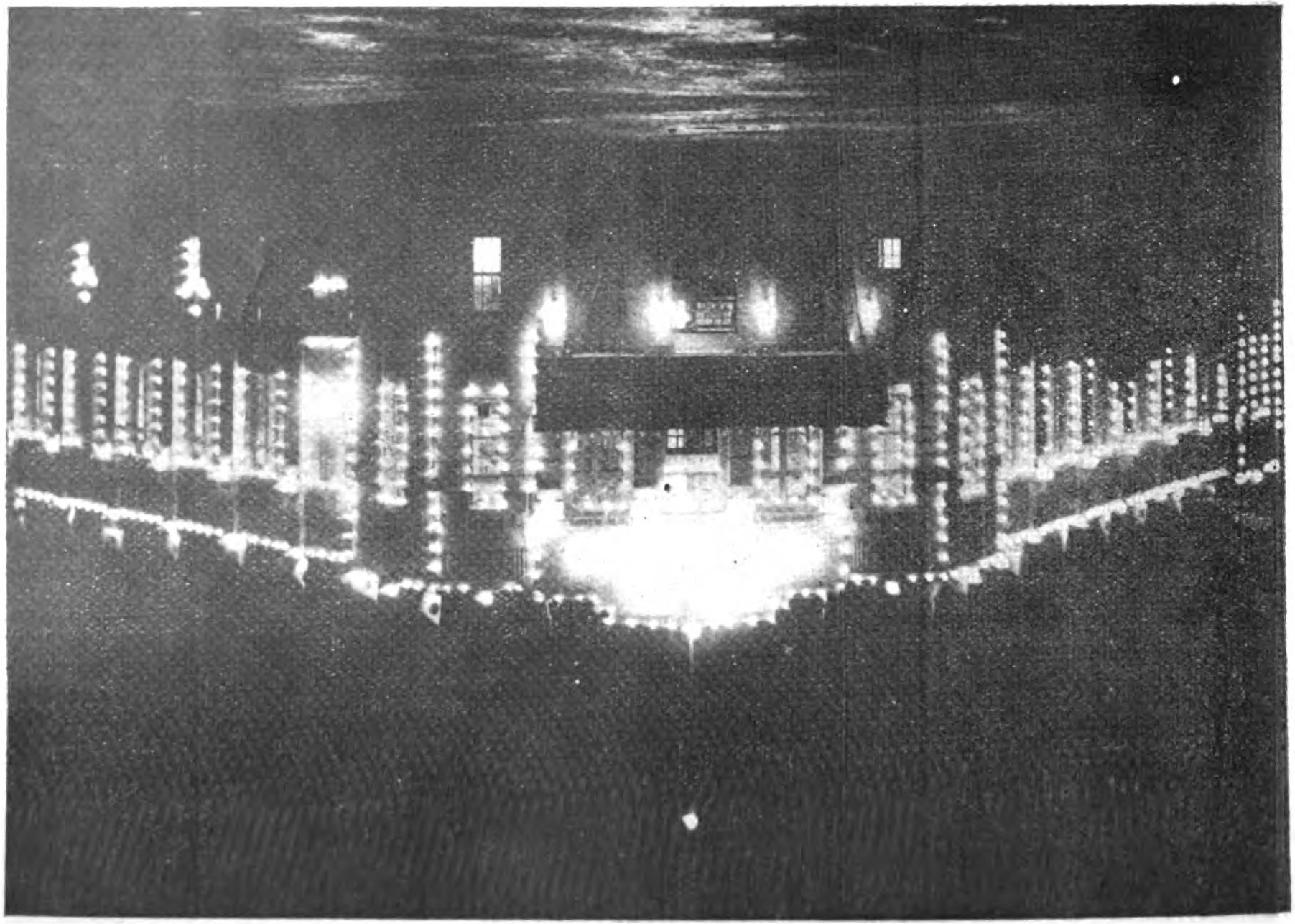
廈門　福州

基隆　高雄

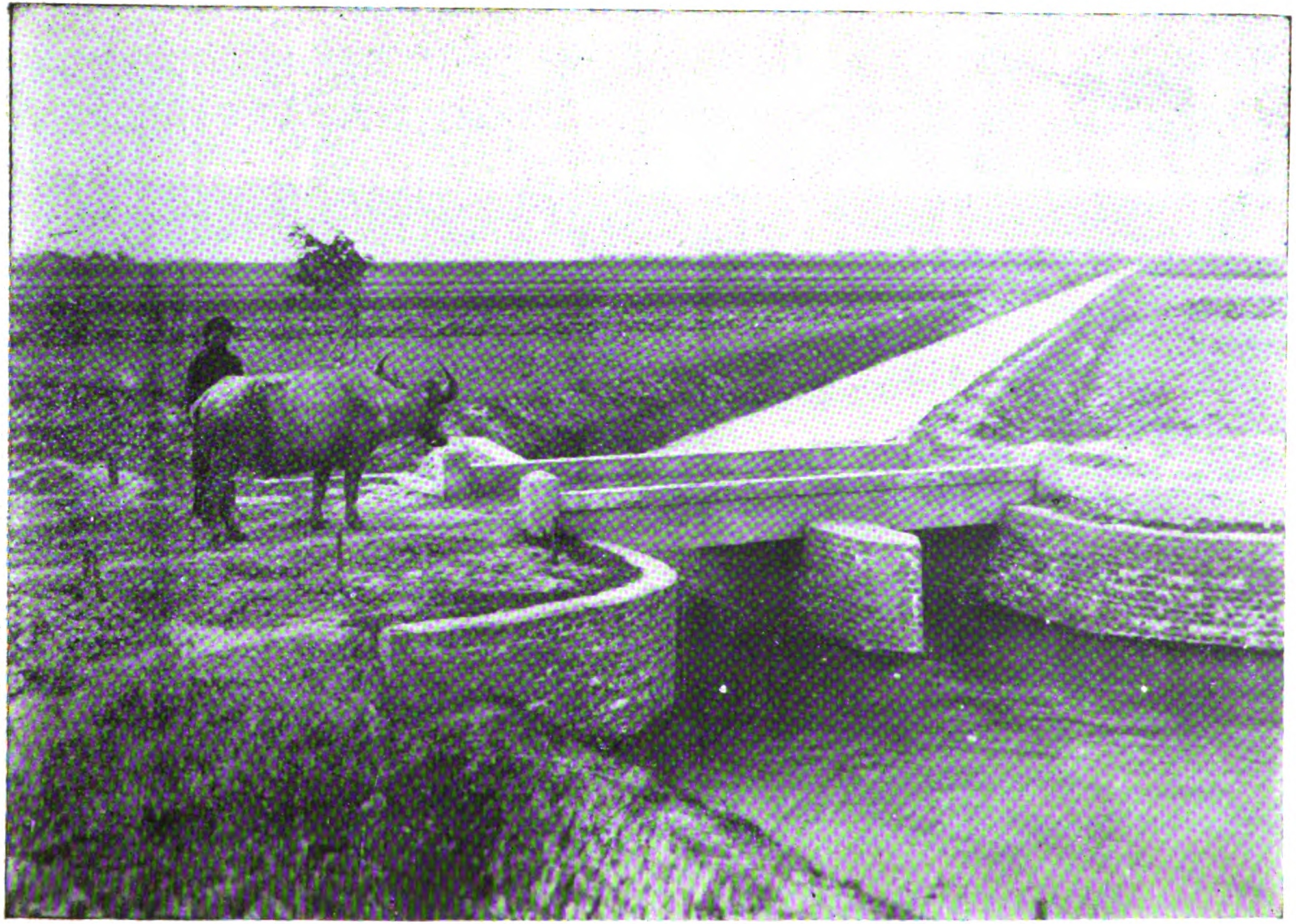
臺中

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

中部臺灣共進會第一會場の夜景（臺中市に於て）



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



新虎尾溪別線崙背支線猫兒干支線分岐點

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

伊澤總督の全島產業組合大會に於ける告辭

茲に第二回全島產業組合大會を開催せらるゝに方り、所懷の一端を述ぶるの機會を得たることは本官の欣幸とする所なり。

惟ふに產業の健全なる發達を圖り、國力の充實、國民生活の安定を期し、他面思想を善導して、其の向ふ所を誤らしめざるの方策素より一ならずと雖も、中小產者の產業を指導誘掖して、其の經濟力を增進せしむる事極めて緊要なりとす、產業組合の使命亦重且大なりと云ふべし。

臺灣產業組合規則公布せられてより茲に十四年、此の間其の發達顯著にして、產業の發達國運の進暢に稗益する所鮮少ならず。然りと雖今既往に於ける發達の趨勢を通觀するに、既設の組合は概ね信用組合に屬し、一般事業組合の普及を觀る能はず、又其の經營に至りても稍々もすれば營利に急にして、產業組合本來の任務を閑却せるの感尠しとせず、蓋し其の緣由する所多種多樣なるべしと雖、要は組合思想の普及徹底せざるに因ること最も大なるものありと謂ふべし。

されば今產業組合大會を開催するに際し、深く想を之等の禍根に致し、相戒め相努めて益々產業組合の普遍的の發達及組合內容の充實を圖り、其の面目を一新するの念なかるべからず。

殊に經濟界の近狀は共同の經營に依り、相互の福利を進め、經濟上の效用を大ならしむるの組織の活動を要すること愈々切實なるを見る。此の秋に際し產業組合をして能く其の精神を活用し、益々經營の堅實を圖

らしめば、本島產業組合は更に一般の進境を加へ、此の經濟界の近況に適應して產業の振興、生活の改善に寄與するのみに止らず、一般世道民心の統一上其の齎す效果亦甚大なるべきは信じて疑はざる所なり。

冀くば事に從ふ諸子は益々力を組合員の結合と經營の改善に致し、組合の機能を發揚し所期の目的に副ふ所あらむことを。

一言を陳べて告辭とす。

――大正十五年二月二十七日臺南市に於ける第二回全島產業組合大會にて――

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

產業組合大會に於ける後藤會頭式辭

本日玆に第二囘本島產業組合大會を開催するに當りまして、總督代理官始め多數來賓各位の御臨場を得ましたことは、誠に本會の光榮とする所でありまして深く感謝の意を表する次第であります。

抑も產業組合は中小產業者の多數團結に依り、其の團體の力を以て組合員の產業竝經濟の發達を圖るを目的とするものでありまして、現在の經濟組織の下に於て中小產業者の存立を保護し、進て其の繁榮を期するが爲め最も必要なる制度であります。從つて其の發達は世界的の現象でありまして、各國共に擧て其の指導獎勵に力めつゝある次第であります。彼の英國に於る消費組合或は獨逸・伊太利などに於る信用組合、丁抹に於る販賣組合等は其の最良く發達したる事例でありまして、啻に產業組合本來の目的たる組合員の福利を增進せること顯著なるのみならず、一面に於て一國の經濟界を左右するの實勢力を有して居ります。

本邦內地に於て此の產業組合制度を採用致しましたのは明治三十三年であつて、沿革は尙淺いのでありますけれども、組合は非常なる急速度で普及致しまして、最早津々浦々に到るまで組合の設立を見ざる地方なく、其の數實に一萬四千餘の多きに達し市町村の數を遙に突破し、歐洲各國よりも寧ろ急速度の發達を遂げて居るの狀態であります。啻に其の組合の多數なるに止らず、最近經濟的にも亦社會的にも相當に其の成績を擧げ、大なる實勢力を有するに至れることは各位の既に御承知の通りであります。

本島に於ては產業組合制度が施行せられて漸々玆に十四年でありまして、其の間に設立せられたる組合の

數は三百三十に達し、其の普及の速度に於ては相當の發達を示して居るのであります。然乍ら本島の總戶數に對比して組合の加入步合を考ふれば、其の數に於て尙甚しく不足を感ずるのでありまして、將來一層其の普及に力を致さなければならぬと考へます。又既に設立せられたる組合に就いても、其の成績一般に未だ滿足することが出來ない狀態にあるのであります。試に其の一端に就いて申述べますれば、產業組合總數三百三十の中二百八十は信用組合でありまして、事業組合は僅かに五十と謂ふ少數であります。而も之等事業組合の中活動の見るべきものは日用品の購買組合に屬し、其の他の組合は數に於ても實に寥々たる有樣であります。又其の經營に就ても、昨年來信用組合中各所に不祥事件の續出したるが如き、實に一般產業組合の信用を害し、爲に世人をして產業組合の得失を疑はしむるが如き事績ありたるは最も遺憾とする所であります。尙組合組織の點に就て、又組合資金利用の點に就て、其の他數へ擧ぐれば本島產業組合として、今後改善刷新を要すべき事項は極めて多く、前途遼遠なるの感があると同時に、我々の爲すべき所、努むべき範圍は、極めて大にして其の責任も亦甚だ重大なることを感ずるのであります。

我が產業組合が斯の如き情勢に在るに際し、吾々組合關係者が一堂に會し、組合內容の充實、將來の改善發達に關する畫策を隔意なく協議することは頗る有意義のことゝ存じまして、茲に本大會を催すことに相成りました次第であります。幸に全島組合關係者擧つて參加されまして、此の盛況を見ることを得ましたことは組合協會として欣快に堪えない次第であります。何卒此の機會を有效に利用せられ、本會議をして本島產業組合の改善發達に意義あらしむる樣十分なる御協議と御研究とを希望する次第であります。

一言以て御挨拶と致します。尙終りに臨み大會竝に展覽會開催に當り、臺南州其の他に於て特別の御援助を賜はりたることを厚く御禮申述べます。

片山殖產局長代理（大正十五年二月二十七日臺南市に於ける第二回全島產業組合大會にて）——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

地方改良講習會に於ける訓示要領

木下内務局長

凡そ國家の隆替は、國家の土臺である地方團體が、健實に發達すると否とに繫る所が多い事は申す迄もありません。此の故に近世文明諸國は皆力を自治制度の完成に致し、其の局に當る者をして制度の運用宜しきを得せしめ以て國運の發展を期して居るのであります。而して本島に於きましても此の意義より夙に自治制度が不完全ながら確立せられたのであります。然乍ら其の實施後日尚淺く健實なる發達をなさしめて完全なる自治制度に到達するには前途尙大なる努力を必要とする所であります。私は地方自治制度の本義は人類の隣保團結の天性を擴充し、共同の福利を增進せしむるに在ると考へます。此の本義に副ふ爲めには自治團體の團體員をして益々奉公の精神を盛んにし、共同一致齊く公共の事に竭せしむる事を要するのは勿論でありますが、殊に自治制度の施行初期に於ける地方振興の對策としては、地方團體の指導監督の任務を要する當局者に其の人を得て、地方團體當務者をして能く自治制度を運用して制度の眞價を發揮せしむると共に、團體員の自治精神の普及向上を計るに在ると考へます。

玆に於て一昨年より地方改良講習會を開催し、地方の指導監督上重大なる任務を有せらるゝ諸君の參集を煩はし、地方團體の指導監督乃至改良上必要なる講習をなし、以て地方の改善進歩を促すことになつたので

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ります。私は諸君の絕えざる熱誠と努力とは或は自治精神の振作となり、地方產業の開發となり、或は能率の增進となり、處務の簡捷となり、以て必ずや本島地方制度の完成に資すること大なるものあるを疑はないのでありますが、更に本講習會により諸君の職責が如何に重く且つ大なるかを知り、益々公事に竭すの念を振ひ起し、以て邦家の爲に地方改良發展に一層の力を盡して戴き度いのであります。

――大正十五年三月一日總督府に於ける第三回地方改良講習會にて――

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

伊澤總督の東部鐵道開通式に於ける祝辭

凡そ草萊を開闢して邦土を建設するもの鐵道より急なるは莫し。假令榛莽鬱人跡未到の地と雖も飈輪一度過ぐれば、屋舍忽ち相望み產業立處に興る、其の勢盛火の枯野を燎くよりも速なり。我が臺灣の地たる連山南北に亘つて一脈の脊梁を爲し山脚西に流れて平野を展開す。唯東部臺灣のみ獨り太初鴻荒の狀態を殘して今尙ほ人煙の稀薄なるを見る、膏腴可耕の處ありと雖も荊棘之を封じて蕪莽たり。是に於て鐵道布設の急務たるを感じ、南北兩方面より其の工を起して年々歲々漸く步を進め銳意策勵以て百難を排したるの結果、遂に南北兩線を接續せしめ茲に甫めて臺東花蓮港間の開通を成功せしむ。東部臺灣の產業と文化とは蓋し是より勃興するもの有らん。地方人民の爲に其の幸福を慶賀せざる可らず。

交通局鐵道部諸士積年の勞苦克く此の成功を贏得たるを嘉すと同時に、地方人民も亦刻苦精勵能く此の鐵道に向つて利用厚生の意義を完ふせんことを庶幾ふ、今日の開通式に際し謹て之を祝辭となす。

——大正十五年三月二十七日玉里に於ける東部鐵道開通式にて——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東部鐵道開通式に於ける生野交通局總長式辭

臺東鐵道工事竣成し茲に花蓮港臺東間百七哩の全通を見るに至れり。今其の式を行ふに當り來賓各位の貴臨を辱ふしたるは不肖の光榮とする所なり。

臺東鐵道の建設は東部臺灣開發の先驅、東西鐵道連絡の著歩として計畫し明治四十二年に其工を起せり。爾來計畫に中止あり工事に繰延ありて歲月の經過殆んど二十年に近し、單に線路の哩數と經過の年月とを對比すれば多少遺憾なき能はずと雖も、之れ財政其他の都合に因るものにして萬已むを得ざる處なり。然れども漸次鐵道の開通に依りて地方開發に貢獻し、其の成績の顯著なるものあるは喜ぶべきなり。殊に最近東部開發の高唱せらるゝ際に於て全線の開通を見るに至りしは眞に快心の至りに堪へず、而して其の式に至りし所以は一に總督閣下の指導と地方官民諸氏の後援竝に、從事員諸君の奮勵努力に因るものにして感謝措く能はざる處なり。

思ふに、東部臺灣の開發は本島統治の要義にして歷代總督の方針なり。圓周鐵道の完成は本島の鐵道是にして累代鐵道當局の理想なり。此の方針と理想とは同一經論の中に拘含せられ殆んど不可分的の關係に在り。吾人は夙夜其の方針を體して此の理想の實現に微力を盡さんことを期す。全島官民殊に地方人士は益々本線を利用して經濟力の發展に努め、其の餘勢を以て東西連絡鐵道建設の氣運を促進し、吾人鐵道經營者に後援を與へられんことを望む。

＝大正十五年三月二十七日玉里に於ける東部鐵道開通式にて＝

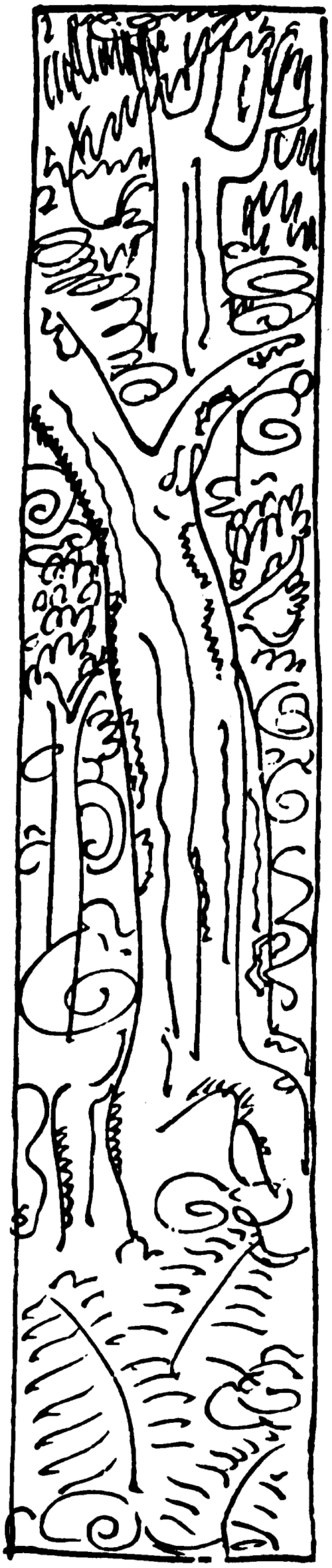
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

中部臺灣共進會に於ける後藤總務長官の祝辭

中部臺灣共進會は茲に陽春の好期節を以て開會せらる。惟ふに、本會の目的は、東宮殿下行啓記念館の落成を慶祝すると共に同館利用の目的を貫徹せしむべく、臺灣に於ける文化並に產業の現狀を展觀し以て將來の進步發達を促さんとするに在り。其の規模宏大にして參加區域の廣汎なること地方に於ける計畫として近年其の比を見ざる所なり。殊に各館の出品物並に陳列施設の方法は孰も最新の智識を應用し嶄新なる意匠を凝らし進步の跡歷然たるものあり。是れ實に臺中州官民各位の熱誠と勵精とに依るものにして、本官の深く欣幸とする所、本島產業の發達文化の向上に資する所必ず大なるものあるを信ず。

冀くば能く本會所期の效果を收め、以て國運の進展に寄與せられんことを。

――大正十五年三月二十八日臺中市に於ける中部臺灣共進會發會式にて――



東臺灣鐵道の開通と其利用

殖産局長　片山三郎

東臺灣の現狀を何と見るべきか、改隷の當時を回顧して今日の實況に想到する時は、開發進步の顯著なる正に隔世の感があつて、歷代官憲竝に招致せられた母國移民に對し、又た當地の事業に關係した事業家に對して敬意を拂ふべきである。しかし翻つて東臺灣が文化的に產業的に將來達成せねばならぬ使命を考へるならば、現狀は決して滿足すべきでなく、過去に辿つた以上の發展を期せねばならぬ。之が爲めには移民の招致も必要である、河川の整理に依る治水事業も必要である、開墾竝に灌漑排水事業に依り耕地の造成改良も必要である、海陸の連絡も緊要である。之等の事項は苟も東臺灣の地を文化的に又產業的に向上充實せしむる上に缺ぐべからざる前提條件であり根本條件である。

今度公埔池上間の連絡完了し、臺東花蓮港間の鐵道全通を見るに至つたことは、右樣の意味に於て慶賀に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

堪へない譯である。以前の輕便臺車に依つた際は、大急行を以てするも兩地間は三日を要するのみならず、乘客の來往、貨物の運送等誠に不確實不規則であり、事故頻發、賃銀不廉、大量輸送不可能等生活上、企業上不便極まるものであつた。之を今日に比較し正に畫期的變化と言はずして何といふ。

臺東廳管内が花蓮港廳管内に比し、開發の程度に遜色あるを免かれぬのは種々の原因もあるであらうが、官營鐵道が花蓮港管内では既に明治四十二年から著手し、四十三年には花蓮港鯉魚尾間の開通を見、爾來年々延長開發したのに、臺東管内では漸く大正十一年度に入つて手を染めたやうな有樣で、其の差違は重大原因の一と考へねばならぬ。臺東製糖會社が極めて不規則不完全なる私設鐵道を直營して、其の地方開拓の責任を負はねばならぬ破目に立到つたことは、同社の社運を不振困憊の極に陷れたばかりでなく、惹いては臺東管内開發の一大支障を招來せしめた一事に考へ及ぶとき、東臺灣鐵道の營官によつて全通した事は、「鐵道は移民開拓の先驅者たり」との使命を如實に示したものとして、東部臺灣の發展上誠に有意義であると考へられるのである。

東臺灣一帶は、母國農民が全地域に亙り定著して居るに對し、先住者としての文化低級なる平地蕃人が優良なる地域に粗放的に占據して居るのみならず、更に本島人竝に高山蕃人が居り、將來尙ほ移民招致の必要に直面して居るのである。斯樣に複雜な社會相を有機的に指導し行くには非常な努力を要すると共に、本地方の富源開發、天惠の利用上各種の產業、例へば糖業・米作・伐材・畜產・漁業・果樹物等の事業が有利に取扱はれ得るやう一層の努力が要求されて居る。

此際兩地間の鐵道連絡完成せられ、東部臺灣の兩地方を有機的に經濟的に一地帶たらしめ、更に進んでは西部臺灣との連絡上の前提となり得たことは、本島統治上重大なる意義を有すると信ずる。此全通せる鐵道の恩惠利便を如何に利用活用すべきかは、在住者は勿論本島官民の責任として殘されたることゝ信ずる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時　報

臺灣電力會社總會

臺灣電力會社總會は二月二十七日東京市丸ノ內鐵道協會に於いて開催、高木社長より營業成績の報告及び來る五、七月を以て滿期となる社債一千五百萬圓の借換は目下有利に進行中なる旨說明あり、次いで年六分の利益配當を附議し、日月潭電力工事に放資せる三千五百萬圓の善後策に就いては各方面に了解を求むる運動中の旨報告あり之に關する討議があつたが、凡て原案を可決して無事終了した。

第三回地方改良講習會

第三回地方改良講習會は三月一日午前十時から總督府廳舍に於いて開催、聽講出席者は各郡守を始め州及郡屬四十八名、各講師及關係者列席し劈頭木下內務局長より地方改良に就ての訓示があり、引きつゞき地方自治及產業の改良、開發に關する敎育・農事・金融・衞生其の他の必要なる課目に就いて各講師の講義あり、六日所期の成績を收めて修了證書授與式を擧げ閉會した。

各地の展覽會及物產品評會

臺南州主催衞生警察展覽會、並に北港郡物產品評會は三月一日北港街に開催、喜多州知事始め關係當局者及製糖會社其の他の官民三百餘名列席、開會式に次いで褒賞授與式、優勝旗の授與あり、北港街は空前の賑ひを呈した。

尙、二月二十七日には員林・鹽水兩街に農產品評會、三月八日に北門郡展覽會、三月十五日に彰化郡聯合品評會あり、地方開發・產業發達に資する所尠からざるものがあつた。

青果同業組合聯合評議員會

本島重要物產たる青果の取引問題に就ては、從來芭蕉實取引等を中心として紛糾を重ねて居たが、三月九日總督府に於て青果同業組合聯合評議員會開催され、片山殖產局長・石津商工省事務官・青果聯合組合長としての本山臺中州知事其の他關係者出席して、

青果問題の懸案に就て審議する所あり同日の會合によりこれまでの暗雲を一掃して青果取引組織の改善其他を解決した。

全島の陸軍記念日

日露戰役に於て彼我全力を擧げて最後の勝敗を決した奉天の大會戰に我軍が大勝を得たる日を追憶する陸軍記念日は、三月十日全島各地に於て軍隊及一般國民の協力によつて盛大に行はれた。

臺北市に於ては、歩兵聯隊及山砲兵大隊に第一中學、工業學校等の生徒を加へて午前九時から小雨を冒して壯烈な模擬戰が行はれたが、總督府を中心に猛烈な市街戰が演ぜられ、銃砲天に轟き砲煙空をこめて、奉天大會戰を目のあたりに偲ばしめ、演習を終へて總督府前の廣場に嚴粛な分列式を行ひ、全市民に多大の感動を與へて記念日の意義ある催しを終へた。又當夜は臺北市の第二回市民講座講演會が開かれた。

尚臺南・臺中・基隆・高雄・宜蘭其の他の市・街もそれぞれ演習を行ひ或は記念祝賀會を開催した。

臺灣統治狀況言上

攝政宮殿下には、昨年中各國務大臣を召され所管事務に就き御聽取遊ばされたが、更に各植民地統治に就き御聽取の思召あり、伊澤總督は御召により十八日午後一時半、赤坂東宮御所に伺候、午後二時から約二時間に亘り、臺灣統治狀況及び一般事情を言上した。陪聽者は牧野内大臣・一木宮相・珍田東宮太夫・奈良東宮武官長等であつたが、終つて總督は慰勞の御言葉を拜し、別室に於て茶菓の御饗應にあづかり殊の外面目をほどこして退下した。

東部鐵道開通

東臺灣の大動脈たる東部鐵道の全通式は、三月二十七日玉里に於て擧行された。この鐵道臺東線は今回竣成した公埔池上間四哩三分の開通を以て、北花蓮港から南臺東に至る百七哩の全通となり、東部臺灣に於ける兩中心都は完全に連結され、同地方の文化竝に産業の發達に稗益すること多大である。

由來東部臺灣は交通至難であつたが、幾多の難關を突破して今回鐵道の全通を見るに至つたことは、獨り東部臺灣の爲めのみならず、臺灣全島の爲め慶賀すべきことである。

中部臺灣共進會

臺中市主催の中部臺灣共進會は、三月二十八日から十日間臺中市に開かれ、二十八日其の開會式が擧行さ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れた。この共進會は、東宮殿下行啓記念館の落成を祝すると共に、同館利用の目的を貫徹せしむべく臺灣に於ける文化並に産業發達の現狀を展覽し、更に一層これが啓發振興に資せんとするもので、第一會場から第六會場に亙り、産業・教育・衞生・土木・交通・理蕃等に關する各種の品目を蒐集し、規模の整然たること、陳列品の優良にして點數の多大なること等近年稀に見る所であつて、地方文化の向上發展、産業の振興に稗益すること多大であると。

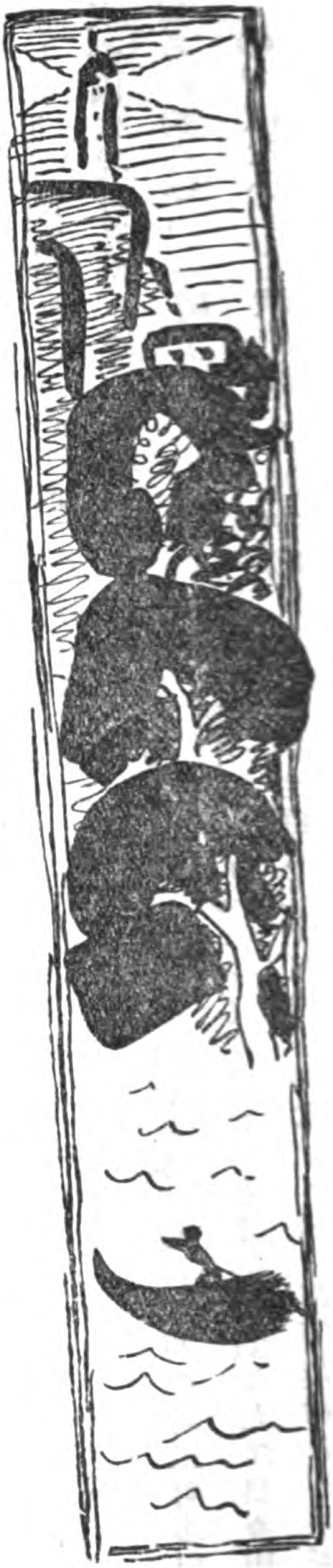
大連直航と北支那線

內臺航路の時間短縮と同時に、高雄基點大連直航の命令線も開かれることゝなつたが、同航路は月四回の定期で二千五百噸乃至三千噸級の貨物船四隻を配給する筈であるが、同航路の使命としては本島産の芭蕉・靑果等を大連に直送し、其他酒精・砂糖等も積取る事となる、さうして復航には大連から上海・厦門・汕頭・香港・廣東を經由して高雄に入港する、尙ほ高雄大連間は千四十浬で五晝夜を要すると。また高雄を基點とする北支那線は從來年二十四航海であつたのを五月以後三十航海とし、從來より六航海增加することゝなり、直航路と相俟つて本島産業貿易の發達に資すること多大であらうと。

第五十一議會閉會

幾多の曲折と波瀾とを重ねた第五十一回帝國議會は、一時解散說さへ傳へられた程であつたが、三月二十五日を以て會期終了し、同二十六日貴族院に於て其の閉院式が行はれた。而して今期議會には稅制案を筆頭に關稅改正其他の重要案件が上提されたが、多少の修正があつたゞけで、大正十五年度豫算と共に殆んど其の全部が可決された。殊に十五年度臺灣總督府豫算には、文教・水利・交通並に産業其他新期要求として幾多の重要施設に關する經費が計上されて居つたが、豫算の議會通過に依つて之等の重要施設は近く實現さるゝことゝなつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



臺灣森林問題

臺灣總督府高等農林學校助教授　青木繁

一

森林問題と云つても多種多方面に亘つてゐるが要するに現代に至りて逐年世界的に木材の需給が圓滑を缺く樣になつたことに原因してゐる。

元來木材は人類生活上の必須品で或は生活上の燃材として若くは皆産業用燃材として又建築、鑛山其他諸用材として尚又文化の普及に伴ひ木材を原料とする化學工藝の進歩發達の上に緊要缺くべからざるものである。殊に林業の規模が大なればなるほど而て收約度を高むれは高むるほど多數の勞働者に勞働の機會を與ゆるものであるから近時社會上の、政治上の大問題たる農村、山村の經濟を豊かにすることが出來る等所謂物的森林の效果は極めて大である。のみならず森林の存在は就中河川源頭流域の森林が水源涵養の働きに於て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

洪水及旱魃の害を緩和し所謂帶水をたゝえて水力發電を安固ならしめ吾日本の今後の工業立國への成立基礎を愈々安固ならしめ從つて間接に行詰れる日本の經濟財政救濟の一助となるべきは明なる理である。

されば木材の生產を潤澤にすると共に水源の涵養、飛砂の防止、風致の增進等の爲め尙又土地利用經濟の立場に於て必要場所の森林の振興を策するはとりもなほさず國民經濟上・財政上・公益上必要條件で結局國力充實の一方策である。木材の需給が圓滑を缺ぐに至れるに因り近時森林問題が地方の、國家の問題として重大視される樣になつたのはかゝる意味に於てもつともな次第である。

二

統計の示すところに依れば日本は國土の約七割と云ふ世界第一の森林國である。故に若し之を合理的に經營するならば木材の洪水否少くとも自國の需要のみに對しては充分の供給力を支持して行ける筈である。而も事實は之に反して米材が日本の有名なる森林地方にもその雄姿を横たえてゐるの狀態である。森林國日本は米材で建築された建物に生活を營んでゐるのである。然るにも拘らず今日尙森林經濟の實を擧ぐることが出來ず何等利用するところなくして放置しある林野面積は廣大である。昔人口の稀薄にして人口に對する森林面積の豐で木材の生產亦廉價に且豐富なりし時代はともかくとして日本の現代としては徹底的に之が利用經濟をはかりて國富增進の一策に供しなければならぬ。

尙又吾國は現時農村に於て多大の勞力の餘剩があると云ふのは「我國農家は僅に一戶平均二町步以上を耕作し得るに拘らず、一町步以下の小農は全體の約七割を占めてゐる。それに農業の性質として日々田野に出で働くのではないから我農家が一年中働く日數は平均百八九十日位しかない」ので事實農村に空手が多い次

第である。而て今林業を盛ならしめて此等農村の空手を生產手たらしむるならば行詰れる現代の日本の農村の經濟を救治することが出來のは見易き理である。卽かゝる意味に於ても日本の廣大なる未利用林野の經營は實に農村振興上は勿論風教上又勞働問題對策の一としても更に又日本の貧窮なる經濟、財政を救濟するの一助として大に意義がある。

之を要するに木材生產の充實竝に保續上、土地利用上、過剩勞力の消化利用上、國富增進上、其他一般產業保護、水源涵養等大に未利用林野の利用、利用しつゝある林野の合理的經營によりて日本が世界第一の森林國たる實を擧ぐべきは日本自體の責務である。日本の存立上の自覺であり當然の策である。日本の森林問題は世界文明國の何れよりも重大に取扱はれねばならない所以である。實に日本の廣大なる林野の利用は日本の經濟と重大にして密接なる關係を有するのである。

三

而も日本は數年前より木材の輸入超過國となり入超につぐに入超の一方で之に依りて辛じて國民及國家の木材需要を充してゐる次第である。しかし林力に乏しいのである。林野の利用を怠つてゐるのである。森林國たる實を備えてゐないのである。土地を利用してゐないのである。天然力を利用してゐないのである。空手を生產手たらしめないのである。

然らばかゝる現象は何に因るのであるか、吾人は次の四項をかゝげることが出來る。

1. 商工業偏重、卽ち政府の施設が餘りに都市中心主義に傾き農村、山村の施設を等閑に附したること、
2. 林野全面積の約五割を占むる公有、社寺有及私有林の經營をあまりに自由放任したること卽ち林業の特

性上伐採に專らにして造林を怠り勝ちの此等所有林野の營林監督宜しからざりしこと、而て之が直接の原因は資金に乏しく且收穫を數十年の後に期せねばならぬ林業自體の特性が然らしめたのと政府の奬勵策が徹底してゐないこと、

3. 國民思想の輕薄につれ氣長の林業、一見收利少なき如き林業等に意を用ひざること、

4. 日本の一般經濟の、財政の行詰り居ること、

四

今私は森林問題が八箇間敷なつて來たに就て其原因を木材の需給が世界的に圓滑を缺く樣になつたことに歸したのであるが之に關して永山氏「世界に於ける木材貿易」薗部博士「歐米各國木材需給調査書」坂本宣雄氏「救國の大計は森林政策の徹底的斷行に在り」其他關係著書、雜誌を涉獵しての一貫したる詰論は要するに木材の世界的饑饉の襲來は最早時日の問題であるから日本としても之が徹底的對策の樹立と實施の急務を述べられてゐる。

從て之が對策は當然次の三項に歸著する。

(1)現林の改良と未利用林野の利用造林の充實、

(2)合理的森林利用と木材の消費節約の勵行、

(3)森林警防の徹底と愛林思想の高潮、

而て(1)は其經營の主體の公私を問はず無價値の林相を改良してより有價値となし、一方廣大なる未利用林野就中現今最も荒廢してゐる公私林の造林を擴張充實することである、之が爲め私有林造林に對する資金の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

融通、若くは官行造林の斷行が必要である。臺灣の私有林は全面積僅々二十萬町歩に滿たざるも地力の荒廢の點に於ては內地の比でない、之が爲め督府は之が利用造林の實をあぐる爲めにむしろ官行造林の擧に出でなければ永久綠化困難であらう。

(2)は木材の消費者は國民全般であるから國民全體の自覺に依て木材を合理的に利用し一方消費を徹底的に節約せねばならぬ、即ち國民全體にかゝはる問題である。

(3)は亦(2)と同樣に其係はるところは國民全般であつて近來登山、旅行等の流行は特に森林火災の原因を多からしめる、それ故之が解決は一般國民の森林に對する理解を圖ることが必要である、而て到るところ山又山の日本の國情に鑑みて階級の上下、男女の別、職業の別、小學教育と大學教育とを問はず、之が愛林思想の鼓吹に努め國民全體が森林を愛護するでなければならぬ。

之を要するに森林問題は國民全體に係はる重大問題であつて單に林業家、林學者のみに與えられた問題ではない。

されば現今森林問題として森林基本調査、林政機關の統一革新、公有林・私有林等の造林助成、森林金融機關の特設、森林火災保險事業の普及、森林組合の奬勵、農林教育の刷新、擴張等の諸問題が國民經濟上、財政上、社會政策上竝に文化の發展上等々の立場に於て追々と八箇間敷論議せらるゝ樣になつたのは當然である、最近帝國議會に於ても是等各種の問題が農村問題・勞働問題・國力增進問題等と相關聯して大に論議せらるゝ樣になつたのは森林國日本が森林國たるに目ざめて森林國たる實を發揮すべき一つの現はれに過ぎない。森林國日本の林業政策は他のあらゆる經濟政策に比して最も重大であるべきである。某政黨は森林政策を其綱領の一つとして掲げて居るのであるが果して日本の國情を達觀し、眞に日本の森林の使命を知るのであるな

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

らば吾人は眞にその政黨が日本を愛するの情を知ることが出來る。

五

然らば森林問題の根源たる木材需給竝に其貿易事情は如何と云ふに現代全世界を總括したる木材需給のバランスは約五十六億萬石と推算される、而て大體木材生産過剩して自國の需要を充し尙國外に輸出し居れるものは合衆國・加奈陀・瑞典・諾威・芳蘭・露國・チェク及伊太利の諸國であつて是等は凡て木材輸出國であるから森林豐富の國々である。之に反して自國木材の生産不足の爲め外國より輸入を仰ぎつゝある國は英佛を筆頭として獨・伊・白・丁・希・瑞西・南米・濠洲・阿弗利加等である。而て日本の如きも大正九年迄は木材の輸出國として其輸出超過額年々約五・六百萬圓であつたのが其後自給自足不能となり大正十年よりは入超の一方で同年から十二年迄に入超年額六千萬圓、累計一億七千萬圓餘となつてゐて、主として合衆國より輸入し以て國民及國家の需要を充してゐるの狀態である、尙臺灣及朝鮮は共に輸移入超過の一方で臺灣の如きは阿里山・八仙山・太平山等の如き著名の天然林を有するにかゝはらず年々數百萬圓の入超を示してゐる。而て臺灣の年木材需要量は大體二・三百萬石であるが此內濶葉樹材と針葉樹との割合が相半ばしてゐるのと內地一人當り木材消費が大約六石四分であるのに對し本島一人當りの夫は僅にその一割に當つてゐる、而て之が原因は臺灣は一般には土塼建であり木材を多く要せぬこと、木材の代りに竹材が多く用ひらるゝこと、住宅地が亞熱帶なる爲め家庭用燃料が多く要らぬこと等であるが之を要するに年需要量に比し五十萬石乃至百萬石の生産不足でつまり之等不足は內地及對岸支那から輸移入して之を補充してゐる次第である、即臺灣産材としては薪炭材と上級建造物材として使用せられ其他は多く彼の福州杉・內地杉電柱、坑道用材としての八重山材等重

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なる輸移入材によつてゐることは人のよく知るところである。

然らば前記木材輸出國は將來も永久的に輸出を繼續し得る林力ありやと云ふに恰も日本が數年前までは輸出國であつたのが近年入超國となつたと同樣の運命をくり返すのは當然であるべきである、即ち輸出の筆頭たる北米及北歐の諸國も現今其年伐量は年生長量に比して八割强の過伐を行ふてゐると云ふのであるから遠からず世界に於ける森林資源は涸渇の時代が來るのは明かで、永山氏も云はるゝ通り今より約二十數年前彼の有名なる佛國森林監督官アメラール氏が世界各國に於ける森林の狀態と木材需給との關係を考察して木材は今後五十年を出でずして世界的恐慌到來すべしとの豫言が今や刻々適中しつゝあるのは甚だ遺憾である。

尙注意を要するは米材であるが米材は現今其蓄積の豐富なのに委せて世界的に活動してゐるのであるから木材市價の鍵は米國が握つてゐるのである、而も林力は現在の伐出量を繼續しても尙且今後七十年間を持續することが出來ると云はれてゐる。其内日本に輸入する量は年々約六百萬石で價格にして約七千萬圓である、尤も此内日本から更に其一部を輓材又は角材或は既成品として支那南洋方面へ再輸出して居るのである。而て大正十二年九月の關東地方の大震火災以來は益々木材の輸入を增加しつゝあるのである。私は一昨年内地一周の旅行に於て驚かされたことであるが吾國木材の主產地たる吉野の山奧青森等の地方でさへ其他交通不便の地方に於てさへ米材の巨材が到る處其雄姿を横たえて居るのを見たことであつた。

然し米材と雖も其林地の面積に限りあり從つて蓄積も亦無限であるべきでない、而も年生長量が年伐量に及ばざること極めて大であることは前記の通りであるから結局薗部博士の云はるゝ通り「前掲北米及北歐諸國も今後二十年を出でずして甚しく林力衰弱し爲に世界の木材供給に非常な脅威を感せしむるに至る」であらう即米國の產材七十年壽命說も遂に二十年しか保たれぬのである。

之を要するに世界に於ける木材の需要は人口の增加、產業の發達、文化の普及、林產工藝の發達等に依つて逐年增加の一方である。從て現在の過伐は愈々其度を高め爲に材價は激騰し之に反して造林事業は遲々として進まず且森林火災等による蓄積の減少等により世界に於ける木材供給は益不足を告げ、斯くて從前の輸出國も輸入國となり結局木材饑饉來ると云ふことは最早時日の問題であるのである。

彼の英國の如き自由經濟主義學說の影響を受けて以來商工立國主義の國であつたので、歐洲大戰中巨額の軍需及關係用材を要せしと從來專ら木材を輸入して其需要を充し來りたる等の關係上木材に關して多大の苦痛を受けたのは當然である。其結果として森林政策の樹立となり、千九百十九年の林業法の制定となり、官行造林其他一般林業の振興を企圖實行中である。卽商工主義國家と雖も依然森林政策の樹立を緊要とし木材自給自足の必要切なるものであることを雄辯に物語つてゐる次第である。

かくて官林及其經營が一國財政上及社會政策上必要にして且有利なることに付ては林政學者は勿論財政學者の意見の一致してゐるところである。況や國民生活上及產業用として必須の薪炭材は林政上民林の生產によるべきを吾國は勿論諸文明國も主義としてゐるところであるから民林の充實をはかることも亦同じ程度に重要視されねばならぬ。

六

而も林業は他の產業と其性質を著しく異にし事業計畫より之が著手して生產收穫を得る迄には十數年、數十年の長期を必要とする、而も略均一の收入を年々繼續して得る爲めには極めて廣大なる林地に於て豐富なる林木の蓄積を造成して置かねばならぬのは云ふ迄もない、卽ち例せば年伐採面積一萬町步、此伐採量一千

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

萬石と假定して此の收入を連年永久的に得んとするには此の林木の輪伐期を假に五十年として、此の年數を一萬町歩に乘じたる五十萬町歩の森林と五億石の林木蓄積が而も一年生より五十年生迄各齢級の林分が略同一の植地面積を占領し且年々の生長量が略均等でなければならぬ。

然るに實際に於ては森林がかく理想的に此等諸條件を滿足することが出來ぬのを常とするのみならず、火災其他の被害も豫期せねばならぬし、爲めに以上の林木蓄積と林地とのみでは連年均等なる生産を得ることは實際としては絶對不能のことゝされてゐる。故に右の定收入を得る爲めには五十萬町歩の五割も十割も森林備蓄を必要とする。況や現今よりも一層甚しき木材の饑饉に直面しては材價の騰貴は必然で從つて過伐の度を增し愈々木材の不足を招來せしむる、而もその時に至りて如何に造林の擴張充實をはからんとするも時既に遲いので如何とも施す術がない、是れ林業が他の生産業と著しく性質を異にせる所以である。

故に國家的見地に於て大所高所より世界木材界の現況及將來に鑑み森林の利用を合理的ならしめ、未利用林野に造林して林木蓄積を豐富にし内は自國の木材需給を圓滑ならしめ、外は之を外國に輸出し得る林力を具え、結局來るべき木材の世界經濟戰に打勝たなくてはならぬ。此意味に於て現存林野森林の伐採利用は極度に收約でなくてはかなはぬ。吾人は臺灣の林野産物利用の粗放なる現狀の改革され一本でも多くの林木が吾等の子孫の爲めにのこさるべきを期せねばならぬ。

日本が現代多量の木材を輸入して辛じて國民生活の安定を得てゐるの事實は過去の日本人否現代の日本人が森林を愛惜することなく且無盡藏の如く考へ伐採すれば天然自然に後繼林が出來するものとの淺見無自覺から來たものである。であるから吾等が今日木材による苦痛と同じ苦痛を否より以上の苦痛を吾等の子孫にえざ與らんとするには過去の否明治初年頃からの日本人が爲したるが如き森林の亂伐、消費を敢てせないの

みならず進んで森林の改良、未利用林野の造林擴張を怠つてはならぬ。國家の生命は永遠であり吾等の生命も亦永遠であるべきである。吾等は廣大なる世界第一の森林國日本の森林の內容を改良し、木材の消費を節約して森林國日本の實をあげ、永遠なる國家の子孫の爲め現代に於ての吾等の責務を國家的に又個人的に果たさねばならない。

蓋し臺灣林野の荒凉さは其極度に達してゐる。見渡す限り無價値の陽性森林にあらざれば草生地である。地力の奪取的開墾農作は決して本島の名譽ではない、惠まれたるが如き退官者への土地拂下けが概ね農林經濟の許されざる土地狀況であるに見ても本島の地力の減退の度を示してゐる。今や臺灣全島國有林野施業案事業の開始を聞に當り吾人は何故に亂伐暴採を是れ事とし後繼林の造成顧みられざる民林の獎勵に猛進せざる督府の民林對策の眞意を疑はざるを得ぬ。之等に就ては別に稿して細論したいので本論の主意としては森林問題が特に日本の國情に鑑み重大であることゝ、木材の需給上廣大なる林野の改良、造林の必要にして結局將來永遠的なる考顧を以て國家及個人の責任自覺により將來に於ける世界的木材の經濟戰に備ふるところあるの必要を述べたまでゞある。

伯林の無料宿泊所とジーメンスの癈兵勞働

臺灣總督府高等商業學校教授　佐藤佐

一昨年伯林滯在中ふとした動機から社會事業の一般施設を觀たいと思つて方々驅け巡つた。職業紹介所、無料宿泊所、托兒所、養老院、癈兵院、感化院、育兒院等約十箇所程覗いた。その内から表題の二箇所を抽き出して紹介し責を塞ぐことにする。

大伯林の中の古伯林(アルトベルリン)といふ區域をすぎてやゝ北に偏した處に無料宿泊所の宏壯たる建物がある。一八七三年ビスマークの社會黨懷柔策の一産物として生れたもの、市の經營で、今日に至つたものである。現在の建物の本部は一八八七年大擴張の際に出來上つたものである。當時は一、二〇〇人の收容力があつたが、その後宿泊者の增加に連れて一八九三年に增築して、二、八〇〇人から三、〇〇〇人の收容力を有するに至つた。今日迄の收容數の統計の概略を茲に揭げると、一八八九年―九〇年迄は二〇三、〇三九人、一八九三―九四年は四四四、七六六人、九四年―九五年は三二二、六八七人に下り爾來減少一方であつたのが一九〇四年には、俄然六三〇、七一四人に上り、一九〇七年には五八二、九三一人を數えたものが一九〇八年よりは年々增加し一九一二年には一一二九、九二四人となつた。戰爭當時は幾分減つたが戰後には又殖えて一九二二年より二三年にかけては九〇九、三九三人を計上した。一年中最も多いのは冬季で、内でも正月には多數殺到する。六七月の

頃は減少するとの事である。婦人宿泊者は一八九三年―九四年の頃は男の三・一パーセント位であつたのが一八九四年―九五年には四パーセント强、飛んで一九〇七年には六・二パーセント、更にとんで一九二二年二三年には一六パーセントに殖えた。

泥醉者に非らざる限りは、何人と雖も宿泊を許される、但し最寄の警察署の證明を必要とする。無料を原則とするが入浴希望の者は二〇ペンス（十錢）を徴される。入浴と同時に衣類は蒸汽消毒をして貰える。家族部屋もあるが、一般獨身者の部屋は一室の收容數約五十名位唯金網のベットが竝べられてあるばかり布團の設備はない、但し十分保温の爲ステームが通つてゐる。飲酒は勿論、喫煙も禁ぜられてゐる上に部屋には外から錠が降されるので室外に出ることが出來ぬ。態のよい拘留所である。之は尤も彼等の苦痛とするところらしい。從つて六七月はこの拘留所に入るよりも樹下石上に天の星でも數えてゐた方が却てましだといふのであらう滅切減少するとの事である。來泊は三箇月間に五晩丈許されることになつてはゐるが、却々實行され難いとは案內人のいふところである。產婦は最も叮重に取扱はれる、專門の醫師や看護婦が居て妊娠の前後約二箇月を通じて在泊を許し之が看護に當るのである。產んだ嬰兒は何れも母體から離して一室に收容してゐるが、一人々々可愛らしいベットの中に安々と寢てゐる。觀覽者は一づゝ赤坊のベットを寄贈することになつてゐるが、ある一室のベットが全部日本人の寄贈であると切に感謝してゐた。惡い氣持がしなかつた。その他托兒室、養老室、病室等行屆いた設備がしてある。因みに宿泊者は夕飯として小麥のスープ、と朝飯として黑パンの供給がある。

滯歐中諸所を巡觀して何時も感ずることであるが設備の點では、彼と比較して日本は到底及ばぬ。この無料宿泊所でもそうである。この種の完備した宏大な無料宿泊所が日本に出來る時はそも何時の事か。然しこ

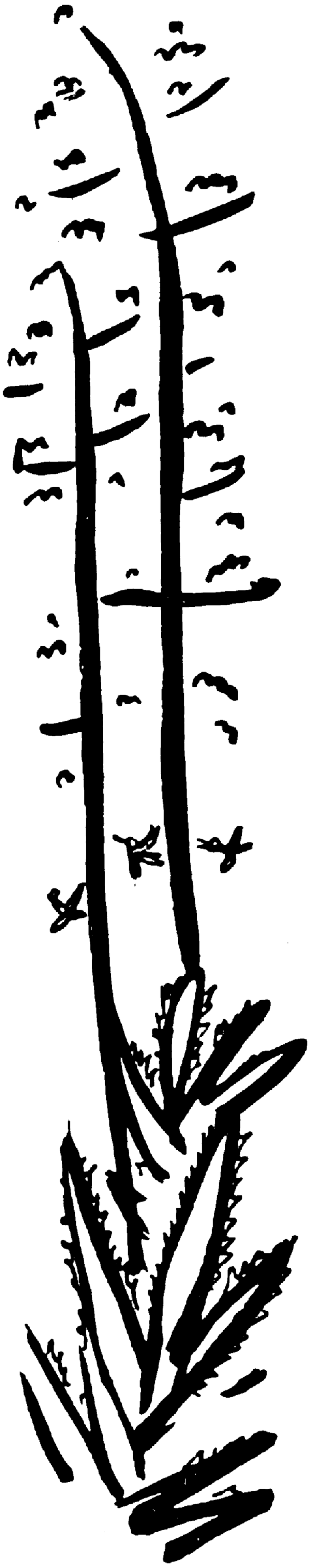
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

んな大きな無料宿泊所が必要となるに至ることは國家として憂すべきことであろうか。決して然らず、この種の社會政策的施設を必要とする事は萬民その途に安せざる所以を示すものであるまいか。その他の施設にしても要するに金で解決出來るのであるから國富の増進に連れて日本にも追々と出現するであろう。決して悲觀するに及ばぬ。ビスマールクは社會主義的思想の緩和策として諸種の施設を行ふたに拘らず終に革命は來たのである。形式的設備を沒頭する爲政者は少しく玆に思を致すべきであらう。

ジーメンス・シュッケルト電機製造會社の托兒所が一會社の經營としては可成行屆いてゐるのに感嘆した私は、更に工場に入るに及んで、澤山の癈兵が種々の部所に就いて完全職工と同じ樣に汲々として働いてゐるのに敬服した。先づ玄關番が癈兵である。次にエレベーターに乘ろうとしたら、その運轉手が而も兩腕を失つた癈兵である。彼は兩腕に義手を嵌めてゐる。一方の義手には鍵が附いてあつて之で扉の開閉をする。一方の義手には尖捧がついてあつて彼は之でスヱッチのボタンを押して昇降せしめる譯である。その甲斐々々しい働き振を見て涙ぐましくさへなつた。更に工場に入つたら、そこには幾百の癈兵が各適宜な職を與えられ他の職工と交つて雄々しく働いてゐるのである。盲目職工の席の側には各々一箇の犬箱があつて、赤十字の標章を附したバンドを持つ彼の番犬が神妙に而も熱心に主人の勞働振を見守つて、その仕事の終るのを待つてゐる。すべての犬は犬の中でも最も怜悧といはるゝ獨逸の狼犬(或は警察犬ともいはれ大戰には非常に活動したといふ)である。犬は朝夕主人を案内して工場裡の自働車、荷馬車、機關車、貨車、輻輳する中を右に避け左に縫つて無事送屆けをするのである。機械の接觸面や危險な個所には金網の掩がしてある。働いてゐる彼等は無言である併し面上無限の朗さがたゞようのを見る。蓋し不具者であるにも拘らず一人前の働をなし、他人の扶助を仰がず獨力パンを獲るといふ愉快さは何にも代へがたき彼等の誇であらねばならぬ

であらう。能率は決して完全職工に劣らぬとは案內人の說明である。こゝで働いてゐる全體の癈兵の數を聞き洩らしたが、盲目職工は全體で百數十名であつたと記憶する、その働き振は實に甲斐々々しいものである。

翻て日本を見ると每年議會が開かれる頃となると、必や、いたましい姿をした癈兵達が「一將功成つて萬卒枯る」とか「腕一本に金九圓也」とかいふ呪咀的な文字を書いた旗やビラを振りかざして示威運動を行ふを見るのである。又癈兵の仕事としては藥の行商より外にないもの丶如くである。祖國の爲に犧牲となつた癈兵を敬ふべきは勿論であるが一方彼等の品格をも傷けしめたくないものである。當局も當事者も少しく獨逸の癈兵勞働の現狀に學ぶところあつては如何。



少年團訓練の精神

內務局文教課長　生駒高常

吾々の忘るべからざる陸軍記念日に於きまして、皆さんの前に一場のお話を致しますことは私の深く光榮と存ずる所であります。私は少年團に就きまして別に深く研究したと云ふ譯ではありませんけれども、唯臺灣に少年團と云ふものを作ります時に、武藤前市尹竝に今の太田市尹と能く相談を致して、同じ精神の下に創立致したやうな關係がありますからして、其の太田市尹から今日特に少年團に就て話をして呉れと云ふ御依頼がありましたので、喜んで出て參つたやうな次第であります。

少年團のことを行事に亘つて委しくお話をすると云ふことになりますと、中々少しの時間では說き盡せないことゝ思ひます。僅かの時間でありますから其主旨精神はどう云ふ點にあるかと云ふことだけをお話致したいと思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

先づ今日の少年團の運動が如何に速かに發達したかを見まするに、現在の少年團と云ふもの丶魁をなしましたものは英國であります。即ち英國のベーテンパウエルと云ふ將軍が、英國の少年子弟が文弱に流れることを憂ひて、訓練の可能性の尤も豊富である十二歳乃至十八歳の少年を對象として少年團訓練を初めまして、少年團敎範と云ふ英國の少年團の敎範を發表致しましたのが丁度一千九百八年であります。この訓練法は直ちに歐米各國に擴がつて切りに研究批評せられたる結果、米國では一千九百十年に「亞米利加のボーイスカウト」と云ふ團體を作り非常なる勢を以て之れを奬勵致し、佛國でも一千九百十一年に之に關する規定を發表致しました。日本に於ても先年臺灣に參られまして、臺灣の少年團を創設する爲めに、講習會の講師として指導の任に當られたる所の深尾韶氏は、大正四年に英國のボーイスカウトの敎範に倣ふて少年軍團敎範と云ふものを編成されましたが、實は已に大正元年頃から熱心に少年團の運動を唱導されて居たのであります。斯の如く致して現在では殆んど世界の各國に少年團が組織せられて、先づ少年團の無い國は無いと云ふやうな有様であります。現在英國に於ては三十八萬人、米國に於ては六十六萬人のボーイスカウトがあり、日本に於ては約六萬と稱せられて居ります。少年團の國際事務局では之に聯盟して居る所の各少年團體を登錄して居ります。其登錄せられた團員の數が、全世界有らゆる人種に亘つて百三十五萬人と云ふことになつて居ります。而して少年團に於ては既に國際的の大會を幾度も開いて居ります。即ち一千九百二十年倫敦に於て、一千九百二十二年には巴里に於て、一昨年即ち一千九百二十四年丁抹に開かれまして、其時には初めて日本の少年團が之れに參加致しました。又來たる一千九百二十六年瑞西に於て國際大會を開らくことになつて居ります。其時にも日本の少年團は勿論參加することでありませう。

ベーデンパウエル將軍が少年團の訓練を初めてから、僅々十八年間に斯の如き多數の團體が、地球上到る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

處に現はれたと云ふことは實に驚くべき事實でございます。此驚くべき事實は果して何を物語るのでありませうか。私は思ふ、少年團の訓練の手段方法に優れた點があることにも依りましようが、然し何よりも第一に少年團の本領が國民的の精神の鍛錬、國際的觀念の涵養と云ふことに在るからであると。この二つは恰も相反するが如く而も密接に相伴ふ所の觀念でありまして、殊に世界戰爭の後に於ては、一面に於て國家的觀念が非常に强盛になり、他の一面に國際的觀念が旺盛になつて參りまして、眞面目に世界の前途を考へる處の人々の胸裡に强く共鳴する所があつた爲めに他ならぬと思ひます。卽ち少年團運動が世界的の精神運動として勃興しつゝあるは、全く現時の國家社會の眞面目なる人心の必要に觸るゝが爲めであると思ひます。併しながら旣に各國の國民精神を培ふ所の運動であると致しますと、自然國々に依つて少年團の本領を異にすることは當然である。又それと同時に自ら人類として普遍的な點があることも、亦見易き道理であると考へるのであります。そこで私は先づ現在の少年團運動の起原をなして居る英國のボーイスカウトに就て一言を費し、次に日本の少年團に就て述べたいと存じます。

ベーデンパウエル將軍と云ふ人は、南亞戰爭に從軍して非常なる功勞のあつた人であります。其時に熟々英國の青少年が文弱に流れて居るではないかと云ふことを痛感したのであります。相手のボーア人の少年は南亞に於て大いに自然を伴として生活をして居り、從つて自然生活に於て大に强健である。英國の少年の方が大體に於て文弱であると云ふことを慨嘆したのであります。果して斯の如き狀態であるならば、今迄幾多の英勇豪傑の士が雲の如くに出て、世界の領地を擴める競爭に參加して非常な勝利を占めて居る、卽ち現在世界の到る處に莫大なる領地を有つて、日の沒する所のない大帝國を作つて居る。然るに青少年がかくの如き狀態であつては、それ等の先輩に對して誠に相濟まない事になりはしまいか、如何にしても英國少年の精

神を緊張せしめて、眞に神と國とに對して忠實に義務を盡し得る國民を作らなければならぬと云ふわけで。種々研究の結果、少年團の訓練法を施し初めたのであります。先年我が　皇太子殿下が英國に行啓遊ばされました時に、ベーテンパウエル將軍に拜謁を賜はつたのでありますが、英國少年團の本領は將軍から殿下に献上致しました文書の中に簡潔に且つ明瞭に見ることが出來ると思ひます。ベーデンパウエル將軍は其書中に於て申して居らるゝのには、私共は日本の武士道の精神に依つて少年を敎育せんが爲めに、更らに大なる努力を致して居るのであります。卽ち名譽及愛國の觀念を堅固に記憶せしめ、少年が將來如何なる生涯に入つても、祖國に奉仕すると云ふ堅い決心を持たす爲めに、肉體的に極めて强健に、又智能の方面には極めて聰明に敎育したいと存じます。更らに私は日本の主義に依つてと云ふことを特に申されて居ります、懲罰とか畏怖とか云ふ樣な方法を用ひないで、子供相應の愛國の欲求を捉へて、之れに訓育を施すことに深く留意致して居ります。又子供相當の潑溂たる所の忠君愛國の觀念を呼び惹し、過激思想其他革命の思想に對する所の解毒劑であると云ふ意味を以て、少年團の運動は眞に英國の幸福を希望する所の人々に囑望されて居ります。加之尙は更らに進んで、少年少女を問はず其訓練が段々に採用された結果、國民中の年若き者の間に世界同胞と云ふ觀念を非常に强めて居ります。之れに依つて新たなる精神を植え付けて、軈がて戰爭の機會をば出來るだけ少なくして、平和を保持する樣になるで御座いませうと、斯う云ふやうにベーデンパウエル將軍は申して居るのであります。尙ほ將軍は殿下に對し奉りボーイスカウトの最高の名譽の記章である所の銀の狼の「メタルを」献上致した所、殿下は大層御喜びになりまして、自分も充分興味を以て此の運動に付て研究するであろう、と仰せられたと云ふことであります。斯う云ふ譯でありまして此「ベーデンパウエル」將軍の文章を見ますと云ふと、英國の少年團は日本の主義精神と云ふものを其中に重んじて居ることを明らか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に見ることが出來るのであります。之れは吾々の大いに考へなければならぬ點であると信ずるのであります。かくして將軍は少年團教範と云ふ本の中にも、所々に日本人の實例を引張つて居ります。譬へて申しますと、健康と云ふことが大事であると、英國の少年に對して說明して居ります。中に日本人は極めて强健である、夫れは日露戰爭の例を見ても判かる、日露戰爭中日本の兵隊の中には病氣が少ない、負傷しても割合に癒り方が早い、日本人は毎日二三度風呂に這入る、まさか二度も三度も這入りませんが、まあそう書いてあります、非常に清潔であるから皮膚が清潔で從て血液も健全な狀態に在る、だから傷の癒り方も早い、又食物に就て見ても米と果物とを主に食つて居り、簡單であり、而も割合に分量を餘計にとらない、酒はあまり餘計に飲まないで水を澤山に飲む、而も何時も樂天的で取越し苦勞をしない、晝も夜も出來るだけ新鮮の空氣の中に住むと云ふ習慣がある、斯う云ふやうに書いてある、成程これによれば食物に付ても近頃唱へられて居るフレッチエリズムに近いことを日本人は實行して居るわけで、斯う云ふ風にやれば强健であるでありませう。尙ほ又學校の生徒は柔術を放課後に熱心にやつて居る、柔術で鍛えた筋肉はそれをやめても消えない、少年の身心鍛錬上極めて宜しいと推奬して居る、其他清潔と云ふことに付て、南亜戰爭と日露戰爭との狀態を比べて、食物の營養に付ては確かに英國の兵は豐富であるが、清潔の觀念が薄いから負傷した後の結果が惡い、日本人は運動した後に風呂に這入らないと、運動の效果を半減すると云ふと云ふて居ります、かく大に日本人の良い所を擧げて居るのであります。之れは少し餘談でありますが、外國人は大體日本人は清潔と云ふことを非常に重んずると云ふ觀念を有つて居る樣であります。先年亜米利加で世界敎育會議と云ふものがありました際に、各國民の色々の特長を歌に作つて各國の子供が夫れ夫れ壇上に上つてその歌を唄つた、其時日本に何を割當てるかと注意して居りますと、日本の子供には清潔と云ふことを歌にして唄はせた。夫

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れを見ても日本人が清潔と云ふクリーンと云ふことを重んずる國民であると云ふことが、外國人の中に徹底して居ると思へます。尚は其他敎範の中に、日本兵は一身を賭して非常なる城壁を破壞したと云ふやうなことを擧げて、勇氣と云ふことを說明するにも引合ひに出して居るのであります。斯う云ふ譯で非常に日本人の主義精神に重きを措いて居ります。私は竊かに考へまするに、ベーテンバウエル將軍の少年團敎範は、今日迄に五十萬部以上世界の各國に亘つて出て居ります。恐らく文章を以て是れ程迄に世界中に行きわたつて、日本人之事を紹介したものは他にないと思ひます。日本人たるもの大いに自重するところあつて然るべしと思ふのであります。斯の如くして、平素に於ては少年をして剛健進取の氣性に富んだ國民として、所謂英國人の本領を發揮せしめると云ふことに努めて居るのであります。卽ち彼等は古來英國のスカウトの模範として居る所の人を擧げて、皆其精神を學ばんことを期して居ります。印度のあの大帝國を英國の領土としたワーレンヘスチングス、ロードクライブ、亞弗利加の暗黑世界を探檢した所のリビングストン、或はゴルドン將軍とか、或はシンガポールを經略した所のラッフルス、亞弗利加の廣大なる土地を英國のものにした所のセシルロース、斯う云ふやうな人は總べて英國の大なるスカウトであるとして、少年の勇氣を皷舞して居ります。又軍隊との關係に付てはボーイスカウトは、少年に軍事豫備敎育を施すものではないと申して居ります。併ながら良民は卽ち良兵である、一旦緩急あれば先づ少年の分に應じて、國家の爲めに盡すと云ふことは無論であります。ベーデンバウエル將軍は小さい少年に對し不徹底になり勝ちな實科的の軍事敎育を施すよりも、寧ろスカウト的な訓練を課する方が、他日軍人としても非常に有效であると說いて居ります。英國の軍隊に對する觀念に就ては、將軍は英國の陸海軍は全然國防を目的とするのであつて、他の國家を侵略するものでないと云ふ事を敎範に書いて居ります。そうして英國をば島國に假に譬へて見れば、頭と胴から英國の

本國である。世界中に散らばつて居る領土が烏賊の足である。所が敵が英國を攻撃せむとする場合には、一本一本の足を攻撃しても死命を制することは出來ないから、直ちに頭に向つて打撃を加へるのであらう。之れに對してスカウトは常に備へて置かなければならぬと云ふて、準備を怠らぬ樣に意氣を鼓舞して居るのであります。又實際の活動を見ましても、世界の戰爭に當つて國內の兵の配置が未だ充分に完了しない內に、逸早く獨逸の間牒が這入つて來て、或は鐵橋を破壞し、電信線を破壞することのないやうにスカウトが配置に就く、海岸の監視兵を手助けすることが必要な場合にはスカウトが行つて海岸の監視の役を補助する、其數が一千八百人に及んだと言つて居る。又執務的の方で申しますと、役所又は銀行・會社などから多數の出征軍人が出るのであります。さう云ふ場合ボーイスカウトが各機能に應じて其仕事を補助する、それが爲めに若しそうでなかつたならば、非常に事務が停滯を來たして、一頓挫を生ずるやうなことになつたであらうがスカウトの爲めに總べての仕事が平生と同じやうに滑らかに運んだと云ふことであります。それから警察の方面に付ては、戰爭と共に外國人の取締を非常に嚴重にし、又出征軍人の遺族救護の事務が殖へて來た爲めに、警察官が手不足となつた時スカウトが直ちに立つて警察官を補助した。倫敦市中だけで約二千人のボーイスカウトが之に從事したと云ふことである。又勿論ボーイスカウトとして訓練を經たもの丶中で、相當の年齡に達して居る者は、皆軍人として海を渡つて佛蘭西の平野に戰つて、到る處でスカウトの訓練が非常に有效であつたことを證明して居るのであります。又我が　皇太子殿下が國賓として倫敦に御滯在になりました際には、　殿下の御荷物運搬であるとか、御旅館の電話の御取次とかタイプライターを打つ役目であるとか、訪問客の御取次と云ふやうなことは、ボーイスカウトが三名ばかり選拔されて、其任に當つたそうであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯の如き種々なる奉仕的の仕事をスカウトがするのでありますが、然しボーイスカウトの本體は一種の精神的運動であります。即ち「スカウト」の精神の鍛錬であります。其結果として斯の如き奉仕的の仕事をするのであります。勿論幾分か相關的關係はありませうが、精神鍛錬が基であつて、卑近な奉仕的の仕事を、直接の目的として居る團體ではないのであります。其點に付きましても私は、日本の古來の士のやり方と非常に相通ずるやうな點があるやうに考へて居ります。今の場合の例として少し突飛かも知れませんが、彼の宮本武藏は偉い劍道の達人でありました、講談本で見ますと無暗に劍術が强い、何が來ても忽ち一刀の下に切つて落したと云ふ丈けの樣に考へますが、此人は精神の鍛錬が實に出來た人でありました。其の武道に關する著作がありますが非常に名文であります。寧ろ名文と言ふよりは本當の氣合の籠つた全く讀んで居ても吾々の胸にぴし〳〵と逼つて來るやうな物凄い位の感じがするのであります。實に底力のある偉い修養を積んだ人であつたと考へます、その宮本武藏は士は心の鍛錬が第一であると云つて居ります、劍術家であるから定めし朝から晩迄劍術ばかりやつて居るかと云へば決してそうではない、一箇月の中に六日位しか劍術はやらない、其他の時には武士の精神の修養練磨と云ふ點に全力を注いで居たと云ふことであります。私は日本人のやり方はそう云ふ點が非常な特色であるやうに考へるのであります。しつくりとは當てはまらぬかも知れませんが、心持を表はす爲めに例に引いたのであります。英國のボーイスカウトは八歲から十二歲迄を狼兒團と云ふ、即ち狼の兒の團體と名稱を附けて居ります。十二歲より十八歲迄は本當の少年團ボーイスカウト、更に十八歲以上は「ローバスカウト」年長團と稱します。敎育上から適當の年齡に區分して訓練して居ります。女子に對してはガールガイドと稱して、女を敎導するに例へばナイチンゲールの如きを立派なる模範の一人として居ります。そうして個人的に指導致して居りますが、更に個人を組として一つの班を作る、一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

班は六人乃至八人で二班乃至四班を以て一つの隊を作る、其少年團の指導者は軍人もあれば教育者も居る、醫者もあり辯護士もあり實業家もある。苟くも信念堅固にして愛國心と愛兒童心に燃え、相當の時間を奉仕的に費すことが出來る人であるならば、指導者として適當なる人であります。かうして少年團は全國的に組織されて、唯今は英國の　皇太子殿下が英國ボーイスカウト總裁と云ふことになつて御出になります。ベーデンパウエル將軍の少年團教育法は、實に組織整然として立派な教育方針に依り、又立派な教育系統をなして居ります。將軍は軍人の出でありますけれども、世界に於ける有力なる教育家と稱することが出來ると思ひます。そうして日本の武士道を非常に重んじて居ることはお話致した通りでありますから、我國に於ける少年團は又英國のボーイスカウト教育法に付て大なる參考を得て、其方法を執り入れることの出來ることは當然のことゝ考へますのであります。先づ英國の少年團ボーイスカウトに付ては其位の説明に致して置きまして、偖日本少年團でありますが、少年團と云ふ形を執つて現はれて參りましたのは、矢張りボーイスカウトに依て刺戟された結果であります。元より日本は日本特有の精神を有つて進んで行くべきものであることは勿論であります。少年團と云ふものは全く之れは外國の輸入であつて直譯的のものであると云ふ論者がある。又實際日本に於て所謂少年團と云ふ名の下に經營した人の中には、直譯的の考へで深く自分の本質を考へずして始めた所の連中が少なくない。夫れが爲めにそう云ふやうな批難を受けたと云ふことは、之れは批難する方の側にも理由があるのであります。併ながら唯今申上ました通り、本質に於て英國の少年團なるものが矢張り日本の武士の精神に負ふところが少なくないのでありますならば、日本の少年團は愈々以て、日本固有の精神を發揮して行かなければならぬことは申す迄もないことであります。少年團の運動に付ては、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本に於ても色々の考察を加へて必ずしも一定しては居りませんが、私は日本の少年團に付ては斯う考へて居ります。即ち我が建國以來の國民道德の中心となつて居ります忠孝と云ふことを基と致して士道の鍛練を爲し、國民精神を堅固にすると同時に、四海同胞の精神を涵養して、そうして少年をして眞の愛國者たらしむる所のものであると私は考へて居ります。吾國民道德の考へ方に於きましては非常特別な場合の行爲に限らず、日常生活に於ける美事善行、それが其儘忠となり孝となるのであります。この大切な考へ方を基として、人格を鍛練して行くと云ふところに、日本人としての特色があらはれると思ひます。又眞の愛國者は、國家の尊嚴を云ふものを充分に承知致して居る、自國の尊嚴を知るものは他の國柄を重んじ、そうして共存共榮と云ふことを念とすることは自然の道理であると考へます。自國だけ榮えて他國を無暗に排斥すると云ふ考へは、日本人の精神にはないのであります。所謂、覇道的の國家ではそう云ふこともありませうが、日本の如き立派な德に依つて立つ國家にはそう云ふ考へはない。明治天皇の御製に「よもの海みなはらからと思ふ世になど波風のたちさわぐらむ」四海同胞と云ふことは日本古來の精神である、明治天皇の御言葉が全く古來の精神を現代化されたものと拜察し奉るのであります。

我が日本の少年團も矢張り英國の少年團と同様の「備へよ常に」と云ふことを標語として居るのであります。更らに夫れに對しまして三つの誓ひがある、其誓ひにも多少種類はありますけれども、少年團日本聯盟で定めましたものを擧げれば、「私は神聖なる信仰に基き名譽にかけて次の三條を誓ひます、神明を尊び皇室を敬ひます、人の爲め世の爲め國の爲めに盡します、少年團のおきてを守ります、此三箇條であります。此誓ひは私はいのりと云ふても宜いと思ふ、元來日本人の心の持ち方としては、例へば、神に參詣した際に、神様

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に對してどうぞ私に是れ之れの願ひを屆けて下さいと言つて、自分の都合のよいことなどを哀訴して拜むと云ふ樣なことはないのでありまして、所謂弓矢八幡も御照覽あれ、と言ふ言葉は、日本の眞の武士の心であつたと思ふのであります。詰り之れは自分が神の所謂分靈として、本來の具有の力を發揮して誓つて之れだけのことを致しますと云ふことを眞面目に宣言する、即ち「宣る」ことでありまして、日本の少年團員の誓ひと云ふのは、日本と云ふ永遠に益々榮え行く大生命のあらわれとしての自分、即ち日本の一少年團員たるの深い自覺の上に立つて、嚴肅なる宣誓を爲すことであります。又更らに其上に少年團のおきてがありますが、其おきてと云ふものが約十箇條有るのであります。其おきてと云ふもの丶意味は、要するに心の置き所と云ふ意味であります。詰り自分が日常行動する上に於て心を置くべき所と云ふ意味である、と私は解釋致して居るのであります。他から押し付けられた規則とか、强制的な規律とか云ふものではない、自分の止むに止まれぬ眞心から誓つて、かくあるべしとする所のものであります。

其處に少年團の意氣が存在するのであります。

一、健兒は忠孝を勵む
一、健兒は名節を生命とする
一、健兒は有爲世を益することを務とする
一、健兒は兄弟總ての人を友とする
一、健兒は常に親切に動植物を愛する
一、健兒は長上に信賴し團の各長に服從する
一、健兒は快活笑つて困難に當る

一、健兒は恭謙禮儀正しい
一、健兒は勤儉質素である
一、健兒は心身共に清い

斯う云ふやうな心の置き所を定めて、其おきてに基いて色々の訓練の實際のことをやるのであります。夫れは或は衛生及び救急法とか、或は野外訓練、自然研究、集會・見學・運動・遊戯とか種々なることがあります。そうして少年團訓練の方法と云ふ點に付いて考へて見ますと云ふと、之れは少年の學校生活の餘暇を以てやることを本體として居るので、學校生活に累を及ぼすことのない樣に致し、又子供は非常に興味潑溂として動いて居るのでありますから、その少年の本能とも云ふべき興味を活用して自然に親ましめます。自然と分かれると云ふことは人間墮落の第一歩である、又諸種の觀察推理を正確鋭敏ならしめ各種の有要なる技能を練磨して、凡て口先の空論を排して實行を第一にする、其實行に結び付けて人格を修養し、身體を强健にして、眞の日本男子を作り出さんとするのであります。之れを學校教育と比べて見ますと、廣く國民の教育と云ふ點は同樣であるが、教場は教室よりも主として野外を尊ぶ、組織は學級を本體とせずして寧ろ個人訓練を主とし、又組分けも小さく六人、或は八人を一つの團體として作り、而も自發的の團結でありますからして割合に指導者の人格的接觸が密であると云ふ特色があるのであります。又少年團の訓練は實踐躬行に非常に重きを措く點に於て一つの特色を有つて居る。この點は學校教育に於ては非常に六箇敷い問題として居るのであります。今日の學校教育に於ても、色々研究致して居りまして努力を拂つて居るにも拘はらず、組織の上からどうしても智的に流がれ、行の方に動もすれば充分に手が屆かぬ傾があります、所謂古人の事上練磨、之れが動もすれば不足に流れ勝である。少年團の如き訓練方法は多少昔の塾の樣な長所もありまして、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鬼の點に於ては餘程學校敎育の缺陥を補充することにもなるのであります。眞の學問と云ふものは何であるか、昔から日本の偉い人が屢々申しました通り、例へば、横井小楠先生の言葉を引きますと、所謂古人の學問と云ふものは全く心の修行であつて、良心を推し擴めて日常の事物の上に働き、親子兄弟夫婦の交り、君に仕へ友に交り賢につき衆を愛し、百工技藝農商などの凡ての人々と咄し合ひ、山河草木鳥獸に至るまでの事に就いて其理を解し、其上に、本を讀んで古人のやつた迹を考へると云ふやうに説いて居ります。斯くして吾心をして日々益々靈活ならしむることが、即ち學問であり修業であると申して居ります。山鹿素行先生の如き、又所謂事上練磨を重んじて、餘力があれば聖賢の書を讀むやうに申されて居ります。かの有名な『トムブラウンの學校の生活』と云ふ英國人の負けん魂を現はした小説がありますが、トムブラウンのお父さんはトムブラウンが學校に行くときに、お前は學校に行つて一番で卒業して呉れとは申さない、父は汝が沈毅にして義勇信を重んじ神を敬する英國のゼントルマンと爲つて呉れゝば、夫れが最大の喜びであると云ふことを申されて居ります。實踐躬行に依つて、自然に人格の修養を積むと云ふ意味を取り入れて居ることは、少年團敎育法の一つの特色であると思つて居ります。

夫れで少年團の綱領は、英國に於て初めて出來たのも三箇條であります。所が夫れが日本の鹿兒島の健兒の社と云ふもの丶おきてに非常に能く似て居る、健兒の社のおきては、第一に主君の前に健兒は潔く身を捨つること、第二は人の爲めに計る、第三がおきてを嚴重に守ると云ふ三箇條であります。之れが神を尊び、皇室を敬び、人の爲め世の爲め國の爲めに盡すと云ふこと丶非常に能く似て居ります。唯健兒の社に於ては時勢が違ひますので、いくらか窮屈らしく感ずる點はありますが、此點は止むを得ない、極めて相接近した所があります。元來士道は武士階級にばかり存在して居るものではない、武士の階級に特色を表はして行は

れたので武士道と言はれて居るが、日本の古來の精神の發現に外ならんのであります。我國古來の實踐道德である所の隨神道の發現である、從つて日本の少年團の精神を推し詰めて申しますと、隨神道の精神を更らに復活をして、强く現はして來ると云ふ考へ方でなければならぬ。外國のものを模倣すると云ふが如き、外國のやり方、殊に外形や又は單に日常動作を眞似る所の少年團を組織すると云ふことは根本的の間違ひである。今假りに個人に付て考へて見ますとしても、本來の機根は人に依つて各優劣があるが、結局自分が本當に生きて行くには他人の眞似をしても役に立たぬ、要するに自己本來の面目を充分に發揮する外に、眞に生きて行く道はないのであります。國家に於ても亦同樣である。然るに吾國の歷史にも亦往々にして之れに背るが如き狀況を呈した時もあつた。卽ち佛敎が日本に渡來致すと、上下皆之れに靡き、所謂佛敎全盛の時代を現出し、又儒敎が勃興致しますと、彼の德川の時代に於けるが如く、支那を崇拜する思想が非常に擴まつて滔々として漲る狀を呈した。卽ち日本人の魂が、一時自己を離れ自分の國の尊嚴を忘れ、印度或は支那と他國をさ迷ひ步いたのであります。併ながら斯くの如き時代に於ても亦決然として日本の精神を確立した士が幾らも居つたのである。平田・本居・兩先生の如き又例へば山鹿素行先生の如き卽ち之れであります。山鹿素行先生の當時、支那崇拜の學者が澤山に居た中に於て、決然として日本第一主義を唱へた人であります。今から見ますと實に言語同斷でありますが、彼の幕府の學者で非常に重く用ひられた林道春の如き、神武天皇は支那の呉の大伯の後であるなど丶申して居つた、恐らく支那崇拜熱の劇しかつたこと、或は後の西洋崇拜以上であつたと思はれる、其の中に立つて決然として日本第一主義を唱へたのである。當時の樣な時期に於て中華、卽ち中國は日本である支那ではない。葦原の中つ國、卽ち中朝であると申して、色々の例を擧げて居る中には斯う云ふことを申して居る、聖人の三德、詰り智仁勇の三德が眞に備はつて居る所が中華である。支

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

那と日本と智仁勇の三德を比べて見れば、當然日本が中華であることが、明白ではないかと言つて居ります。支那崇拜熱の高いそう云ふ時勢に於てかゝる結論を下して居る。説き方には種々な批評もあるでありませうが、其氣慨は後世の人が大いに偉とする所であると考へるのであります。然し日本は決して排他的の國ではないのでありますからして、唯日本民族を通じて隨神道の行はれる所の國を此世に現はし、夫れをば世界に推し擴めるが日本の理想である、そう云ふ意味の中つ國であつて、日本人の祖先以來の實踐道德たる精神が日本民族に限つて適する所の精神である、或は日本民族の私のものであると云ふが如き偏狹の思想は少しもないのであります。只隨神道が總攬する下に於て實際に色々の思想を寛容し、其中で執るべきものは執り、場合によつて他山の石とするところではない、其儘夫れを日本精神の一部として發揚すると云ふ極めて擴い精神であると思ひます。でありますからして、さしもに思想として偉大なる印度の佛教とか、支那の儒教と云ふものゝ精神をすつかり取り入れて、隨神道の精神が益々光りを増して來るのである。明治初年以來は鎖國時代に温瀼せられた精神を以て、西洋の文明に對したのであります。西洋の物質文明、日本の物質文明とは非常な懸隔があつた、日本人の魂は又少しく迷つた、物質文明の光りに一時眩惑されて西洋崇拜に沈醉すること半世紀に及んだのであります。然し日本人が己れを忘れて唯徒らに西洋の方に迷つて行つても、決して日本人が之れに滿足致すことは出來ない。否、現在に於ては西洋人自體すら西洋文明に充分なる滿足を求めることが出來なくなつて、東洋の精神文明を入れなければならぬと云ふ聲が高くなりつゝあるのであります。教育方面に於て、假へば、獨逸に於ける學校の教授要項は、思想の方面に於て從來は世界の大教訓家として基督のみを擧げて居つたのでありますが、戰後に至つては夫れだけでは滿足が出來ないので、其他或は釋迦、孔子或はモハメットと云ふやうな人々をも世界の大教訓家として取り入れたやうな次第でありまして、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯う云ふやうな態度は戰前の歐羅巴には到底思ひも及ばないことであるのであります。斯う云ふ風に思想にせよ、藝術にせよ、其他諸般の方面に非常に東洋の精神文明を研究しやうと云ふ傾向が強くなつて參つた。又單に力と云ふ點に付いて考へて見ても、大戰爭に依つて東洋の民族の力が閑却することの出來ないと云ふ考を強くしたのであります。西洋人の書いた歷史を見ますと云ふと多くは西洋人は非常に人種的に偉いものと頭から決めて掛つて居る。歐羅巴の中で最も優秀の民族とせられて居るのは、所謂北海の沿岸に居る所のノルディックスであつて、即ち英國スカンジナビヤ、丁抹、獨逸、佛蘭西の北に住んで居る所の人間が優秀な人間として居るのであります。而し西洋の有名なる歷史家エッチ・ジー・ウエルスと云ふ人は、西洋人は東洋人の偉力を何故忘れるのであるか、即ち遠き昔に於て蒙古人種が殆んど露西亞からして獨逸・佛蘭西・伊太利或は西班牙に至るまでも蹂躙し去つたことを歐羅巴人は何故忘れるのであるか、かゝる大きな世界的事實を忘れて、唯單に丁度色々の條件が備はつて居つた爲めに、即丁度宜い時機に機械、火藥の發明であるとか、羅針盤の發明であるとかが、他の人種に先んじて行はれた爲めに、白人種が世界の樞要な地點を占めることが出來たに過ぎないである。然るに恰も人種自體が神樣から優れた力を有するものとして作られたかの如く考へるは根本的迷信である。モンゴリア人の歐洲蹂躪と云ふ樣な大きな歷史的事實を忘れたものである、と云ふて警告を與へて居ります。斯の如く西洋人が東洋の精神文明、或は東洋人の力と云ふものに就て少しく覺醒して來た時期に立つて居るのであります。日本本來の精神の上に、印度文明、支那文明を攝取消化して成つた現在の日本文明は、更らに立派に西洋文明を融合消化して益々其の本質を輝かすべき時が來つゝあることを信ずるのであります。日本人たるもの大いに自ら省み日本自體を知らねばならぬ。近來日本古來の精神を究め、而して何處迄も之れを發揚るすの氣運が興つて參つたと云ふことは、當然でなければならぬこと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

、考へて居ります。さて斯の如く述べ來たりまして、日本の現下の實情を少しく顧みて見ますれば、人口の點に於て又領土の廣さ、國の富に於て天然の資源、文化の施設に於て英國、米國に比べて虚心坦懷に考へて見ますと餘程懸隔のあることを自から認めざるを得ない、直接の軍備と云ふ點に就ては自信はありませうが、人口領土、國富資源、文化施設と云ふものに就ては未だ〲懸隔を認めざるを得ないのであります。又日本人の所謂國民性と云ふことに就ても勿論油斷大敵であつて、之れも唯慢然と誇つて口にすべきものではない。吾々の忠君愛國の精神は、皇室中心の信仰に基いて、永い間に吾々の祖先が實踐躬行して其範を示し、又子孫が反覆實踐することに依つて出來て居る。徒らに之れを誇稱して、さう云ふことは養成しないでも、日本人には當然備はつて居ると云つて安閑として居るべきでない。只日本人本來の面目は其處にあると云ふことが言ひ得ると思ふが故に、之れを鍛え之れを敎へ養ひ來たれば本來の面目を發揮することが出來るのであります。之れが國民性の美點であります、而して美點は實際に之れを世界の前に示さなければならぬ、然らずして千言萬語只國民性の美を說くも何程の效もないであります。其處で世界戰爭の影響と云ふものは、戰爭自體には一部分しか參加しなかつた日本にも色々の影響を及ぼしまして、思想の方面で見ますれば、戰爭中產業が非常に發展しましたが、夫れに伴つて無產勞働者階級が非常に殖え、階級間の爭ひが段々目に立つて參り、又歐米の險惡なる思想が色々の機關を通じて日本に這つて來る、日本の社會問題は戰爭の後に確然として時期を劃したと申してよろしいのでありまして、殊に國際會議の結果、國家の之れに對する施設の如きも、戰爭前と後に於て非常に懸隔があるのであります。斯う云ふ風に天然資源が薄く、又思想的には非常に混亂し、社會問題も激しくなつて參つて居るが、然らば國際間の狀況はどうであるか、外國の政治評論と云ふやうなものを見ますと、兎にも角にも漸く平和の曙光を認めて來たと口を揃へて言つて居ります。一千九

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

百二十五年昨年であります、昨年は世界の所謂平和と云ふ方面から見まして顯著なものがありまして、年の初めには倫敦會議あり、終には所謂平和の女神と稱せられる所のロカルノ會議がありました。或は後世の歷史家が世界戰爭と云ふものは一千九百十四年に始まり、一千九百二十五年即ち昨年を以て終つたと記錄するであらうと云ふ樣なことを申して居ります。然し驚くべきことは、そんならば果して事實的に國際關係がどう違つて來て居るか、重要なる會議は多くあつた、會議が屢々重なつて居るに拘はらず、國際關係は事實的に非常に變化をなしたとは認められない、要するに平和と云ふものは畢竟心の問題、心持の關係ではなからうか、色々の會議があつて少しづゝ心持が緩和して大したことなく納まつた。併ながら平和の狀態であると申しましても、紛爭を釀し、更らに大戰爭に迄導く所の國際的の關係と云ふものは依然として多數存在して居る。日本に地震があつたと云ふと、直ちに日本人の歸化權問題を擔ぎ出す。或は新嘉坡に要港を造ることを計畫する、又夫れが否決になると、今度は濠州がどうも危ないから、海軍擴張をやらなければならぬと云ふ騷ぎになる、一方に於ては國際聯盟の力は案外强くないと云ふやうな狀態である。兎に角戰爭の種は到る處に轉がつて居るやうに考へて居らなければならぬ、か樣な狀態でありまするが、此際に當りまして私は更らに繰返して申しますれば、七千萬同胞が一人も殘らず、愈々日本本來の精神に立歸り、之れを研め益々之れを磨き、日本の國體の尊嚴と云ふことに徹底的に自覺することが最大の急務である。日本と云ふ大生命の中心として皇室を戴いて居り、世界平和人類の繁榮を理想とする宏遠なる國柄であつて、他の民族をも能く包容して、其長所は何處迄も伸ばし、其の美を益々發揮せしめて行き、東亞の指導者、世界の先覺者となつて進んで行くことは、吾國の止むに止まれぬ進路であります。我が皇國の生命は永遠であります。幾千年を經ても此の理想を地球上に實現しなければならぬのが我國の使命であると考へます。これが凡ての國家政策の基本になり、此の精神が總ての國家の力の土臺とならなければならないと思ふのであります、思想の混亂に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

對しても、徒らに應急的に他の思想を借り來ても到底本當に之れを正すことはならぬ、根本を正すことが最大急務である。天然資源が少ないと云つても、之れこそ科學の力で必死となれば補ひが出來ることであると思ふ。食糧問題の解決の如きも、まだ／＼大して悲觀する必要はない、本當に日本人が眞劍に努力して行けば、開拓の途がいくらもあると考へます。文化施設の如き亦努力によつて大いに盛大なるを致すことが出來まするし、人口の點に至つては數には左程多くはないが、內容には又餘程の强みがあると考へる。國步の艱難とか、時勢が險惡であるとか申しますが、只今位の事で無暗にセッパつまつた叫びをあげるのは餘程考へものでありまして、偉大なる素質を有つて居る國民には、何事も凡て好箇の刺戟であります。日本人は今迄西洋人の書いた所の世界歷史の中に極めて少ない頁を占めて居るのみであります、世界歷史上に於ける所の一番大なる頁は日露戰爭位ではないかと思ひます。之れからは日本人は世界史上に本當の麗はしい歷史を大書しなければならぬ、夫れに達する所の根底はどうしても日本の本來の精神に立歸り、之れを硏め之れを發揚すると云ふことにあると思ふのであります。思想的に物質的に、內部關係に又外部關係に於て、益々豐富複雜となればなる程、愈々根本を培ひ、其光を發揮することに力を注ぐ必要があることゝ信じます。

段々と問題が伸びて參りましたが、時間が非常に經過致しましたから之れで終りまするが、日本の少年團の根本は始に申上ました通り其處に措かなければならぬと思ひます。少年の分に應じて、少年相應に日本精神を磨くことに努めることが、一番の根底でなければならぬ。勿論日本の少年團は發達の初期でありますから、未だ理想を去ることは可成遠いでありませうが、然し其前途極めて洋々たるものがあると信じます。

臺灣にも此頃少年團が段々出來て參りましたが、私は何處迄も皆さんと共に、此の精神に依つて少年團の眞正なる發達を期待したいと考へるのであります。（三月十日、臺北市第二回市民講座に於ける講演）

養豚と豚肉加工に就て

臺灣總督府囑託　飯田吉英

私が唯今過分な御紹介に預りました飯田であります。養豚と豚肉の加工と言ふ問題に就きまして、私の平素考へて居ります一端をお話申上げたいと思ふのであります。申す迄もなく、豚と言ふものが農村經濟上最も必要であり、且又吾々の食肉問題を解決する方法として豚より外にないと思ふのであります。此點に就ては私が今更申上げる迄もなく、諸君が夙にお承知の事と思ふのであります。

現在內地に於きまする養豚業の一般農業組織上の地位と言ふものは今猶頗る薄弱であります。由來我が國民は兎角動物に對する嗜好が薄く、從つて養豚業の發達がどうも吾々の期待するが如くで無いのであります。此の動物に對する趣味が薄いと言ふ爲に、餘りに算盤上の計算に趨り易く、且つ豚肉の價格の騰落或は傳染病流行等の爲に農村に於ける養豚業の進步發達と言ふものが遲々として進まないのであります。

現在我國に於きましては、肉の價格を調節する機關たる所の加工業と言ふものが發達してゐません、此が爲に豚の價格と言ふものが常に變動し、農民は非常に苦んで居ります。此處に於て有識の士は豚肉加工業の必要なる事を認めまして、近年各地に於て種々な企劃が創められましたけれども、資本の僅少と技術の幼稚な爲めに、我が國に於きましては遺憾ながら其の事業も豫期の如くに進步發達を見ないのであります。

御承知の如く、現在內地に於けるハム工業は、鎌倉・島根・長崎其他諸々方々にありますが、未だ微々たる

ものでありまして、之に依つて價格の調節を計ると言ふ樣な事は勿論出來ないのであります。私は常に斯う言ふことを考へて居ります。各地方に生產する豚を加工する工場と言ふものが各その地方にあり、之を統轄する所の大なる組織を有する機關が中央の都市にあれば、充分に肉の調節、即ち需要供給の關係を圓滿にする事が出來るであらうと思ふのであります。

此を外國の實例に執つて見まするに、都市に於ける所の肉の需要供給の關係としまして、至る處に豚肉の加工場があります。即ち大都市には家畜類を供給する市場があり、其の市場の近邊には更に肉の加工をする工場があるのであります。外國に於きましては其の國で生產する豚の僅か四分の一位が生肉で、需用せられ殘りの四分の三は加工肉として消費されるのであります。左樣言ふ點は日本と非常に相違してゐます。

我國では肉の九分九厘迄が生肉で、後の一厘が加工肉として消費されると言ふ狀態であります。或る者は斯ふ言つて居ります、「日本では比較的に生肉の需用が多く、此が爲に加工業が發達せないのである」と。是には一理あると思ひますが、是は一部の理由であつて決して全體の理由ではありません。抑も加工業なるものゝ起らぬ所以は、第一に加工を必要とする丈の養豚の進步がなく、第二には我國に於きましては未だ之に對する嗜好の程度がそれ程に進んで居りませぬ爲めに豚肉の利用と言ふものを良く知らないからであります。

之を當業者に言はしむれば、之に對する宣傳が足らぬと言ふのであります。或企業者が肉の加工業者に「豚肉の加工業の將來は如何」と言ふ問題を提げて相談をする場合には、「それは無駄である、此事業は利益が無い、吾々は何十年も之をやつてゐるけれども更に發展はしない、非常に困難な事業である」と言ふ風に驅されてゐる。其の實多くの事業家は、小規模ながら相當の成績を擧げてゐる樣であります。

私の知つて居る範圍に於いても鎌倉地方に於ける當業者は巨萬の富を作つて居ります。二十年前の加工業

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

者と今日の加工業者とは非常な實力の相違を來して居ります、或者の如きは多額納税者の一人にさへ成つて居ります。其の外にも神戸に於ては此加工業に從事してゐる青年などの如き、

私が此の青年と知已に成りました時分には全く一介の青年に過ぎなかつたのであります、所が其の青年は中々才氣のある青年でありますして、飽く迄新しい智識を以つて此仕事を仕樣と言ふので、度々私の所へ相談に參りました。

彼は今日神戸に於きまして巨萬の富を作り、各所に支店等を設けまして手廣く商賣をして居る樣な狀態であります、次に山陽道島根あたりにも微々たるものではあるが、十數年來此の事業を經營して居ります。而し現在彼等は或る事情の爲に不如意の狀態にありますが、此は事業其のものゝ性質が惡と言ふ爲ではないのであります。又長崎にも此の加工業が起つて居りますが、其の製造方法たるや支那の其れを眞似たり、或は古く和蘭人から技術を傳へられたと言ふ位の程度で、未だ幼稚の域を脫しません。

又鹿兒島にも矢張り十年ばかり前に此事業が起り、多少の浮沈はありましたけれども、今日では先づ其の前途を樂觀し得る程度に至つて居ります、又關東北陸地方に於きましても、諸處に小規模ながら加工業が起つて居ります、例へば山形縣の或る郡の如き又北海道に於きましても、本年三箇所ばかり工場が起つて居ります。元より其の組織は小さいものでありますけれども、ハム・ベーコン・ソーセージ等を作ると言ふ樣な程度に於いては他と同樣であります。

斯の如く日本內地に於ける豚肉加工業の現狀は上述の如く各所に點在し、其の製造の能率或は工場の經營と言ふものは全く幼稚なる狀態でありまして、私共の期待して居る點には未だ前途猶ほ遠き感を禁じ得ないのであります、左樣言ふ次第でありますからして財界不況の今日、私共の期待するやうな設備を以つて此事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

業を起すと言ふ事は頗る困難ではないかと考へるのであります。

勿論此の事業たるや、將來非常に有望な工業でありますから、其の規模の如何に依りましては、今日と雖も成立し得るものであります。斯ふ言ふ狀態にあります爲に、某縣の如き二十五萬圓の株式會社を起しまして、其の縣の產豚をして有利に消費し樣と言ふ企を立てゝ居ります。今後そう言ふ事業は各府縣にも次第に起る事と思ひます。かくして各府縣に此の事業が起つて來ました曉、當然必要と成つて來る問題は、言ふ迄もなく中央に於いて之を統率する一大加工業が起らなければならないのであります。

以上は我が內地に於ける養豚の狀態と豚肉の加工業との概況を申上げたに過ぎないのであります。

次に私の今日皆樣に申上げたいと思つて居ります事は、臺灣に於ける養豚業と、豚肉の加工事業であります。本島養豚業の狀態は、先月の上旬以來私が各地を視察致しまして、略其の大體を察知することが出來得る程度に了解した心算であります。私の深く感じました事は、本島民が家畜に對し先天的の趣味嗜好を持つてゐると言ふ事でありました、之を我が內地人に比較しましたならば、實に雲泥の差異があります。前にも申上げました樣に、內地人は一般に家畜に對し餘りに打算的であります。然るに本島の農民は動物を可愛がり、動物を唯一の友としてゐる樣に見受けられました。

言ふ迄もなく農業には家畜がなければなりません。動物を愛護する、即ち動物を可愛がると言ふ、此習慣を能く善導し之を利用すれば、日本の肉食問題も容易に解決し、且又臺灣に於ける產業の一として、米・砂糖に匹敵する產業となるでありませう。今日迄臺灣に於ける養豚の狀態は、自給自足の狀態であつたのであります。而し此の狀態で何時迄も消費經濟を續けて居つたのでは甚だ寒心に堪へないのでありまして、今後は

積極的に本島の一大生産物として、それを金に代へ、其の金で更に他の生産業を發達させる、詰り富を增すと言ふ樣にせなければなりません。

之が爲めには、第一に豚の品種と言ふものを改良せなければなりません。卽ち此の改良をするには、私は「バークシャー」と言ふ品種が最も適當ではないかと考へるのであります。何となれば當地の如き温度の高い光線の强い土地に於きましては、丈夫な黑色の豚を飼養しなければなりません。「バークシャー」なるものは世界的に優良なる改良種でありまして、臺灣の樣な土地には最も適當な條件を具備した品種で、之を措きましては他に臺灣の豚を改良する種類は無いと思ひます。

元來此の「バークシャー」なるものは、支那の豚を改良したものであります。本日私は淡水に參りまして、温州產の豚を見て參りましたが、私の見ました温州豚は臺灣の地豚よりは遙かに優良でありました。其の體形は「バークシャー」に似てゐます、其の中の一部分などは餘程品質が優良であると思ひました。嘗つて英吉利の繁殖家が、支那豚を輸入して改良の種豚としたのは、私が今日淡水で見ました樣な豚であつたらうと、今日考へたのであります。此樣な豚が如何して此の臺北邊に廣まらなかつたかと奇怪に感じた譯であります。

兎に角「バークシャー」と言ふものは世界的に有名なる種類でありまして、英吉利は勿論、亞米利加に於きましても重要なる種類と成り、殊に亞米利加に於ては亞米利加バークシャーと言われるものが出來てゐる。

英吉利バークシャーと亞米利加バークシャーとは、其の形體が稍々違つて居る點がございます。今日吾々が「バークシャー」として、日本に輸入し、又臺灣に於ける改良の種豚と致して居りまするのは、英國產の「バークシャー」であります。

「ヨークシャー」と申しまする豚は白い豚で性質も荒く、又品質も稍々粗野であります。「バークシャー」は

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「ヨークシャー」に比し體が丈夫であります。斯う云ふ關係から「バークシャー」は、外國の農家に於きまして歡迎されて居ります。

而し今日我が内地ではどつちかと申しますれば、「バークシャー」は非常に少く、九州の一部、靜岡縣の一部、埼玉縣の一部に「バークシャー」を飼養してゐる位で、他は大低「ヨークシャー」であります。本島には可成「バークシャー」が居る樣であります。

或人は臺灣にも内地と同じ樣に「ヨークシャー」を輸入したら如何かと言ふ人もありますが、「ヨークシャー」は熱帶地方には適しないのであります。元來熱帶地方の動物は、色の白いものでも直ぐ氣候に馴化されまして、丁度人間の色が黒くなると同樣に、動物の色も黒く成ります。之は卽ち光線に對する保護作用の結果であります。若し「バークシャー」以外色々な豚を、本島地豚の改良種豚として使用する樣な事がありましたならば、其れは却つて養豚改良の障害となるであらうかと思ひます。私の根本方針としましては、先づ「バークシャー」に決めて置くと言ふ事が必要であると考へます。

近來亞米利加等では、「ジユーロックジヤージー」と言ふ種類が多い樣でありますが、之は熱帶の土地にも適します。此は亞米利加に於ける最も新しい改良豚でありまして、色は赤褐色です。之は光線にも堪へますからして「ジユーロックジヤージー」も、臺灣の土地に適しないと言ふ事はありませぬ。恐らく亞米利加の暑い地方でも飼つてゐるのでありますから、我が臺灣に輸入しましても相當の成績を擧げ得るかも知れませんが、果してそれは適當な資格を有するや否やは大なる疑問であります。

故に進むべき途は、先づ「バークシャー」に依ると言ふ事で、最も安心なる方法と考へるのであります。

此の「バークシャー」が全島に擴まると言ふのは、未だ前途遼遠と言わなければなりませんが、總督府を初

め各州廳共非常な意氣込で、此が改良に從事して居られます。

聞く所に依れば本年度から總督府では毎年四百頭計純粹な種豚を購入され、又中央研究所でも亦四百頭の種豚を作り、五箇年の繼續事業として豚の改良に努力されると言ふ事であります。此樣な狀態でありますからして、他方民間に於ける飼豚に對する嗜好を猶一層鼓吹しまして、官民共に之が努力を致しますならば、今後十箇年を出でずして本島飼豚の品質は必ず一變するものと考へるのであります。

今回私が各所で聽きました所に依れば、本島の在來豚は生れてから市場に出る迄に平均十八箇月、即ち一箇年半の日數を要すると言ふ事であります。併かも其が平均重量は百斤(十六貫)位だそうです。無論例外はありませうが、之を「バークシャー」に比較すればどうでありませう、「バークシャー」は生後八箇月にして市場に出ます、併かも亞米利加に於ける最近の試驗成績に依りますと、僅か八箇月にして其の體量四百封度(四十八貫)に達して居ります。之は其の生育の如何に旺盛であるかを示すものであります。

今此を本島に輸入しました時、果して八箇月に於て亞米利加に於けるが如く四百封度の體量に達し得るや否やは、或は要求出來ないかも知れませんけれども、飼育の方法如何に依りましては、强ち至難の事では無いので、二十五貫前後の成績を望むには極めて容易であると存じます。內地に於きましても八箇月に二十五貫乃至三十貫に到してゐるのであります。斯の如く「バークシャー」は其の生育が旺盛であるばかりでなく、之を屠殺致しました場合にも、屠肉量が他の豚に比較して多量であります。私の是迄の經驗では、「バークシャー」と「ヨークシャー」とは同樣であつて、嘗つて私が畜產試驗場に於て數百頭の「バークシャー」を屠殺し、之が屠肉量の平均を採りました處、八十四パーセントと言ふ數字を示しました。

最も之は畜產試驗場に於きまして飼育したものを屠殺前一晝夜斷食させた後屠殺したのでありますからし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て、市場に於ける豚より屠肉量の多いのは申す迄も無い事であります。けれども普通のバークシャーは八十八パーセントに到して居ると申されて居りますから、之を本島の地豚の屠肉量が七十パーセント、或は其れ以下であるのに比すれば裕に十パーセントの相違があるのであります。

此の點からして、若し臺灣に「バークシャー」を輸入して地豚の改良をした場合に、之迄一頭を飼つて居りました農家が「バークシャー」を飼ひましたが爲に、地豚の三頭を飼つたと同じ丈の豚肉を得る事が出來るのであります。

詰り一頭を飼育する丈の能力を以てゐる農家が、單に種類の改良に依るのみで、三倍の肉を得る譯であります。之は机上の計算でありますから、無論此の調子に行くかどうかは疑問でせう、而し恐らく之は机上の空論では無いと思ふのであります。尤も此の例は一方が十八箇月、他方が八箇月として計算したのでありますが、それは多少割引して考へても差支へないのであります。でありますから是迄單に島内の消費を充たす、即ち自給自足の域を脱しなかつた本島の養豚業が、改良の結果は如何でありませう、一擧にして消費經濟を超越し、此れ迄島内に生産した豚の二倍を輸出、或は移出する事が出來るのであります。

或人は其れは成程机上の議論はさうかも知らないけれども、三倍の肉量を收るには矢張り三倍だけの飼料が要る、故にさう容易に殖へるものではないと言はれるかも知れませぬが、私の考へます範圍に於きましては、そんな杞憂は更にないと思ふのであります。今日本島に於ける農産業は逐年發展の道を辿りつゝあり、今後益々進歩發達を見るに相違ありませんが、農産物の增收と養豚業の發達とは更に抵觸しない、否互に竝立して初めて進歩するものと考へるのであります。

斯の如くして養豚業の發達した曉當然起るべき問題は豚肉の加工と言ふ事でありまして、我が内地に於け

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る養豚業が常に一進一退して止まないのは前にも申上げました通り、此の養豚と加工とが並行して進歩せないからであります。

そう言ふ譯で、臺灣の養豚業に對する私の結論は、飼豚の養殖を奬勵すると同時に、科學的の基礎の下に立ち、時代に順應する組織的な一大消費機關が必要と考へるのであります。而し其の消費機關たるや、現在の我が內地の如くに各地に點在し、併かも此の如く小規模なものでは效果も薄いのであります。歐・米に於きましても亦今から百年、或はそれ以前には矢張り今日の日本內地の狀態と同じ様に、各所に加工工場が散在して居つたのであります。所が冷藏裝置の發明、交通機關の發達、之等の爲めに加工事業は俄に一新紀元を劃し、各國共其の中心都市に於て大規模に加工事業を起す様に成つたのであります。之は時勢の進歩の然らしめる所でありまして、……………

一例を擧げまするならば、我が內地に於ける所のハム・ベーコンの製造業は、從來全く冬期を利用して冬期の四箇月間に其の製造を終り、殘りの八箇月間に之を販賣して居つたのであります。而し今日では鎌倉ハムを始め、加工業者の大なる者は皆冷藏庫を有し、從つて年を通じて間斷なく製造する様に成つたのであります。然し現在東京市內でホテルとか、下宿屋とか、其他家庭に於てやつてゐる小規模なハム・ベーコンの加工業者が二十八箇所もあります。之等は殆んど吾々の言ふ加工業者とは申されない者で、單に肉の料理と見て差支へない程度の者であります。

今米國市俄古に於ける加工場の一例を擧げますならば、彼地に於て一日加工の爲屠殺する數は非常なものでありまして、最近の統計を見ましても我が內地に於ける五、六十萬頭は市俄古に於ける加工場の六日間の屠殺量しか無いのであります、卽ち臺灣全島の豚も二週間位で一匹殘らず屠殺される勘定となります。

斯の如く先進國では大なる工業に成つて居るのであります。無論臺灣に於て斯の如く大なる裝置をする理由もなければ又必要もないので、我臺灣に適當した丈けの規模でよいのであります。

次に米國に於ける加工場の內容、即ち製造の行程を簡單に申上げますれば、米國では我國と違つて豚の體から出る物は悉く製造の原料とします。先づ最初に豚を三階とか、四階五階と言ふ高い處へ追ひ上げそこで之を屠殺し、漸次に下の方へ向ふに連れて行程が進んで行くと言ふ具合に成つてゐます。最初豚を殺しました時の血液と言ふ樣なものも、悉く之を吸み取りまして大部分は「ソーセージ」の原料とします。「ソーセージ」と言ふのは腸詰の事でありますが、之は血液を主として原料とした「ブラック・ソーセージ」であります。

又血液は彼の「ヘモグロビン」若くは「ヘマチン」の如き、或は又血粉にもしまして「タンケージ」等の原料とされます。「タンケージ」は我國にも多量に輸入されます。此の「タンケージ」は家畜の飼料となり、又窒素肥料の原料とも成ります。

斯の如く大規模の工場に於きましては、血液に至る迄悉く利用してゐます。又豚の毛でありますが、豚の毛は內地では肥料に供する位が關の山でありますが、大工場に於きましては之を分類致しまして刷毛の原料として珍重されますが、一番上等なのは支那豚の毛であります(豚の背の強い毛をブリッスルと言ふ)、改良豚は毛が柔かで刷毛の原料として其の毛は餘り上等な方ではありませぬ、刷毛の原料として珍重される樣な豚は、却つて肉の品質が惡いと言ふ反對の現象を呈して居ります。兎に角、毛迄が刷毛の原料として利用され得ると言ふのが、大工場のデパートメント・システムに依る特典であります。

總ての設備がこんな風でありますから、機械の各部分には皆專門の職工が付いて居て、各々專門の技術に從事して居ります。例へば豚の脚にチエンを結付けて釣し上げる者、此の職工は唯之丈を朝から晩迄やつて

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

居るのです。

日本では豚の足に繩を結付けて居りますが、之は私共が實驗致して見ますのに、非常に手數が掛り又大變困難でありました。チエーンならば單に一卷足へ卷付けさへすれば良いので、決してそれが離れる樣な事はありません。

斯の如くしてチエーンに繫がれた豚は、直ぐ側の大きな回轉機に引懸けられ、垂下つた儘ぐるぐる廻つて上の方へ引上げられます。そうして適當な所迄引上げられると、丁度「エスカレーター」式の運搬機に移されて屠場に運ばれるのであります。屠場には一人の屠夫が待ち受けてゐて、後から後からと續いて來る豚を手際よく刺殺しますから、其の早い事は御話になりません。血が瀧の樣に流れます、殺された豚は運搬機に乘つた儘、此度は大きなタンクの內に投げ込まれます。

其のタンクの中は、華氏百五十度程度の熱湯で滿されて居りますから、直ちに湯ムキが出來ます。それから毛を除きますので、本島人等は薄刄の樣な物でやつて居りますが、此う云ふ大工場では「スクレッパー」と申しまして、圓筒の機械、其の內側には人手に似た毛脫きの金物が七百二十箇、又は其れ以上も取り付けて有る巧妙な機械を使用致します。此の機械はタンクの近くに垂直に、或は水平に据付けてあつて、湯の中を通過した豚が一度此の中を過る間に、すつかり毛が拔かれて濟ひます。猶は殘つた毛は段々下階へ向ふに連れて、幾人かの職工が居て取除き或は洗つたりして綺麗にした上、今度は臺の上に載せて腹を裂き內臟を取去ります。內臟を取りました豚は政府の檢查官に依つて、疾病の有無を檢查されます。檢查の結果合格しないものは、卽ち肉として販賣出來ない物は、直ちに之を取り除きタンクに入れて此を處理致します。

合格しました物は、鋸で挽くと云ふよりも大抵は大鉈で股から首迄たち割り、此を冷藏庫に入れて華氏三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十六度位に迄冷却します。之には普通一晝夜位要しますが、未だ冷凍方法の進歩して居なかつた時分には、暖い物を冷藏庫に入れて急に冷すと、外部が固つて内部の方の温度が容易に去らず、爲に惡い結果を起すと言ふので、長時間之を空中に吊下げて、先づ豚自身の温度を低めた後、初めて冷藏庫に入れて冷却したもので、可成の時間を要して不便が多かつたのでありました。

斯くして冷却された肉は、冷藏庫から引出して市場の要求に適する様に切ります。先づ大きな臺の上に載せまして、首を切りますが、斬落された頭は之を専門に分解してゐる場所へ集めて、整理されるのであります。豚の脚の部分は御承知の如く前足の方は「ショオルダー」と申しまして、肋骨の五六枚目位から切り取ります。「ショルダー」は之を時の市場の要求に依りまして、ハムの型に切り或はそれを肩の上部と足の部分とに分けるのであります。「カリホルニヤハム」とか、或は「ヒビニックハム」「ヒビニックショルダー」等と言ふ様なものがありますが、それは皆肩の肉であります。

更に肋骨の肉でありますが、諸君の御承知の「ベーコン」と言ふのは此の肋の肉であります。此の「ベーコン」の内、背中の肉は「ロース」と云ひまして、内地に於ては主として豚カツレツの原料となり、豚肉中最も賞味される部分であります。肋骨の肉で造る所謂「ベーコン」は、骨を取除いてロールを掛け、肉を締めて之を長方形に作り市場に出しますが、ハムの方は其の需要の關係に依りまして色々な型に切ります。詰り長く切る事もあれば、葵形に切る事もあります。例へば「ロンカッシハム」とか、「短いハム」、「長いハム」其外「メベイルチヤハム」、「マンチエスターハム」とか色々な名稱がありますが、之は皆肉の切方に依つて付けられた名稱であります。此う云ふ譯でハムと云ふものは、此の切方に相當の注意を拂ひ、足の方は矢張り足の如くに加工するのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ハム・ベーコン等は其の製造作業が皆冷藏庫の中でやりますから、一度動物體温を取りました後には、其の他の作業と言ふものは全く普通の大氣中では出來ないのであります。皆冷藏庫の中でやります。それから、それを取りましたものを鹽水に漬けます前に鹽水を肉の中に注入するのであります。

工業家の内には、鹽水にハムを漬けるのと、其れから鹽水でなく鹹鹽に漬ける者とがありますが、其の利害關係に於ては最早議論の餘地が無いのであります。けれども先づ一般の工業家は鹽水でやつて居ります、所謂此の「ブラインシステム」と言ふものは經濟である、併かも有效で品質の良い物が出來ると云ふのが豚肉加工業界の現狀であります。

舊式を尊ぶ英吉利のスコットランド、或は其の他の地方では、今猶ほ「ブラインシステム」ではなく、大部分「ブラインソフトシステム」が實行されて居る樣であります。

デンマーク或は獨逸等では、パテントにしてゐると云ふ事をきいて居ります。此の方法は觀覽を許さないのでありますが、能く本に書いてあります。私も未だ實驗した事がありませんので結果は分りませんが、其の理論としましては、肉を鹽水を入れた密閉せるタンクに入れ鹽水を注入して之に壓力を加へるので、詰り壓力に依つて鹽水の滲透作用、即ち「オスモチックアクション」を盛んならしめる譯であります。

デンマークでは、專ら輕微な鹽漬法に依り、一週間或は二週間位漬けた後、倫敦の市場へ出すと言ふ事を聞いて居ります。又或る本には密閉したタンクの中に肉を入れまして最初に其の中の空氣を除き、眞空狀態にすれば肉の中にある幾分の空氣迄も排除する事が出來、滲透作用の結果が非常に良いと言ふ事でありますが、之はどうでありませうか、昨年試驗をして見ましたが、眞空にした肉と、眞空にしない肉との滲透作用の差異は餘り無かつたのであります。肉を最初に眞空の中に置き、又一方は戸を閉めないで其れを同樣な物

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に入れ鹽の滲透作用の成績を試驗した結果、眞空の方法に依る方が特に成績良好と云ふ結論は得られませんでした。

クレヂャーを掛けてどれだけ滲透作用を早めるか、と言ふ事に付ての實驗的證明は出來ないのでありますが、外國の實驗に於きましては、實際其の效果が現れて居るのでありますから、之は理論に於きましても、亦實際に於きましても、相違ないと思ふのであります。

亞米利加の大工場に於きましては、「プレッシャー」を以て製造すると言ふ事は致して居りませぬ。又今日文献に出て居りまするのを見ましても、或は各種の報告を見ましても、大工場が「プレッシャータンク」を使用してゐると言ふことは、亞米利加に於ては未だ聞かないのであります。

先日新聞紙上で、大阪の或る人が冷藏の早造法に就ての特許を得たと言ふ事を見ましたので、其後私が大阪に立寄りました節に其の眞否を糺しました處、それは新聞紙の誤傳で特許を得やうとして居ると言ふのでありました。

私は日本に於きまして之を應用してゐる「プレッシャータンク」を見ないのでありますが、デンマークではパテントとして秘密にしてゐますが、其の理論なるや極めて複雜ではありますが、實際に之を應用すると言ふ事は案外容易な事だらうと考へます。斯の如く色々の方法がありますが、最も多く實行されて居る方法は、肉の中に鹽水を注入する方法であります。

伊太利では「ポンピングシステム」英吉利では「インジエクションシステム」と言つて居りますが、濃厚の液をポンプの力に依つて注入すれば、鹽水の滲透作用が早く、又腐敗の恐れも絶對に無いと言ふのであります。

注入の時期は、鹽漬前或は鹽漬後更に肉を詰め替へ等する操作中に、一回若くは二回行ふと言ふのが普通で

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あります。ポンピングなるものも、實際は相當の手練を要しまして、無暗にポンピングすると、却つて其の結果が惡いのであります。技術の進歩しない狀態では、寧ろポンピングをしない方が安全でありまして、我國に於ける當業者がポンピングの方法を知つて居つても、之を實行しないと言ふのも、操作の結果が餘り良くないからであります。

我々が實驗室に於て其の如何を實驗してみましても操作が惡く、場合に依つてはポンピングをした爲めに、却つて品質を惡くすると云ふ樣な事もあるのでありますから、相當の手練を有する者が之をやるに非ざれば、良好なる結果を得難いのであります。大工場に於きましては、設備が完全であり、專門的に之を研究して居りますので、其の應用が出來るのでありませう、鎌倉ハム等に於て未だ實行を見るに至らないと云ふのも、一人の職工が色々な事をやつてゐるから、其の熟練が足らない結果と思ふのであります。

其れから、之は肉の優劣に依つて異りますが、三週間乃至五週間冷藏庫の中の樽に之を詰め鹽漬にし、それが終りますれば之をスモークするのであります。此のスモークなるものも勿論大規模で、肉片を數千、數百片と、或る裝置を設けた所に吊します。それが二階、三階、四階、五階と言ふ風に一杯に吊下げ、そうして最も下の方でスモークしまして、三階、四階、五階の肉を燻煙するのであります。故に之を燻煙する薪等も非常に大きなものを使ひます。此の燻煙も從來は一週間乃至二週間を要したのでありましたが、近頃では大低二十四時間乃至三十時間位で燻煙を終ることに成つて居ります。之は經濟上の關係で、製品を早く市場へ出し、或は目減りを少くすると言ふこともありますが、ハムと言ふ物が以前の樣に一年も二年も貯藏しなければならぬ必要がなく、單に肉と言ふ物の味を變化せしめず、相當の期間貯藏が出來れば足りると言ふ樣に成つて來た爲めであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此のスモーキングして出來た所のハム・ベーコンの如き物を海外に輸出するとか、或は遠方に送ると言ふ時には、更に「パッキング」を要します。黒く色の付いたハムが日本に參つて居りますが、あれは亞米利加でパテントの方法で塗つたものであります。英吉利からも獨逸からも同じ樣なハムが參りますが、之は嘗つて亞米利加で加工品に對し、蟲害或は黴を防ぐパッキング方法の懸賞募集をした時、研究の結果、あの黑い褐色の包裝法が發明されたのであります。

我國に於きましても、パッキングに就ては絶へず研究をして居りますが、二、三年前に彼地の材料を分析研究して見ました所、獨逸品と亞米利加品には、ラックスを用ゐて居ると言ふ事が分りました。此のラックスと言ふものは、我國に於ては比較的少いのでありますが、最も安く出來るラックスと言ふものは、蠟燭の原料にする所の蠟であります。此の蠟を用ひて作りましたならば、極めて安く出來、又結果が宜いと思ひます。尤も外國のパテントの中には、外に種々のラックスが用ひてあるけれども、日本には其の種類が少いのでありますから、最も手に入り易いラックスを用ひまして、之にアスファルトの樣な繼合劑、或はバルサム等を使ひまして、種々研究しました結果、兩三年前に外國品に劣らない樣な包裝法の研究が出來たのであります。此の包裝法を其の當時畜產試驗場包裝法と言ふ名稱で發表しました、而し此の包裝法にも未だ研究の餘地があらうと思ひますが、蟲害・黴・目減等も非常に少く、完全とは申上げられませぬけれども、從來の包裝法よりも一段進步した包裝法であると言ふ事が出來るのであります。

要するに、此のパッキングなるものは、加工品に對する貯藏を唯一の目的とするのでありますから、氣候・風土の異なるに從ひ、其の方法も種々ある事は言ふ迄もありません。卽ち簡易に紙、或はパラピン紙、美濃紙等を用ひまして、其の上に少數の藥品を用ひまして、黃色に或は白色に塗る事もあります。我國では赤く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

塗つて居りますが、兎に角肉に屑の出來ない樣に、又食料品として相當の注意を惹く樣な風に之を仕上げるのであります。

以上はハム製造工業の概要に就て申上げたのでありますが、更にソーセージに就て申上げますれば、此のソーセージなるものは、外國に於きましては最も重要なる肉の利用法と成つて居ります。

で將來我日本の工業家も、ソーセージと言ふものに重きを置き、又日本人も之を多量に使用すると言ふことに成つて來る事と思ひます。此のソーセージは英・米に於きましては多くハム・ベーコン等を作りまして、殘つた肉から之を作り併かも美味に造る爲色々な藥品を使用して居ります。

獨逸では殘肉ばかりではなく上等の肉迄もソーセージの原料と致します。從つて其の味も非常に好く、又技術に於ても卓越してゐる樣に思われます。

我が臺灣に於きましては、各種の部分を皆生肉の儘使用致しますからして、非常に結構でありますけれども、內地に於ては比較的良い部分しか生肉として消費しませんから、殘部は「ソーセージ」として使用しなければなりません。ソーセージにすれば、內臟の部分は勿論の事、足の先から尻尾の端迄、各種の部分皆生肉の儘、或は鹽漬にした後、之をソーセージの原料として使用する事が出來るのであります。それが爲に色々變つた味の品物が出來ます。ソーセージの種類は三百乃至四百種もありますが、實際に於て市場に現はれて居るのは、耐久性のドライソーセージと、腐敗性のフレッシユソーセージ等合せて三十種位が普通であります。東京に於ても、近來獨逸人がソーセージを作つて居りまして、數種のソーセージが市場に出て居ります。

近來世人のソーセージに對する嗜好も著しく高まつた樣に考へます。將來ソーセージの利用が盛となり、到る處の居酒屋、食料品店等にソーセージが陳列せられる樣になれば、直接には肉の利用上、引いては國民營養

上誠に結構な事と思ふのであります。獨逸に於ては缺くべからざる日常の食料品として汎く利用せられ、亞米利加、英吉利に於きましても亦多量のソーセージが利用せられて居るのであります。

豚の脂肪(ラード)は人體に於ける發熱の原料、即ちエネルギーの原料として最も大切なものであります。ラードには色々の種類がありますが、ラードの中でも、腎臟の周圍にあるリーフラード、體の脂肪のあるバツクラード、等各種のラードが作られる、此のラードに就きましてもお話し致し度いのでありますが、長くなりますから之は省きます。其のラードは又人造バタの原料として最も貴重なもので、今日パンを常食として居る諸國では、専ら人造バタを使用してゐるのであります。

人造バタは普通バタに比較して安價であり、且つ美味なのでありますから、所謂マーガリン或はバタリンの需要は非常な勢で進んで居ります、從つて人造バタ卽マーガリンに對應する方法を採らなければならないので、聯合致しまして遂に法律として人造バタには税金を課すると言ふ事に成つたのでありますが、乳牛を初めて生產し、デーリーの盛んなる和蘭の如き所でも、矢張り人造バタを作つて居ります。此の如く人造バタは非常な勢で進んで居りますが、近來ヴイタミンの問題が起りまして以來、豚の脂肪には肝腎のヴイタミンが無いと言ふので、大いに論議されたのであります。結局人造バタの中にヴイタミンを含んで居るものを入れば可いではないか、詰りヴイタミンを含んでゐる脂を中に混合すれば差支ない、滋養價値に於ては普通バタと變らないと言ふ事に成つたのであります。

御承知の通り、我國の一般食料品中には、脂肪が概して少いのであります。將來肉食を盛にし、脂肪の利用を充分にすると言ふ事が必要と同時に、加工業者が「ラード」に依りまして、利用し易い樣にする事が必要である。此のラードを作りマーガリンを作る爲めには、各所に散在してゐる小規模の加工場を統一し、理科

學的の基礎の下に大規模に製産しなければ成りません。

單に肉の利用を便利にすると言ふばかりではなく、更に「ホルモン」劑を作るとかするには、是非とも大規模でやる必要があるのであります。近來横濱に於きましてスペルマチソを作り出ましたが、如何せん小規模な爲め、夏場等には豚の屠數が少い爲め、原料の回收に非常な困難を感じてゐると言ふ事であります。

斯の如く豚の肉・骨・脂肪・內臟・或は血液と言ふ樣なものを悉く加工致しまして、吾々の食料に供する事が出來るのであります。

此の如く養豚業の將來は猶ほ洋々たるものがあり、殊に我が臺灣に於ては、農產物の增殖と相俟つて益々進歩するものと考へます。之は私が從來考へて居りました事柄と、私が先日來臺灣に於ける養豚業の實情を視察しまして感じました事柄とが、相違しないと言ふ確信を得ました結果、結論として申上げた次第であります。尙ほ本島に於ける此の養豚業を社會上經濟上或は其他の點に就き如何にすれば最も早く、最も有效に改良進歩せしめ得るかと言ふ事に就きましては、多少の私案もありますが、今日此席上では餘計な事を申上げませぬ。

只、豚肉の加工業と、養豚とが密接なる關係を有し、早晚解決しなければならぬ問題であると言ふ事を申上げまして、今日御依賴を請けました私の講話とする次第であります。長い時間御熱心に御靜聽を煩しました事は、私の深く感謝し且つ光榮と存ずる次第であります。

不幸にして私は今日腸を害しました爲めに、甚だ元氣が失しまして話の上に熱の無かつた事を、深くお詫び申上げる次第で御座ゐます。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

印度支那の旅より

S・I・生

はしがき

大正十五年一月二十三日附を以て香港・廣東及佛領印度支那視察の命を受け、汽船鳳山丸に便乘して厦門に向け基隆港を出帆したのは、翌二十四日の日曜日一日を間に挾めた、二十五日午前十時であつた。この短い期間……實を言ふと二十三日、土曜日の午前九時より正午に至る僅かに三時間が正味である……に旅劵の下附、領事の査證、旅費支辨等極めて煩雜な幾多の手續が、迅速に機敏に何等の滯りもなく、總てがすら〳〵と進捗したこと、竝に視察地に於ける諸般の注意事項、官邊要路への紹介等につき萬遺憾なきを期し得たることは、偏に當該掛官各位の御盡力の致す所と衷心感謝措く能はざる次第である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

基隆より香港まで

一月二十五日午前十時、濛々と降りつゞく基隆名物、雨の洗禮を享けつゝ、我が鳳山丸は厦門・汕頭經由、香港に向け徐ろに纜を解いた。本船は總噸數二、三四七噸、登簿噸數一、三八三噸の近海航路用小型汽船ではあるが、大正十三年九月基隆＝香港間の現在航路に就航以前、前後十七年の長きに亙つて、敦賀＝浦鹽間の定期船として、兩港を往復すること無慮約九〇〇回、以て日露連絡の大使命を完全に果した、頗る名譽ある經歷を有する船である。

西航又西航、臺灣海峽に差しかゝる頃ほひ、風波次第に高く、舷側を嚙む怒濤は餘勢迸つて上甲板一面に飛沫を浴びせかけた。自分は午後五時船室に閉ぢ籠つたまゝ、夢幻の裡に船窓を通してもの凄い海の光景を觀望した。心氣鬱屈、食慾減退、さては船暈に見舞はれたかと苦笑禁ずることを得なかつた。實を言ふと貧弱な自分の經驗から割出したことではあるが、船には相當の自信を持つてゐる積りである。といふのは先年太平洋を亞米利加へ横斷した時も、太西洋を英吉利へ渡つた時も、或は印度洋を越へて日本へ歸つた時も、ついぞ一度も船暈に惱まされたことがなかつたのである。然るを臺灣海峽横斷といふ、僅か一晝夜足らずの短い航海で、見事自信の鍍金を剝がされて、自惚の地金を暴らけ出したことは、返す〳〵も殘念否滑稽至極の事ではある。

翌二十六日朝厦門入港、天氣清朗、浪飽くまで靜謐、心氣亦自ら撥剌、海の旅の爽快を滿喫した。此所は上陸を見合はせたので詳しいことは知る由もないが、商業市街と住宅地域とは海を隔てゝ相對し、孰れも突兀として中天に聳ゆる奇巖怪石を背景として、或は密に或は疎に白堊の高樓建ち竝ぶ樣、見るから清楚な近

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

代式市邑である。

此所で本船は突然豫定の出帆時刻を一日繰延べた。吾等の如き先途を急ぐ旅行者の甚だ以て遺憾とする所であるが、さてこれ許りは何とも致方がない。出帆延期の原因は、船貨積卸の不手廻りであるが、一歩遡れば廣東方面の排英罷業の影響であることが容易に想像される。某高級船員の語る所に依ると、廣東一帶の排英氣分は、內地や臺灣に於て想像する以上に、濃厚にして頑强且つ熾烈を極めつゝあるとのことである。現に厦門港內に英國船が一隻碇泊してゐたが、クレーンは支架に横はつたまゝで艀船の往復は勿論杜絕し孤影悄然たるものがあつた。日本船に對しては故更に反目的氣分は認められないとのことであるが、終航地が香港である關係上、僅かに彼等のブラック・リスト(?)には上つてゐるさうで、荷役能率の兎角捗々しからざる原因は玆にありと察せらる。

元來今回の廣東同盟罷業問題の經緯は、曩きに英國側卽ち香港政廳の執つた對廣東物資封鎖に對する報復手段としての、對香港勞力封鎖と見るべきであつて、香港側の物資封鎖が名實共に見事失敗に終りたるに拘はらず、廣東側の勞力封鎖が、歩一歩剴切なる效果を擧げつゝあることは、事實の明かに證明する所である。之れが證左として、余は厦門出帆の翌日卽ち本船香港入航の日、同地の某有力銀行家と會して聽取した意見を揭げようと思ふ。

某氏曰く、由來香港島は周囘僅かに二十七哩、面積約二十九平方哩、然かもその大部分は花崗石の山嶽で、市街地はといへば山麓傾斜面の三平方哩、港はといへば九龍との間隙約六哩の海岸線に過ぎざる猫額大その儘の一小島嶼である。從つて物資の生產地にあらざるは勿論、消費地にあらざることも亦人口四十萬を超えざる事實に依つて明かである。斯の如く對內的に極めて平凡な地の利に生ひ立つた唯單なる仲繼貿易港に過

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ぎざる香港が、僅かに八十年の短き歴史を以てして、何故今日見るが如き隆々たる發達を遂げたるかといふに、それは言ふまでもなく四億の人口を有する大消費國たる支那大陸を背景とする一面に於て、砂糖・米・麻・護謨等世界的商品の大生産地たる蘭印・佛印・比律賓及馬來半島を前景とし、兼ねて東西兩洋交通の中心的要衝を占むる對外的地の利に育まれた結果に外ならぬのである。試みに之れを香港の對支貿易に就て見るに、一九二三年の調査で輸入約八百萬磅、輸出約四千萬磅を算し、各國との比に於て輸入は第二位であるが、輸出に至つては他の總ての諸國を合算した額の二倍以上に達してゐる。之れは香港對支那の經濟的關係を裏書きする事實そのものである。

前述の如き實狀を前提とし、香港對支貿易の唯一の關門たる廣東に於ける熾烈なる排英熱の經過と、中繼貿易港たる香港本來の使命如何とを合せ考慮するときは、英の屈服か廣東の脫兜か、勝負の決は略々之を想察することが出來ようと思ふ。而已ならず現在香港商業界の不況不振その極度に達しつゝある一事は最も雄辯に盾の半面を曝露するものであらう。云々。

罷業戰の成敗如何は余の與り知る限りでない。然しながら廣東側脫兜の場合は姑く措き、假りに英國側の屈服したる場合を想定すると、玆に興味ある問題が起るのである。乃ちこの場合一旦味を占めた罷工團の鼻息は愈々荒きを加ふべく、天下何事か成らざらんの慨を以て、次いで彼等の鎗玉に上るべく最も多くの可能性を有するものはいづれの國か蓋し容易に首肯し得らるゝ處であらう。弱者の計畫が偶々奇功を奏して强者を屈服せしめたる場合を想像するに、弱者の揚ぐる會心の雄叫は、强者の洩らす欝憤の聲とその深甚の程度に於て多大の軒輊あることは、恰も幕下力士が三役格の大物を屠りたる場合を想像すれば直ぐ首肯することが出來ようと思ふ。さうして一度大物を屠つた快哉の味を忘れ難く、更に第二、第三の大物をもしてやらん

とするは、これ又人情の自然であらねばならぬ。

本船が汕頭に著いた時は港内寂然閑として、海のみ徒に濁波をあぐるのみであつた。此所では荷物の積卸しは少しもなく、唯二三の支那人船客が乘降するのみであつた。本船が港内所定の場所に投錨するや、「中華全國勞働團、汕頭罷工委員會」の文字を縱に二行、中央部に右より左に「糾察隊」の三大文字を白地で表はした大赤旗を押し樹て丶一隻のランチが本船目掛けて驀進して來た。次で物々しい風丰の委員連が、勢込むで舷梯を上りざま直ぐ三等室に姿を消した。室内に於ける彼等の動靜は、知る由もなく、又知る必要も認めなかつたが、午前十一時頃から午後五時頃まで船内に陣取つて後引揚げた。航海中の同胞船客に所要あつて訪問に來ることは、何等憚るべきで筋合ではないやうなもの丶、然しながら領土の延長である他國の船、然かも全部の下級船員が同胞から編成されてゐる他國の船に、同盟罷工團の大旗を押したて丶堂々と乘込むで來ることは、斷じて穩健な行動、著實な振舞とは言えない。尠くも吾等平和の航海に親みつ丶ある旅行者の心を異常に緊張せしめたことは否むべからざる事實である。それかあらぬか、食堂の雜談中、某高級船員は眞に感慨に堪えざるもの丶如く、破顔一笑述懷して曰く、ヴエルサイユ平和會議以來世界は五大國より三大國へと追次撰りわけられたが、要するに團栗の丈け比べに過ぎなかつた。然るに現下の國際競爭場裡に於ける支那の地位如何。支那の一顰一笑は直ちに全世界の頭痛の種子となり、列强政府は一意唯その機嫌氣褄を取り繕ふに汲々日も足らず、專心憂身を窶してゐるの實狀でなる。この意味に於て支那は正しく世界の第一等國である。押しも押されもせぬ優超國である。財力の空乏を語るべからず、文化の不及を談ずべからず、將又武力の貧弱を云々すべからず。廣大なる領土と無數の人口とは之れを補つて餘りあるのである云々。語り終つて彼は徐ろに紫煙を天井に吹きつけた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

彼の述懐は全部をその儘受け容るべく餘に大袈裟である。然しながら眞理の皮肉として世界列强否な尠くも所謂三大國なるものに對する頂門の一針たるを失はざるものと信ずるのである。

淋しい汕頭を出帆した本船は、翌二十九日未明香港に投錨した。船長以下幹部諸君に基隆以來の好意を謝しつゝ午前八時上陸、松原旅館に旅裝を解いた。小憩後、不取敢印度支那航路の最近便を問合せると、翌三十日の佛國M・M會社Song-Boの海防行と、二月四日大阪商船天草丸の西貢行を除くの外、香港出帆はいづれも一週間乃至十日の後ちであることが知れた。視察の便宜上東京を振出しに安南・交趾支那・柬蒲寨・老撾の順序に依るを適當と信じたので、出發前の豫定であつた廣東行の旅程を歸路に繰延べて、上記の二つの便船中前者を選ぶことに決定した。早速M・M會社に乘船の手續を了へ、次いで日佛兩領事館、最後に臺銀支店を歷訪した。臺銀支店では高木支配人の好意に依り視察上種々なる便宜を得たるのみか、折柄月末行務の繁劇なるにも拘はらず、特に行員村上君を案内役として市内見物、香港島一周ドライブ、香港ホテルに於ける午餐の饗應等多大の歡待を寄せられたことは衷心感謝措く能はざる所である。

事實を打明けると、過ぐる歐洲戰爭の末期より媾和會議前後に至る期間、日本朝野の視察者觀光の客相次いで巴里に殺到した時の事であつた。余等巴里在留者は是等土地不案内の遠來の同胞に對し、乞はるゝが儘に誠心誠意を以て迎接これ努めたものである。余は今日なほ當時を追懷し折にふれて座談の語り草にしてゐるが、巴里市外の案内役としての余のレコードは、他の在留知已のそれに比すれば精々中の上位を占むる程度に過ぎなかつたが、なほ且つヴエルサイユ宮殿へ十九回、ヴエルダン及ランス方面の戰跡へ各七回、オルレアン及ツール方面へ各二回の數字を示してゐた。本職のガイドならばいざ知らず、斯かる實狀が他に本務を有する者に幾何の累を及ぼすかは略々想像が出來ようと思ふ。余は自分の體驗に顧みて極力高木支配人の

好意を辭退したのであるが、結極事實に於て前述の如き款待に甘へたことは、汗顔の極みである。

僅かに五日の船の旅ではあつたが、萬事屈托勝ちなケビン生活から放たれて、居心地良き青疊の上に客となつたことがたゞ理由もなく嬉しく、明未明乘船の手筈を整へて前途幸あれかしと祈りつゝ靜かに眠に就いた。

香港より海防まで

汽船Song-Boの香港出帆は午前七時である。船客は遲くも出帆の一時間前に乘込めとのことで、旅寐の夢圓ろかならざる午前四時、早くも床を離れて前夜から用意の簡單な朝餉をそこ〳〵にして宿の番頭を案內に、大阪商船の棧橋の邊りで汽艇に便乘して沖合一浬半の地點に投錨してゐた本船に向つたのは、それから約三十分の後であつた。

折柄ピーク鐵道の沿線を中心に、高く低く點々たる無數の電燈は、海上に棚引く淺霧を透ふして、黎明の星と共に淡い光を放げてゐる。汽艇の首部を嚙む波の音のみ徒に高く、香港は人も街もまだ深い眠から醒めぬのである。汽艇は二十分の後ち本船の舷側に橫づけされた。頂部に尖つた眞鍮の金具をつけた竹の皮笠を冠つた安南人の番人に乘船劵を示して案內を乞ふと、すぐ給仕を呼むで指定の船室へ案內して吳れた。一通り手荷物の整理を濟まして後ち、落著いた氣分で上甲板に出て、靜かにシガーに火を移した。まだ明けきらぬ模糊たる香港島に直面すると、想はいつの間にか今を距る八十年の昔に遡るのである。當時この島を背景に英國政府の書きおろした舊派チラニック劇の筋書があり〳〵と胸に浮むで來る。同時に目下廣東劇場に於て開演中で、然かも大向ふの喝采を博しつゝある、新派アンチ、チラニック劇も亦この島を背景とした奇し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

き因緣に想到して、苦笑禁ずることを得なかつた。橫暴から反撥へ、專恣から復仇へ、など空想は次ぎから次ぎへと飛ぶのであつた。

折柄、甲板の昇降口で背廣姿の一紳士が、安南人の給仕を捉へて、何事か口早に罵つてゐたが、電光石火、紳士の鐵拳は二度三度給仕の頭上を見舞つた。余が無意識に現場に馳けつけた時は、紳士の姿は既に何處にか消えてゐた。給仕はなほも不動の姿勢であつたが、彼の睫にはあり〳〵と無念の涙が滲むでゐた。余は彼の肩を敲いて徐かに事の顚末を訊ねた。彼は數分前の恐怖に怯えつゝ、然かも可憐の態度で、何やら二言三言口をもぐ〳〵させた。安南語を解せざる問者、佛語に通せざる答者、これ以上の問答は總て無效であつた。然しながら問ふ者答ふる者の情理は渾然として融合し、釋然として無々相通じたことは、遙かに千言萬語の雄辯を超越してゐた。玆に附記して置くが、かの鐵拳紳士の正體が、意外にも本船の船長であつたことが後で知れた。

チラニック劇の追懷から實演へ、ツキ役ではあるが偶々セーンの一員に參加した余の神經は極度に緊張した。乘船早々全く白紙の狀態であつた對Song-Boの余が第一印象は、かくして墨黑々と塗り汚されたのである。爾來本船で眼に見、手に觸るゝもの〳〵總てが悉く不愉快の種子となつたことは返す〳〵も殘念の極みである。船そのものが最舊式のボロ船で、剩へ多くもゐない幹部佛人船員が揃ひも揃つて不愛想なことは、先づ致方なしとするも、大體船室の設備調度がお粗末千萬である。殊に寢具の不潔は言語に絕してゐる。毛布の如き何時の世に洗濯したのか、黑人の汗もあらう、白人の垢もあらう、山川岬角一種異樣な世界地圖を現出してゐる。橫臥數分、五體むづ痒きを覺ゆるに至つては、眞に沙汰の限りと言ふべきである。

一等船客は白耳義人親子三、比律賓人夫婦・米・支・安南人各一、余を合せ計九名に過ぎなかつた。余は右の內

支那人・安南人と食卓を共にした關係上、食後の雜談は、いつもこの三人の間に取換はされた。陰氣な各自の船室を餘所に、晝飯から晩飯まで、晩飯から夜中過ぎまで卓を圍むで食堂に流連するのが常であつた。支那人の方は建築技師で英語以外の外國語は話さなかつた。安南人は現に香港大學の政治經濟學科に籍を置く青年學生で、父の病氣を見舞ふための歸國の途中であるとのことである。嘗て巴里大學にも學むだ經歷があるさうで、佛語は堂に入つたものである。國際政局の今昔、民族思潮の推移を論ずる邊り、眞に談論風發の慨があつた。而してその說く所往々にして肯綮に當り、机上の書生論として無下に之れを排斥すべからざる或るものがあつた。彼の主張を要約すると大體次ぎの如くである。

民族覺醒の前には、大砲の威力も銃劍の脅威もない、況んや外交をや、政略をや。虐げられた我等亞細亞有色民族は漸く長夜の夢を破つた。目醒むる前の假睡狀態、それが現狀を說明する總てゞある。曉の鐘は既に響き渡つた。阿吽一番、寢床を蹴つて飛び出すことは最早時間の問題である。さりながら目醒めて後ちの彼等の行動は如何。必定、彼等は各自個々の行動を取るであらう。恰も黎明牧舍に目醒めた群羊が、おのがじゞ牧場の四方に離散するやうに。個々の自由行動、それは決して民族覺醒の眞意義を徹底せしむるものでない。必ずそこに規律、節制、組織的活動を伴はねばならぬ。多數民族の組織的活動、そこにリーダーの必然的存在が要求せらるゝのである。恰も牧童の上下する鞭一本の捌きに依つて千百の群羊を操縱し、虎狼をして遂に乘ずべき機會を得せしめざるやうに……………、覺醒したる亞細亞民族大運動の晴れのリーダーの鞭は果して何人の手に依つて振はるべき乎。吾等の期待・否、否、全亞細亞民族の輿望は已に業に定まつてゐるのである。白羽の矢は切つて放たれた。神意の在る所、天職の存する所、吾人毫も遲疑する所以を解するに苦むのである……………!!

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

安南學生は感極つて詰め寄つた、支那技師は卓を敲いて起つた、余は唯大きく頷くのみであつた。東京灣口濁流縹渺、ビールの滿を引いて散會したの午前二時を過ぐること十分であつた。

香港出帆後五十六時間、船は無事海防の棧橋に橫づけされた。上陸に先立ち水上警察の旅劵檢查があるので、船客は神妙に係官の臨檢を待ち受けた。金釦の嚴めしい佛國巡查を豫想してゐた余の期待は見事裏切られて、見れば貧弱な背廣姿の安南人巡查で、二三の土人屬員を引率して乘込むで來たのは聊か物足らぬ心地がした。然し彼の言語動作、一々節度に叶つて職掌柄見上げたものであつた。彼等一行は、一應船客全部の旅劵を取纏め、一等船客の休憩室を臨時事務所に充て、順次檢查を初むることになつた。檢查は机上に積み重ねた旅劵の順序に依るもので、かゝる場合の常例ではあるが隨所に優先權？の爭奪が行はれたことは、苦々しき骨頂である。係員の目を掠めて自分の旅劵を上の方に置き換へる不屆者が、二人や三人ではなかつた。兎角する內、いよ〳〵檢查開始の段取りになつたが、斯の安南人警官は、やをら居仕舞を直して、この航海に日本人船客が一人ゐる筈だがと半ば獨語しつゝ、入口の偶にゐた余に一瞥を與へた。余は早速彼の面前に進み出て、その一人の日本人なる旨を答へた。すると彼はドン底の邊に積まれてあつた余の旅劵を抽出して一應目を通した後ち、慇懃に余に向つて上陸差支なき旨を通告した。かくて余は圖らずも本船海防上陸者中の先頭第一たる光榮を荷つた次第であるが、余は余を取卷く四周の人々の異樣に光る多くの眼玉に輕き皮肉を浴せつゝ、今次視察の目的地たる佛領印度支那の土地に第一步を印した。（つゞく）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

米國の護謨問題と比島

尾崎保正 譯

ケソン上院議長及び其他の當局一行は、曩日の南部地方視察巡行中に、バシラン島に於て現に栽培作業中の一護謨園を視察し、此所で一行は夫々、數本の護謨樹に就て親しくタッピングの經驗さへも體得したのであつた。

沿岸防備快走船バシラン號は、バシラン島に護謨園を經營する米國護謨會社(The American Rubber Co.)の社長アルフレッド・イールマン氏(紐育人)を東道役とし、馬尼拉より該一行を乘せて一路バシラン島に向つた。一行中には、前上院議員テオビストー・ギンコーナー、島内稅收稅官フーアン・ポサーダース、土地局長バルガス、檢事フェリーペ・ベンカミノー、該護謨園監督チェー・ダブルユ・ストロング其他の諸氏がゐた。

斯くてバシラン號は、該護謨園の沖合に投錨し、サムボアンガ縣知事ホーセ・アセニエロー、エルドラドー石油會社のウイリアム・ビー・ライス、地方技師ホーセ・ロサダ、判事チェー・ビー・ムーア、縣巡邏隊長の諸氏及びヘラルド通信員は此地で一行に加つた。

護謨園視察

一行は自動車で先づ該護謨園に到り、凝結室・燻煙・調製室等を經て、眼のあたり、比島に於ける最新式護

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

謨園に就て種々興味ある特徴を視察した。

而して、護謨製造の行程は、初め護謨樹が採液される時から、最後に仕上げされた輸出用スモークト・シーツが包裝される迄、凡てに亙つて逐一紹介されたのであつた。

當日午後バシラン號は、サムボアンガに向つて廻航し、同地で一行は充分なる歡迎を受け、ケソン上院議長はプラサ・ペルシンの音樂堂で、公衆に對し一場の演説を試みた。

ケソン氏は馬尼拉へ歸著以來、小規模にもせよ、比島に於ける護謨栽培の忠實なる主唱者となり、之に關して氏は、二月十日より同十二日に亙りフィリピノ・クラブに於て開催された農業會議の席上、大要左の如き演説を試みた。

『予は予の力の及ぶ限り、我が立法部に對して、護謨栽培企業に出資すべき一農業銀行の設立を極力勸説する積りである。予は、我が國には護謨事業に利用し得る金のある事を確信する。米國の諸トラストは、吾人が其の國土の開發に留意せぬ爲めに、彼等は我が國土の開發に當らんと互に相角逐してゐるのである。吾人は米人に對して、吾人の成し得る事は、吾人が之を成し得べき事を立證し得るのである。

米國民は今日嫌々ながらも、外國の有力なる護謨業者に利用されてゐるのである。彼等の自負と、愉快なる生活に對する欲望とが、彼等をして外國市場より護謨を購入することを餘儀なくせしめてゐるのである。彼等は護謨を使用せねばならぬ。彼等は其の爲めには、海外からでも之れを求めねばならぬのである。而して之が解決策は、彼等の自認する如く、我が比島に依つて與へられるのである。茲に於て、我國の土地法を修正し、米國の護謨投資の爲めに我が國土を開放せしめんとて大なる努力が試みられてゐる譯である。

されば此際、我國の救濟如何は實に農民諸君の手中に存するのである。我が比島に於ける米國の投資は、

彼等が比島に留まらんとする爲めには好個の一論據となるのである。若し予にして、自由に振舞ひ得るならば、明日にも、護謨事業に出資して農民を援助する一農業銀行の創立を實現するであらうが、併し我が立法部は、島民の爲めに最上なりと認むる事を實行するの權能を最早や有さぬのである。立法部は今日只だ一箇の討議團體と變じ、議員等は此所で單に議論を繰返し、議院法の經驗を若干修得する位なものである』云々。

有望なる產業

比島に於て、護謨程に有望で、企業家の心を牽附ける產業は他に餘り類例無き事は疑の無い所である。生護謨は米國に於て需要大なる原料品である。而して全世界の護謨供給高の七五％は米國で消費され、三億弗以上の米國資金は各種の護謨製造工業に投じられてゐる。

米國への輸入護謨は、その大部分は海峽植民地と蘭領東印度から輸入され、而も前者は、世界護謨供給高の八〇％を生產する英領馬來として知らるゝ所である。

英領馬來に於ける護謨生產制限は、彼のスチヴンスン案に基いて旣に制定されてゐるのである。同案が植民地立法に依つて實施された當初、其の目的は護謨栽培業者に對して相當なる價格を保證するにありと聲明されたのであつた。而して米國商務卿フーヴァー氏が同國上院議員カッパー氏へ宛てた書翰に依ると、馬來護謨栽培委員は、所謂「相當なる」價格と云ふは封度當り一五乃至一八片（六〇乃至七二センタボー）なるべしと言明してゐるのである。然るに該相場は昨年中、一月に三六・七仙より十一月には一〇九・五仙に迄暴騰を演じてゐる。之に關してフーヴァー商務卿は左の如く述べてゐる。

人工的情態

『斯の如き情態が全く人工的創造である事は、左の事實に由つて明白である。卽ち、一九二六年度の平時世

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

界護謨消費高は約五十八萬噸と見積られてゐるが、制限なき場合の可能生產高は恐らく六十二萬五千噸を算するであらう。故に吾人は眞の護謨饑饉に當面してゐるのではなくて、之が相場を吊上げる爲めの生產制限に由る人工的饑饉に逢著せるに外ならぬのである。

我が米國の一九二五年度に於ける該輸入高は約八億六千萬封度であつたが、尋常の增加を見るものとすれば、一九二六年度に於ては我が國內の消費高は九億封度となるであらう。茲に於て、嘗て護謨相場制定委員が、彼等に對して「相當なる」と宣言した相場を以てすれば、我が次年度の供給高は價額約三億二千四百萬弗となる譯だが、現時の相場封度當り一弗一〇仙を以てすれば約九億九千九十萬弗となり、即ち「相當なる」價格に基く前者を超ゆる事、正に六億六千六百萬弗である。斯の如き護謨相場の昂騰は、米國全家庭に於ける眞に實際問題である。而して所謂「相當なる」價格を突破せる現今の高値は、乘客自動車タイヤ一組に付約二〇―四〇弗、貨物自動車タイヤ一組に付ては約五〇―七〇弗高に相當する。

今日の高値が今後尙ほ繼續するものとすれば、彼の超過額六億五千萬弗乃至七億弗は全米國電力會社の配當金に充つる純利益の二倍以上、或は全米國鐵道會社の配當金に充つる純利益を超過すること三〇％に相當するのである。故に、該問題は茲に何等かの注意に値するものがある。

價格の暴落に依つて生ずる我が製造業者に及ぼす危險は頗る甚大なるもので、即ち、一部の小製造業者は、製品價値の突發的低減より生ずる損失に堪へ得ざるを恐れ、其の生產を中止するに至るのである。

予は如上單に說明の意味で、護謨の場合を詳細に述べて來たのであるが、珈琲の場合も亦之と同樣である。要するに、凡て此種の合同事業は、得てして危險の多いものである。而して、今吾人が其の對策として執らねばならぬ政策は、最も穩當なるものである。然らば吾人は、吾人に向つて試みられつゝある貿易戰に對し

て、如何なる作戰により防禦の實を擧げ得るであらうか。吾人の執るべき政策は、勿論相手の合同事業に應じて夫々相異するのである。而して予は、貿易上の復讐には賛成したくない。左に掲げる諸政策の中、その或るものは、愈々之が實行の曉には、遂には當面の難局より吾人を救濟し得るに相違なく、而も之等の政策は、全部が其の性質に於て防衛的なものである。

一、我が米國銀行業者をして、之等合同事業援助の爲めに、米國の信用を與へざらしむる事。

二、之等合同事業の政策が愈々無法となれる場合は、吾人は彼等の生産する全商品の使用を自發的に節約する爲め、强力なる組織的行動に出づべきこと。

三、代用品の製造及び使用を奬勵すべきこと。

四、問題の商品が、此種の合同事業に從屬してゐないと思惟さるゝ諸邦の生産を助長すべきこと。

五、我が米國に於ける無數の購買者が、互に相角逐するを防止する爲めに、緊急策として合理的なる調節機關を設置すべきこと。』

約二年前に、比島に於ける護謨栽培可能調査の爲めに、護謨の專門家を以て成る調査委員の一行が本島を來訪した。之れは、英國が英領馬來及び錫蘭の護謨に生産制限を行ひ、且つ同地方よりの全輸出護謨に課税して、該價格を昂騰せしめんとする極端なる行動に鑑みて派遣されたのであつた。

普通の情態ならば、比島に於ては護謨樹は六年生乃至七年生となれば、一年に約一封度の乾燥護謨を生産し、其後該生産高は二十五年目迄は、毎年半封度以上の増加を見、而して爾後は樹命の盡くる迄毎年一五乃至二〇封度の乾燥護謨を生産する。一英反當りの護謨生産高は、樹齡四歳で一一〇斤、同十歳で四五〇斤で

ある。

生産費と栽培費とは、主として土地、勞働事情、護謨園の監理方法等の種類情態に由つて高下がある。

左に示す一英反當りの護謨栽培費比較表は、一九一七年にバシラン島を訪れた"The India Rubber World"のパーソン氏の調製せるものである。

國別	栽培費	生計費	計
比島	二五一・六四比	八八・九二比	三四〇・五六比
スマトラ	三六三・五八	九八・八〇	四六二・三八
爪哇	五五三・一〇	一一三・六二	六六六・七二

次に一九二四年度の比島護謨輸出高は九七、九〇五斤、價額一一〇、二五五比、ガタ・パーチャ 一二、八一二斤、價額一二、四〇〇比であつた。

比島に於ける護謨適地

比島商工局の報告に據れば、護謨は比島では到る處で栽培可能であるが、就中最適せるは南緯四―八度に亙る地方、即ち颱風帶の南方である。而して此の地域は、ミンダナオ島の大部とバシラン島、ホーロー島及びタウィタウィ島の各全部を包含し、而もミンダナオとバシラン島に於ては、現に數箇の護謨園が存在してゐる。尙ほパラツン島の南半も、例年の颱風襲來と無關係であるから、護謨栽培に好適するものと思考される。

ミンダナオ島の全面積は三六、二九二平方哩であるが、此内開墾中のものは僅か三〇%に過ぎぬ。同島は最も天産豐富であるが、而も本群島の大島中、最も未開發の島である。而して、同島の東方中央部で、四千平方哩以上の沃地を有するアグサン河流域、同流域の西方に當り、開墾費の極めて低廉なるべき開潤・肥沃なるブキドノン地方、コタバトの南方に於て之に近接する、面積約三千平方哩のリオ・グランデ流域、同流域の東

側に當り、約一千平方哩の沃地を占むるダバオ地方等は、何れも護謨の投資に對して無限の可能性を提示してゐる。

同島に於て、大部分の未耕地は殆んど通過不能の密林を以て覆はれ、其他の地域はコゴン草生地で、同地方の住民は過去數年間、森林を焼拂ひ開墾を行つて來たのであるが、之等の地域は、爾來概してコゴン草の繁茂するまゝに放任されてゐるのである。然るに之れは、護謨・椰子其他の栽培の爲めに開墾するには、農學上の見地よりして、費用を多く用しないのである。而して此のコゴン草生地は、ミンダナオ島の平地面積の約六〇%を占め、護謨栽培に之を利用することが出來る。

氣候狀態

氣候狀態に就て言へばミンダナオ島の之等區域は、沿海平野及び奥地高原に於て、温度華氏七五乃至九五度で、濕度は全地域に亙つて高いのである。降雨も亦適度にあり、一護謨園に於ける一九一一—一七年の降雨量は平均九一吋である。更に或る地方に於ては、正午から夜半に掛けて毎日の降雨がある。而して奥地へ入れば入る程、降雨量は多大となる。加之、同地方には多量の夜露があり、之れは護謨其他の熱帶植物の發育に取つては大なる助けとなるのである。

如斯護謨栽培に對して有利なる諸條件を具備せる外に、工場作業用、運輸及家内用の水が得られ、亦灌漑に供すべき水をも得られるのである。該諸地方の多くには又秀優なる港の便あり、深海運送船や島嶼間就航の船舶は、容易に貨物を積載することが出來る。サムボアンガ港は、バシラン海峡に臨む開港場で、護謨園の近くに位し、ダバオ港も亦同島に於ける一の良港で、増々港としての重要さを加へつゝある。

既に述べ來つた如く、比島に於ける護謨生産は、最早や試驗時代を脱してゐる。本島へ輸入された各種護

謨の中で、最も良好なる發育を示したものは、彼のパラ護謨である。之が發育狀態に就て、一部の本島護謨栽培者が各種條件の下に數箇年間に亙つて調製した記錄に據り、パラ護謨はミンダナオ島とバシラン島に於て、頗る健全に發育することが知られた。而してバシラン島のパラ護謨は、普通の地で樹齡約三歲にして多くが周圍一八吋、高さ地上三呎に達してゐる。更に興味深き點は、樹齡四歲に達せる數千株の護謨樹が始めて採液された時、一箇年の生產記錄に據れば、一樹當り平均一・五封度を示してゐる事である。尙ほ此等護謨樹は、採液面樹皮恢復の速かなる事をも立證した。

該地方で現に生產されつゝある護謨の品質は最上級で、米國市場に於て頗る氣受けが良いと言はれてゐる。（完）

(The Philippines Herald, Feb. 14, '26.)

紹興酒釀造法の調査報告

小林一馬譯

原料

原料中最も重要なるは水・糯米・小麥・酒薬にして、原料不良なれば卽ち良品の製造容易ならざるなり。玆に順次之れを述ぶべし。

一、水

釀造上に用ふる水は酒の品性と大なる關係あれば、必ず其適するや否やを調査し、然る後之れを用ふべし。英國の Ale 酒の Burton の井戸水の供給を仰ぐは水中に石膏を含有せるが故にして、日本灘地方の清酒の西宮の水の供給を仰ぐは、井戸の底部地質の花崗岩なるが故なり。我が國(支那)紹興地方の黃酒は多く鑑湖・霞川・若耶溪等の水の供給を仰ぐものにして、其水は群山萬谿より來り、土砂岩石を通過するを以て、淨化作用已に行はれ、有害物質は已に少し。故に浸漬用たると洗滌用たると或は醱酵用たるとに論無く、皆此等河水を用ひ、井水は用ひざるなり。紹興地方は河流錯流し、湖水清澄し、汲み取上に於ける便利なる點は固より井水の能く及ぶ所にあらざるなり。紹興酒の名を中州に馳せしは各處の倣造し得ざる結果にして、水質の不

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同は或は之れを一致せしめ得べきも、水質は土性・雨量・地勢等によりて異なり、其軟硬の程度は石灰・苦土等含有鹽類の多少によりて之れを定め、然かも亦用途によりて異なれり。英國の如きは十萬分の五以上の石灰鹽類を含有するものは硬水と稱し、其以下なるものは軟水と稱し、麥酒の醸造場中に在りては、即ち含有量三割以上なる者を以て硬水と稱せり。此等鹽類は水の不純物を稱すと雖、造酒には甚だ適當なるなり。蓋し純粋の水は生物の細胞に有害にして、且つ醗酵液中に於いて若し此種鹽類を缺く時は、醗酵力は必ず甚だしく遅緩となり、清澄も亦比較的容易ならざるなり。但し上記の不純物は亦過多なるを得ず、過多なれば即ち酵母に有害なり。紹興に於いて用ふる水の適宜なるは此醸造業の特に盛なる所以なり。

水の選擇法は即ち左の如し。

(一)清淨透徹にして、其間雜物の浮游無きもの。

(二)臭味・苦味・鹹味無く、而して常に快味を帶ぶるもの。

(三)有機質の少きもの。

(四)硬度稍や高く、石灰竝に硫酸等の鹽類を含有するもの。

二、米

造酒用の米は日本に在りては水稻の粳米を用ふれども、支那に在つては即ち糯米を用ふなり。米の品質に關係あるは言を待たづとも明にして、米の品質を調査せんと欲すれば、先づ化學分析を以て其成分を知るべきなり。故に粳米・糯米の平均成分を左に記述せん。

米の種類	糯米%	粳米%
水分	一四・三〇	一三・三〇
蛋白質	八・五〇	八・八〇
脂肪	三・二〇	二・二〇

米の種類	糯米%	粳米%
無窒素化合物	七二・一〇	七三・四〇
纖維質	一・〇〇	一・〇〇
灰分	〇・九〇	一・三〇

米灰中の百分率は左の如し。

加里	二二・四七	曹達	四・五五	石灰	二・九三
苦土	一二・六〇	酸化鐵	一・六三	燐酸	四八・三一
硫酸	〇・二三	珪酸	六・五一	鹽素	〇・九一

糯米と粳米との組成分は甚だしき差異無しと雖、然かも形態上より之れを觀察すれば、凡そ成熟乾燥せるものは、粳米は卽ち透明を呈し、糯米は卽ち乳白色を呈せり。蒸煮せる後は卽ち糯米は反對に粳米に比較して透明となり、粘性も亦粳米に比し更らに强し。若し學術上に就き其差異を觀察すれば、糯米は比重粳米に比し輕く、糯米の胚乳中に沃度溶液を加ふれば、卽ち赤褐色を呈す、是れ胚乳中多量の糊精分を含有せるによれり。粳米の蛋白質は糯米に比較して稍や多く、若し糖化の速度に就き之れを觀れば、糯米は比較的粳米より速なるを以て、製酒は比較的容易なり。日本清酒は粳米を原料と爲すを以て、粳米中の蛋白質は酵母の營養品となるべしと雖、然かも其大部分は卽ち他の黴菌・細菌の繁殖營養となるを以て、之れを用ひて酒を作るは腐敗し易し。我が國(支那)の紹興酒は糯米を原料となすを以て、糖化作用は比較的速にして、多量の酒精を得べし。此れ原料上日本清酒に優れたる點なり。

造酒用の米は必ず水力或は人力に依りて白く搗くべきにして、其臼搗きによる減少は約一割内外なり。普通農家にて收穫する米は穀と名稱し、機械力により之れを摩擦し、其外皮等を除去して糙米と名稱し、再び之れを臼搗きして其糠分を除去し、之れを白米と名稱す。科學上の研究に據れば、穀と糙米との重量比例は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

穀二一%・糙米約七九%にして、糠分は普通約糙米の四分の一を占むるものなれども、之れ亦精白の程度及び糙米の品質によりて差異あり。糙米より白米を得る比例は略左に記述せるが如し。

精白米	八九・六八%	糠米	七・三五%
破碎米	一・一二%		
全量	九八・二五%	損失量	一・八五%

米の脂肪・蛋白質は多く糠分中に存在するものにして、此脂肪・蛋白質の過多なるは釀造上宜しからず、即ち多き時は Fusil oil を生ずる事比較的容易なるを以て、酒質を損する事あり。故に必ず搗きて白米となし、以て之れを除去すべし。白米中の成分は多く可溶性の無窒素物に屬し、粗米中の蛋白質約三分の二、粗纖維約三分の一、粗脂肪約二分の一の如きは皆糠粃の內に混入せるなり。是れを以て糯米愈白ければ、即ち脂肪・蛋白質は愈少く、其製造されたる酒も亦愈佳良なり。唯精白の過度なる時は貴重なる胚乳を傷つくるに至り、經濟上損失あれば、釀造家は亦是にも注意すべきなり。米の鑑定法を略述すれば左の如し。

(一)純度　籾穀・碎米・蟲害米及び其他の夾雜物を含まず。

(二)色澤　固有の色澤を有し、而して其青・紅・黑等の特色米及び濕潤にして劣變せるものを去る。

(三)風味　煮沸せる時は香氣を有すべきにして、貯藏適宜ならざる爲め異臭を生せる者は除去す。

(四)形狀　米粒充實し、齊一なる事。

(五)腹白　腹白の部分大なれば、米質不良なり。

(六)容量　同一の米種なれば、容量大なるもの比較的佳良なり。

(七)硬度　乾燥相同じき米は、上等なるもの硬度高く、下等なるもの硬度低し。

(八)水分　米は水分を含みなば貯藏に耐へず、其重量容量も亦比較的大なり、故に購買の時注意すべし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（九）蟲類　穀象蟲等は宜しく注意して除去すべし。

三、麥

紹興酒の醸造上其主要なる原料には糯米以外に更らに大小麥あり、麥の優劣は酒の品質に關係あり。故に其選擇法を記述すれば左の如し。

（一）色澤清白にして、形式の整齊なるは完全に成熟せるものなり。

（二）麥粒肥大に且つ淡黃色を呈し、其兩端の褐色を帶びざるもの。

（三）品質同一にして、收穫後滿一箇年を經過せざるもの。

（四）乾燥・濕氣・軟硬の適宜にして、不快なる臭氣及び黑穗菌の寄生無きもの。

（五）粃粒・塵芥・其他種子の其間に混雜せざるもの。

（六）麥百粒の重量にして若し三瓦乃至五瓦あれば、其含有澱粉量多く、醸造の用に適す。

（七）麥粒中の胚乳の狀態は、粉狀なると透明狀なるとに分たれ、粉狀を呈せるものは使用に適すれども、透明狀を呈せるものは醸造用に適せざるなり。

以上は麥の選擇を記述せるものなれども、更らに麥の成分を記述すれば左の如し。

澱粉	蛋白質	糊精	纖維	石灰	雜質	脂肪
六八・三四	一一・三五	六・六三	七・一〇	三・〇〇	〇・五〇	三・〇八

右に揭げたる諸成分は大小麥共略同樣なれども、唯蛋白質は小麥の方大麥に比し多く、其含有量は百分の一二と百分の一〇の比なり。醸造上に就きて之れを言はゞ、蛋白少く澱粉質の多きもの宜しきを以て、大麥の方有利なり。然れども一般醸造場に於いて多く小麥を用ひて麴を製造するは、其芒殼少く且つ調製上便宜

なるが故なり。

四、酒　藥

酒藥には黑白の兩種あり。白藥の材料は黑藥に比し簡單なれども、米飯酒の麹に對する醱酵作用は同一なり。白藥は辣蓼草・米粉を原料となし、黑藥は辣草・米粉以外に更らに陳皮・花椒・甘草・蒼杰等の藥末を加へたるものなり。茲に白藥の製法を記述すれば左の如し。

盛夏の時、未だ開花せざる野生の辣蓼草を採取し、之れを晒乾して其莖を除き、葉を細末に粉碎し、十一月に至り、再び辣蓼の浸出液と米粉とを混和するものにして、蓼末は米粉の十分の一の割合となし、水量は粉末の粘著するを以て程度となし、搾脱中に置きて之れを踏み、麹刀を以て寸餘の塊狀に切り、白藥粉を其上に撒布し(菌類の胞子をして此處に繁殖せしむ)、匾中に於いて圓球形に轉成し、之れを草席上に置き、再び草及び麻袋を以て之れを覆ひ、竝に房屋を一二日間密閉せる後、藥の四圍に若し白色の菌絲及び分生せる胞子現るれば、卽ち袋等を撤去し、圓球を蠶箔の如き箔上に置き、更らに箔を架上に置き、毎日一二回之れを移換し、其發生の熱量をして上下相等しからしめ、天氣の晴朗なる時一日晒乾し、冬季に至り之れを破碎して用ふるなり。

紹興酒の釀造法

酒麹の製法

麹の製造に用ふる麥は、大小麥共之れを用ふれども、然かも小麥を用ふるもの多く、亦大小麥を混合して用ふるものもありて、其比例は大麥二小麥八の割合なり。陰曆七月中旬前後に購入せる麥を晒燥し、篩或は

風箱を用ひて其夾雜物を除去し、九月二十三日前後より一人一日麥二石餘を臼搨し、臼搨により麥の容積は一石に就き三四斗を增加す、而して降霜期の前後に至り麴の製造に著手す。卽ち麴の製法左の如し。

麴の製造には必ず製麴場及び麴置室を建つべきにして、室は長方形となし、高さ八尺乃至十尺、廣さは麴の量に依りて之れを定め、室の壁は蓆簀を圍らし、壁の上下は均しく「れんじ窓」を設け、更らに板戸を備へて隨時開閉するに便ならしめ、室の中央は稻藁を一尺の厚さに敷き、更らに竹簀を以て之れを覆ひ、之れを床地と名稱す、卽ち是れ麴包を堆積する處なり。

　麴を製造するには麥粉兩桶約四五十斤に對し、淸水十餘斤を加へ、之れを攪拌し、水と麥粉との分配をして平均ならしむ、之れを名付けて拌麴と稱す。攪拌せる麴は卽ち木框上に置き、木框の底部は板を張り、框面は蒲席に依り覆はるを以て、之れを兩足にて踏み、水と麥粉とを粘著合成せしめて塊となし、卽ち框を開きて席を去り、麴刀を用ひて之れを四條に切り、各條は又之れを橫斷して長さ二尺・厚さ約五寸と爲す、卽ち之れを麴塊と稱す。小椎を用ひて之れを麴床に運び、先づ稻稈の舗妥を行ひ、再び稻稈を織りて麴塊を包き、麴包となす、各麴包中には麴塊二箇あり。之れを床地に置き、而して麴菌の繁殖を俟つなり。此時麴室は密閉し、溫度をして上昇せしむるものなれども、若し氣溫高きに失せる時は稍や窓穴を開きて其調節を計るべし、然る時は三四週間の經過後、麴菌は發育して十分熟し、麴中に香味・甘味を帶び、菌絲は黄白色を呈すべし。卽ち此時期に至り其稻稈を剝奪し、之れを空氣の流通好く、且つ適宜に乾燥せる他室に置き、製酒時の基礎と爲すなり。

　麴の作用は原料中の澱粉の變化及び麴菌の培殖にして、麴菌は麥粉を混入せる時、苟しくも適當なる溫濕を得れば、漸次繁殖して糖化酵素を生產するものなり。此種の酵素は卽ち澱粉を變化して糖類と爲すものな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

り。其呼吸旺盛なる時は熱を發生するを以て、麴製造室中の温度は常に他室の温度に比し、上昇するなり。

麴中には常に他種の微生物類を含有するものにして、此等微生物の生ずる由來は麴用麥の接觸する稻藁・器具及び職工の手等に附著せるもの、浸入、或は空氣中の塵芥より傳入する等あり。麴の製造時、若し麴菌の發育善良にして繁殖盛なれば、即ち他種微生物は皆麴菌の勢力の制伏する所となり、繁殖し能はざるなり。普通麴中に存在するものは酵母・黴類・細菌類の各數種のみにして、有用酵母・黴を除きたる此等微生物は皆直接或は間接に釀造上有害なるものなり。酒の良否は麯に關係し、麯の良否は亦麥の良否によれり。而して特に注意すべきは、製造の時の技術・氣温・水温等なり。

麴の鑑定法左の如し。

(一) 優良なる酒麴は其菌絲の發育整齊にして、常に黄色或は黄綠色を帶べり。若し黑色を呈せるものは使用に適せざるなり。

(二) 優良なる酒麴は一種の香氣を有す。惡臭を帶べるものは使用に適せざるなり。

(三) 優良なる酒麴は甘味を有す。酸味を帶べるものは使用に適せざるなり。

(四) 優良なる酒麴は麴粒堅く且つ緻密なり。粘質を帶べるものは使用に適せざるなり。

酒酵の釀製法

酒酵製造の目的は即ち酒藥・蒸米・水・麴の四者を混合し、釀母菌をして其内に繁殖せしむるものにして、其製造は左の數期に分たれり。

第一期　清淨なる硬水を用ひ、大瓶内に於いて白糯米を浸し、例へば米十五斗・水二百餘斤の割合にて二十四時間乃至三十六時間浸漬し、吸出せる漿水及び浸出物を除き、再び清水を以て之れを洗滌し、糖・粃・夾雜

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

物等を淘汰し盡すなり。

第二期　洗淨せる米は飯鍋内に入れ、之れを沸騰せる大釜上に置きて熱を加ふなり。鍋の底部は圓形の棕を熱め、米をして漏下せしめず、熱汽を上昇せしむるに便となれり。蒸熱は本飯を搗きて餅となし得るを程度となし、米粒を見ざるを宜しとす、而して之れを熟化と稱す。熟化後飯鍋は木桶上に置き、清水を以て之れを淋洗し、其温度を減退せしむ。而して各鍋の灌水は時間の早晩によりて分量も多少あり、即ち午前に於ける灌水量は四十餘斤、午後の灌水量は五十餘斤を要すべし。漏下せざる水は水桶に入れしめ、若

其温度を調節する所以は、即ち其酸酵を容易ならしむるが爲めなり。

し氣温の極めて低き時は亦再び之れを淋洗用の水に使用するなり。

第三期　淋洗せる米飯は大瓶内に入れ、之れに酒薬を四兩或は五兩加へ、凹形の塔となすべし、然れば二十四時間乃至四十八時間後に至り、其中間に液體の浸出を來すなり。之れ蓋し米中澱粉の已に糖化作用を起せる結果にして、味は甚だ甘美なり、之れを俗に漿凹酒と稱す。此時水百七八十斤を加へ、酒麴四斗を加へ、俗に酒耙と稱する長棋を用ひ、力を竭して之れを攪拌し、然る後蓋を以て大瓶を覆ひ、更らに草薦にて之れを圍ひ、醱酵室に密閉す。室の温度は日々漸次高度を増し、早きは一日、遲きは三四日にて其米飯は水分を吸收し、水面に泡を生ず、然る時は長柄の酒耙を用ひ、大瓶の底部より上部に向ひて再三攪拌し、飯粒をして破碎せしめ、酵素をして十分に作用を逞しふせしむるなり。此等の作業を開耙と稱し、此等の物質を酒娘と稱す。若し濃粥狀を呈すれば、其温度は攝氏三十度内外なり。開耙の回數は温度の高低によりて增減するものにして、高き時は即ち毎日十餘回、低き時は毎日三四回行ひ、八九日經過すれば、其温度は既に低く、時に酒泡を生じ、炭酸瓦斯を發生す、其時醪液の下部は澄み、酒精分は日々增加す、之れ主要醱酵の將に終

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

らんとする時なり。此醪液は俗に淋飯酒と稱し、罎詰となすものあり、又は大瓶内に置くものあり。其醱酵力は甚だ盛なるを以て、釀母となすは甚だ好都合なり、初め製造の時の黴類・細菌は漸次酵母の勢力により制伏せられ、酵母は卽ち盛に繁殖を行ふなり。

釀酒法

製酒　酒酵及び酒麴の製造は造酒の豫備的事業にして、此二者を蒸煮せる米飯及び清潔なる硬水に加へ、卽ち紹興酒を釀造すべし。

紹興酒製造の特點は多量の原料を用ひ、釀母をして一時に醱酵せしめ、優良なる美酒を得るにあり、其製造も亦數期に分たれり。

第一期　白米の精製時代　紹興酒の製造に用ふる米は、紹興地方産の米は甚だしく優良ならざるを以て、無錫・丹陽・金壇・栗河・墅埠地方の優良米を購入す。米は均一的豊肥にして、光澤單純に、外皮薄く、重量硬度は均しく大に、臼搗の時碎米少く、乾燥十分にして炊ぎて美味なるものを以て宜しと爲し、青米・赤米・黒米は共に適用せざるなり。臼搗きは人力或は畜力に依るもの多きも、又精米機を用ふるものもあり。其搗減りは一二割内外にして、皮部の胚膜・胚芽を去り、其内に胚乳を留むる所以なり。而して胚乳・胚芽の合む蛋白質・脂肪は多く酒の風味に害あるを以て、臼搗きの時之れを除去するなり。玆に糯米と糠粃との成分を列記すれば、糠粃中に含まる蛋白質・脂肪の比較的多量なるを知り得べし。

成分	糯米%	糠分%	成分	糯米%	糠分%
水分	一四・三〇	一二・三〇	無窒素化合物	七二・一〇	一四・六七
蛋白質	八・五〇	一二・一〇	纖維質	一・〇〇	二〇・八五
脂肪	三・二〇	一三・八二	灰分	〇・九〇	二六・一五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第二期　白米の浸漬時代　臼搗き既に終れば、又米を風箱に投入して其附著せる糠粃を扇ぎ去り、然る後大瓶に入れ、硬水を加へて之れを浸漬するなり。各大瓶の浸漬米は約一石五斗乃至一石六斗にして、之れに加ふる水量は米層の表面上三寸乃至五寸に達するを以て程度となせり。浸漬時間は米質及び水溫によりて異なれども、甚だ長時間に失する時は米の成分の溶解多く、麴菌及び酵母の生長不良となり。即ち醱酵不良に陷るなり。故に酒酵用の米は約三十六時間を要し、釀酒用の米は約二週間或は三週間にて足れり。浸漬せる後は各種成分稍や水中に溶解し、微生物の繁殖容易となるを以て、蒸煮以前に於いて必ず米の漿水を除去すべし。

第三期　白米の蒸煮時代　蒸煮の目的は澱粉を糊化し、酵素の作用をして容易ならしむるにあり。普通に用ふる蒸器は鍋にして、鍋は即ち木製の大桶より成り、桶の底部は多くの孔を有し、其上には棕線或は毛髮を以て竹を編みたる圓き簾あり。一大瓶の米は二鍋に容るべく、鍋は釜上に置きて加熱しなば、蒸汽は鍋の孔より內部に入り、約三十分間にして米は即ち飯となるべく、飯は竹簞內に入れ、長木杷を用ひて之れを攤開し、其溫度を減ず、溫度減じたれば即ち木杷を用ひて竹籮內に掬ひ入れ、而して釀造用の大瓶中に移し、之れに清水・漿水・酒酵・酒麴を加へ、力を竭して攪拌し、其團塊せるものを均一に散せしめ、醱酵を容易ならしむるなり。而して稻草を以て製造せる大瓶蓋にて之れを覆ひ、大瓶の外部は麻袋・草薦等を用ひて圍ひ、更らに釀造室は密閉し、其醱酵を俟つなり。若し天氣溫暖なれば、即ち防寒具の斟酌は充分ならずとも可なり。

第四期　酒液の醱酵時代　麴及び米飯は大瓶內に投入せる後、水分を吸收して水面に膨起し、大瓶內の溫度漸次高まり、竝に音聲の外溢するに至るべし。耙工は其經驗より、溫度を見て其開耙の時刻を定め、高溫

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の時は毎日六七囘より十餘囘、低温の時は三四囘より六七囘攪拌せり。初回の攪拌時は温度攝氏表の三十度内外の時にして、其後は温度漸次低く、攪拌の囘數も亦減じ、五六日後は主に醱酵行はれ、終りを告ぐるなり。凡そ此攪拌の作業は開耙と稱し、麹・飯を破碎し、酵素をして其作用を逞しくせしむる所以にして、卽ち醱酵を營ましむるなり。醱酵愈盛となれば、氣泡の發生愈多く、醱酵も亦愈强く、往々にして泡層癒合し、炭酸瓦斯の衝破を被ふ事あり。此時大瓶中の温度は高さも攝氏表の四十度を越ゆるべからず、然らざれば卽ち酵母の力は轉形により衰弱するを以てなり。温度の調節宜しきを得ざるは其開耙者の開耙者たる價値無きを意味し、卽ち開耙は一專業に屬し、酒の優劣は實に開耙者の技術に係れり。玆に甲乙丙三種の酒液を擧げ、其醱酵の温度を左に列記す。

中華民國七年 月	日	時刻	室内温度(攝氏)	甲種温度	乙種温度	丙種温度
十二	一七	正午	一五	第一日 三三		
十二	一八	正午	一六	三〇	第一日 三四	
十二	一九	正午	一〇	一七	二二	第一日 三二
十二	二〇	正午	一二	一六	一七	二五
十二	二一	正午	一〇	一二	一四	一八

上表を觀れば、第一日の温度は常に三十度以上、第二日より第五日に至る温度は遞減するを知るべく、醪液の漸次稀薄となるに及び、開耙は停止すべし。此時に至り之れを酒甖に灌ぐものあり、或は大瓶中に貯ふものあり。前者は帶糟と稱し、後者は缸養酒と稱せり。而して其目的は皆後の醱酵作用を營しむるにありて、七八十日後に至り、卽ち搾取して其固形物を分離するなり。

第五期　酒液の搾取時代　酒液の主要醱酵既に畢り、糖分及び糊精日々減少すれば、酒精・酸類は逐次增加

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

するを以て、酒粕を分離せしむる爲め壓搾法を行ひ、沈澱物を脱離せしむる爲めに除滓法を行ふべし。其順序は卽ち下の如し。搾取の時期は醸造家の最も注意すべき事項にして、早きに過ぐる時は卽ち酒の濾過困難となり、澄清容易ならざるなり。遲きに過ぐる時は卽ち糟粕泛しく、香味に害あり。故に普通は開耙の完全に畢りを告げたる後、八九十日經過せる時を以て最も適當なる時期と爲せり。搾取の方法は先づ醪を大瓶中に置き、十分攪拌せる後、之れを絹製袋に流入し、竹の皮を用ひて其袋口を縛す、其袋は長さ三尺餘、徑四寸の圓筒形にして、此絹袋は各酒醪を流入せる後、酒榨上に約百數十箇を積み重ぬ、然る時は自己の重量により、酒液は槽底の溝より大瓶内に流入す。初時は多量の酵母及び澱粉を含有せるを以て、稍や溷濁を呈すれども、其溷濁せる液は再び壓搾を行ひなば、初めて酒の流出となり、其流下の量は漸減し、液體も亦漸次清淨となるべし。卽ち搾蓋を絹製袋の上面に置き、枕木を遞加し、又搾棟の一端を搾柱上に挿入し、其一端に搾石を遞加し、槓杆の作用により之れを壓搾し、約十數時間にて中止す、而して翌早朝袋中の糟粕を倒出し、再び酒醪を流入するなり。凡そ此搾出せる酒液は必ず數日靜置し、浮游物の大半を沈澱せしめ、再び澄清大瓶内に流入す、此時酵母の一部は已に其生活力を失ふも、然かも尙酒中の糖分を分解し、後の醱酵作用を營むを以て、酒の品質を改良す、故に數日間停頓せしめ、其澄清せる上液を取りて之れを加熱す。沈澱のある所は醪缸内に傾入し、再び壓搾を行ふなり。

第六期　煎灌貯藏時代　沈澱物を除去せる後も尙新酒中には無數の微生物あるを以て、久しく貯藏する事能はざるなり。故に須らく鐵釜中に灌ぎ、之れを加熱して酒の變質を防ぎ、且つ凝固性の物質を分離し、其成熟の程度を促進せしむべし。加熱の方法は先づ新酒を釜中に灌ぎ、其口は蓋を以て覆ひ、徐々に熱を加へ、攝氏五六十度に上りたる時、竹匙を用ひて其浮游せる固形物を撈去し、一回沸騰せる後之れを罈内に灌ぐ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

罎は必ず豫め蒸煮し、尚拭ひて乾燥せしむべし、之れ微生物或は水氣の存在は酒質を害する虞あるが故なり。罎口は竹皮を用ひて包み、泥土を用ひて封じ、之れを日中に晒して乾燥せしむ、然る時は卽ち室内に堆存し得べし。數箇月或は數箇年の後は後熟作用の進行により、酒質は日に漸次改良せられ、温雅なる愛すべき芳味を發生し、溪黃明澈の色澤を呈すべし。是に於いて始めて飮料に充つ事を得るなり。

第七期　酒の後熟時代　新酒の味は辛烈にして香氣も亦劣り、飮用に適せざるなり。然れども加熱せる後夏季を經過し、秋季に至れば漸次優良なる香味を呈す、此れ卽ち酒の後熟なり。後熟作用は酒質をして日々優美に進むるものなれば、貯藏愈久しければ、品質愈々佳良となるべし。然れども若し加熱不十分なる時或は醱酵力微弱なる時は、酒中含有の殘存菌・乳酸菌は酸類を増加するを以て、酒質を腐敗せしむる虞れあり。日本は常に硼酸・サルチル酸等を加へて防腐を行ふを以て、衞生上有害なり。

紹興酒の副産物

紹興酒製造の副産物には二種あり。一は糟粕にして、一は沈澱物なり。沈澱物の效用は凡そ三種にして、卽ち

（一）新酒の沈澱物は之れを布袋に詰め、劣變せる酒をして、此れより濾過せしめ、其風味を改善すべし。

（二）新酒の沈澱物は砂糖及び米麥粉を加へて鍋中にて蒸煮し、食料品を作成すべし。

（三）此種の沈澱物は魚肉を煮沸する時、其適量を加へ、以て香味を發生せしむ。

糟粕の效用も亦三種あり、卽ち

（一）酒精分を含有するを以て、酒精・燒酒・食酢を製造する時の原料と爲す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（二）蛋白・纖維等を含むを以て、飼料として用ふべし。

（三）窒素に富むを以て、肥料として用ふべし。

燒酒の蒸餾法

燒酒は酒精に富める飲料にして、普通酒精の含有量は百分中三十一乃至六十二なり。何時代頃より起りしやは已に調査困難なれども、白香山の詩に曰く、燒酒は初めて開けば琥珀光を有すと、即ち赤色にして、今日の如く透明白色にあらざりしなり。元人李宗表は阿剌古酒を稱して詩を作りて曰く、余深く始めて汗酒法を得たり、一以て十に當り味且つ濃厚なりと、即ち眞に今の燒酒なり。燒酒は各地に皆產し、高粱等を原料として之れを製造するを以て、高粱燒の名あり。紹興の燒酒の如きは一名紹燒と稱し、產出少しと雖、價格比較的貴く、其原料は即ち紹興酒搾出後の糟粕を用ひて之れを製造するものにして、之れ糟粕中含有の酒精分なり。製造に用ふる器具は凡そ三種にして、即ち糟甑・錫甑・大壺之れなり。製法は酒粕・籠糠を混和して糟甑中に入れ、之れに熱を加へて蒸煮す、各糟甑の容量は糟粕四十餘斤にして、糟甑の底部には孔を有し、尙其上部には竹製の尖簔ありて蒸汽の接觸面を增大ならしめ、蒸汽は釜より上昇して糟粕を通過し、酒精を揮發せしむるなり。一度水を盛りたる錫甑に至れば、即ち冷却凝縮し、大壺と稱する容器内に溜入す。各糟甑内の糟粕より製造し得る燒酒は十餘斤にして、其初め溜出せるものは酒精に富めども、然かも其他の揮發物の混合せるを免れざるなり。酒粕は絹製袋中より倒にして取出し、出でたる時は竹篩上に於いて破碎し、瓦缸中に投入して踏み、約一二週間放置せる後、即ち蒸餾を行ふなり。亦踏みたる後、固く封じて數箇月後に至り蒸餾するものもあり。其蒸餾し得る酒量は後者の方前者に勝れども、唯作業は稍や手數を要せり。燒酒の優劣は酒精含有量の多少によりて異り、酒精の多少は溫度の高低によりて異なれり。即ち溫度高きに失す

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れば酒精量減少するを以て、錫甑内の温水は宜しく一二回交換して其温度を低減すべし。蒸餾後の酒精は焼糟と稱し、糠粃と混合し、飼料として使用しなば、甚だ適當なるものなり。

附記　原料配合表

酒の種類	糯米	酒麹	酒酵	漿水	清水
京荘	二八四斤	四斗	八〇斤	一四四斤	一四四斤
路荘	二五六	四	八〇	一四四	一四四

原料は品質により、消費場及び醸造家に於いて其増減を行ひ、且つ亦價格の高下及び物品の多少を視て其量を變更するものなり。

（農商公報第百二十七期）

ニューギニア「ナツソウ」山脈の科學的探險

山岸祐一譯

前提

去る一月一日カリホルニヤ大學の有名なる人類學者にして人種學者たるステルリング氏(Matthew W. Stirling)來巴せり。氏は、人類・人種學研究所として世界最大のものたるを自他共に之を認むるスミスソニヤン(Smithsonian)及其の附屬物たるナショナル・ミューゼアム(National Museum)の兩科學研究團より、ニューギニア中央山脈の北方に位するナツソウ山脈の前古未蹈の地に棲息する倭人種の人類・人種學上の研究調査を爲さんが爲派遣されたるなり。

ステルリング氏の本計畫を起すに至りたるは、ウォルラストン氏(Wollaston)の著書「パプア人及倭人」(Papuans and Pygmies)なる書に刺戟せれたるものにして、ウォルラストン博士は世人周知の如く千九百十年一月五日より一千九百十一年四月七日に亙りて行はれたるナツソウ山脈の南側面に位するミミカ河(Mimika)及カムラ河(Kamoera)の兩河流域の第一回英人探險隊の主腦人物中の一人なり。

當時は、本探險の目的たる雪山に到達するを得ざりしと雖も、猶平均身長百四十四・五糎に過ぎざる山腹住民の棲息する高地に見事に到著するを得ると共に、本人種の中央山脈の地方に原住し居るを窺知するを得た

り。今回の米國探險隊の目的とするところは、前記倭人種の原住地――前人未蹈の地――に侵入せんとするにありて、科學上の見地よりしてステルリング氏の、此地を探險地として選定せるは、最も其の選擇の當を得たるものと云ふべく、且つ本計畫の實現は世人の從前より歡迎希望し居たるところなるは言を俟たざるなり。

本計畫の實現方法

本計畫中最も世人の注視に値するところは飛行機の活用なり。飛行機を使用せんとする計畫は既に幾度も企てられたれども、我等をして不明の蕃地調査に飛行機の實用を體驗せしむるは、ステルリング氏を以つて嚆矢とするなり。

ステルリング氏は、曾つてハミルトンライス氏(Hamilton Rice)の南米アマゾン河流域に於けるインデアン族の科學的探險に同伴し、飛行機使用に成功せる經驗者の一人にして、今回のニユーギニア探險に於ても之の方法を以つて大なる効果を擧ぐるを得るならんと豫想せらるゝなり。

本探險は、飛行機にて大なるアマゾンの流域に沿ひ奥地深く侵入せるものなり。ステルリング氏はワシントンにて極く小數の報告書類・地圖及文學圖書を得るを得たるのみなれども、ウオルラストン氏の辿りたる徑路と殆んど同じく南岸より漸次ニユーギニアの奥地に達せんと企て居り、メラウケ(Merauke)に探險隊本部を置き、巴城より汽船を傭ひ探險隊員及飛行機を此地に輸送する筈にして、奥地深くに飛行機の著水地として充分なる幅及深さを有する池又は水面の存在せんことを望み居るなり。

其他の準備は、蘭領印度に於て爲され、又必要なる報告書類も同地に於て蒐集せらるゝ筈なり。

蘭領印度政府の協贊

米國は、植民大臣を介し電報を以つて此の事に對する蘭領印度政府の協賛を求め來りたり。而して、本計畫の充分なる資力を有し且つ純粹の科學的探險に外ならざる事實明かとなりたるに依り、政府は之が許可を與ふると共に探險隊員の絕對安全は保證出來ざるも、出來得る限りの援助を與へんことを約せり。又探險に必要なる飛行機及其の諸器具等も武器・彈藥の輸入許可と共に輸入稅免除せられ、一方濠洲政府は米國探險隊の濠洲領ニユーギニアの上空を飛び且つ必要に應じ著陸するを許可せり。

米國探險隊の組織

探險隊員の顏觸は、科學班エム・ダブリユー・ステルリング氏(三〇歲)。助手エス・エ・ヘッドベルグ(Hedberg)氏(三〇歲)。飛行班としては、第一に丁抹出生にして斯界の達人たる一等飛行士兼機關士たるホイト氏(Hoyte)(二八歲)。氏は、米國一流の飛行士にして八年以來飛行術敎師を爲し居り、ステルリング氏に現今迄約百人の飛行士を提供せり。次に二等飛行士にして熟練なる機關士たるペック氏(Peck)(三〇歲)。氏は米國陸軍飛行士なり。次に一等機關士兼三等飛行士たるハーマー氏(Hamer)(二五歲)。の五氏にして、ペック氏は撮影士を兼ね、同氏は曾て佛國に於て空中撮影術を學びたる人なり。

飛　行　機

飛行機は、米國の世界一週飛行機乘組員の指導に依り、特に本探險の爲に建造せられ、複葉・金屬製(ドロアルミニウム)にして「ヤッキー・リバテー・ブレグエット」形四百馬力の發動機を具ふるものなり。又本機は、陸上用として使用し得る樣二箇の車輪を有すると共に、水上用にも簡單に變造するを得る佛國製機なれども、水陸兩樣機に非ざるなり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

翼の長さ四十八呎十吋、陸上機として最高昇騰力二萬五千呎、水上用と爲す時は二萬呎、速力一時間百哩、續航距離七百哩、百五十ガロンのガソリンを輸送するを得るなり。

又約二千封度（一封度は〇・四五四基瓦）の積載量を有し、傍ら六人の乘客と若干の食料を共に輸送するを得るなり。東印度に輸送の際本機はシカゴ、サンフランシスコ間のロッキー山脈を一氣に飛びたる優秀機にして、且つアマゾン河に沿へる飛行にも本種の飛行機を使用したるものなれば、ステルリング氏は、其の經驗よりして、ニューギニアに於ても同樣に此の二千基に近き重量を有する機體を、使用後水面より引揚げ其の上に帆布を掛け置くを得るならんと思考し居るなり。又傾斜並に斷崖の場所に於ても之を可能ならしめんが爲、二人にて操縱し得る起重機を携帶し又有ゆる豫備器具をも持參する筈なり。

其他の準備

蕃地へは、人類學調査器具以外、活動寫眞機及寫眞器を携帶し、其他は爪哇にて護身上の萬端を整ふ事となり居れり。

ステルリング氏及當領當局及專門家との打合せ

爪哇に到著以來、ステルリング氏はバイテンゾルグに政府一等書記官を訪ひ種々彼の計畫に關し談ずるところあり、書記官は、彼に彼の計畫の實現には多數の困難伴ひ、其の實現の殆んど不可能なるを說きたり。更にバタビヤに於ては、ステルリング氏はスヒリケ氏（Schricke）に彼の計畫を赤裸々に明し、彼より非常に有益なる專門的說明を受けたり。又フアルケンブルグ氏（Valkenburg）は彼に測量部の作成に係る本島の最も精密なる地圖を提供し、是を以つてステルリング氏は非常に滿足し居るなり。右の見聞に依り、ステルリング

氏はニユーギニアの如き土地に入込むの甚だ困難にして幾多の難關に遭遇するの必然なりとの概念を腦裏に得たれども、飛行機を以つて決行する本探險計畫には、二、三月を費して之を愼重考慮する時は、可能性の多々存在するを納得せり。

ステルリング氏は、政府當局者及專門家の有力なる援助なくしては本計畫の準備不可能なるを悟り、其間スヒリケ氏はステルリング氏に對し從來最も蘭領印度の科學的探險に從事し主として自ら之を行ひ且つ外來の探險家に援助を與へ、行程を指示するを目的とする印度科學研究調査委員の後援を受けては如何との勸告を爲したり。

蘭領印度科學研究團の米國探險隊に參加

其後間も無く、ステルリング氏は彼の探險隊に優秀なる蘭國製圖師を同伴せしめては如何との提案を爲したり。卽ち是に必要なる智識を有するベック氏の申出に依り彼に必要なる空中寫眞を作成せしめ此の空中測量と連絡して爲す時はより良き蕃地の見取圖を作成し得るの大利益ありと思考したるが故なり。

又スヒリケ氏も蘭國側よりコーネンクリケ・バタビヤ・ミユーゼアムの必要とする人種學研究材料蒐集竝にシユミツト(Schmidt)氏等の研究し居る人種、又は現今人種科學上の問題として盛んに研究され居り且つ本探險隊の探險區域に棲息すると稱さるゝ倭人種に關する報告の蒐集に相當專門家を同行せしめん事を切に希望し居るなり。

ファン、レーオウエン(Van Leeuwen)氏は、生物學者を同探險隊に同行せしめんことを要求し、植物學者及動物學者は探險地の全く未踏の地なれば、該高山の探險に依り特種の植物を發見するやも知れず、傍ら前

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

回の探險に於ては事情に依り何等之等を蒐集するを得ざりしが故なり。

ステルリング氏は前記蘭國科學研究家の同行に何等異議無く寧ろ之を非常に歡迎し居り、印度科學研究委員に、斯る協同組織の下に彼の計畫を實現成功せしめんが爲め本計畫に對する萬端の準備及之に關する當局との交渉、及び專門家の物色方等を依頼し來たり、閲覽に供せられたる參考圖書に依り種々研究を重ねつゝあるなり。

印度委員の準備行動

ステルリング氏のバタビヤ到著後、一週間して前記委員は、彼に飛行機にて探險目的地に到達するに最も實現可能性多き經路の大要を說明し、ステルリング氏は後に說明せんとする經路を辿ることに雙手を擧げて賛同せり。前記委員は本米國探險隊並に蘭國側より之に參加したる場合、政府は如何なる程度の援助を與へんとする意向なるやを確めんが爲、ファン・レーオウエン氏は、總督に私見し、政府の正式援護を受くることに決著せり。

其他海軍部長及陸軍部間との交渉を重ね、本交渉には北部ニューギニアの軍事探險に重きを爲したる海軍中佐ドールマン氏、(Doorman)及び第一回英國南部ニューギニア探險の警備隊長たりし陸軍中佐クラーメル氏(Cramer)等出席せり。ドールマン氏は、猶非常に有益なる說明を爲すと共に該委員にそれに必要なる有ゆる利便を與へんことを約せり。

探險地勢に就て

探險隊の目的地はカルステンツ(Carstensz)峰、イヂンブルグ(Idenburg)峰及ダルヴェン(Darwin)峰の分水

嶺の北方に橫はれるナッソウ山脈の暗黑地帶の一帶の地にして、中央山脈は世人周知の如く一般に東西に廣がり居る山脈なり。此等山脈は舞臺翼の如く交互に錯綜し、北方竝に南方に流るゝ河川に依り切斷され居るなり。

東より西方に流るゝロウフアエル(Rouffuer)及びフアン・ダーレン(Van Daalen)河の平野(海拔五十米)より本兩河に竝行する中央山脈の前山脈にして平均三千五百米の高さを有する山脈に達す。而して前記平野は曾つて千九百十三年より十五年に亙る陸軍探險隊に依り十分に調査せられたる所なり。

ロウフアエル河よりは、中央山脈殊にカルステンツの峻峰(海拔五千米)を遠望するを得ると同時に前山脈は一目瞭然手に入る如く見るを得るなり。

ドールマン氏は、本前山脈の一部たる二千六百五十米の地點迄到達するを得、同地點よりは、ナッソウ山脈の諸連峰、カルステンツ、イヂンブングの峰及びワイランド山脈(Weijlandgebergte)を最も良く觀測するを得たり。其の前に橫たはれる前山脈連峰は、本兩山脈及中央山脈間に位する地帶の展望を妨害し居るなり。本地方の調査研究は準備中の今回の探險隊の目的とするところなり。

同時に同處より東西に走る地域は全然未踏の地にして、東方はスワルト谷(Swart-vallei)其の行手を遮り、ウキルヘルミナ山の北方は千九百二十年より二十二年に亙る探險に依り調査せられたる地域にして、西方は既に調査されたるワイランド山脈に連なる。

ドールマン氏の二千六百五十米の地點迄到達せる前山脈は、彼の研究に依れば中央山脈に連なり居るものゝ如く、本地點より東部のみロウフアエル河の上流に存する峽谷に依り遮斷せられ、本河流は平野に大瀑布をなし落下し居るものならんと。而して、ドールマン氏の展望し得たるロウフアエル河の上流溪谷には土民

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

住居し居るを確め得たる事實は大に價値あるものにして、彼は望遠鏡を以て河に沿へる海拔千五百米の傾斜面に淡綠色の庭の中に人家ありて其れより煙の立昇り居るを見たる由なり。此を以つて是を見れば南方のミミカ峽谷及び北方のスワルト谷には例の倭人の棲息し居るは明かなる事實なりと推察せらるゝなり。又彼に依ればロウフアエル河の附近には至る所パプア人種散住し居れども前山脈の二千六百五十米の地點よりロウフアエル河に至る地帶は無人境なる由なり。故に、今回の探險も此のロウフアエル河の上流地帶に行はるゝは確實にして、ヘールフインク灣の東岸に注ぎ廣く且つ水量豐かなるワポガ(Wapoga)ワレナイ(Warenai)シリウオイ(Siriwai)の諸大流は大流域を作らず、ロウフワエル河の支流A及ワポガ河との分水嶺は二千二百米の高地點より三千三百米の高地を經由してワイランド山脈に殆んど一直線に引きたる直線上にあるものと思考さるゝなり。

探險すべき高山脈中には、峻嚴なる斷崖及深き峽谷等の存することと豫想せらるれども、前山脈及四時雪を戴き居る最高山脈との間には多少に拘らず高原を爲し居るものと推察せらるゝに依り、分入るに不可能なることなかるべしとドールマン氏は確信し居るなり。而して、出發すべき探險隊は海拔千五百米より三千米に亙る間一歩は一歩を追ひ益々困難なる山脈地帶を踏査せざるべからざるは豫め覺悟し居らざるべからざるなり。

探險地帶に侵入すべき徑路

本計畫の全般に亙る概念を得ん爲め、本計畫綜合に便益を與ふる特種事情及經驗を說明すると共に、何れの探險隊が新探險の目的地に最も接近したるやを簡易に說明せん。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

陸軍部の編纂に係る「千九百七年より十五年に至る蘭領ニユーギニヤの陸軍探險の顛末」と稱する書物に依るに、南岸よりは雪嶺に達せんとの目的を以つてせる第一回及第二回英國探險隊の辿りたる二路あるのみにして、第一回英國探險隊に參加せる人物の主なるものは、隊長兼動物學者ダブリユー・グツトフエロー氏(W. Goodfellow)、軍醫エー・エフ・アール・ウオルラストン氏(A. F. R. Wollaston)、ヂー・ヂー・シヨートリツヂ氏(G. G. Shortridge)、動物學者ダブリユー・スタルカー氏(W. Stalker)、地形學者シ・ジー・ローリング大尉(C. G. Rawling)及醫師マーシヤル氏(Marschall)なり。

警備隊長として歩兵中尉クラーメル氏(Cramer)あり、千九百十年一月五日ミミカ(Mimika)河を溯り宿營本部をワカチミ(Wakatimi)に定めたり。而して雪嶺に至る迄は、猶相當の距離ありたりと雖も非常なる好成績を納めたり。ミミカ及カムール河に依りてのみ山中に入りたるのみならず又前記高原に於て流域を拔渉し倭人種に接するを得たるなり。探險隊は病氣の爲め非常に惱まされ、不幸にもスタルカー氏は溺死し、隊長は病氣の爲千九百十年十月歐洲に歸還するのやむなきに至れり。

其後探險隊はローリング氏指揮の下に探險を繼續し、千九百十一年四月七日再び船にて歸還せり。幸福なりしことには前記千九百七年より千九百十五年に至る陸軍探險顛末書に刺戟され第二回の英國探險、馬來聯邦のコアラ、ロムプール(Koeola Loempoer)ミユーゼアム館長シ・ボーデン・クロツス氏(C. Boden Kloss)の援助を得て、ウオルラストン氏指揮の下に企てられたる事なり。彼等は山脈登山の好進路を知り居るフアン・デル・ビー(Van der Biē)中尉のオタクワ地方(Otakwa Gebied)偵察記を利用し、全くフアン・デル・ビー氏の取りたる進路と同進路を辿り、短期間にして山地に到達するを得たり。其後食料品の缺乏に依り歸途に就くの餘儀なくせられたるに際し、警備隊長フアン・デ・ワーター中尉(Van de Water)は彼の食料を提供し之が計畫を續行

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

せしめたるが故に千九百十三年一月三十日遂にカルステンツ山の麓に達するを得たり（千九百十二年九月十六日オタクワを溯航してより三箇月半後）。直立せる絶壁及氷山の頂上に至る彼等の行手を遮りたれば、最初に雪山に到著せるファン・デ・ワーター中尉、ウォルラストン氏及ボーデン・クロッス氏は下山するを餘儀なくせられ、結局五千米の高さを有するカルステンツ山頂には到達するを得ず頂上を去る五百米の地點に達せるのみなりき。

ヘールフインク灣の東岸に於ては、ワボガ、ワレナイ及シリウォイの諸川は千九百十二年四月より八月に至る期間を以つて北部ニユーギニア分遣隊に依り調査せられ諸河川の舟運の便は頗る短く、直に困難なる高山に出會し其都度歸還するを餘儀なくせられたり。ヘールフインク灣より出發する探險隊の內最も成功せるは、千九百十三年四月より六月に至るテン・クローステル（Ten Klooster）大尉の爲せるワイランド山脈の頂上に達するを目的とせる登山なれど、本探險の結果を見る時は（千九百七年より十五年に至る陸軍探險隊の顚末書第二百三頁乃至二百六頁參照）該山脈登山の最も地形上困難なるを見るを得るなり。故に前回の探險隊の經驗せる進路は又不適當と見ても差支へなきなり。

テン・クローステル大尉はワイランド山脈に依り三千七百米の高地に達するを得たり。本地點よりは、ヘールフインク灣及カルステンツ峰を一目瞭然と視界に納むるを得れども、今回の探險の目的地を展望するを得ざりしなり。

今回の探險隊の取るべき最も有利なる進路は、マンベラモ河流（Manberamo）を通過するにありて、初めてマンベラモ流域に深く分入りたるはフランセン・ヘルダルスヘー大尉（Fransen Herderschee）にして、同氏は千九百十年一月北部ニユーギニア陸軍探險隊と共に之を決行したるなり。其の進路はファン・デル・ウィリヘン

(Van der Willigen)及ファン・ダーレン(Van Daalen)河を航行し、毎日平均十七基米進み行き三月二十二日ルストオールド(Rustoord)に到着當地に多數の病人を保養せんが爲十七日間休息せり。此の事に關しては、一九〇七年より十五年に至る陸軍探險隊の顛末書中に次の如く掲げあるなり。即ち三月九日再び行進を開始し、同十八日トラジャ(Torndja)及ルール(Rühr)兩河の合流點を通過し、其後當地に食料倉庫(傷病人宿營所)を建造せり。此處に於てトラジャ河の舟行猶ほ可能なるや否やを調査したれども、以後陸路を辿らざるべからざるを發見せり。這は三月二十七日の事なれども、四月二日偵察隊の一部は八百五十米の高度に達したる後歸路に就くを餘儀なくせられたり。而して脚氣病及マラリヤに罹る者隊員中より續出し逆戻りする外術なかりしなり。四月六日病人宿營所より分遣隊長出發し、同八日バタビヤ宿營所に到著せり、之より見る所は、バタビヤ宿營所より病人宿營所に至る距離即ち溯航に二週間を費したる距離は單に二日半にて下り得たるなり。

此處に奇異とすべきは、フランセン・ヘルダルスヘー氏の引率せる探險隊に隨行せんとせる人類學並に人種學研究者たる獨逸人マックス・モスコースキ博士(Dr. Max Moskowski)の探險にして、本探險隊の歸還に依り彼の計畫を實現するを得ざりしが、彼は之にて落膽せず、歐人一人スマトラ人四人及爪哇人一人を從へボートにてマンベラモ河を遠く溯航せんことを企てたり。小さきボートは案の如く轉覆し、乘組員は丁度運良く其處を通行せる政府所有汽船「ペリカン」及「パイオニーヤ」號に救助せられたり。然して救助されるや否や直にモスコースキ氏は再び彼の計畫事業を繼續し、三人の基督教を歸依せるパプア人を增員し、ハアビク島(Havik eiland)に根據地を置き、彼は病人宿營所を去る南十五基米、西十四米の地點に達し、個人として大成功を遂げたり。本進路は、又今回の探險區域にも達するを得、且つ山脈に分入り山地住民を發見するに容易なる進路にして、彼は無事マヌクワリに歸還せり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

千九百十四年に至りオッパルマン大尉(Opperman)指揮の下にマンベラモ地方の大偵察行はれ、ロウフアエルの大河に沿ひ内部に侵入する役割はスュルツ大尉(Schultz)、海軍少佐ドールマン氏、ストローフエ氏(Stroeve)及び陸軍少尉イルゲン氏(Ilgen)に課せられたり。六月三日一隻のモーターボート及十五隻の端舟と共にパイオニーア宿營地を出發せり。距離を良く了解せん爲め次の道程表を示さん。

六月三日	パイオニーア宿營所出發	九日間
六月十一日	バタビヤ宿營所到着	
六月十二日	バタビヤ宿營所出發	五日間
六月十七日	ロウアイル河源泉地到着	
六月十八日	……	七日間
六月二十四日	モーター宿營所到着	
パイオニーア宿營所・モーター宿營所間		二十一日間

湖沼を巧に利用し端舟の航行は、パイオニーヤ宿營所よりバタビヤ宿營所に至る距離を一行に後れて一定の速度を以つて溯り、四日間にして航破し、下りには僅か八時間を必要としたるのみなりき。其間ストローフエ氏は、支流Aを偵察し、ドールマン氏は主流を辿り(ロウフアエル川の上流)二千六百五十米の高度まで達するを得、此の地點よりせる彼の觀測は既に之を記述せり。千九百十八年度發行に係る「地球及住民」なる雜誌に「メーアフラックテ」(Meervlakte)地方に關する興味ある詳細なる記事ランゲラル氏(Langeler)及ドールマン氏に依り掲載され居り、其の中に掲ぐる端舟の溯航距離は次の如し。

上り

モーター宿營所——スプリッツィング宿營所……一日半間
スピリッツイング宿營所——支流の接合點……三日間
支流B——第一端舟宿營所……一日間

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第一端舟宿營所——第二端舟宿營所……一基米突
モーター宿營所——第二端舟宿營所……五日間
下り
第二端舟宿營所——モーター宿營所……一日間

ドールマン氏の陸路運送

第二端舟宿營所に至る行程、即ち高度二千六百五十米迄の行程は、八月一日より同二十六日に至る時日を要し、二千六百五十米の高度より端舟宿營所に至る歸路は、九月一日より除行を開始し同月四日に端舟宿營所に歸著せるが故に三日間を要したる譯なり。

最後にストローフェ氏及イルゲン氏のロウファエル河よりヘールフィンク灣に至る行程を記述せんに、八月十七日本地方を横斷せんが爲めロウファエル河の溯航を開始し、八月二十六日二千二百米の分水嶺を通過し、ワポ河の發源を爲す小川に到達せり。又九月七日イルゲン氏は、彼の主部隊を引卒し本河流の河口に達し、此地に於て偵察を繼續し居たるストローフ氏は獰猛なるパプア人の襲撃に遇ひ、勇敢に應戰したる後殺害されたる事實を發見せり。之を以つて是を見れば、ヘールフィンク灣よりロウファエル河の溯航は最も困難を感ずる徑路なるを窺知するを得るなり。

米國探險隊の目的

以上探險地帶の地形に關する簡單なる説明及前回に行はれたる本地方の偵察旅行の結果よりして、本計畫の大要を知るを得るなり。

米國探險隊員の最大目的とするところはナッソウ山脈の北方に住居する倭人を發見すると共に、其れに關

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

する人類及人種學上の研究を遂げ、出來得べくんば、彼等の博物館に提供すべき人類學上の參考材料を蒐集せんとするに在りて、此地に該人種の住居し居る事實判明し居るが故に、空手にて歸還するが如き事萬無かるべしと想像せらる。其上、東西に同隊の活動するに於ては猶一層多くの住民に遭遇すること必然なり。

飛行機に依らざる進路の選定

次に、同隊の取るべき飛行機に依らざる最良の進路は、三方に開け居るなり。第一進路は、南岸ミミカ又はカムール河を溯り海拔四千米乃至五千米の中央山脈を通過せんとするにあれども、本目的を達するには餘りに過剩の勞力を要するが故に、之を採用するを得ざるは明かなる事實なり。

第二進路は、ヘールフインク灣の南岸又は東岸よりワイポガ・ワレナイ・シリウォイ又は他の河川を溯航するにあれども、前回の陸軍探險隊の經驗を有する通路卽ちワイランド山脈よりファン・レース山脈(Van Rees Gebergte)に至る行程は、非常なる困難に遭遇し且つ長日月を要する缺點存するなり。

第三進路は、ドールマン氏の取りたる進路と同一なるマンベラモ河——ファン・デル・ウイリヘン河——ロウフワエル河を通過するか、又はフランセン・ヘルデルスヘー氏の取りたる同一の進路たるマンベラモ河——ファン・デル・ウイリヘン河——ファン・ダーレン河——トラジャ河を通過するにあり。此の兩進路の內後者は、端舟の便尠なく且つトラジャ河を涉り住民の散在するロウフアエル河の上流に達するには一方ならぬ勞力を要するが故にロウフアエル河を溯航するの遙に便利にして、且つ其の目的地に到達するに最も容易にして又最も安全なる道程なりと思考せらるゝなり。(以下次號)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島　情

大正十五年度臺灣總督府豫算

大正十五年度臺灣總督府特別會計豫算は、第五十一回帝國議會を無事通過した。この本年度總督府豫算は政府の方針に基いて、前年度同樣緊縮方針に依つたのであるが、本島は內地に比し特殊の事情もあり時代の進運に伴ひ文敎、水利、交通竝に產業等の施設に關する經費で緊急巳むを得ざるものは可成之を計上し、新規事業は多岐に亙るを避け最も重要なるものに集中する方針の下に編成し、議會の協贊を經たもので、其の歲入歲出各總額は九千九百七十七萬五千二百六十六圓で之を前年度豫算額八千九百八十六萬五千九百十圓に比較すると九百九十萬九千三百五十六圓の增加である。今其の內譯を示せば

▲歲入經常部　(九三、五六九、五五三円)

第一款　租　　税	一五、五五四、九〇七円
一、地　　租	五、三九八、六二三
二、製　茶　税	三八〇、六七五
三、砂糖消費税	一、六三三、五四七
四、酒　精　税	二、八〇五、五一〇
五、鑛　區　税	三三〇、〇一八
六、織物消費税	一、二七七、八六六
七、所　得　税	一、九〇四、五九四
八、關　　税	二、八五八、〇五二
九、噸　　税	四八、三八五
十、臺灣銀行券發行税	九七、七五八
第二款　官業及官有財產收入	七〇、九五二、三八七
一、郵便電信及電話收入	三、九三二、〇八六
二、鐵道收入	一七、一三八、六九四
三、專賣收入	四七、二五七、四四三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四、森林作業收入	三,六七二,〇七八
五、醫院收入	七三〇,四一九
六、教科書收入	二三五,八八二
七、度量衡收入	二六二,四五四
八、刑務所收入	三五五,九二八
九、森林收入	三六二,一六三
十、官有地小作料	八二七,八〇八
十一、官有物貸下料	一八八,四〇二
第三款　印紙收入	二,二七五,一〇八
第四款　雜收入	八〇七,〇九一
一、免許及手數料	八,一〇四
二、徴罰及沒收金	四一三,三三九
三、税關雜收入	一八,〇二三
四、辨償金	一〇一,五一六
五、大藏省預金部特別會計より受入	七五,〇〇〇
六、雜入	一九一,一〇九
▲歳入臨時部	(六,一八五,七三三)
第一款　官有物拂下代	三五六,七三一
第二款　雜入	一七
第三款　公債金	三,〇〇〇,〇〇〇
第四款　貸付金利子收入	一五六,二六〇
第五款　前年度剩餘金繰入	二,六七二,七二五
△歳入總額	(九九,七七五,二六六)
▲歳出經常部	(七六,一八八,五七九)
第一款　神社費	三一,〇〇〇
第二款　總督府	二,一三七,八四三
第三款　地方廳	一三,四七八,七〇六
第四款　税關	四六九,七二二
第五款　法院	九二七,五三四
第六款　刑務所	一,〇二〇,六〇五
第七款　警察官及刑務官練習所	一八九,七八四
第八款　醫院	一,〇五三,九九四
第九款　中央研究所	八七二,五七九
第十款　教育費	三,一〇〇,三一〇
第十一款　社會事業費	一二六,一四九
第十二款　交通局	一三,九二九,八四四
第十三款　專賣局	二八,〇八八,八四三
第十四款　森林作業費	三,一九三,三一一
第十五款　國債整理基金特別會計繰入	四,五八一,八六〇
第十六款　諸支出金	九八六,五〇七
▲歳出臨時部	(二三,五八六,六八七)
第一款　事業費	一一,六〇六,九九七
第二款　大學創設準備費	二四九,八六八
第三款　勸業費	一,三五〇,九六八
第四款　補助費	四,九四一,九六三
第五款　酒專賣創業費	六二八,八九一
第六款　嘉南大圳組合工事費貸金貸付金	四,八〇八,〇〇〇
△歳出總額	(九九,七七五,二六六)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

であつて、尙ほ此の外臺灣官設鐵道用品資金特別會計豫算として三百萬圓を計上して居る。

更に十五年度總督府豫算總額と前年度のそれとの比較竝に新規要求及前年度豫算に比し增加したものの中主なる事項及び金額を擧ぐれば

△大正十五年度臺灣總督府歲入歲出豫算の總額及前年度豫算に對する比較增減

區分	十五年度豫算額	十四年度豫算額	比較（增△減）
歲入經常部	九三、五八九、五三三円	八七、〇〇〇、一七一円	六、五八一、三六二円
同　臨時部	六、一八五、七三三	二、八五七、七三九	三、三二七、九九四
普通歲入	五一三、〇〇八	六六三、四九八	△一五〇、四九〇
公債金	三、〇〇〇、〇〇〇	—	三、〇〇〇、〇〇〇
前年度剩餘金繰入	二、六七二、七二五	二、一九四、二四一	四七八、四八四
計	九九、七七五、二六六	八九、八六五、九一〇	九、九〇九、三五六
歲出經常部	七六、一八八、五七九	七四、四九五、四九三	一、六九三、〇八六
同　臨時部	二三、五八六、六八七	一五、三七〇、四一七	八、二一六、二七〇
計	九九、七七五、二六六	八九、八六五、九一〇	九、九〇九、三五六

△大正十五年度歲出中新規要求に係るもの及前年度豫算に比し增加したるものの中主なる事項及金額

臺南神社列格の爲め要する經費	六、〇〇〇円
總督府に文敎局設置に要する經費	六〇、三三三
澎湖廳設置に要する經費	四三、〇〇〇
員林登記所設置に要する經費	三、四四二
警察官語學講習費	九、六八八
大學創設準備費	二四〇、七四三
臺南高等商業學校新設に要する經費	四〇、二七九
宜蘭農林學校新設に要する經費	一三、六七七
臺北第二師範學校開設及諸學校學級增加に要する經費	一八五、〇六七
諸學校軍事敎練實施の爲めに要する經費	三四、九四五
鐵道事業の增進に伴ふ經費	八一九、一八五
遞信事業の增進に伴ふ經費	一四七、八六八
專賣事業の增進に伴ふ經費	一、三〇八、〇一三
東部地方開發計畫に要する經費	六二、三七二
灌漑及排水事業計畫に要する經費	一四三、八〇六
治水事業計畫に要する經費	九四、七二七
鐵道改良の增	四四四、一六〇
高雄築港費の增	一八〇、〇〇〇
大正二十三年度迄總額九、八五三、五四三圓を追加す	
縱貫道路橋梁費の增	四四四、一一六
大正二十四年度總額一二、八一〇、四五五圓の計畫とす	
招魂社新營費	九〇、〇〇〇
臺北郵便局新營費	三三九、四四三
大正十七年度迄總額六八九、七八九圓の繼續費とす	
臺東水道敷設費	八三、〇〇〇
大正十七年度迄總額四五六、〇〇〇圓の繼續費とす	

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大學新營費　四四八、九八四
　大正二十年度迄總額二九〇、八二〇圓の繼續費とす
巡查官舍其他新營費　一五三、五〇〇
基隆港曳船新營費　一六三、〇〇〇
主要物產販路擴張に要する經費、　一三三、五〇〇
鳳梨獎勵に要する經費　二四、五二〇
內地種米改良獎勵に要する經費　二六、九二五
植物檢查に要する經費　二二、五六八
移出米檢查統一に要する經費　一三六、一三〇
肥料檢查に要する經費　三二、七四五
漁業獎勵に要する經費　五五、〇〇〇
腸チブス防遏に要する經費　三八、三三六
養豚改良獎勵に要する經費　二〇、〇〇〇
漁業移民獎勵に要する經費　三二、七〇三
嘉南大圳組合工事費資金貸與に要する經費　四、八八〇、〇〇〇
　大正十八年度迄に總額一四、四六四、〇〇〇圓を貸附の計畫とす
內臺間航路短縮高雄大連間航路新設及其他航路整理に關する經費　一三〇、〇〇〇

等である。右の內

△文教局設置　は總督府に新に文教局を設置し、文教政策に新生面を開き、學校教育其他社會教育等の方面に亙り、之が實質上の大刷新を期せんとするものである。

△內臺航路時間短縮　は內地臺灣間航路に於ける大型船は航海日數を一日短縮して、內臺間の距離を接近せしめ貨客の便を計らんとするものである。

△東部地方開發　灌漑排水事業及治水事業等は何れも急務に屬するので、本年度に於て之が調查計畫を樹てんとするものである。

△橋梁架設　本島縱貫道路は土工丈は大體成つて居るが、之を連結する橋梁がなく、其の效用を充分に發揮することが出來ない。依つて本年度から向ふ十箇年間に總工費千二百萬圓を投じて完通を期せんとするものである。但し下淡水溪と濁水溪とは非常な大工事であるから第二期計畫に讓つた。

△各種產業施設　產業方面では本島現下の實狀に鑑み鳳梨・內地種米・漁業・養豚の改良獎勵・肥料植物及移出米の檢查・主要物產販賣擴張等相等意を用ひんとするものである。

△高雄築港　高雄築港は本年度が繼續費の最終年度であるが、既往に於て物價騰貴の爲め豫定の工事が出來なかつたので、本年度に於て總額九百八十五萬圓を追加し大正二十三年度迄に完成する計畫である。

△嘉南大圳組合貸附金　は同組合に對し本年度から四箇年間に千四百餘萬圓を政府より貸附け、更に大正十六年度から四年間に亙り主として公債に依り千二百八萬餘圓を増加補助し、組合をして殘餘工事を進ましめ以て所期の效果を擧げしめんとするのである。

臺灣金融統計（大正十五年一月）

財務局金融課

□銀行預金貸出金殘高

大正十五年一月末島内各銀行預金貸出金殘高左ノ如シ

種類	金額	種類	金額
公金預金	四、五九三、三七〇円	預金手形	二、三三八、七七七円
當座預金	一三、四六六、二四五	日本銀行預金	三、九七四、四八三
特別當座預金	五三、一三八、九〇三	貯蓄預金	五、〇四〇、三九二
通知預金	二、〇一七、〇三〇	合計	一〇三、六三四、四二五
定期預金	一五、四三九、〇七四	前月	一〇三、一一三、一五九
別段預金	三、六二六、一五一	前年同月	九五、五八五、一一三

種類	金額	種類	金額
證書貸付	六九、八七九、七九三円	買入外國爲替	二、一五五、三七〇円
手形買付	四八、八一七、三九三	日本勸業銀行貸付	五三、七八九、二二七
當座貸越	二、九一六、五九六	貯蓄銀行貸付	一、〇六三、七〇〇
割引手形	一〇、九二五、〇四五	合計	二〇三、二四四、四六五
荷付爲替手形	一三、〇四二、〇一一	前月	二九一、七七三、四六九
利付爲替手形	六五五、三三〇	前年同月	二九二、三〇四、五七八

備考　日本勸業銀行貸付ニハ臺灣銀行取扱ノ代理貸付ヲ含ム

之ヲ地方別ニ示セバ左ノ如シ

州廳別	預金	貸出金
臺北州	五五、六三七、三五八円	一八〇、三三三、八一九円
新竹州	六、一二六、四三八	一八五、一六七、〇一
臺中州	一六、五四七、一〇八	三三、三三二、八六五
臺南州	一五、七九一、八五三	三七、六七五、三三九
高雄州	七、一〇八、一八八	一九、九五五、五一五
臺東廳	三六一、一九五	二、六〇九、二六八
花蓮港廳	一、〇六三、二八五	一、〇六三、一〇八
合計	一〇三、六二四、四二五	二九三、二四四、四六五

□銀行別重要物産放資殘高（一月）

銀行名	大正十五年一月末 金額	大正十五年一月末 千分比	前月末 金額	前月末 千分比	前年同月末 金額	前年同月末 千分比
臺銀	六三、九四九、二二七円	七八五	六〇、二五八、九六一円	七七二	五八、三五四、一八五円	七五一
商工銀	五、六〇六、九八一	六九	五、四六九、四五二	七〇	四、八三一、一六三	六二
華南	五、〇二二、六五六	六二	五、四五一、一八六	七〇	六、八四二、七七二	八八
彰化	三、九五五、一五五	四八	三、七四七、三四一	四八	二、八八六、四五〇	三七
三十四	二、九八二、五六二	三六	三、一五一、一五六	四〇	四、八二二、六一八	六二
合計	八一、五〇六、五七一	一、〇〇〇	七八、〇七八、〇九六	一、〇〇〇	七七、七三六、二四七	一、〇〇〇

□重要物産別銀行放資殘高（一月）

品名	大正十五年一月末 金額	大正十五年一月末 千分比	前月末 金額	前月末 千分比	前年同月末 金額	前年同月末 千分比
砂糖	五五、五五九、八七九円	六八二	五〇、一六四、九九八円	六四二	四四、八二四、〇三三円	五七七
米	一五、三三三、八九二	一八八	一六、〇〇五、四一二	二〇五	二〇、三九八、六〇七	二六三
茶	二、六一七、九一八	三二	三、四五〇、七九三	四四	二、三六七、三一三	二八
樟腦	七〇二、六三四	九	八五四、五一八	一一	一、六二二、八一三	二二
金塊	五六〇、九八四	七	五六〇、九八四	八	四〇二、一九七	六

酒精	[illegible]	一	二九[illegible]	[illegible]	二四四,七〇四	[illegible]
石炭	六,四九八,四二九	七九	六,七四七,九四六	八六	七,七七七,五五一	一〇一
合計	八一,五〇六,五七一	一,〇〇〇	七八,〇七八,〇九六	一,〇〇〇	七七,七五六,二四七	一,〇〇〇

□銀行別重要物産放資總額及累計（一月中）

銀行名	大正十五年一月中	前月中	前年同月中	大正十五年一月迄累計	前年一月迄累計
臺銀	円 二六,一四三,一五九	円 三一,八〇〇,一五八	円 二四,四〇三,七八二	円 —	円 —
商工	一,八三八,七三九	三,三〇八,四七二	一,三五六,九〇七	—	—
華南	六,三五四,六六八	九,三八六,六八一	六,五四〇,一〇五	—	—
彰化	二,五四九,一一四	一,七五八,六五九	二,一九一,五七〇	—	—
三十四	一,九一五,六一七	二,八〇三,三一五	四,〇五七,〇五三	—	—
合計	三八,七〇一,二九七	四九,九五七,二八五	三八,五四八,四一七	—	—

□重要物産別銀行放資總額及累計（一月）

品名	大正十五年一月中	前月中	前年同月中	大正十五年一月迄累計	前年一月迄累計
砂糖	円 二,七二六,五三七	円 二七,四三〇,三三七	円 一八,三六六,〇九六	円 —	円 —
米	一二,八五三,八八六	一九,一九九,六二二	一六,〇一四,八一四	—	—
茶	六五一,九九二	七七四,五三〇	一,〇二八,二四二	—	—
樟腦	八三五,五〇一	六一一,五三六	八九一,二二六	—	—
金塊	四八五,六八四	六五五,〇〇〇	二六九,八八七	—	—
酒精	一二八,四二七	二八一,五一一	六七,一八五	—	—
石炭	二,〇二七,二八〇	二,一四四,七七〇	一,九一〇,九七七	—	—
合計	三八,七〇一,二九七	四九,九五七,二八五	三八,五四八,四一七	—	—

□市街地信用組合事業一覽表（大正十五年一月末日現在）

（其の一）

州廳別＼種別	組合數	組合員數	出資口數	資産 未拂込出資金	資産 貸付金	資産 土地建物什器	資産 有價證券	資産 預金	資産 假拂金	資産 手形割引	資産 其他	資産 現金	資産 計
				円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
臺北	九	五,四〇三	四六,三九三	九二,八九四	四,八九二,七六一	一三七,四〇〇	六七四,三〇八	一,八二三,七三六	四,九七八	一五〇,一七〇	—	五四,九四二	七,八一〇,一九三
新竹	一	六四一	六,九〇八	二,七九三	六一三,三六九	一三,九六〇	九七七	五二二,二〇〇	九二九	—	三一,七七五	五,三六八	一,一九〇,五九三
臺中	二	一,一三二	五,一九七	二,一八四	六三〇,六四五	一七,〇三一	一,一六六	四九五,四二五	二,四五一	—	一七,三〇四	三,九四八	一,一七〇,一三六
臺南	五	二,四六九	三,七八六	八八,六九二	一,六九四,七一五	六三,六一四	六五,六六一	七一九,九七〇	三,一七七	一六八,一〇二	四一,七四八	二,一九一	二,八五八,八七四
高雄	一	二六六	一,一七三	四四〇	二九一,六〇五	三三,六七八	二二五	四八,六三一	三〇〇	—	三一,一九七	二〇六	三六六,二八四
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一	一九八	四,六二一	—	三一一,九三八	九九八	—	一六,五〇〇	一,三三四	三二,五四二	—	六二六	三六三,九二九
合計	一九	一〇,〇九七	七八,〇六八	一八七,〇〇四	八,四三五,二三六	二五五,六八五	七四二,三二九	三,六一四,四六四	一三,一六一	三五一,八一五	一〇三,〇二六	七七,三〇三	一三,七八〇,〇三四
前月末合計	一九	一〇,〇七一	七八,一五九	二〇〇,六五五	八,五〇八,一七五	二五五,六四三	七四七,九二六	三,一四四,六二〇	一一,九〇三	三五七,七四四	八九,三九八	七四,六五三	一三,三九〇,七二〇
△ハ減	—	二六	△九一	△一三,六五〇	△七二,九三九	三九	△五,五八七	四六九,八四三	一,二五七	△五,九二八	一三,六二七	二,六五〇	三八九,三一四

（其の二）

州廳別＼種別	負債 出資金	負債 貯金	負債 準備金	負債 各種積立金	負債 未拂配當金	負債 借入金	負債 假受入金	負債 其他	負債 剩餘金	負債 計
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
臺北	一,三六三,〇九〇	五,二三〇,六九四	五四〇,三五八	一九一,七三八	四六,五二五	七二一,〇七六	一五,〇〇五	三一,六九四	九九,〇一〇	七,八一〇,一九三
新竹	[illegible]	[illegible]	一二,七六九	六〇,五二八	[illegible]	—	五六〇	三三八	八,六二四	一,一九〇,五九三

臺中	二五九、八五〇	六八四、五八六	一〇一、三二九	五九、〇九二	九、四六六	—	一七、四〇五	三〇、三八九	八、〇五七	一、一七〇、一五八
臺南	六八九、三〇〇	一、七三五、三九八	二五四、九九〇	四二一、一八九	二三、九〇四	二〇、四五九	三五、七六〇	二四、一五七	三五、七三五	二、八五八、八七四
高雄	五八、六五〇	二七六、七四九	四八、二五五	三一三	二、二九八	—	—	—	—	三八六、一六四
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	九二、二三〇	一八三、七〇〇	四一、三一〇	一九、五九四	—	三三、〇三三	四、六八七	—	四七四	三六五、九二九
合計	二、八三五、八一〇	八、九六二、四〇八	一〇九八、八六二	五七五、四六六	八四、九七七	一二四、五六八	七三、四一八	八六、五五九	一四九、八八二	一三、七六〇、〇三四
前月末合計	二、八五九、七二五	八、四二三、〇九一	九九五、九七八	二九九、五〇〇	一〇五、四〇一	一四〇、四八二	九〇、三六五	一〇八、二九八	四八二、七三六	一三、三九〇、七二〇
△ハ減	△二三、九一五	五三九、三一六	一〇二、八八三	七三、九六六	七四、四二六	△二五、九一三	△一六、九四六	△二一、七三九	△三三二、八五四	三八九、三一四

（其の三）

州廳別＼種別	貯金内譯 組合員貯金（円）	貯金内譯 第一條第三項貯金（円）	貯金内譯 第一條第四項貯金（円）	貯金内譯 加入豫約者貯金（円）	貯金内譯 計（円）	貸付金利率 最高（錢厘）	貸付金利率 最低（錢厘）	貯金利率 最高（錢厘）	貯金利率 最低（錢厘）	借入金利率 最高（錢厘）	借入金利率 最低（錢厘）	手形割引步合 最高（錢厘）	手形割引步合 最低（錢厘）
臺北	一、六九二、〇八三	二、〇五一、三三五	一、五〇七、二七四	—	五、二五〇、六九四	四五	二〇	三〇	八	三五	一八	四一	三五
新竹	三四五、一〇三	三三七、三五八	一四八、八一六	—	八三一、二七八	三五	三五	二一	一八	—	—	—	—
臺中	一九三、九七一	四三八、三三九	五二、二八四	—	六八四、五八六	三九	三〇	三三	一〇	—	—	—	—
臺南	八七一、五二一	六九〇、六一六	一七三、二七〇	—	一、七三五、三九八	四八	二八	三五	一二	二六	二六	三八	三四
高雄	一四三、七二七	七三、五四五	五九、四七六	—	二七六、七四九	四八	三八	三五	二〇	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一二六、四四二	二三、二五九	四四、九九九	—	一八三、七〇〇	三七	三五	三三	一八	二六	二四	三七	三七
合計	三、三六二、八四一	三、六一三、四四五	一、九六六、一二三	—	八、九六二、四〇八	四八	二〇	三〇	八	三五	一八	四一	二四
前月末合計	三、一〇〇、三八三	三、四三七、三三二	一、八八五、三七四	—	八、四二三、〇九一	四八	二〇	三〇	八	三五	一八	四一	二四
△ハ減	二六二、四五八	一七六、一一三	一〇〇、七四七	—	五三九、三一六	—	—	—	—	—	—	—	—

島內各銀行內外爲替取組高表（大正十五年一月中）（單位圓）

摘要	收入 島內 口數	收入 島內 金額	收入 內地 口數	收入 內地 金額	收入 外國 口數	收入 外國 金額	支出 島內 口數	支出 島內 金額	支出 內地 口數	支出 內地 金額	支出 外國 口數	支出 外國 金額	收支(△)超過 島內	收支(△)超過 內地	收支(△)超過 外國
送金爲替	二六、五五五	二九、四五七、五七四	四、一〇一	一四、七五一、七九三	四九一	二六八、一七五	二六、四八六	二六、七七一、七〇七	一、八〇七	六、一五五、八三三	五五一	四〇九、四五五	六六五、八六七	△八、五六五、九四〇	△四一、二七三
割引手形	四、二七九	二、七六六、一四九	一、五八九	一、四七一、二三八	一	五、〇〇〇	四、〇五六	二、一九八、六一九	二九	四、一五六、八九五	一	七、〇〇〇	五六七、五三〇	△二、六八五、五九九	△二、〇〇〇
荷付爲替手形	二、二六〇	二、五五一、五五五	一、五〇四	四、三五五、九〇三	二五	一、一六〇、八八九	二、一七六	二、四八八、五九五	一、一六五	三、三五五、六四一	五	一八、四五六	一〇五、一七〇	△八、〇〇七、五五九	一、一四二、四三三
買入外國爲替	—	—	—	—	八二	一、〇九七、九五五	—	—	—	—	二六	一七四、二四九	—	—	九二三、六八六
利付爲替手形	—	—	—	—	二	二、八三五	—	—	—	—	二〇	四六六、七八六	—	—	△四六三、九五一
代金取立	一〇、四四八	四、三二九、五三七	六、四四六	五、〇一三、九八五	五一	七七、九一二	九、八六三	五、八四〇、六六二	三五五	四〇〇、四七四	五七	六二一、五五二	四七九、三二五	二、五一三、五〇九	一五、五七九
計	四三、五四二	三八、九七六、七五五	一三、六四〇	二五、四八二、九五五	七三一	二、五五三、三三一	四二、五八一	三七、二九八、九八五	三、四一五	一四、一六八、八六三	六四八	一、五一六、二四八	一、六七五、八七三	一一、三一四、一一二	一、〇三六、九八三
前月	五八、二七九	五六、四八九、六九一	七三、五七六	五四、四九九、九四四	六四〇	一、八六五、三〇七	五四、四四三	五五、五九五、九〇九	五、〇〇九	二九、一六六、一三三	七六〇	一、八八〇、五五六	五、〇〇八、七八三	四、五五五、八二三	△四七、四五一
前年同月	五九、八二〇	五六、四〇四、二〇四	一一、二七一	一九、九一五、四五八	七五一	二、七七七、一八九	五九、六六八	五五、〇五五、五九八	五、九五三	三三、六七八、一〇二	七五五	一、六〇一、五四一	一、五五〇、八六六	△二、七六四、六六九	一、一二五、六四八

手形交換高表（大正十五年一月分）

所在地	手形枚數	交換金額	交換差額	交換枚數一枚ニ對スル平均金額
基隆	四、四六六枚	一、八〇七、九九〇円	四三九、八八八円	四〇五円
臺北	二〇、八〇〇	一三、四〇九、六六三	五、三三〇、一二〇	六四四
臺中	一、〇八九	二、〇二九、五一六	八四四、一〇六	一、八六三
臺南	一二、四一七	二、九八一、四四二	九二二、七〇八	二四〇
高雄	三、七七二枚	一、七九五、八三三円	六一八、〇五五円	四七六円
計	四二、五四四	二二、〇二四、四四四	八、一五四、八七七	五一八
前月	五九、九八九	三〇、〇六三、一二七	九、八四四、三四四	五〇一
前年同月	四二、九七一	一九、一九八、七七六	六、一三五、七〇四	四四六

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□通貨在高（單位圓）（大正十五年一月末）

區分	正貨 金貨	補助貨 銀貨	補助貨 白銅貨	補助貨 青銅貨	補助貨 計	銀行券 臺灣銀行券	銀行券 日本銀行券	銀行券 計	合計
本月末	七七,六三〇	三,〇〇三,〇一一	五錢 一,〇七八,〇一五 十錢 二,七三〇,〇〇〇	七二五,四六一	七,五三六,五〇七	五〇,五三八,一五一	四六七,一九〇	五一,〇〇五,三四一	五八,六一九,四七八
前月末	七七,六三〇	二,八〇三,〇一一	五錢 一,〇五八,〇一五 十錢 二,四八〇,〇〇〇	七二五,四六一	七,〇六六,五〇七	五三,一八六,三三三	四六九,四一八	五三,六五五,六四〇	六〇,七九九,七七七
前年同月末	七七,六三〇	二,四一四,〇一一	五錢 一,〇三五,五三五 十錢 二,〇一〇,〇〇〇	七三四,三一一	六,一九三,八五七	四七,一三八,九三一	四二八,七五九	四七,五六七,六九〇	五三,八二九,一七七

備考　一、通貨在高ニハ臺灣銀行券ノ兌換準備ニ充テタル分ヲ除ク
一、通貨在高ニハ各銀行所有ノ分ト銀行各人所有ノ分トヲ合算ス但銀行外各人所有ノ分ハ大正三年五月末ノ推定高ニ依ル

□臺灣銀行券發行高及準備高（單位圓）（大正十五年一月末）

區分	發行高	正貨準備 金貨及金地金	正貨準備 銀地金	保證準備 諸公債	保證準備 商業手形
本月末	五〇,五三八,一五一	一四,九二六,六四六	六,六三五,八九四	—	二八,九七五,六一一
前月末	五三,一八六,三三三	一四,九二六,六四六	七,四六二,八七三	—	三〇,七九六,七〇三
前年同月末	四七,一三八,九三一	一三,九二六,五三四	五,五三七,九九六	—	二八,六七四,四〇一

□臺北物價指數表（大正十五年一月末）

品目	本月	前月	前年同月	品目	本月	前月	前年同月
白米	(+)二六八,七三	二五五,八一	二七三,二五	參酒	一六四,〇〇	一六四,〇〇	一六四,〇〇
玄米	(+)二二七,五四	二二五,七九	二二二,八	紅酒	三三三,三三	三三三,三三	三三三,三三
清酒	三二一,四三	三二一,四三	三四二,八六	澤庵漬	(+)一五六,八九	一四二,四五	二一三,六七

小麦粉	(一)一七九、二四	一八一、三五	二〇七、五四
砂糖	(一)一三九、三七	一四一、八四	一五三、三七
鰹節	三三八、九八	三三八、九八	三〇九、〇九
味噌	(一)一五八、四六	一六一、五四	一六一、五四
醤油	一七〇、四五	一七〇、四五	二〇〇、〇〇
鶏卵	二五四、二八	二五四、二八	二三七、一四
火油	一七六、九三	一七六、九三	一六二、五三
鹽	一四〇、九一	一四〇、九一	一四〇、九一
煙草	一八〇、〇〇	一八〇、〇〇	一五〇、〇〇
烏龍茶	七七、七九	七七、七九	七四、〇〇
包種茶	一三七、九三	一三七、九三	一三七、九二
白木綿	(一)一九四、四四	一九八、四一	二三九、六八
綿布	(一)一七一、〇八	一七七、一〇	二〇〇、〇〇
洋紙	二〇八、六九	二〇八、六九	二一一、三〇
日本紙	二三三、三三	二三三、三三	二三三、三三
杉板	(+)二四四、四四	二四二、三三	三一三、三三
杉材	二八三、八七	二八三、八七	二五八、〇六
洋鐵	一八四、二一	一八四、二一	一八四、二一
鉛	二〇〇、〇〇	二〇〇、〇〇	二二二、五〇
銅	一三八、七七	一三八、七七	一三八、七七
煉瓦	二〇八、七〇	二〇八、七〇	二〇八、七〇
日本瓦	一一〇、〇〇	一一〇、〇〇	一〇四、〇〇
板硝子	一五六、二五	一五六、二五	一五六、二五
セメント	一七六、四七	一七六、四七	一六七、六四
燐寸	二二七、一六	二二七、一六	二二七、一六
石油	一六八、一八	一六八、一八	一八一、八三
石炭	(+)一三七、五〇	一五〇、〇〇	一三七、五〇
木炭	二四六、六六	二四六、六六	二五三、三三
薪	二三八、五七	二三八、五七	二一四、二九
平均	(+)一九七、八三	一九七、五一	二〇三、二三

備考　本表ハ大正三年七月ノ物價ヲ一〇〇トシテ計算セリ（+）ハ騰貴（一）ハ低下

△平均指數五箇年對照表

月次	十五年	十四年	十三年	十二年	十一年
一月	一九七、八三	二〇三、三三	一九一、八一	一九一、六四	二〇二、六一
二月	—	二〇三、三〇	一九一、九四	一九五、三二	二〇〇、一五
三月	—	二〇〇、六〇	一九一、三三	一九六、〇六	一九九、四一
四月	—	二〇〇、二二	一九一、五九	一九六、〇一	一九九、二五
五月	—	一九九、〇一	一九四、一六	一九五、二七	二〇〇、〇三
六月	—	一九九、三八	一九二、七五	一九五、〇七	二〇一、九二
七月	—	一九九、八四	一九一、六一	一九〇、八六	二〇二、八九
八月	—	二〇一、七八	一九三、九二	一九〇、五六	二〇二、五四
九月	—	二〇三、四〇	一九八、三〇	一九二、〇四	二〇一、三三
十月	—	二〇〇、一五	二〇二、四一	一九〇、三三	一九六、六一
十一月	—	二〇〇、九三	二〇五、〇二	一九二、三八	一九七、三九
十二月	—	一九七、五一	二〇三、三三	一九二、六六	一九六、四〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

△各年月ヲ一〇〇トセル本月平均指數

基礎年月	十四年十二月	十四年一月	十三年一月	十二年一月	十一年一月
本月平均	100.6	97.34	103.13	103.33	97.64

臺灣貿易統計（大正十五年二月）

臺灣總督府稅關

□貿易額

外國貿易	十五年二月	十四年二月	十五年累計	十四年累計	増減(●)
輸出	3,562,932円	2,900,306円	7,314,017円	5,807,876円	1,506,141円
輸入	3,876,959	4,414,432	10,473,315	10,551,990	●78,675
計	7,439,891	7,314,738	17,787,332	16,359,866	1,427,466
輸出(入)超過	(入)314,027	(入)1,514,126	(入)3,159,298	(入)4,744,114	—

內地貿易	十五年二月	十四年二月	十五年累計	十四年累計	増減(●)
移出	27,345,820円	29,899,576円	54,680,294円	59,337,282円	●4,656,988円
移入	10,060,852	7,555,496	18,932,502	14,037,682	4,894,820
計	37,406,672	37,455,072	73,612,796	73,374,964	237,832
移出(入)超過	17,284,968	22,344,080	35,747,792	45,299,600	—

□輸出品

	二月 數量	二月 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	増減(●) 數量	増減(●) 價額
石炭　噸	43,075	490,271円	110,873	1,253,719円	111,100	1,151,365円	●227	102,354円
包種茶　斤	416,748	344,920	773,586	635,646	560,776	444,181	212,810	191,465
砂糖　同	2,540,040	348,842	4,699,017	659,442	9,067,293	1,338,737	●4,368,276	●679,295

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

品目	単位	二月 数量	二月 価額	十五年累計 数量	十五年累計 価額	十四年累計 数量	十四年累計 価額	増減(●) 数量	増減(●) 価額
烏龍茶	斤	一五〇	一八	三三〇	二三七	九九六	八三一	●六六六	●五九四
綿織物	碼	一,九二二,四三三	五六六,八八九	三,八七四,九八三	一,一五一,二〇九	八三三,四六四	二九一,三四〇	三,〇四一,五一九	八五九,八六九
樟腦	斤	一五七,五〇〇	二四一,一一四	三三四,五〇一	五六九,三〇二	三七六,〇〇〇	六四二,三二〇	●四一,四九九	●七三,〇一八
鍋	同	一,七一九,四二〇	五一六,三二五	二,七五七,〇三九	八二七,〇五七	四六五,五七四	二〇二,〇四二	二,二九一,四六五	六二五,〇一五
酒精	升	三二一,五三〇	一〇八,八四二	八二一,〇四〇	二六二,九一〇	一,一七一,三八〇	三四二,七九二	●三五〇,三四〇	●七九,八八二
鹹魚及乾魚	斤	二九九,六二一	六〇,二五七	一,〇四七,六二一	二一一,二四〇	二,〇八四,四六四	二五〇,六五八	●一,〇三六,八四三	●三九,四一八
セメント	同	八,一〇三,六五一	一七三,九二六	一五,三三五,九四五	三三八,六七八	一〇,五九五,一一六	二一七,九七九	四,七四〇,八二九	一二〇,六九九
紙	同	九七八,九二四	七四,三九七	一,二九一,五八一	一〇二,二七二	八八五,六四四	六七,五〇七	四〇五,九三七	三四,七六五
燐寸	哥	三二,八三四	二三,九三四	一〇八,六一三	八二,〇三三	四五,四三一	三四,八九四	六三,一八二	四七,一三九
苧麻	斤	一九,〇七一	七,一八三	四六,一三四	一六,九九六	一四五,八五七	五七,五六五	●九九,七二三	●四〇,五六九
貝柱	同	二九,九三五	三八,〇六一	五五,六九八	七一,九六七	二九,七六六	三九,一六二	二五,九三二	三二,八〇五
硝子器	箇	四八四,三五五	九,七七四	八八八,七七〇	二〇,六一七	一,二五八,九三九	三七,〇六五	●三七〇,一六九	●一六,四四八
其他諸品		—	五五九,〇七九	—	一,一三〇,七〇二	—	七八九,四二八	—	三四一,二七四
計		—	三,五六二,九三三	—	七,三一四,〇一七	—	五,八〇七,八七六	—	一,五〇六,一四一

□輸入品

品目	単位	二月 数量	二月 価額	十五年累計 数量	十五年累計 価額	十四年累計 数量	十四年累計 価額	増減(●) 数量	増減(●) 価額
大豆油粕	斤	二,四五四,六〇〇	円 一,一三九,八八八	六三,五三八,六二〇	円 三,四〇八,三六九	六二,三七八,五〇六	円 三,四三二,四六六	一,一六〇,一一四	円 ●二四,〇九七
硫酸アンモニウム	同	四,五三〇,四二五	四六八,九〇四	一三,〇〇八,四五五	一,三三四,四八二	九,九三三,四七一	一,〇八五,八六八	三,〇七四,九八四	二四八,六一四
砂糖	同	二,九三九,二九一	三七一,三六〇	八,五〇七,二四三	一,〇五七,四一〇	六,三八四,〇一〇	八二六,三〇四	二,一二三,二三三	二三一,一〇六
大豆	同	三,〇〇一,五六四	二二一,四一三	六,四四六,五四〇	四五九,〇〇六	五,六七〇,九九九	四四一,五四一	七七五,五四一	一七,四六五
阿片	同	—	—	—	—	八,二五〇	二五一,六二五	●八,二五〇	●二五一,六二五
ゲンニー袋	箇	一六二,〇〇〇	一三九,五〇〇	一,二〇二,四〇〇	九三六,六一二	一,〇八五,六〇〇	八八二,二〇八	一一六,八〇〇	五四,四〇四
木材		—	[illegible]	—	[illegible]	—	[illegible]	—	[illegible]

米（自共）	斤	二、三九三、二九七	一九四、一四八	四、一六三、一〇〇	三三九、〇七九	四、五〇一、九一〇	四一二、七六一	•三三八、八一〇	•七三、六八二
石油	ガロン	三八四、二三六	三三五、一八三	四三三、七五六	二五三、四一五	五二四、三三三	三四〇、八四〇	•九〇、五七六	•八七、四二五
包蓆	枚	二七七、〇四〇	六〇、四四四	七五二、六八〇	一四五、九〇一	九一八、八二三	二一五、九八九	•一六六、一四三	•七〇、〇八八
小麥	斤	—	—	八、七八〇	四九八	三、九〇八、六〇六	三七六、〇一九	•三、八九九、八二六	•三七五、五二一
葉煙草	同	四一、四三二	三三、一六二	三〇三、〇〇三	一八五、五二六	二三七、二七六	一〇九、一七〇	六五、七二七	七六、三五六
毛織物	方碼	四、五七八	八、二六八	二四、〇三二	四七、〇八二	二六、五三〇	四九、四三二	•二、四九八	•二、三五〇
鹹魚	斤	一、八二三、四五〇	一四〇、七五三	四、八二〇、四五八	三八九、一八六	二、七五〇、三八七	二七四、四〇六	二、〇七〇、〇七一	一一四、七八〇
黄麻	同	一四〇、九六八	二一、三九三	三九〇、一四七	六二、三二五	六六九、八二四	一〇九、三三三	•二七九、六七七	•四七、〇〇八
苧麻布	方碼	五三、三一〇	一一、七四三	五三、三一〇	一一、七四三	一八一、一八五	三四、〇四四	•一二八、八七五	•二三、三〇一
禮拜紙	斤	一八九、八一七	三七、九〇三	三三〇、八一二	九八、一〇三	二九〇、八二五	九七、六四五	三九、九八七	四五八
繰綿	同	二一、二四〇	一二、〇〇一	九八、二九一	五六、六三八	五〇、四九九	二九、三九〇	四七、七九二	二七、二四八
鐵	同	一三〇、〇一九	一三〇、〇二八	五二四、一三四	三九、五四六	二、二五五、七二八	一五八、七〇一	•一、七三一、五九四	•一一九、一五五
コンデンスドミルク	打	—	—	九、八四〇	五二、八八八	九六〇	三、四九〇	八、八八〇	四九、三九八
陶磁器		—	一九、一九〇	—	五三、四一六	—	四一、二〇二	—	一二、二一四
唐紙	斤	一一六、九二三	一三、五六五	四一〇、四五二	四二、五五一	二二一、九九九	三四、三三五	一八八、四五三	八、二一六
綿織物	方碼	三〇	五	五、四一五	二、三三一	二九、八二五	二〇、七五四	•二四、四一〇	•一八、四二三
パラフインワックス	斤	四四、七三九	一三、〇五四	一一八、五五〇	三三、〇五八	一一八、二四一	三一、一六二	三〇九	一、八九六
錫	同	二二、二五三	四、二〇〇	六、五七九	二二、四四〇	二〇、五九五	四三、二一三	•一四、〇一六	•二〇、七七三
豆・素麵	同	二五、三八七	八、六九六	九〇、六五七	三一、四六〇	七九、七〇四	三二、四二三	一〇、九五三	•九六三
石炭	噸	—	—	一、五〇〇	二〇、二五〇	五、三〇一	六六、六二一	•三、八〇一	•四六、三七一
苧麻綿布	方碼	—	—	—	—	八、四一三	七、六四三	•八、四一三	•七、六四三
機械用油	斤	三七、二五二	五、八四一	一一三、一九六	一七、四七八	二四、八七二	四、一二八	八八、三二四	一三、三五〇
輕油	ガロン	三〇、八七八	三二、四一八	四三、四四二	四七、二〇七	二三、七三五	三一、五九八	一九、七〇七	一五、六〇九
其他諸品		—	五一八、七六七	—	一、〇四〇、七三七	—	八三六、三六五	—	二〇四、三七二
計		—	三、八七六、九五九	—	一〇、四七三、三一五	—	一〇、五五一、九九〇	—	•七八、六七五

□移出品

品名	單位	二月 數量	二月 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
砂糖	斤	一六二,六一〇,六三〇	円 二一,三三九,六九七	三〇四,九〇四,八八〇	円 四〇,二九四,〇〇〇	二九一,一三三,七八七	円 四四,四六九,一四六	一三,七八三,〇九三	•四,一七五,一四六
米	同	三三,二四八,七〇〇	三,六三六,八六〇	八九,五一四,〇〇〇	九,六七七,八五一	八〇,五四二,二〇〇	九,五一八,三四一	八,九七一,八〇〇	一五九,五一〇
芭蕉實	同	四,七八〇,三〇〇	二三九,一三一	八,七九五,九二〇	三九〇,五三四	一二,六三〇,七四〇	六八〇,九二六	•三,八三四,八二〇	•二九〇,三九二
酒精	升	七八二,二四〇	三九八,五〇三	一,五七五,一二〇	八三〇,八二〇	一,二二三,八〇〇	五九五,〇四四	三五一,三二〇	二三五,七七六
木材		—	二一〇,二八〇	—	四三一,四八五	—	五九八,七四四	—	•一六七,二五九
樟腦油	斤	六〇四,一六五	一三六,五九六	九〇〇,七七七	四〇四,三七三	六三九,〇五二	二九七,〇八二	二六一,七二五	一〇七,二九一
切乾薯	同	—	—	一五,八〇〇	七九〇	四,二四四,九二〇	一五四,三五〇	•四,二二九,一二〇	•一五三,五六〇
鳳梨罐詰	打	三三,三一一	一一七,四〇〇	四六,四一三	一六五,〇九六	八三,四四二	二七九,三七〇	•三七,〇二九	•一一四,二七四
石炭	噸	一一,二四八	一〇五,一三一	三〇,八六二	二八九,〇四七	四六,五三〇	四七七,二五七	•一五,六六八	•一八八,二一〇
模造パナマ帽子	箇	四一八,二〇〇	一三九,四〇〇	一,〇四八,三〇〇	三四九,五〇〇	四七五,三〇〇	一五八,五八四	五七三,〇〇〇	一九〇,九一六
鰹節	斤	二四,九六七	二八,九二一	五四,一五八	八六,八九〇	八,四八二	一一,〇二九	四五,六七六	七五,八六一
食鹽	同	一七,〇九二,二〇〇	一三四,三四一	三〇,五四二,二〇〇	一五八,四九一	三二,七一九,七三〇	二〇一,七〇九	•二,一七七,五三〇	•四三,二一八
樟腦	同	二一,六三三	四〇,八九八	二一,六三三	四〇,八九八	三七七,七八〇	六七八,〇八〇	•三五六,一三八	•六三七,一八二
鑛	同	七,二四三,一六九	一五七,一六三	七,二四三,一六九	一五七,一六三	三,一〇九,三四四	七四,六四七	四,一三三,八二五	八二,五一六
麻織物	碼	一三一,六八〇	三一,〇八〇	二四一,五四〇	三七,六五五	三四八,二四〇	一三一,六六八	•一〇六,七〇〇	•九四,〇一三
其他諸品		—	六二〇,四五八	—	一,二五五,七〇一	—	一,〇三一,三〇五	—	二二四,三九六
計		—	二七,三四五,八二〇	—	五四,六八〇,二九四	—	五九,三三七,二八二	—	•四,六五六,九八八

□移入品

二月 數量	二月 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
一,八一九	円 七七,六一三	九,二九三	円 二八九,二二〇	三,〇五五	円 一四四,八〇一	六,二三八	円 一四四,四一九

綿及綿織物		—	一,七〇五,八〇八	—	三,一六七,六七三	—	一,四四五,〇三〇	—	一,七二二,六四三
肥料	斤	九,一八五,五二四	五三一,四一六	三,六二七,五〇六	一,一四四,一七〇	二,三〇三,一七九	一,一三〇,六八八	一,五三二,四三七	一三,四八二
鐵	同	五,五七三,一六七	六八六,九八七	一〇,二七四,一八三	一,二五〇,四一五	七,二二四,九八六	一,〇九一,三三九	三,〇五九,一九七	一五九,一七六
鹹乾魚	同	六七九,一八五	一二六,六六〇	二,四〇三,七四六	四一六,三六九	七,〇八七,〇三三	九一九,六六五	● 四,六八四,二六七	● 五〇五,二九六
小麥粉	同	二,三七四,三四三	三〇四,九一五	三,九九〇,三四二	五一七,二三一	三,一六四,五九〇	四五一,五九九	八二五,七五三	六五,六三二
鍋、	同	一,四五七,〇三〇	四三三,九八〇	二,四四一,九三〇	七四〇,五五一	八五五,四七五	四三一,〇三五	一,六〇六,四五五	三一九,四九六
紙		—	二八四,三六九	—	五二九,四六六	—	四九二,四七五	—	三六,九九一
ガンニー嚢	箇	六七,三〇〇	二九,九九〇	一四四,七〇〇	七四,八三〇	七二九,五四〇	四九四,六〇三	● 五八四,八四〇	● 四一九,七七三
鐵製品		—	二九一,五三一	—	四三四,七七〇	—	二四三,二三四	—	一九二,五三六
木材		—	三〇四,三八六	—	五六二,七九七	—	一六〇,七九二	—	四〇二,〇〇五
絲類		—	二四〇,四二六	—	三九三,五五〇	—	三一一,一九六	—	一七二,三五四
清酒	打	七,四五〇	六七,九二三	一八,〇〇六	一六二,八八一	三七,九七〇	三六八,七一八	● 一九,九六四	● 二〇五,八三七
麥酒	同	二九,八四四	一四三,〇六八	四〇,六五二	一九四,八五六	三〇,七四〇	一〇〇,七九五	一九,九一二	九四,〇六一
紙巻煙草	千箇	一二〇,四三〇	二六三,九三〇	一七七,〇〇〇	四三三,二八四	一一三,四八〇	三三四,八五〇	六三,五二〇	一八八,四三四
メリヤス肌衣		—	五七,二〇八	—	八九,七三六	—	七〇,四〇〇	—	一九,三三六
燐寸	哥	一〇八,九六七	八一,四六一	二八三,〇三三	二一七,一一四	二二三,九八八	一八一,四二八	六〇,〇四五	三五,六八六
罐詰食物		—	一三七,五五〇	—	二三五,五六三	—	一七〇,一〇七	—	五五,四七六
自轉車同部分品及附屬品		—	一六一,一七三	—	三五九,一七五	—	一三一,六〇八	—	一三七,五六七
石油	ガロン	一〇六,八二五	五七,八一四	二六九,一八五	一五四,六九八	二七九,八五七	一七五,一八七	九,四二八	● 二〇,四八九
毛織物		—	七三,七〇五	—	一五〇,七五三	—	一三五,一六一	—	一五,四九二
鐵道建設用材料	斤	一八二,四三三	一四,三七〇	七五三,三九六	五五,〇二八	九七九,九一八	七四,二四〇	● 二三六,五三三	● 一九,二二二
菓子類		—	五八,一〇八	—	一三九,二七五	—	八九,三五七	—	三九,九一八
切組板		—	八二,五〇一	—	一一,九七八	—	五七,九五四	—	五四,〇二四
醬油	石	八二	五一,二五〇	一,三二六	八二,四四五	一,四八四	一〇六,七七四	● 一六八	● 二四,三二九
石鹸		—	五〇,八七七	—	九九,四八八	—	九一,二〇〇	—	八,一八八

機械用油	—	三〇,四四六	—	六六,一一九	—	一〇〇,九九八	—	●三四,八七九
陶磁器	—	四四,六二六	—	一〇〇,六〇一	—	五三,四三六	—	四七,一六五
砂糖　斤	三一七,二六五	七三,五七五	六三九,四八三	一四八,五三一	二五〇,八四五	六七,九一九	三八八,六三八	八〇,六一三
セメント　同	二,七八二,五〇九	五八,三八〇	九,四一七,六〇〇	二〇四,六〇六	五,五三九,八二六	一一五,四二三	三,八七七,七七四	八九,一八三
其他諸品	—	三,五五四,七〇七	—	六,五三五,三三八	—	四,五〇六,五七〇	—	二,〇二八,七五八
計	—	一〇,〇六〇,八五二	—	一八,九三二,五〇二	—	一四,〇三七,六八二	—	四,八九四,八二〇

□港別貿易額

港名	輸出	輸入	計	十五年累計	十四年累計	増減(●)
基隆	二,五四四,一一七円	一,四五八,三〇五円	四,〇〇二,四六二円	九,五五一,八六〇円	七,一八五,〇六八円	二,三六六,七九二円
臺北	五二一,二九六	二一九,八八四	七四一,一八〇	八八八,八八五	九一九,八八五	●三一,〇〇〇
淡水	七一,三二二	三六九,〇八一	四四〇,四〇三	六六九,八〇四	五七七,二六三	九二,五四一
安平	三六,五五九	一五六,〇七一	一九二,六三〇	二八八,二六五	二九九,九五八	●一一,六九三
高雄	五七七,〇五八	一,七二五,四六一	二,三〇二,五一九	六,四七九,九八一	七,二二七,二二一	●七四七,二四〇
其他諸港	一五,五二七	六八,二一七	八三,八四四	一五〇,九六一	一五八,五一五	●七,五五四
計	三,五六二,九五三	四,一八六,九九九	七,七四九,八九一	一七,七八七,九一二	一六,五四七,八六六	一,二四〇,〇四六

港名	移出	移入	計	十五年累計	十四年累計	増減(●)
基隆	八,五一九,五七八円	七,〇八五,八八三円	一五,六〇五,四六一円	五〇,五〇七,〇六一円	三六,八二四,八二九円	一三,六八二,二三二円
臺北	—	—	—	—	—	—
淡水	—	—	—	—	二,一〇〇	●二,一〇〇
安平	三〇,四四五	一,三二五,一六五	一,三五五,六一〇	二,三五八,八五三	一,四一六,九五〇	九四一,九〇三
高雄	一八,八八七,五五七	一,六七九,九五七	二〇,五六七,五一四	四〇,九九四,七九一	四四,七〇五,一三五	●三,七一〇,三四四
其他諸港	一八,二〇〇	六九,九〇八	八八,一〇八	一〇五,〇七三	四三五,九七三	●三三〇,九〇〇
計	二七,四五五,七八〇	一〇,一六〇,九一三	三七,六一六,六九三	七五,六一三,七六八	七五,四一四,九六四	一九八,八〇四

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣日誌

二月

▼十八日
・全島教育課長會議總督府に開かる
▼十九日
・昨年第二期米實收高三百二十六萬餘石と發表さる
・南部旱魃の爲め農作被害多し
▼二十日
・臺灣博物會總會中央研究所に開催
・臺中部隊檢閲執行、菅野軍司令官臨場す
・臺北市小學部研究會開かる
▼二十一日
・臺中商工會總會開催
▼二十二日
・高雄魚業組合臨時總會を開く
・臺南州視學會議開催
▼二十三日
・臺中市實業協會總會開催
▼二十四日
・臺中州農會總會開かる
・嘉南大圳會議總督府に開催さる
▼二十五日
・臺北州農會總會開催
▼二十六日
・水產指導船大和丸南支漁業調査に出發す
・臺南州農會總會開催
・豐原水利組合總會を行ふ
・全島產業展覽會臺南に開かる
▼二十七日
・全島產業組合大會臺南市に開催、片山殖產局長、鼓事務官、横光商工課長列席す
・員林及鹽水兩街に農產品評會開かる
・嘉南大圳總會開かる
・蓬萊丸門司基隆間二晝夜航海に成功す
▼二十八日
・南支教育視察の爲め若槻視學官他十三名の教育關係者出發
・臺北市及淡水郡兩教育研究會開かる

三月

▼一日
・第三回地方改良講習會總督府に開かる
・北港郡物產品評會竝衞生展覽會北港街に開催さる
▼二日
・臺灣軍主腦異動發表さる
▼三日
・坂本警務局長南部視察に出發
・總督府主催麻織物講習會宜蘭街に開かる
▼四日
・基隆市教育研究會開催
▼五日
・臺南州靑果組合評議會開かる
・臺北州警務部分室主任會議を開く
▼六日
・七星郡水稻競作會表賞式擧行
・臺中市及文山郡兩教育研究會開かる
▼七日
・屏東郡教育會發會式擧行
・第十四驅逐隊神風以下三隻高雄に入港
▼八日
・臺北市實業會總會開催
・嘉義郡水利組合協議會開かる
・臺北市學校長會議を開く
・北門郡展覽會開催
・專賣局全島酒煙草兩課協議會を開く
・殘櫻會觀光團來臺
▼九日
・臺灣靑果組合聯合評議會總督府に開催
・臺南市に聯合少年義勇團大會開かる
▼十日
・陸軍記念日、臺北市を始め各市、街に於て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

模擬戰等の催あり
●木下內務局長東部視察に出發
●臺北在鄉軍人大會開催
▼十一日
●嘉義街協議會開かる
●港灣會議基隆に開催、生野交通局總長臨席
●臺南州森林主事會議開催
▼十二日
●總督府警察官練習生攻防演習擧行
●高雄州勸業技術員會議開かる
●臺北州理蕃警官の農業講習會を開く
▼十三日
●文山郡庄治研究會開催
●臺中市東宮殿下行啓記念館落成
▼十四日
●彰化郡聯合品評會開催、同時に農事組合發會式を擧行す
▼十五日
●片山殖產局長糖業視察の爲南部へ出發
●新竹州蕃地監督打合會開催
●臺灣帽蓆聯合會開催
●臺南市臨時協議會開かる
●臺南州青果組合總會を開く
▼十六日
●[illegible]
●高雄水利組合協議會を開く
▼十七日
●嘉義有志南支視察團出發す
●臺南州公醫會議開催
▼十八日
●高等商業學校卒業式擧行
●屏東、彰化兩郡に苗代組合表賞式及水稻競作會あり
●鳳梨製造組合總會を開く
●伊澤總督東宮御所に召されて攝政宮殿下に臺灣の統治その他の事情を言上す
▼十九日
●臺南市に孔子廟祭典執行さる
▼二十日
●臺北實業會評議員會開催
●高雄漁業組合總會を開く
●運用術練習艦春日基隆入港
▼二十一日
●羅東商工會創立總會を開く
●菅野軍司令官東部へ出發
▼二十二日
●海山郡鶯山炭鑛爆發
●臺北市產業組合監事講習會開かる
▼二十三日
●生野交通局總長、白勢鐵道部長、東部鐵道開通式列席の爲出發
●臺北州市郡視學會議開かる
●新竹州水產會開かる
●產業組合臺中支會總會開催
▼二十四日
●高等農林學校卒業式擧行
●產業組合高雄支會總會開催

人事消息

自三月二日
至三月二十五日

▼宇賀專賣局長（本誌評議員） 三月二日上京
▼山成東洋製糖社長 同日內地へ歸還
▼金子日銀檢査役 同上
▼古賀三千人氏（本誌評議員） 三月六日上京
▼爲喜憲兵隊長 三月九日上京
▼木村匡氏（本誌評議員） 同日內地へ歸還
▼堤林數衞氏 三月十日來臺
▼荒井泰治氏（商銀頭取） 十一日上京
▼相馬明治製糖社長 同日內地へ歸還
▼日下少將 同日上京
▼宇山少將 同上
▼高木臺灣電力社長 三月十二日歸臺
▼田中大分縣內務部長 同日來臺
▼二神臺灣肥料社長 同日來臺

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▼田中明氏（朝鮮總督府技師） 三月十二日來臺

▼齋藤少將 三月十六日內地へ赴任

▼千輪中佐 同上

▼横堀理學博士 同日內地へ歸還

▼阿部正也氏 三月十八日來臺

▼吉野直治氏（會計檢查院檢查官） 三月二十日來臺

▼嬰木栗造氏（本誌評議員） 三月二十二日歸臺

▼須田鐵道部庶務課長 同上

▼諏訪禮次郎氏（本誌評議員） 同上

▼藤本恒治氏（軍高級參謀） 同日着任

▼沼知豊三郎氏（千葉高等園藝學校教授） 同日來臺

▼藤原謙造氏 三月二十三日內地へ

▼草鹿砥祐吉氏（本誌評議員） 同上

▼原田金之助氏（札幌農大教授） 三月二十五日來臺

任命

自三月二日
至三月二十四日

▼三月二日

臺灣總督府專賣局參事 永山止米郎

專賣局長宇賀四郎不在中代理ヲ命ス

（各通）臺灣總督府醫院醫長 飯塚賞

臺灣總督府醫院醫官 大塚辰之九

上京ヲ命ス

臺灣總督府技師 井上茂

一時歸府ヲ命ス

臺灣總督府地方理事官 石渡榮吉

東京、大阪、神奈川、茨城、福岡ノ二府三縣下へ出張ヲ命ス

▼二月二十四日

臺灣總督府高等農林學校教授 三宅捷

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

二箇年間英、獨、瑞西及米國ノ四箇國ニ在留スヘシ

▼三月三日

臺灣總督府醫院醫長 中川幸庵

東京、京都、大阪、石川ノ三府一縣下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府醫院醫長 伊勢良男

上京ヲ命ス

（各通）臺灣總督府醫院醫長 長谷川龜之助

臺灣總督府醫院醫長 酒井潔

兼任臺灣總督府醫學專門學校教授

臺灣總督府地方技師 小谷富雄

文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス

▼三月五日

臺灣總督府高等農林學校教授 平坂恭介

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

一箇年十月間英、獨、米、佛、伊ノ五箇國ニ在留スヘシ

臺灣總督府高等學校教授 土橋友四郎

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

二箇年間獨、英、佛、米ノ四箇國ニ在留スヘシ

▼三月九日

臺灣總督府交通局技師 藤井脩次

臺灣汽船職員懲戒委員ヲ命ス

臺灣總督府刑務所教誨師 瀨川了全

上京ヲ命ス

▼十二日

臺灣總督府醫院藥局長 丹野保次

關東州、南滿洲及朝鮮へ出張ヲ命ス

▼十三日

臺灣總督府高等學校教授 谷本情心

福岡縣下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府高等學校教授 庄司萬太郎

宮城縣下へ出張ヲ命ス

▼三月十三日

臺灣總督府技師 井上茂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

依願免本官

各通 臺灣總督府交通局技師 茂木亮策

臺灣總督府地方技師 水野廣治

文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス

▼三月十五日

盛岡高等農林學校教授 松本巍

任臺灣總督府高等農林學校教授

井上孚麿

任臺灣總督府高等學校教授

臺灣總督府醫學專門學校教授 久保信之

東京、京都、大阪、福岡ノ三府一縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府高等學校教授 井上孚麿

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

二箇年間獨、英、佛及米ノ四箇國ニ在留スヘシ

臺灣總督府高等農林學校教授 松本巍

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

二箇年間獨、英及米ノ三箇國ニ在留スヘシ

▼三月十七日

臺灣總督府高等學校教授 齋藤齊

宮城縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府高等商業學校教授 石崎政五郎

東京府下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府州警察醫 下村八五郎

上京ヲ命ス

臺灣總督府高等商業學校教授 西澤二松

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

一箇年間英、米ノ二箇國ニ在留スヘシ

▼三月十八日

臺灣總督府醫學專門學校教授 宮原敦

東京、大阪ノ兩府下ヘ出張ヲ命ス

▼三月十九日

臺灣總督府醫院醫長 上田溫良

臺中醫院長中川幸庵不在中代理ヲ命ス

▼三月二十日

東京商科大學附屬商學專門部教授 兼東京商科大學豫科教授 移川子之藏

任臺灣總督府高等學校教授

安藤正次

任臺灣總督府高等學校教授

臺灣總督府高等學校教授 移川子之藏

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

一年十月間英、蘭、獨、佛及印度ノ五箇國ニ在留スヘシ

臺灣總督府高等學校教授 安藤正次

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

一年十月間米、英、獨及佛ノ四箇國ニ在留スヘシ

▼三月二十三日

臺灣總督府州警察醫 田村庄五郎

新竹州勤務ヲ命ス

臺灣總督府醫學專門學校教授 小島鼎二

支那福州、上海、杭州、南京及漢口ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府技師 森脇虎壽

東京、長崎、山口、靜岡ノ一府三縣下ヘ出張ヲ命ス

▼三月二十四日

臺灣總督府地方技師 兼臺灣總督府中央研究所技師 羽鳥重郎

任臺灣總督府醫院醫長兼官如故

臺灣總督府專賣局技手 岡田鑑

任臺灣總督府專賣局技師

臺灣總督府醫院醫長 羽鳥重郎

臺南醫院勤務ヲ命ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋情報

臺灣總督官房調査課

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

支那

福建省軍備の擴張……一
廣東省の最近施設一斑……二
北上せる廣東外交代表團の報告……三
民國十四年廣東政史……四
廣東國民政府頒布の陸軍刑律(下)……八
日本の中國沿海漁業侵略記……一四
支那燈油貿易……一八
滿洲の經濟資源(上)……二〇

比律賓

一九二五年比島對外貿易概況……二六
比島に於ける地方護謨栽培計畫……二七
比島問題に對する一米人識者の意見……二七

佛領印度支那

佛領印度支那の鑛業(上)……二八

馬來半島

英領馬來に於ける鑛物……四一
馬來護謨栽培業者間の新傾向……四五
一九二六年一、二月英領馬來護謨輸出高……四五

蘭領東印度

年少者及婦人勞働法……四六
米國の護謨計畫……四八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

情報

支那

□福建省軍備の擴張

周福建督辦は近頃軍隊の整頓擴充に對し尤も意を用ひ、已に去秋中に衞隊三團を改編して第二十九・第三十の二個混成旅と爲し、所有不足額は已に招募充足し、近日又衞隊二團及第一補充旅の成立を見、同時に二個混成旅を增編し、周督辦の弟周蔭軒と督辦署參謀長盧原璧と督務處々長高文貴との三人中より二人を擇び出して旅長と爲さんと欲す。故に督辦署より派遣し徐州等の處にて兵を募りつゝある招兵委員は仍ほ絡繹として途に在り。目下省に駐れる軍隊は多く新兵なれば、日を定め東較場にて射擊を習ひ、西門外にて野戰の練習を爲さしむるを要す。周督辦も目下時々該所に赴き練兵を督察中なり。又其の外地方に駐れる軍隊は參謀長王子甄を派して校閲せしむることゝなれり。故に王は舊曆年內に泉州同安等の處に赴きて第二十九旅及十二個師四十五團を校閲し、便道莆仙に至りて第二旅を校閲し、年末に始めて省城に返り、上元節後一日に又省城より上游に赴きて第十二師の第四十六團と第四十八團・砲兵團及三十混成旅を校閲し、一月の後始めて能く其の任を果さん。是れ周督が軍隊を訓練するの大略なり。

艦隊を組織せんとす　閩省は沿海の區なれば、省內軍隊の往來は多く海道よりする例なり。故に周督辦は已に汽船一艘を購入し、名けて勝武軍艦とし專ら兵隊を運載するの用に供せり。艦上には七サンチ半の大砲を置き軍事ある時は亦海防の補充を爲すべしといふ。聞く周督の意は一の內海艦隊を編成せんとするに在るも、又經濟に限られて志を果すを得ざる次第なるが、鹽務善後處會辦汪守砥は曾て周督に向ひて獻策すらく、從前鹽運署には緝私艦十餘艘あり。壬戌の年軍興りし時、皆稽核總所より該艦を派して浙江に駛せ往かしめたり。現に該各艦は浙江に在りて費用の不足甚だ大なれば該艦人員は皆福建に返らんと欲するの意あり。若し方法を立てゝ之を呼び返すを得れば一善策なるを失はずと。周督乃ち汪及鹽務善後處主任吳鐸に囑し、書を作りて各艦々長に送致せしめ、許すに每月周督辦より經費を支給すべきを說かしめて閩省に呼び返すの法を取れり。現に浙江の公英・公順二艦は已に潛かに閩省に返りて督署の命に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

服することゝなれるが、之を勝武試に合するも、尚一艦隊を成すは難ければ、最近仍ほ秘密に委員を派して浙江に赴かせ、各艦を招致するに盡力すべく、若し全艦歸來せんには閩軍の實力は當にますく雄厚となるべきなり。（三月十七日—新聞報福州通信）

□廣東省の最近施設一斑

蔣介石の積極的練兵　廣東省は瓊崖八屬を收復せしより後、全省統一したれば軍政に關する當局者は內部の整頓に從事しつゝありて、積極的練兵に從ふことゝなり、民政方面は六區を分ちて剿匪に着手せる外、又黃埔を開き珠江を疏濬する等の計畫あり。目下正に其準備時代に屬すれば先づ軍事收束後の施設を玆に詳述せん。

一、軍政　廣東省軍隊は變じて學生軍の世界となりしも、黨軍は決して省を統一するを以て止まらず、尙ほ須く外に向ひて發展すべし。故に各省に向ひ陸續兵を招きて廣東に來らしめ、黃埔にて積極的に訓練を施し、現在已に三軍を成就せり。第一軍は何應欽・第二軍は譚延闓・第三軍は朱培德・第四軍は李濟深・第五軍は李福林・第六軍は程潛に屬し、一軍每に三師團あり。人數約十二萬餘に達す。黃埔に在るの學生軍及新に招き來れるも未だ軍を編成するに至らざるものは尙ほ其內に在らず。過日蔣介石氏は軍事委員會々議席上に於て發表したるものを見るに、目下廣東省現在の軍隊は之を自衛に用ひるときは餘力あるも、若し之を以て中原に馳驅せんと欲せば、尙ほ精兵二十萬を要す。されば積極に招募するに非れば功を爲すこと能はず。是に於て本年分の軍費は規定・二、四千八百萬元とす。蔣氏が第一軍長を辭して陸軍總監に任ぜらるゝや六軍を指揮するの權あり、同時に訓練編制等の責を有し居れるは即ち北伐の準備たるなり。

二、民政　民政方面にては全國を劃して六行政區と爲すの外、復た黨代表の各屬を巡行するあり。縣政府の改組に關する草案は決定を經と雖も、歷史習慣上の關係及人才の不足の爲め、一時實行し易からざるが故に仍ほ其儘となり居れり。現在進行する所のものは戶口調査・公路の修築・土匪の剿辦等の數事にして縣長の委任に關しては現在悉く民政廳より取扱ひ、從前の如く防軍より任意に委任することなし。たゞ南路と瓊崖各屬とは克復の初に屬するに因り、軍民兩政は暫く第四軍長李濟深より支配しつゝありて、政權の何時交還さるゝかは現在尙ほ何の消息もなし。

三、財政　財政統一の高唱されてより二年目の現在に至り始めて實現を獲たる譯にて、各縣の徵糧は縣長より取立て省に送り、捐稅の收入に關しては財政廳より委員を派し事務所を設けて取立て、各屬の防軍は軍事委員會の憑證あるに非れば分毫を分取することをも許さず。之に因りて省政府の收入は頗る順利なり。支出の方面に至りては軍隊の增加して減少することなければ、政費は前日よりは多

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

きを加へたり。從前支給未濟の缺餉と喧ましかりし俸給不足には目前更に聞くことなし。是又財政統一の效なり。

四、北伐　北伐の聲は唱へられてより已に久しく、十三年の冬、譚延闓の師が贛州に到着し大敗して返りしより、粤軍は未だ一歩も其の境上を出でしことなし。去年蔣介石が潮汕を收復せし後、又勝に乘じて福建を攻むべしとの説ありしが、未だ幾ならざるに蔣氏亦眷屬を携へて省に返れり。最近に汪精衛・譚延闓ば李宗仁・黃紹雄と梧州にて會議を開きたるに、湖南省の唐生智は特に代表葉琪を派して亦出席せしめたり。但し譚氏が省に返りし後、其の部下たる湘軍は一律に北江に赴き並に魯滌平を第二軍副軍長に任じ、程潛の第六軍は亦小北江一帶に出動せり。故に江西・湖南の二路より出兵すとの説あり。未だ實くならざるに李宗仁・黃紹雄の代表白崇禧と湖南唐生智代表葉琪とが亦相繼いで廣東省に來り、國民政府會議の結果にて先づ湖南入を決行することゝなり、此方面の軍事は譚延闓の第二軍、程潛の第六軍より擔任し、他の一路は廣西の田嶺より出發して湖南の永州に入るべし。此の路は第四軍李濟深部及黃紹雄の余作柏部より擔任し、而して唐生智は湖南に在りて響應し以て其の倒趙の目的を遂すべじ。此の説若し確かなるときは趙の地位は危險なくんばあらず。同時に江西の方本仁亦代表を派して廣東に至りし後先づ譚延闓に謁し前年の誤會を陳謝せしむ。而して孫傳芳亦代表周赤忱を派して廣東に至り、汪・蔣と共に時局問題を相談せしむ。

（二月二十六日—新聞報西南特信）

□北上せる廣東外交代表團の報告

羣衆方面　右派分子が討張（作霖）反日（日本）大會を退出してより後、近來又反日露進兵の團體あり。其組織は皆右派に係りて國家主義者を幹部とす。彼等の目標は日本は固より反對すべき國なるもソビエット露國は亦同じく反對すべきの國なりといふに在り。此れ啻に無形の中に帝國主義者の暗示を受けて支露間の好感を離間するのみならずとす。此の種の組織は北京にて幾回かの會議を開きしも、甚大なる活動はなさゞりき。討張反日大會の日貨抵制委員會は已に昨日卽ち二月十九日に檢査隊を派出し京師の東西南城なる各商店内に至り、日貨を檢査し、店内所有の日貨には記號を附して之を分ち、以後各店とも更に記號なきの新日貨を賣るを得ざるものとす。該會が右の檢査を實行する前、預て此の事を諸商會へ通告して其の共同協助せんことを請ひしに、商會は表面だけ贊成を表したるも實際は何等の表現をもなさず。警察廳方面も亦預て打合せしたるもさほど贊成を表せざりき。勿論國民軍側は一種の空氣に包圍せられ居れば、外國交渉を惹起さんことを恐れ、誠に此の如き擧動あるを願はざるなり。

當外交代表團と外交事項　最近北京英文導報に上海公共租界會審公堂が竟に支那人の男女に死刑を判決すること百五十餘人に至りしことを掲載せり。按ずるに會審公解の約章には刑事問題に對しては徒刑以上に在るものは審判の權なき譯なるが、其後事實上越權を以て五年の徒刑を判決せるものあり。然るに五年以上は尙ほ審判を行ふを得ず。今は却つて越權を以て死刑を判決するに至れり。勿論武裝せる盜匪なりとの口實を設けたるも法律に依れば亦應に支那の法廷に送りて審判せしむべきなり。且同時に未だ百五十餘人を同じく死刑に處すべきの理由あらず。此の種の事件は明に帝國主義者が支那人を仇視し、故意に支那の主權を蹂躙するものなり。故に本代表團は此の事に對し、直接に駐京公使團に向ひて抗議せる外、又孫傳芳に打電し上海の軍事當局に轉飭して執行を制止せしめ、同時に全國々民に通電し死を誓つて力爭せしめたり。

北京政局　許世英總理が應付方圓滑ならざりし爲、迫られて辭職せし後、段執政府は已に賈德耀をして内閣を代理せしめ、今已に其の職に就けり。關稅會議は沈寂に歸すること已に久しく、近日に至り日本佐分利代表が支那に返りし後、連日會議を開き、且第二委員會も將に結局を見んとしつゝあり。

餘錄　本團農會代表王岳峯同志は已に釋放せられたること前に廣東に向ひ電告したり。全國外交代表大會の組織に關しては當地各同志皆其の實現を觀んことを願ひ居れり。故に數回打電して政治委員會に問合せたるが、現在如何なりしや未だ回答を得ず頗る思念を费せり。廣州國民政府下の政治は日に長足の進步を爲しつゝあらん。當地民衆は國民革命軍の北伐を渴望すること、直に大旱の雲霓を望むが如し。北京の天氣は仍ほ甚だ溫暖にして大約華氏寒暖計三十度より三十餘度の間を昇降せり。舊曆年初五日雪ふること一日、翌朝は又太陽照耀し日暖に風和なり。云々。古覺岸頓首。

(三月十一日—廣州民國日報)

□民國十四年廣東政史

前書

民國十四年の廣東政局は多事多端であつて空前の事件が矢繼早やに續出した。

二月孫文氏に死なれたのが抑も振出しで政局は動搖して廣州市は戰亂の巷と化したこと　其れも束の間、上海五三十事件の波及は一大排外運動となり六月二十三日、英•佛陸戰隊と衝突し百數十名の死者を算出するの不幸事を演出した。

事件は幾多の曲節を經て排英を眞一文字に進むことなり。英佛租界沙面(各國人の居留地)は封鎖され、香港廣東間の貿易は遮斷さるゝこと七箇月、對外問題は何等解決の曙光を齎さずして

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

新玉の年過ぎる春とはなつた。

廣東民國十四年史

月日	事件概要
一月二十五日	北上中の孫文氏病み協和醫院に入院す。
二月四日	政府軍は陳軍に對し攻撃を開始、石龍を占領す。陳炯明は孫文黨下の長老たりしも民國十一年六月反逆し孫氏を追ひ、一時廣東の首腦者爲政者として善政を施きたるも、孫文氏に追はれて汕頭に據り東江に勢を張り今日に至る。
二月十日	國民黨は國民會議組織法に對する重要通電を發す。
三月三日	粤軍總司令許崇智遂に汕頭を占領し東江を肅清す。
三月十二日	午前九時孫文氏北京に於て逝去す。
三月二十日	第九回全省運動會擧行。
四月十六日	孫氏(中山と號す)出生の香山縣を中山縣と改稱す。
四月二十五日	廣東大學校庭にて日・米・支野球試合あり入場料を以て中山記念堂建設費に充つ。
四月二十七日	北京政府にて高雷八屬を分離し廣南省と改稱せんとする議あり。北京在住廣東人反對宣言をなす。
五月六日	國民黨は金法郎案反對宣言をなす。
五月七日	國民黨は蔣介石を黨軍司令官に任ずるの決議をなす。
五月八日	大本營は北伐各軍檢閲條例を公布す。
五月十五日	革命政府は孫文氏遺囑を遵守するの宣言を發す。
六月六日	楊希閔・劉震寰等反政府の兵を擧ぐ。大元帥孫文死後の廣東政局は兎角の危機を傳へられしが、遂に戰機熟し反政府の楊希閔(雲南軍)劉震寰(廣西軍)は市内に。蔣介石(軍官學校生、竝に教導團)李福林(粤軍第三)譚延闓(湖南軍)吳鐵城(警衛軍)朱培德(建國一軍)の政府軍は河南に陣し珠江を夾んで愈々砲火の火蓋を切る。
六月十日	外國人居留地沙面に屢々流彈來り、午後一時小銃日本人小學校職員室の窓硝子を破り、同二時砲丸校庭の榕樹上に落つ。
六月十二日	楊・劉軍敗れ市内は赤ネクタイを以つてマークトセル政府軍により占領せらる。此の戰蔣介石の軍官學校學生軍殊功を樹つ。軍官學校は蔣介石學校長たるも露人ボロディンの最高顧問により經營せられ、月々露國政府より十萬弗以上の金と莫大の武器彈丸を給與され三十人許りの露國人是れに活躍しつゝありと。
六月十三日	雲南軍の敗殘兵各所に虐殺され、其數幾百なるを知らず悽慘を極む。蓋し多年市内に蟠踞し專横を極めたる雲南軍に對する市民の敵愾心の發露なり。
六月十五日	叛亂平定す。文武要人財政・民政・交通の各機關を政府に還付することを決議す。大元帥令を以て從來の苛税雜捐を取消す。
六月十九日	香港ストライカー續々來廣す。

六月二十日　廣東博愛會醫院書記中澤直紀氏（元臺灣臺北州羅東小學校長）沙面佛蘭西門外にて兇漢に狙撃され公金五千弗在中の鞄を奪はる。本人卽死、犯人逃走す。

六月二十一日　沙面（英佛租界地にして各國人居留）内支那傭人千五百名第二回總罷工斷行、各會社銀行業務停止し、外國人家族にして香港に避難するもの多し。

六月二十二日　廣東の排外運動暴動化するの兆あり英・佛當局戰鬪準備をなし萬一に備ふ。

六月二十三日　上海事件聲援示威運動擧行さる。不幸午後三時沙基（運河を以て沙面と隣接す）にて英・佛陸戰隊と衝突し、交戰二十分支那側戰死百六十三を出し未曾有の慘狀を呈す。邦人居留民に在りては萬一を慮り、豫め婦女子を軍艦に避難せしめたるため、僅かに二三の重輕傷者を出さしめたるのみにて大事なきを得たり。斯くて約三百數十の居留民は當夜は英國商船（河南號）に收容され燈火なきサルーンにて一箇の握飯を惠まれて結び兼ねたる夢の一夜を明せり。

六月二十四日　邦人婦女子約二百名は香港に避難し殘餘は軍艦に宿泊せり。

（注）

上海事件其他各地の騷擾事件は悉く群集と軍隊との衝突なるも沙基事件は軍隊と軍隊との衝突にして支那側は情說客氣を以て自慢する蔣介石統下軍官學校學生軍なり。

六月二十五日　邦人避難民大部分沙面に復歸す。英國兵多數香港より來廣、鐵條網・砂壘・塹濠等防禦工事嚴重を極む。かてゝ加へて諸係臆說頻々と傳り、流石殷賑を極めし居留地も萬燈一時に消え寂さして聲なし。

六月二十六日　帝國軍艦「モミ」更に入港。碇泊各國軍艦、英六・佛四・米三・日二・葡一計十六隻なり。

七月一日　大本營を廢し委員制の國民政府を組織す。

政府委員

許　崇　智　　譚　延　闓　　汪　精　衛　　胡　漢　民

孫　　　科　　廖　仲　愷　　伍　朝　樞　　古　應　芬

林　　　森　　朱　培　德　　程　　　潛　　張　人　傑

于　右　任　　張　　　繼　　徐　　　謙

政府代表　汪　精　衛（汪兆銘）

軍事部長　許　崇　智

外交部長　胡　漢　民

財政部長　廖　仲　愷

大理院長兼司法行政　徐　　　謙

廣東市長　伍　朝　樞

軍事行政最高顧問　ボロディン（露國政府の私設公使と云はんが）

七月十日　リバーポート香港行最終行なり。居殘りし婦人子供も本

日を以て引上げ、最後に殘されし婦女子は領事館員外一二の家族にすぎず。

七月十一日　商船東安號英國水兵の操縦により香港より食糧品を運搬し來る。

但し支那側罷工團糾察隊の監視嚴重なれば支那街よりの食料搬入絕對不可能なり。

八月十二日　廣東政府は香港を經濟的に封鎖せんとして香港經由の船は絕對入廣せしめざるのみか、黄埔を一大商港として廣東を永久に經濟的に獨立せしめん計畫成り、先づ廣東・黄埔間の中山道路建設に着手す。

八月二十日　左傾派巨頭廖仲愷暗殺され政界大に動搖す。

八月二十五日　蔣介石クーデターにより右傾派首領胡漢民を逮捕、魏邦平亡命、梁鴻楷等拘禁さる。

是より廣東爲政の實權蔣介石に歸す。

八月二十六日　三菱傭船春陽丸黄埔下流に坐洲せり。

之れが救助に向ひたる帝國海軍士卒十六名を乘せたる三井ランチは午後十一時突如黄埔砲臺より砲擊され我水兵一名即死、一名重傷を負ひ同船は同所に坐洲、一夜を徹せり。

八月三十日　春陽丸事件は支那側の誤認にて他意あるものに非ずとて、支那當局の謝罪と弔慰金四千弗にて解決せり。蓋し同ランチを右傾派の逃走と認めたりと。

九月十一日　排外運動は其後排英に限らるゝこととなり、日本其他を除外することゝし、支那町居住者は商賈支那人使傭等自由となる。然れど沙面居住者は其の何れの國人たるを問はず之れを許さず。

九月十八日　北京に移交せる沙面事件の交渉應援のため外交代表團林森・鄒魯等北上す。

九月二十日　軍事部長許崇智失脚、上海に亡命す。

政府の實權左傾派の頭梁、汪兆銘（文人）蔣介石（武人）の掌理に歸す。

九月二十一日　胡漢民外遊の途に就く。

九月二十九日　罷業調停のため香港商人代表雷蔭孫等十六名來廣す。

十月一日　蔣介石東征軍總指揮に就任す。

十月三日　四川軍總司令熊克武は陳炯明と通謀せりとて拘留せらる。

十月五日　東征軍東江へ進擊す。

十月十三日　東征軍難攻不落の惠州城を攻陷す。

十月十五日　六月二十三日以來堅く閉せる沙面フランス橋開かれ支那街との交通稍々自由となる。然れど罷工團糾察隊の監視嚴にして荷も食糧品は一片だも沙面へ搬入するを許さず。

十月二十一日　廣東大學調査命令を下す。

十月二十一日　午後十時沙面の對岸米國教會經營培英學校に海賊七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十餘名侵入し、教師四名學生五十一名を人質として引上げ、江防艦二隻追踪せるも拿捕されず。

十月二十六日　魏邦平・鄧本殷等西南各地に兵を動かせるを以て朱培德を總指揮として南征の軍を起す。

十月三十一日　罷業調停のため港商代表謝樹棠等六名來廣す。（第二次）

十一月五日　東征軍汕頭を回復し東江黨清の實擧る。陳派の林虎・洪兆麟何れも北走して再起の望なし。

十一月九日　南征軍兩陽を占領す。

日不詳　廣東政府は北支騷亂に關し奉天軍各將に段祺瑞・張作霖を擁戴することを勿れと勸告し、又吳佩孚・孫傳芳等直隷派にも帝國主義と絕緣せよと勸告せり。

十一月十一日　十月分俸給未拂より全市小學校教師總罷業す。

十一月十六日　港商代表雷蔭蓀等六名來廣す。（第三次罷業調停）

十一月二十日　各政行政員を設く。

廣東四商會代表胡頌棠等二十名罷業調停のため香港を訪ひ官民の歡待を受く。

北上中の廣東大學長鄒魯は政府の廣東大學を調査せんとするは同大學が共產主義を養成せざるためならずやと政府の左傾化を難したるため、政府の忌諱に觸れ査辦に付せらる。

十一月二十三日　鄒魯・林森・戴天仇等北京にて中央執行委員全體會議を召集し、共產黨員及びボロディン驅逐等を決議、通電を發す。

同二十七日汪兆銘・譚延闓等之に對する反對を宣言し、國民黨左右兩派決裂するに至れり。

日不詳　莫斯科の孫文大學留學生百四十七名人選決定す。同大學は孫文主義を了解し社會運動の指導者を養成するものなり。

十二月一日　廣東大學長鄒魯罷免され、北京大學教授顧孟餘校長に任じ當分陳公博を校長代理に任ず。

十二月十六日　廣東大學講堂に於て反基督教總同盟成立す。

十二月二十日　反奉倒段大示威運動を擧行す。

十二月二十五日　基督教徒と反基督運動者と衝突し十數名の負傷を出し、本日反對運動の示威運動を中止す。

十二月二十六日　香港支那商人懇親者三百三十餘名來廣す。

十二月三十日　港商代表八名來廣す。（第四次調停）

十二月三十一日　六月二十一日對外罷工決行され、沙面封鎖さるゝこと百九十四日。何等解決の曙光なくして年は暮れぬ。

（一月二十六日—廣東日本人小學校—栢森功）

□廣東國民政府頒布の陸軍刑律（二・完）

第二編　分　則

第一章　叛亂罪

第十八條　本黨の主義に叛亂し而して衆を聚め叛亂の行爲を謀るものは左記に依り處斷す。
一、首魁は死刑に處す。
二、謀議に參與し或は羣衆の指揮者たるものは死刑或は無期徒刑に處す。
三、其他各種の職務に任じ或は附從するものは二等乃至四等の有期徒刑に處す。

第十九條　意謀亂を圖り兵器彈藥及其他軍用の品物を掠奪する者は刑前條と同じ。

第二十條　意叛亂を圖り而して左記行爲の一を有するものは死刑に處す。
一、軍械或は軍用物品を以て敵人を資助するもの。
二、軍事上の機密を洩漏するもの。
三、長官を脅迫するもの。
四、陰謀にして軌（ノリ）ならざるもの。
五、敵人に私通するもの。

第二十一條　意・敵に利するを圖り而して左記行爲の一を有するものは死刑に處す。
一、要塞を毀棄するもの。
二、交通を阻碍するもの。
三、隊伍を解散するもの。
四、命令を詐僞するもの。
五、軍人の心を煽惑するもの。
六、自ら軍人の實を損ふもの。

第二十二條　意は軍隊をして暴動せしめ而して煽惑を圖るものは死刑に處す。

第二十三條　豫備或は陰謀にして第十八條第十九條第二十條第二十一條第二十二條の罪を犯したるものは三等乃至五等の有期徒刑に處す。

第二十四條　豫備或は陰謀にして前條所載の罪を犯したるもの。

第二章　擅權罪

第二十五條　命令に違はずして擅に自ら進退し或は故なくして而して戰鬪者の爲めに死刑を處したるもの。
但已むを得ざる事由を有するか或は敵人と釁を開き而して正當防衞者と爲すものは此の限に在らず。

第二十六條　未だ長官の允許を得ずして私かに自ら兵を募るものは二等乃至五等の有期徒刑に處す。

第二十七條　民房を強占し(強制的に占領し)及私かに公物を賣るものは三等乃至五等の有期徒刑に處す。

第二十八條　各種機關を把持し或は款項を截留するものは三等乃至

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五等の有期徒刑に處す。

第二十九條　强制的に人民を拉致して夫役に充當し或は强制的に其舟車を封じたるものは三等乃至五等の有期徒刑に處す。

第三十條　他人の民刑訴訟事件に干與するものは三等乃至五等の有期徒刑に處す。

第三章　辱職罪

第三十一條　其應さに盡すべき所の責任を盡さずして而して部隊を率ゐて敵に降り或は陣に臨みて退却し或は故に託して進まざるものは死刑に處す。

第三十二條　故意に兵を縱つて民を殃ふものは處するに死刑を以てす。

第三十三條　故無くして守地に就かず或は私かに守地を離れ而して誤つて軍機を失したるものは死刑を處す。

第三十四條　功を冒し過を諉するもの及賞罰公平ならざるものは二等乃至四等の有期徒刑に處す。

第三十五條　意利己を圖り而して左記行爲の一を有するものは三等乃至五等の有期徒刑に處す。

一、賄賂を收受するもの。
二、糧餉を侵呑するもの。
三、缺額せるも報せざるもの。
四、械器を得て繳納せざるもの。
五、控餉の爲め激變するもの。

第三十六條　部下の多數に犯罪行爲あるときに當りて彈壓の方法を盡さゞるものは四等の有期徒刑に處し若し此に因りて地方を擾害するものは一等の有期徒刑に處す。

第三十七條　哨兵及衞兵にして故無く守地を離れ去るものは左記各款に依りて處斷す。

一、敵前は死刑。
二、軍中或は戒嚴地域は三等の有期徒刑。
三、其他は五等の有期徒刑。

第三十八條　哨兵及衞兵にして睡眠或は酒醉に因りその職務を怠るものは左記各款によりて處斷す。

一、敵前は三等の有期徒刑。
二、其餘は五等の有期徒刑。

第三十九條　衞兵巡査の偵察(探偵)及其他の警戒或は傳令の職務に任じ故無くして擅りに勤務所在地を離れ或は應さに到着すべき處に到着せざるものは左記各項に依りて處斷す。

一、敵前は死刑或は無期徒刑。
二、軍中或は戒嚴地域は三等の有期徒刑。
三、其餘は五等有期徒刑。

第四十條　故無くして規則に依らずに哨兵をして交代せしめ或は其他の哨令に違反するものは左記各項によりて處斷す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、敵前は二等若しくは三等の有期徒刑。
二、軍中或は戒嚴地域は四等の有期徒刑。
三、その他は五等の有期徒刑。

第四十一條　軍中或は戒嚴地域に在りて軍事の命令通報或は報告に關する傳達を掌り而して故無くして傳達を爲さゞるものは三等の有期徒刑に處し因つて而して軍機を失誤したるものは死刑或は無期徒刑に處す。

軍中或は戒嚴地域に在りて偵探巡察或は偵察勤務に服し而して報告實ならざるものは四等の有期徒刑に處し因りて而して軍機を失誤したるものは二等の有期徒刑に處す。

第四十二條　軍事上機密の圖書物件を保管し危急の時に當りてその方法(原文四字不明)を盡すこと能はずして敵に委するに致したるものは三等の有期徒刑に處す。

第四十三條　軍中或は戒嚴地域に在りて支給或は兵器・彈薬・糧食・被服及其他軍用に借する物品の運輸を掌り故無くして之を缺乏せしめたるものは四等の有期徒刑に處し因つて而して軍機を失誤したるものは死刑或は無期徒刑に處す。

第四十四條　兵器或は彈薬取用の不注意に因り他人の身體を傷害したるものは五等の有期徒刑に處し死を致したるものは三等の有期徒刑に處す。

第四十五條　軍紀を守らずして而して左記行爲の一たるものは三等乃至五等の有期徒刑に處す。
一、勢を藉りて勒索するもの。
二、婦女を調戯するもの。
三、阿片吸飲者賭博者を掩護するもの。
四、鴉片吸飲者。

第四章　抗命罪

第四十六條　上官の命令に反抗し或は指揮を聽かざるものは死刑に處す。

第四十七條　徒黨(夥黨)を組み前條の罪を犯したるものは左記に依りて處斷す。
一、首謀者は死刑に處す。
二、餘衆は無期徒刑或は二等以上の有期徒刑に處す。

第五章　暴行脅迫罪

第四十八條　上官に對して暴行或は脅迫を爲すものは左記各項に依りて處斷す。
一、敵前は死刑或は無期徒刑に處す。
二、其他は一等有期徒刑に處す。

第四十九條　夥黨にして前條の罪を犯したるものは左記各項によりて處斷す。
一、敵前の首謀者は死刑、餘衆は死刑或は無期徒刑。
二、其他の首謀者は死刑或は無期徒刑、餘衆は一等有期徒刑に處

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し若し重大なる事變を生じたるときは敵前に依りて處斷す。

第五十條　哨兵に對して暴行或は脅迫を爲すものは左記各款に依りて處斷す。

一、敵前は二等有期徒刑。

二、其他は三等有期徒刑。

第五十一條　夥黨にして前條の罪を犯したるものは左記各款に依りて處斷す。

一、敵前ならば首謀者は無期徒刑、餘衆は二等有期徒刑。

二、其他の首謀者は二等有期徒刑。

三、餘衆は有期徒刑。

第五十二條　上官或は哨兵以外の陸軍々人に對して職務を執行する時に當り暴行或は脅迫を爲すものは三等有期徒刑に處す。

第五十三條　夥黨にして前條の罪を犯したるものは右記各款に依りて處斷す。

一、首謀者は一等有期徒刑。

二、餘衆は三等有期徒刑。

第五十四條　職權を濫用して而して淩虐行爲を爲すものは四等有期徒刑に處す。

第五十五條　第四十八條乃至第五十一條の未遂犯に對して之を罪す。

第六章　侮辱罪

第五十六條　上官に對して侮辱を加へ或は直接に文書を以て侮辱したるものは五等の有期徒刑に處しその圖書・文書・偶像・演說或は其他の方法を以て公然に上官を侮辱したるものに對しては四等有期徒刑に處す。

第五十七條　哨兵に對して侮辱を加へたるものは五等有期徒刑に處す。

第七章　强姦罪

第五十八條　婦女子を强姦したるものは死刑に處す。

第八章　掠奪罪

第五十九條　財物を搶掠したるものは死刑に處す。其情狀の輕微なるものは無期徒刑或は一等有期徒刑に處す。

第六十條　財物を盜取し或は買賣を强迫するものは二等乃至四等の有期徒刑に處す。

第九章　詐僞罪

第六十一條　軍情を揑造して報告し軍事上に關する命令を僞造したるものは死刑に處す。

第六十二條　兵役勤務の免除を意圖し虛僞の報告を爲すものは三等乃至五等の有期徒刑に處す。

第六十三條　軍醫にして僞詐の行爲あるものは三等乃至五等の有期徒刑に處す。

第六十四條　陸軍の制服・徽章を冒用し或は諸言を構造し以て聽聞

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を消亂するものは三等乃至五等の有期徒刑に處す。

第十章 逃亡罪

第六十五條 故無しくて職役を離れ去るもの或は職役に就かざるものは左記各款によりて處斷す。

一、敵前は一等有期徒刑。

二、軍中或は戒嚴地域にして三日間を過ぐるものは四等有期徒刑に處す。

三、其他六日間を過ぐるものは五等有期徒刑。

第六十六條 夥黨にして前期の罪を犯す者は左記各款に依りて處斷す。

一、敵前の首謀者は死刑或は無期徒刑、餘衆は一等有期徒刑。

二、軍中或は戒嚴地域にして三日間を過ぐるときは首謀者は一等有期徒刑、餘衆は二等有期徒刑。

三、其他にして六日間を過ぐるものは首謀者は三等有期徒刑、餘衆は四等有期徒刑。

第六十七條 七十八條の罪を犯して兵器・馬匹及その他重要なる物品を携帶せるものは左記各款に依りて處斷す。

一、敵前は死刑。

二、軍中或は戒嚴地域にては一等有期徒刑。

三、其他は三等有期徒刑。

第六十八條 夥黨にして前條の罪を犯したる者に對して左記各款に依りて處斷す。

一、敵前にては首謀者は死刑餘衆は死刑或は無期徒刑。

二、軍中或は戒嚴地にては首謀者は死刑或は無期徒刑、餘衆は一等有期徒刑。

三、其他の首謀者は一等有期徒刑、餘衆は三等有期徒刑。

第六十九條 敵に投ずるものは死刑に處す。

第十一章 軍用損壞罪

第七十條 軍用倉庫・工場・船舶・汽車・電車・橋梁及其他戰鬪用の建造物を炮燬し或は炸燬するものは死刑或は無期徒刑に處す。

第七十一條 前條所列の各物及軍用の鐵道・電線・水陸の通路を損壞し或は使用に堪えざらしめたるものは一等有期徒刑に處す。

第七十二條 露積せる兵器・彈藥・糧食・被服・馬匹及其他の軍用物品を燒燬したるものは左記各款によりて處斷す。

一、軍中或は戒嚴地域にては死刑又は無期徒刑。

二、其他は一等有期徒刑。

第七十三條 兵器・彈藥・糧食・被服・馬匹及其他の軍用物品を毀棄し或は傷害したるものは三等有期徒刑に處す。

第七十四條 本章の未遂犯は之を罰す。

第十二章 職守に違背する罪

第七十五條 俘虜の監視或は護送中之をして逃亡せしめたるものは二等有期徒刑に處し疏忽に出でたるときに於ては四等有期徒刑に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

處す。

第七十二條　在鄉軍人にして故無く召集の期限を過えたる者は三等乃至五等の有期徒刑に處す。

第七十七條　哨兵を欺蒙して哨所を通過し或は哨兵の禁令に服せざるものは左記各款に依りて處斷す。

一、敵前は三等有期徒刑。

二、軍中或は戒嚴地域は四等有期徒刑。

三、其他は五等有期徒刑。

前項の外哨兵に對して哨令を犯したるものも亦同じ。

第七十八條　禮砲・號砲及その他の空砲を發する時彈丸或は瓦石を裝填したるものは九等有期徒刑に處す。

第七十九條　軍中或は戒嚴地域にて急呼の號報を聞きながら集合せざるものは三等乃至五等有期徒刑に處す。

第八十條　服從の義務に違背することを意圖し而して私黨を結び或は圖書を以て散布するものは三等乃至五等の有期徒刑に處す。

第八十一條　職守に違背し而して秘密に結社・集合し及政府の許可するところにあらざるの黨に入るものは三等乃至五等の有期徒刑に處す。

第八十二條　哨兵或は衞兵にして故無く銃砲を發するものは五等の有期徒刑に處す。

附　則

第八十三條　本律は公布の日より施行す。

（十四年十月十二、十三日—七十二行商報—十月十四日—廣州共和報）

□日本の中國沿海漁業侵略記

吾が國(支那)は海關貿易報の記載に據れば、民國十二年(大正十二年)度の水產物輸入總額は合計關平銀二千五百八萬一千八百十九兩にして、外國品輸入總額の百分の三弱を占め、水產物の輸出總額は合計關平銀二百三十二萬五千五百七十八兩にして、國產品輸出總額の千分の三強を占めたり。民國元年以來既往十二年間を通覽するに、水產物の輸入額は殆んど全部一千三百萬兩乃至二千百萬兩内外にして、水產物の輸出額は殆んど全部百十萬兩乃至二百三十萬兩内外に止り、僅かに輸入水產物の十分の一に過ぎず、水產物の輸入總額は常に輸出總額の八倍乃至九倍以上を超過せり。故に吾が國(支那)人民の漁業品を需用する事多く、本國產は事實供給すれども、猶要求に應じ得ざる趨勢なる事を見るに足るべし。僅かに此項に就きて論ずるも、吾が國(支那)政府は宜しく漁業を整頓し、水產物の增加を計畫し、輸入の種類を減少せしめ、此國際的商業の債務を平均ならしむべきにして、沿海各省の主管官吏は實に此責任を負ふべきなり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

況んや今日の瓊海漁業情勢は其急迫豈これに止まらざるを以て、特に各種事情の經過に就き數項を列擧し、以て參考に資すべし。

一、民國十一年(大正十一年)十二月二十九日本部(農商部)は廣東瓊崖全屬公民大會王樹人等の代表電報を受取りたり。其電文に依れば、西沙群島は瓊島楡林港の東南に位し、香港より南洋に至る航路の衝に當り、燐礦豐富にして、水產亦繁殖し、誠に南端領海の重要なる所なり。昨年冬日本人は國賊何瑞年等と結託し、西沙群島開墾實業公司の名義を以つて廣東省長を欺き、其設立を許可せしめたり。此れより以後、日本船に搭乘して來る日本人及び臺灣人は二百餘名に及び、漁鹽に從事し、燐礦を開採し、瓊人の本島に在りて捕魚に從事する者は悉く掠奪せられ、此島は儼然日本の植民地となれり。前清光緒二十二年締結せる中日通商行船條約に依れば、日本人の居住・營業及び船舶の碇泊し得るものは通商港に限られたり。而して、西沙島は既に通商港にあらざるを以て、絕對に日本船の碇泊及び日本人の居住を許さゞるものなれども、竟に條約に違背して占有せるなり。

瓊人は國土の滅亡を見るに忍びず、頻りに廣東省公署に向ひて懇願せしも、未だ受附けられざるなり。蓋し該島と瓊崖とは脣齒の關係にあれば、若し我が種族にあらざる者をして此地に自由に侵入せしむれば、卽ち平時と雖も交涉に寧日無かるべく、一朝有事の際は門戶開放せらるゝを以て、防禦上更らに困難を覺ゆべし。故に余(王樹人)は更らに省長に向ひて至急適當なる方法を講じて處理せられん事を打電し、尙ほ實業總長閣下(農商部總長)に打電し、特別を以て之れを國務會議に交附し、省長に命じて公司を取消さしめられん事を請ひ、一面又日本公使と交涉し、日を限りて日本人を悉く群島より離脫せしめ、以て領土を全うせんことを請へり。

十二年一月十八日本部(農商部)は亦外交部及び廣東省長に對し、調査の復命及び愼重辦理の上該民等に指命さるべく咨文を送り、同日亦外交部に同じく咨文を送りたり。其大要は左の如し。

査するに西沙群島は鎭海の門戶にして、地形頗る重要なり。何瑞年等の請願處理せる該島實業公司は、本部(農商部)に據り考ふべきの案無し。代表電報に稱する所を見れば、該公司は曾て廣東省公署に於いて立案せられしものといふ。其事たるや領海の主權に關係し、且つ外交に涉れる關係上、曾て貴部(外交部)の許可を經たるや否や、別に該省長に向ひ調査復命並に適當なる處理を請求すべく咨文を送りしが、應に貴部より詳細に事件を調査報告あり、以て處理上の便宜を與へられん事を請ふべし云々。

同日又廣東省長に詳細なる回答ありたく咨文を送りしが、本部(農商部)の咨文發送後も該省長よりは竟に回答來らざるなり。十三年二月十三日、本部(農商部)は又廣東總商會に對し、本案を調査の上詳に回答すべく訓令せしも、亦回答無し。同年八月二十三日に至り、本部(農商部)は外交部よりの復函を受取りしが其大要は日本人の西

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

沙群島に於いて漁鹽に從事し、瓊人を驅逐せりとの事は、本部（外交部）に於いては未だ地方より咨報せる案を受取りあらずとの趣を記せるのみ。故に本案は今に至るも尙ほ懸案の儘にて、結末を告げざるなり。

二、民國十三年八月三日、本部（農商部）は、海軍部より咨文を以て、海道測量局々長兼全國海岸巡防處々長許繼祥の呈報に係る、派遣員の英國人と同道東沙島を測量調査せる情態、並に附屬せる島圖及び寫眞を受取りしが、其大意は左の如し。

査するに東沙島は香港の南偏東五十六度に位し、海圖上の方位は東徑百十六度四十三分、北緯二十四度四十二分にして、海外の孤島たり。其最も近きものは香港にして、其距離は計百六十二海浬なり。該島の何國に屬するやは萬國公法の定むる處に依り、島中に原住せる人民の何國に從ふやによりて斷定すべきなり。宣統二年某人廣東官吏に報告して曰く、該島は從來より中國漁夫の居留せる土地にして、尙ほ廟祠設けられ、其内に佛像を祭り並に碑記を立て、證據となせり。其後日本人西澤等該島に侵入し、明治四十年の木標を立て、燐礦を運搬し並に漁船を以て我が（支那）環島領海の水產物を攫取せり。故に廣東省は委員を派遣し、實地に就きて踏査交涉せしめ、該島の事實中國の領土に屬することを公認せしめんとせしが、しかも日本人は已に島内に棧橋・鐵道・工場等を建築せるを以て、廣東省は二十萬金を負擔して之れを買收し、日本人を離去せしめ、並に委員を派遣して駐在せしめたりとの事、記錄に存せり。

昨年七月本局は農商部の訓令を奉ぜしが、其中に曰ふ、北京駐在英國公使館書記官ホワードの文書に依れば、香港總商會は東沙島に無線電信局及び測候所を設立すべく提議し、該局をして遵辦せしめたりと云ふ。調査せるに該島は淸朝宣統二年回收せし後、曾て同三年春海關巡工司オルドリッチ氏該島に赴き測量調査せしが、該島の情態險惡にして、人類の生存し得る處にあらずと報告せるを以て、本局は更らに委員を派遣し、調査せしむる必要ありと考へ、本年四月二十日農商部に指示を請ひ、同月三十日許可を得たり。卽ち海關總稅務司アグレン氏（？）の紹介打合せにより、英國政府より海軍に轉達し、英國の海軍砲艦ミノラン號を派遣し、本局は海軍中佐江寶容・技術主任方肇融を派遣し、同道して香港に赴き、共に測量調査に從事せしめたり。

實容等の報告に據れば、六月二十五日午後香港政府に勤務せる技師三名と共にミノラン號に乘艦して出發し、二十六日午前八時東沙島に到着せしが、投錨せる處は島を離る事一海浬半にして、水深十二尋なり。舢舨を用ひて上陸し、詳細に視察せり。島中を瞥見するに日本人及び臺灣人約三十名居住し、捕魚を以て業となし、日本漁船一艘あり。其云ふ處に據れば、每年十一月頃臺灣より船を艤して此地に到り、海產の漁撈に從事し、六七月頃に至りて臺灣に歸るものなりと、尙ほ七月頃は颶風多く、颶風吹く時は狂濤島に衝入し、

漁撈に從事し難き勢なりといふ。査するに宣統二年頃海軍々艦海籌・飛鷹及び廣東巡洋艦伏波・寶璧本島に到り巡視せしが、何れも報告せる所ありたり。實容の今回赴きし時は、住屋僅かに三軒にして、古廟一處あり、安置されたる菩薩は依然たるものなれども、碑記は香港新順利の製造せるものなり。鐵道は已に烏有に歸し、僅かに軌道の迹を存せるのみにして、海濱には電燈及び廢線道棄せられあり。

實融の該島の地質を視察せるに、多く燐酸石灰質にして、井水は微に鹹味を帶べども、衞生上には無害なるが如し。日本人は捕魚以外海藻の採取・螺貝の拾取・藥品及び鈕扣の製造を兼ね從事せり。該島の面積は約一千七百餘畝にして、其最高處は最高潮時の水面よりの距離約十六尺あるを以て、若し此處に無線電信局を設定なしなば、海浪濫激の害を免るべく、電信所を建築するには宜しく兩層法を用ひ、下層には機械・器具を設置し、上層には職員を居住せしむべし。右の適當然合同報告に可及旨を記せり。

査するに東沙島に對しては前淸の廣東官吏より巨資を惜ますして日本人西澤を離去せしめたるに不拘、今や又日本人は竊に該島に來れり。而して島は我が(支那)領土に係り、島の四圍三海浬の範圍內は卽ち我が(支那)領海なれば、何んぞ自由に海產物の漁撈に從事するを得んや。然るに今江中佐等の報告に據れば、多數の電燈及び廢線を瞥見し、竝に日本漁船の碇泊して海產物を積載せるものあるを認めたりと云ふを以て、又電光附網を用ひしにあらざるや保し難く、此種の漁具を海岸附近の淺灘間に敷きなば、魚蝦は將に其跡を盡くすべし。貝殼類は海濱に生長するものにして、各國の通例を見るも、之れは專實の產物に屬せるを以て、外人漁船の領海線を越へ、捕漁に從事せる時、抗議を提出し交涉するも決して法理を空談する者の效を奏し得べきものにあらざるなり。

査するに領海の界線は、前に府院部處の組合議定せる處なれども、事たるや漁業規則に關係せるものなれば、應に農商部より領海界線の經緯度の在る所に就き、各國の保漁通例を參照し酌量擴充し、沿海各省に通知し竝に他國漁船の領海界線を越へ、捕漁に從事する事を禁ずべく諭告すべきに似たり。此明文の規定せられたる後、本國(支那)の軍警艦船は始めて漁撈期間領海界線を巡行し、漁撈を禁阻し得るなり。茲に咨文を以て農商部の適當に處理し、漁利を保護せられん事を請はんとす云々。後略。

本年九月八日農商部は海軍部に左の如き回答を發せり。東沙島の情況調査等の咨文を受取りしが、農商部より領海界線の經緯度に就き各國の保漁通例を參照して酌量擴充し、沿海各省に通知し、竝に他國漁船の領海界線を越へ、捕漁に從事する事を諭告禁止されたし等の各項は實際重要なる論なり。唯漁業界の劃淸は、愼重に詳細調査し、根據の確實にして公布せられたる後、效力を發生するものなり。査するに民國十年中資部(海軍部)の海界委員會より、海圖十五枚及び劃定海界の略記一部を提出せる事ありしが、若し印刷本あら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ば、參考資料として一部御送附の段希望す。尙ほ秘密本なれば、本部(農商部)は、應に秘密を嚴守し、閲覽後密封して送還すべし。唯漁場界と領海界との關係は頗る密接なれば、本部(農商部)の領海界酌訂は、海圖を詳細閲覽し、貴部(海軍部)各關係役所の合同商議せる結果の報告を待ちて決定し、疎誤無からしめんとす。日本人の東沙島に侵入して捕漁に從事し、或は燐礦の採掘に從事せる事は、漁場界の決定と同一事項にあらず、既に調査の結果確實となりたるものなれば、應に本部(農商部)より咨文を提出し、外交部と商議し、迅速に共に交涉せんとするものにして、外交部に咨文を送りし以外、應に咨文を以て貴部(海軍部)の實照を請ひ、並に海圖を本部(農商部)に送附し、處理上の便宜を與へられん事を希望するなり。本月二十六日本部(農商部)は、槪略左の如き秘密公文書を外交部に送附せり。海軍部より委員を派遣し、東沙島を調査せる情況並に附屬圖を部、海軍部)に送附せりとの咨文を受取りたりしが、査するに東沙島は中國の領土にして、曾て前清時代之れを回收せるものなれども、改革以後防範疏略に流れ、日本漁民の又自由に侵入し、水產を竊盜するに任ぜるを以て、貴部(外交部)に對し許局長より報告せる各項を審査し、之れを基礎として先づ日本公使と禁阻の件を交涉せられん事を請ひ、一面本部(農商部)より海軍部に對し秘密公文書を以て、軍艦を派遣し守護せられん事を請ひ、大局の稍や安定せるを俟ちて、更らに本部(農商部)より該島近海の漁業を調査し、或方法を講じて獎勵せんと擬せり。漁界の劃定に關する各項は、本部(農商部)より咨文を以て海軍部に對し海圖の送附方を依賴し、部(農商部)に送附されたるを俟ち、詳細に閲覽せる後、咨文を以て商議處理せん。更らに此案は曾て海軍部より貴部(外交部)に咨文を以て送附せられたれば、附屬各件は全部省略すべし。秘密公文書を海軍部に送附せる以外、貴部(外交部)にも秘密公文書を以て詳細回答せり。同日亦海軍部に秘密公文書を送り、常に東沙島に軍艦を斟酌派遣して守護せん事を請へり。時に高凌霨は農商部總長たり。十月四日本部(農商部)は、外交部より大略左の如き回答公文書を受取りたり。

査するに東沙島地方は、淸の光緖末年より日本商西澤なるもの擅に自ら工場を設け、燐礦を採取せしが、廣東省を經て宣統元年日本領事と交涉し、價格を給して回收し、該島は確實に中國の領土となれり。本部(外交部)より日本公使に公文書を以て禁阻を交涉せる以外、應に回咨に及びたれば、檢照ありたし云々。

(農商公報第百三十二期大正十四年七月十五日)

□支那燈油貿易

支那の燈油貿易は、一九二四年には四六、八〇九、六一九元に上り、同國に於ける最大輸入取引の一つで、恐らく最も永續性あるもの、

一つであらう。諸種の關係商社はバラ油の貯藏所、箱物油の倉庫、事業關係者の住宅、荷捌き及び支那自然の公道組織を成せる內陸水路の視察に其大部分の時間を消費する視察員の旅行等に當てる運送準備等に幾百萬の富を投資してゐる。支那人は現今或地方の石油層の開發を小規模に試みつゝ居り、且つ傳へられる所に依ると、某地方には其界隈の需要を充すには十分なる小量の石油が產出されて居るさうである。然し、充分なる石油の自給が支那領土內にて行はれるに至る迄、支那は燈油及び其類似品の輸入國であるべく、又全輸入商社が其迄引續き投資々本を增大する事は該取引に關する彼等の意見の中重要なるものである。

燈油輸入概說

下記の表は一九一三年、一九二三年及び一九二四年に支那に輸入されたる燈油の數量と產地を示したものである。

支那燈油輸入

產地	一九一三 ガロン	一九二三 ガロン	一九二四 ガロン
香港	三三、二七九、三二八	二九、一五七、二四六	二六、三七一、五八八
澳門	二二一、〇〇五	二〇六、二一〇	六二、〇九一
佛領印度支那	九四七、三六〇	一、二六三、四九五	一、四六八、七四五
新嘉坡・海峽植民地・其他	三八、四一七、五三六	七、四四一、〇六一	六、九八五、八六三
蘭領印度	二一、〇六二、一三九	一八、〇六五、八六〇	二三、九二一、〇三七
英領印度	二九、六三五	六九、八〇〇	五八、六〇〇
露西亞・土耳古・波斯・其他	二、二四二、九三三	二五二、一一六	一、四八二、八七四
朝鮮	一六六、九〇〇	二六一、二三七	二七八、四〇五
日本・臺灣	七三九、五四五	一、三三七、五二〇	七六九、八六〇
合衆國	九六、八三〇、五四七	一五九、五四四、七六〇	一五七、二九五、六四〇
南亞米利加	—	—	四、六〇六、五一三
合計	一八四、〇三六、九一七	二二七、四八九、一九五	二二三、二九〇、二三五

著しき米國貿易の增加

引續く內亂に依り、事業は凡て切詰められ、苦力階級より百萬長者に至る迄全國民の購買力は減少したに拘らず、十二年間に於ける全輸入は一九一三年の計一八四、〇三六、九一七ガロンより一九二四年の計二二三、二九〇、二三五ガロンに昇騰し、約二一パーセントの增加を示してゐる。斯る狀況の下に尚この增進を示したのは、一つに輸入商社の維持せる市場組織の絕大なる努力の賜に他ならない。就中、最も注目すべき發展は、僅々十餘年間に米國の占めたる優勢なる地位であつて、一九一三年には輸入總額の五二・六パーセントであつたが一九二四年には七〇・五パーセントに增進してゐる。

小單位の賣捌き——販賣要素

國外品は、商機を捕へ之を逸しない爲頗る緻密でなければならない代理店網の組織を經るのであるから、單に大量に取扱つてのみ利益をあげ得、而も結局は小量づゝ賣捌かなければならないに拘らず、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國外品を一般に需要する興味ある實例が支那燈油市場にも示されてゐる。

其他の取引と同樣に燈油に於ても價格が販賣を決定する最大單一の要素である。次には商標即ち支那俗語の「官印」である。其他のものも殆ど同樣であるが、市場にて最も古く且つ消費者に知れ渡つた商標が最も多く取引されるのである。例へば上海地方の某地では某米國商社が寧ろ高價な箱物油の重要なる取引をなしてゐる。同じ商會又は競走商會がより安價な燈油を包裝して賣出し競走するに拘らず、此箱物油が市場の一部を維持してゐるのは、單に品質が均等であるとの定評を得てゐるからである。

加之、包裝も重要なる要素である。或る地方ではバラ油を詰めた小樽物が寧ろ歡迎され、其他では五〇ガロン樽が要望される。又或る所では、元來箱物として積出されたものか、或は販賣直前に詰められたバラ油の罐入燈油が市場を左右してゐる。

撰擇は購買力及び商社の出方に由る

之等の撰擇は人々の購買力に依つて調節せられる需要に由るものであるが、亦其土地に於て或等級の燈油を賣捌かんとする商社の望みにもかゝるものである。燈油一艘量を輸入するにも複雜なる手順を要し、而も結局は一オンスにも上らない小量づゝで販賣されるのを見れば、年額四六、八〇九、六一九元に達する燈油消費は著しき成功であると思はれる。（Commerce Reports Jan. 4, '26）

□滿洲の經濟資源（上）

滿洲は奉天・吉林・黑龍江省より成り、全面積三六三、七〇〇平方哩で、政治的にも經濟的にも年々其重大さを加へてゐる。其富源は、南滿及び東支鐵道に依り外域と密接に連結せられ、急速に開發されつゝありて、其領内に自活領土を建設するの財源となつてゐる。政治的重大さと共に、是等純經濟的方面よりも亦此の地方は今や世界の注視を集めてゐる。

一、農　業

該洲は概略北緯四〇度乃至五〇度の間に介在し、海に近接してゐる爲め、氣候は溫和で諸種の農業に適してゐる。其國境を走れる數條の主要なる山脈を除いては肥沃なローム質の土壤を有してゐる廣大な平原より成つてゐる。而も全人口は一五、〇〇〇、〇〇〇即ち一平方哩に付き約四〇人にも及ばず、支那全省の中最も稀薄である。又、大規模に農業を實施し多大の成功を收めたのは、全支の中此地方ばかりである。

主要なる農業地は大體、四大地域に分割することが出來る。（一）鴨綠江及び其支流の流域に亘れる東南地域——現今最も豐沃で最も開

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

發されてゐる。(二)松花江と嫩江との合點より東方に延びて牡丹江に亘り吉林大平原を包括せる北部地域——唯所々が開發されてゐる。(三)遼河流域及び其支流大子河、渾河の灌漑してゐる豐沃な地方より成つてゐる西南地域——此地方は急速に開發されつゝありて、滿洲の未來の穀倉として囑目されてゐる。(四)南部地域——耕作に適する土地六八、〇〇〇、〇〇〇畝を有し、其中唯五、〇〇〇、〇〇〇畝が開墾されてゐる。

滿洲土民は本來其天性牧羊者に適してゐるが、近來の開發を一手に負へる新移住者は全土を急速に開墾地と化せしめてゐる。無數の廣漠たる牧場地の中、未墾の儘になつてゐるのは極僅かであつて、松花江に沿ひ吉林省の三姓より黒龍江省の白楊木に亘る二〇〇支里の地域、黒龍江省の呼蘭及び齊々哈爾間五〇〇支里の地域、黒龍江省海拉爾附近の地域等が最も著名なるものである。

主要なる作物を列擧すれば次の如くである。

大豆——商業上最も重要なる作物であつて、俗に「黄豆」或は「元豆」と稱せられ、「金元豆」「金黄豆」「白眉豆」及び「黒臍豆」の四種類より成つてゐる。豆糟或は豆油として夥しく輸出されると共に、洲内に於ても人又は動物の食糧として大量を消費してゐる。又、窒素を固定し土壤を肥沃ならしめるものとして、作物輪作に主要なる要素を成してゐる。

文豆——俗に「綠豆」として知られ、用法は黄大豆に同じく、東南地域に多量に生産される。

青豆——貯蓄用秣又はソース製造に使用される。全豆類の中最も低級な油を含有してゐる。

此他の豆科作物も人又は動物用食糧として滿洲農民に依り多少耕作されてゐる。穀類中では小麥・大麥・米・黍・燕麥・底豆・高粱及び蕎麥が產出せられ、雜穀の作物中では菜種・亞麻・煙草・亞麻仁・瓜等が最も重要なるものである。

統計のない爲め其全產額を見積ることは困難である。次の表は他に據る所あつて集めたもので、一九二二年に日本當局の調査の結果を含んでゐるが、諸種の作物の重要な程度を示すに必要である。

耕地面積(單位畝)

作物名	奉天省	吉林省	黒龍江省	計
米(低地)	三、七五四、九三〇	一、四五三、五〇〇	—	五、二〇八、四三〇
米(高地)	三、二六〇、四〇〇	一、六七一、一三〇	八〇〇	四、九三二、三三〇
大麥	五、六五〇、七四〇	六、一八九、四八〇	一一、六九〇、五六〇	二三、五三〇、七八〇
小麥	一〇、二四五、〇六〇	九、九三三、九四〇	二三、二七七、五三〇	四三、四五六、五三〇
燕麥	—	一一四、九〇〇	六、一五七、二〇〇	六、二七二、一〇〇
豆類	五五、七一八、二三〇	二七、七七〇、四〇〇	三一、六七三、九二〇	一一五、一六二、五四〇
高粱	三六、五一〇、六〇〇	四五、一一八、二〇〇	一三、〇二八、三一〇	九四、六五七、一一〇
黍	五三、八九五、六〇〇	二八、六三九、二〇〇	五、五六八、〇〇〇	八八、一〇二、八〇〇
底豆	三〇、六九七、二〇〇	二八、三三九、二四〇	一八、一四五、六四〇	七七、一八二、〇八〇

雜　穀	一六、一九〇、三一〇	七、一二六、五〇〇	八、五一〇、四七二	三一、八六六、九九二
計	二五、九三二、九六〇	一五六、三五六、二八〇	一八〇、五二一、四三二	四九〇、三三一、六七二

牧業——牧業はよく發達してゐる。牧場は唯二三しかないが、實際には家庭毎に牛・乳牛・小馬・騾馬・驢馬・駱駝・羊・山羊・豚・家鴨・鷄・鵞鳥等の家畜及び家禽を飼つてゐる。話すに足る純種の家畜はなく且つ飼養動物も決して高級なものではないが、然し普通强健で而も柔順であつて、放飼にも適し此地方一般に行はれて居る樣比較的粗食にも堪え得るのである。

滿洲に於ける飼養動物の種類に付て槪念を與へる爲め次に特種なものを擧げやう。

小馬——蒙古原產であつて、矮小で耐久力に富んでゐる。丈は約十三掌（一掌は四吋）で重量約四二〇斤である。中所のもので二〇〇斤計りの荷物を一日八〇支里より一〇〇支里運搬する。二、〇〇〇乃至四、〇〇〇斤の荷物を乘せた重量一、〇〇〇斤位の荷馬車は六頭より十頭で約八〇支里を挽くが、正味五〇〇斤位の荷馬車で一、〇〇〇斤より二、〇〇〇斤の荷物を一日約八〇支里運搬するには三頭乃頭六頭を要する。乘馬用としては特別に訓練され、步調を整へられた小馬が使用され、一日一〇〇支里乃至一五〇支里は平氣で行く。

驢馬——小馬よりもずつと小さく、約五〇斤を一日八〇支里運搬することが出來る。日糧が少く御し易い爲め、一寸とした畑仕事や小距離旅行には甚だ好適である。

騾馬——普通小馬よりは稍々大で、駄馬に適し、運搬能力がより大であり（約三〇〇斤を滿載せられる）、耐久力も亦大である。尙小馬よりは小量で粗末な食料を食し、日糧は小馬の三分の二である。

牛——山東又は朝鮮種で丈三呎九吋、長さ四呎六吋で、肚帶の周りが五呎八吋ある。主として耕作・挽車用とせられ、特別に肉用とせられるものはない。二、三頭で挽く大形牛車は六〇〇乃至八〇〇斤の荷物を乘せ一日五〇—六〇支里を行き二〇〇—四〇〇斤の荷物を乘せた小形のものは一頭で十分である。牝牛も乳牛として飼養されてゐる。古く弱くなつて仕事が出來なくなれば殺して肉を取るが、五〇〇斤の去勢牛からは純肉約二〇〇斤を取ることが出來る。

駱駝——殆ど雙峯種で、高さ五—六呎、重量は優に五〇〇斤を超えてゐる。寒冷な乾燥した氣候に好適で、各頭四〇〇—六〇〇斤の荷物を一日一五〇支里運搬することが出來る。駄載用として價値あるのみならず、年々各頭より四—五斤の毛を刈る事が出來る。

羊及び山羊——主として肉用に飼養せられ、副產として羊毛を採る。山羊は肉獸として羊よりも經濟的であり、嚴酷な氣候にもよく太るものとされてゐるので、滿洲に於ては羊よりは山羊の飼養が盛んである。山羊一頭は約五〇—八〇斤の重量を有し、年々約二斤の羊毛が採れるが、此羊毛は稍々品質が落ちるので安價な布用として日本及び米國に輸出せられる。此二者は滿洲に居住せる蒙古人の主要なる財產であつて、彼等の所有高の計上には通常是等の動物數を譲

み、欲する品物は之と物々交換をする。

豚——滿洲農民は農場の殘餘食料品を食はせる爲に飼養し、町にても豆腐・酒を作るが故に同目的の爲に多數の豚を飼養してゐる。豚肉は全然地方で消費せられるが、針毛は輸出重要品で主として日本に積出され、その年産額は平均一、五〇〇、〇〇〇封度で、一封度約五元で取引されてゐる。充分生長した豚(二歲)は平均約二五〇斤の重量を有してゐる。非常に有利な種であつて、一腹約一打の仔を生み、肥滿も早く、手非道い虐待にも堪え得る。

家禽——鷄・家鴨・鵝鳥等も亦多數飼育されてゐるが、大群飼養は稀である。殆ど各農場の周圍に肉用又は卵用として少數を飼養し、其卵の輸出は近來素晴らしい額に上つてゐる。

野蠶絲も近年に發達した産業の一つで、其産額も著しき比率に達し、事實滿洲は現今この野蠶絲界に於て全省の首位にある。朝鮮國境の安東・鳳凰城・寛甸・海城・蓋平・岫巖及び復州は其生産の中心地であるが、吉林にても長白山周域地方は此方面に迅速なる發展をなしてゐる。蠶絲及び繭の輸出年額は最近三年間の平均一〇、〇〇〇、〇〇〇元を超過してゐる。次の表は支那政府の報導及び日本で出された報導に據つたもので、一九一八年の數字であるが、滿洲に飼養される動物數を知るに得る所があらう。

動物名	奉天省	吉林省	黒龍江省	全計
小馬	七八八、一四九	七一六、〇〇八	九〇五、九七七	二、四一〇、一三四
驢馬	三四〇、〇三三	一八四、〇六〇	四一、五三三	五六五、六〇五
牛	四七四、七九六	四九五、六四五	二九八、九七五	一、二六九、四一四
羊・山羊	六五三、六五九	一八四、四二五	二二六、六六〇	一、〇六五、七四二
豚	五、五六九、六四五	一、二四一、四八二	一、二二九、四〇〇	八、〇四〇、五二五
鷄	六、一四九、九七六	三、七六四、六八七	一、八二五、八五六	一一、七四〇、五一九
鵝鳥	八七五、二四〇	八二七、八二四	三一三、三五九	二、〇一六、四二三
家鴨	二二〇、二〇二	六四、四二七	七三、八四三	三五八、四七二
騾馬	二〇五、三三〇	二三一、三七四	一一五、三一四	五五二、〇一八
駱駝	—	—	五八、〇〇〇	五八、〇〇〇

二、林業

森林地帶は南部よりは北部滿洲に多く、長白山脈・興安山脈及び鴨綠江・松花江・豆滿江に沿ふ森林が最も知られてゐる。一般に河川の下流方面で運輸の便ある地方は原生材は已に多少伐採されてゐるが、水源に向つて尙進めば、未だ一斧をも觸れない廣大な處女林がある。舊滿朝時代に吉林中心の大森林地が御獵地として分置せられたが、之等の地方が移住地として開放せられて以來、生材は多く伐り拂はれ、現今では稀に伐り殘された杜があるのみである。然し東支鐵道沿線山脈の奥深くには未だ前人未踏の處女林がある。現今知られてゐる當々たる已知件を以てしては、現存森林の廣袤を極めあらまかに見積ることさへ殆ど出來ないが、次に揭げる表は、支那政府の報告に日本にて報告された所を斟酌し拔萃した數字で、讀者諸子

に一般狀態の概念を與へるものであらう。

鴨綠江及び渾河流域	七六八、〇〇〇畝
松花江上流及び牡丹江流域	三一、四三四、〇〇〇
東支鐵道沿線の山	一三三、六一六、〇〇〇
大興安嶺	九、八八〇〇〇
計	一七三、五三六、〇〇〇

非公式な見積りに依れば滿洲に於ける森林の全面積は只八〇、二八四、五三六畝である。滿洲森林の殆ど大部分は原生林よりなり、樹種も種々雜多であつて、現今確かめられてゐるものが三〇〇種以上ある。其中八種類の針葉樹及び濶葉樹の一七種類が丸太として最も價値あるものである。是等の木材は凡て限られたる境界線もなく雜生してゐて、一般に其約四〇パーセントは針葉樹よりなり、六〇パーセントは濶葉樹より成つてゐると見積られてゐる。比較的短期の生長より割出すと、樹木が或大きさに達するに滿洲では他の地方より長期間を要する。針葉樹中次に揭ぐるものは經濟上最も重要なるものと云はれてゐる。

一、紅松――屢々高さ八〇―一〇〇呎、周圍一三呎に達するものがある。其材質は緻密な木理をなし、光澤狀を呈し、強くて軟い特性を有して建造用に好適である。

二、魚鱗松――高さ一〇〇呎、周圍一〇呎に及ぶものもあつて、緻密なる木理及び光澤を有する帶赤黄色の木材である。不順なる氣候狀態につれ容易に伸縮するが故に、ひいが入り易い。一般に箱に作り又は安價な床を張るに用ゐられる。

三、白松――高さ八〇呎、周圍七―八呎。材は輕軟で彈力性を有し、通常枠細工及び家庭道具に使用せられる。

四、砂松――白色で心は赤く松脂特に多く、高さ七〇―八〇呎、周圍七―八呎を有してゐる。

五、黄花松――高さ一〇〇呎、周圍一〇―一二呎。材質堅く、耐久性及び耐濕性があり、特に橋梁、帆柱用に適し、一般には建築用に使用されてゐる。

六、油松――唯油狀を呈し松脂を多分に含有する他黄花松に類似してゐる。

七、赤杉――高さ約三〇呎、周圍三―四呎にて、緻密な木理を有して頗る彈力性に富む帶赤色材で、通常精巧は彫刻細工に利用されてゐる。

九、崩松――高さ四〇―五〇呎、周圍二呎、材は黄色を呈し、耐水力強く、造船又は裝飾用に使用せられる。

濶葉樹に屬する樹木中下記のものは商業上重要なるものである。

一、柳――高さ區々で周圍屢々五―六呎に及び、黄味を帶びた白色材で木理は稍粗く、堅く重くて耐久力に富み・造船・農業用具・車輛・鐵道枕木等に使用せられる。

二、山榆――高さ六〇呎、周圍六呎に達し、材は組織甚だ密で、

破壊し難い爲め斧柄、車の心棒及び家具を製作するに用ゐる。

三、赤楡——高さ六〇呎、周圍五—六呎、材質は山楡に類似してゐるが其よりも一層堅く、車輪の心棒、車の其他の部分及び强き張力を要する建物等に使用せられる。

四、滿洲胡桃——高さ五〇呎及び周圍五—六呎を有してゐる。材質は若き時は純白であるが老木は帶褐色に變じ、木理が密接して堅く、藝術品又は銃床に利用する。

五、樫類——數種あるが凡て堅固なので知られ、耐腐性を有し、造船・オール及び車の心棒用とせられる。

六、ポプラ——屢々六〇呎の高さに達し、周圍七—八呎に及ぶ。材質は白く軟く、主として燐寸の軸木及び紙製パルプに、時としては建造用に使用される。

七、樺——黃色の縞をなした樹皮の內部に帶黃白色で、堅く緻密な組織の材を包有してゐる。主として農具の柄に使用し、樹皮は染料及び革鞣しに使用せられる。

八、しなのき——高さ五〇呎、周圍五—六呎に達する。材は白く軟くて頗る美事であるから屋內裝飾用に恰好であるが、主として燐寸の軸木用にせられ、樹皮の細かな纖維は織布に使用されてゐる。

九、滿洲楓——楓の一種族にて高さは五〇呎に達し周圍一〇呎を超えてゐる。材は稍々堅固で特に美しき曲線を示し、家具・銃床の製作に使用される。

一〇、Syringa amurensis——高さ約三〇呎、周圍二呎。白色材にて光輝狀を成し、彫刻物又は小なる家庭裝飾品に利用される。

一一、きはだ(Phellodendron amurensis)——高さ七〇呎、周圍七—八呎。材は堅固で黃色を呈し、主として裝飾用とせられてゐる。

前記諸所の森林地の中、鴨綠江流域の滿洲東南隅に當る地方は現今商業用材の最も重要なる產地であつて、本流に沿へる臨江縣の東部及び渾江沿岸の通化縣の北部は最も著名なる中心地である。此地方では目下某日支合辦の公司が三〇、〇〇〇人以上の勞働者を雇用し伐採搬出をなしてゐる。該公司は約二〇年間經營されて居て、其同川沿の地は既に高價なる木材全部を伐り拂はれてゐる。此事業は今や年を追ふに從ひ益々山深く進められてゐる。安東縣に於ては經營されてゐる小挽材工場は其他二〇ばかりあつて年々輸出される木材は七、八〇〇、〇〇〇元に上つてゐる。

次いで重要なのは吉林地帶であつて、全省の三分の一に亘つてゐる。之等森林は一帶に連續せるものではなく、一般に長白地域及び哈達嶺地域に分割されてゐる。松花江は此二者を貫流して大動脈を成し、其上流地帶は大分水嶺近くで鴨綠江森林と混同されてゐる。伐材は頭道溝・二道溝、Whei-Fa-Ho、十里河、Wan-Li-Ho、等諸所に於て多數の小會社又は個人の手で經營されてゐる。丸太は通常川に流して會城吉林に下し、吉長鐵道及び南滿鐵道を經由して輸出される。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

北部滿洲森林は東支鐵道沿線に散在してゐる。Aichen（阿城？）賓縣・同賓は重要なる生産中心地になつてゐたが、道路が數設されて以來は最も運輸の便ある地方は凡て伐材され、現存森林は鐵道地帶又は牡丹江より少しく離隔した所にある。鏡泊湖の南方の大黑背嶺は最も有名なる森林地域で（殆ど三、〇〇〇、〇〇〇畝と計上されてゐる）今日尙一斧をも入れないである。穆稜及東寧の地方境界線に在る老松嶺は廣大なる木材地域であるが、之も亦運輸不便の爲に手を附けられないである。此地方の最大伐採場はMi-To-Ho（兎渡河？）東方の大興安嶺の大分水嶺に位し、五三平方露里に亘る森林が露國の特許を得て伐採されてゐる。此他の自然林は小興安嶺の北部及び其周圍に存在するが、其廣袤は全く確められてゐない。近時政府及び地方人共に或地方特に南部滿洲に復林すべく努力し、將來柞蠶絲工業の増加するを豫想して從來不毛なりし多くの山腹に櫟苗を植林した。然し其處理が組織的でない爲め進歩の遲々たるは免れられない。

比律賓

□一九二五年比島對外貿易概況

比島關稅局發行の統計年報に據れば、一九二五年の比島對外貿易總額は、二四年度の夫れを超過すること正に五〇、五〇八、九六二比で、卽ち五三七、二二〇、〇七七比である。

上記の數字は、比島對二十八箇國の貿易額で、就中合衆國は其の最も大部分を占めてゐる。

而して、一九二四年の對合衆國貿易總額は三一五、四二五、〇一一比であつたが、二五年の夫れは三五六、六八五、〇四九比で、卽ち四一、二六〇、〇三八比の增加を告げてゐる。因に、同年米國よりの輸入額は僅か一三八、五九五、一六六比、他方比島よりの輸出額は二一八、〇八九、八八三比で、其間七九、四九四、七一七比の比島側の出超であつた。

對英國貿易總額は三五、五一一、三二〇比で、英國よりの輸入額は合衆國と同樣僅か一三、〇五一、一八一比、同國への我が輸出額は二二、四六〇、一三九比であつた。

布哇・日本・支那・佛領印度及び其他の諸邦は、何れも比島に對して出超を告げた。

當年の輸入品中、綿布は他の品目に抽でゝ四、九五五、七七〇比の增加を示し、他方米は五、六九九、三九八比の減退を告げてゐる。

輸出品では、コプラは前年度の三〇、七〇三、七六四に對し三一、七四七、四〇五比、馬尼拉麻は更に一大增加を示し、前年度の五九、九〇〇、九一六比に對し七一、〇四三、二九二比であつた。

次に當年中比島より輸出した金地金の量は一五八、五六七オンス、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

價額三、八六一、七一九比、之に對する前年度は一五一、四五四オンス、價額三、四四八、九四五比であつたから、即ち八、一一三オンス、價額四一二、七七四比の増加となる。然し乍ら、香港への米國金貨の輸送に就ては、一、四三〇、〇〇〇比の減退を見た。(The Philippines Herald. Jan. 30, '26.)

□比島に於ける地方護謨栽培計畫

本年比島では全島に亙つて約三千萬粒の護謨種子が頒布される筈である。昨日地方行政監督局に於て聞知する處に據れば、該種子頒布の手順は既に大部分完結したとのことである。同局で準備せる處に據れば、島内各區は三萬粒の種子頒布を受けることゝなつてゐる。而して全島には約一千區あるから、本年約三千萬粒の護謨種子を植附ける計畫である。尙ほ各縣知事は大半該計畫に贊同してゐる由である。

茲に又、比島に於ける護謨栽培業促進策として、土地•農務•林務•刑務•非基教徒及び地方行政の各局長を以て組織された委員は、全島汎く實施さるべき地方改善の一方法として、近く護謨栽培計畫を樹立するであらう。

該計畫に關與すべき全島の區數は約一千區であるから、各區で約一千本を植附けるとせば、少く共島内には一時に一千萬本の護謨樹が生ずる譯である。而して護謨は、島内何れの地方に於ても充分に發育し得ると云はれてゐる。

之の結果が果して良好だつたら、該試驗は更に擴張される由であるから、護謨栽培業は、將來本島に於て最も盛んな産業となるに至るであらう。(馬尼拉タイムス二月十六日)

□比島問題に對する一米人識者の意見

昨夜學生基督教靑年會舘に於て開かれた大學生との胸襟を開いての會談中、米國前駐土大使ヘンリー•モーゲンソウ博士は、比島問題研究の爲めに、虛心坦懷且つ最も友愛的精神を以て而も最後の目的は比島獨立實現の見地に於て、米國人及び比島人より成る一箇の不偏的調査委員の創設を提議した。

氏は語つて曰く『彼のウッド•フォーブス調査委員は、比島側に取つては不公平であつた。夫れは、先づ第一に、同委員が全部米國人を以て組織されたからである。彼等は、若し彼等が夫れを欲するならば、如何樣にも彼等の思ひ通りに報告を曲げる事が出來たからである。苟も一調査委員が、彼等の使命を完成せんとするには、先づ

兩當事國の委員を以て組織され、而も彼等は、一獨立國としての比島人の能力如何を裁量するに當り、公平不偏でなくてはならぬ。

余は比島獨立に贊成する。實際余は、獨立欲求に對する比島人諸君の氣分を賞嘆するものである。余は獨立の欲求が全比島人の欲求である事を認めるが、米本國に於ける輿論は之と反對で、夫れは單に少數政事家の希望に過ぎずと目されてゐるのである。

然し乍ら余は、比島が今日未だ獨立許可を得られぬものとすれば、寧ろ比島は米國と協力に出づべきであることを勸告せねばならぬ。比島は其の獨立準備の間に、米國の年少協力者として公益を增進し、斯くて米國の保護と指導とを仰ぎ得るのである。世界の強國たる米國は、自然比島及び比島人に對して、國土の保護以外に、凡ゆる最善を盡すであらう」云々。

氏は又、比島が若し今日獨立を許可されたとしても、彼は到底現狀の儘では外敵の侵入を防ぎ得ぬであらう、故に比島は宜しく陸海軍を創設し、國家の防備を强固たらしむべき事を勸告した。

更に亦、比島の經濟資源開發の重要なる事を力說し、何れの國に於ても、經濟的獨立が、政事的獨立に先立つて緊要なるを述べ、國家資源の開發に外資輸入を希望する旨を主唱した。

獨立實現と共に發生すべき、國家としての諸責任に對して、準備をなす爲めには、比島は經濟的に開發せらるゝ必要があると語り、又比島人農業生活の核心たる小農の保護必要をも摘示した。

本會合の司會者アバド・サントース檢事は、比島が若し獨立獲得に於て失敗せば、比島は獨立を同等なる立場で、米國との協力を快諾すべしと述べた。(The Philippines Herald, Feb. 27, '26.)

附記　ヘンリー・モーゲエントウ氏は、獨逸生れの米國法律家で、一九一三―一六年迄土耳古駐在の米國大使であつた。―譯者―

佛領印度支那

□佛領印度支那の礦業（上）

本文に就ては曩の內外情報自一三四號至一三七號所載「佛領印度支那に於ける礦業」を併讀されたし。

第一章　試掘權許可數と採掘權許可數

次表は植民地政府の印度支那各地に於ける礦物試掘權許可數の累計を表示したものである。

各國別	一九二二年七月一日現在	一九二三年七月一日現在	一九二四年七月一日現在	一九二五年一月一日現在
東京	六六四	八七〇	九八三	一〇七四
安南	一四四	一三三	二五三	二四三

老撾	二九	三四	三六	三二
柬埔寨	三	一〇	九	九
交趾支那	二	二	六	六
合計	八四三	一,一三八	一,三八七	一,三六三

右表に示すが如く政府に登錄されたる試掘許可數は年に增加を示し佛領印度支那鑛業の前途愈々多望なるものがある。然して各年の試掘申込數は一九二二年三二四件、一九二三年四九〇件、一九二四年四七二件に到達し、探礦者の活動は一九二三年以來金屬鑛物、燃料礦物を通じ益々旺盛である。

次に採掘許可數を見るに、一九二三年度に於ては一五件、一九二四年度に於ては二十一件を數え、一方地租滯納に據る失格者、一九二三年に二十九件、一九二四年二十三件を示し、差引き一九二五年一月一日現在に於ける採掘許可數は二八七件を數ふるに至つた、今更にこれを鑛種別に表示すれば次の如し。

鑛種別（註一）（主要鑛物）	採掘許可數 一九二三年	採掘許可數 一九二四年	一九二五年一月一日現在に於ける許可數累計	採掘許可地面積（エクタール） 一九二四年一月一日現在	採掘許可地面積（エクタール） 一九二五年一月一日現在
石炭	五	三	八四	二八,二七六	二九,九七六
亞鉛並鉛鑛	二	五	九二	四九,五八二	五二,五三四
鉛及銀鑛	一	一	二	五,六一四	六,五一四
錫及タングステン鑛	—	四	三〇	八,二四三	九,二六三
錫鑛	—	一	六	一,七五四	一,八五〇
金鑛	—	六	二六	一一,五七九	一六,三五八
銅鑛	—	—	二	七,四五〇	七,四五〇
鐵鑛・クローム鐵鑛及チタン鐵鑛	五	一	一四	七,七〇三	八,三九六
アンチモニー鑛	一	—	四	一,七八八	一,七八八
水銀	一	—	四	二,八三八	二,八三八
燐酸鑛	—	—	五	一,七六五	一,七六五
黒鉛鑛	—	一	一	—	一〇〇
合計	一五	二二	（註二）二八二	一二六,五九二	一三八,八三二

註一、この鑛種別は拂下げられたる採掘地の包藏する主要鑛物による。一九一二年一月二十六日發布されたる規定により、採掘許可は許可地の包藏するあらゆる種類の鑛物を認めらる。

註二、此中採掘許可失格を宣告されたるもの及中止せるものにして尙取消されてゐない四十一件を含む。

第二章　鑛物の產出高——取引及價格の進步狀況

次に印度支那連年鑛物產額表及燃料鑛物及金屬鑛物連年產出高表を左に掲げ產額進步の槪略を窺はん。

連年印度支那鑛物產額表（單位法）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

年次	産額
一九〇七年	4,500,000
一九〇八年	5,350,000
一九〇九年	7,400,000
一九一〇年	9,400,000
一九一一年	10,100,000
一九一二年	9,665,000
一九一三年	10,100,000
一九一四年	12,430,000
一九一五年	15,980,000
一九一六年	25,500,000
一九一七年	24,530,000
一九一八年	23,371,000
一九一九年	29,700,000
一九二〇年	32,070,000
一九二一年	49,713,000
一九二二年	53,034,000
一九二三年	81,107,000
一九二四年	124,436,090

連年印度支那金屬礦物産出高表（單位メートル噸）

年次	産出高
一九〇六年	2,089
一九〇七年	5,600
一九〇八年	9,000
一九〇九年	16,000
一九一〇年	24,000
一九一一年	26,600
一九一二年	26,500
一九一三年	33,600
一九一四年	31,800
一九一五年	33,200
一九一六年	50,700
一九一七年	43,318
一九一八年	28,656
一九一九年	16,563
一九二〇年	7,636
一九二一年	12,694
一九二二年	22,799
一九二三年	31,304
一九二四年	43,185

之れを更に内譯し最近三箇年間に於ける主要金屬礦物の産出高は次の如し。

	一九二二年	一九二三年	一九二四年
亞鉛礦	31,091	30,538	42,431
錫礦及タングステン礦	709	667	852

連年印度支那燃料礦物産出高表

年次	産出總高	鴻基炭山の産出高	其他各礦山の産出高合計	輸出高
一九〇六年	315,000	282,000	33,000	—
一九〇七年	321,000	276,000	45,000	—
一九〇八年	347,000	292,000	55,000	—
一九〇九年	404,000	292,000	112,000	—
一九一〇年	498,000	379,000	119,000	—
一九一一年	447,000	338,000	109,000	—
一九一二年	430,000	306,000	124,000	—
一九一三年	509,000	371,000	138,000	319,000
一九一四年	620,000	498,000	122,000	325,000
一九一五年	644,000	540,000	104,000	400,000
一九一六年	685,000	576,000	109,000	363,000
一九一七年	654,000	544,000	111,000	324,000
一九一八年	636,000	510,000	126,000	323,000

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九一九年	六六五,000	三三〇,000	一四五,000	三三四,000
一九二〇年	七〇〇,000	三五〇,000	一三〇,000	四四四,000
一九二一年	九三一,000	七三〇,000	二〇一,000	三二六,000
一九二二年	九九九,000	七六〇,000	二三九·000	三五六,000
一九二三年	一,〇五七,000	七九八,000	二五九,000	三四七,000
一九二四年	一,二三六,000	八五九,000	三七七,000	三七九,000

一、燃料鑛物

イ、價格

無煙炭及煉炭 東京炭礦會社（La Société Francaise des Charbonnages du Tonkin）（鴻基炭山）產の石炭平均賣價は明かに一九二二年より一九二四年の間に於ては動かす。一九二五年の初めに於て昂騰を示してゐる。今最近進年炭價表を掲ぐ。

相場表（單位ピアストル）

品種	一九二一	一九二二	一九二三	一九二四	一九二五年當初	一九二四年當初
塊炭鴻基港甲板渡 Criblé la Tonne fob Hongay	九·五〇	10·00	10·00	10·00	11·00	六·八〇
中塊、炭（18/30）同 Noisette 18/30 〃	10·00	10·00	10·00	10·00	11·00	七·二〇
粉炭同 Menuordinaire 〃	五·八〇	五·八〇	五·八〇	五·八〇	六·00	四·00
混合炭同 Tont-venaut 〃	八·00	八·00	八·00	八·00	八·五〇	五·三〇
無煙炭ブユウレット同 Bonlets Maigres 〃	二三·00	一八·00	一八·00	一八·00	一六·00	10·00
コークス同 Coke 〃	四二·00	四二·00	四二·00	四二·00	四〇·00	一四·00
普通船舶用煉炭同 Briquettes Marines 〃	三〇·00	二四·00	一七·00	一四·00	一六·00	一二·00
	二〇五法	一六〇法	一四〇法	一四〇法	一六〇法	一三〇法
軍艦用煉炭同 Briquettes de Guerre 〃	三五·00	二七·00	一九·00	一六·00	一六·00	一四·00
	二四〇法	一八〇法	一六〇法	一六〇法	一六〇法	一二五法

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

註 ピアストルの平均相場

一九一三年	二法五一
一九二三年	八法四七五
一九二四年	一〇法〇六五

ドンチユウ地方に於ける主要二炭礦會社の炭價も等しく一九二二年來昂つてゐる。卽次表の如し。

品種	ドンチユウ炭礦會社(ウオンビ港甲板渡し) 一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年初	東京無煙炭礦會社(マオケオ棧橋渡し) 一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年初
塊炭	一〇・〇〇	一〇・〇〇	一〇・八五	一〇・八五	九・〇〇	一〇・一五	一〇・三〇	一〇・五〇
中塊炭	一〇・〇〇	一〇・〇〇	一〇・七五	一〇・七五	八・二五	八・二五	八・六〇	八・七五
小塊炭 Grains	—	—	—	—	五・五〇	五・五〇	五・五〇	—
粉炭	三・〇〇	三・〇〇	四・三〇	四・三〇	一・七〇	一・九〇	二・六〇	三・〇〇
洗炭(粉炭) Menu Lavé	—	—	五・四〇	五・四〇	—	—	—	五・五〇

一方一九二一年より一九二四年に於て煉炭の賣價(ピアストル)は比較的大なる下落を示し、松脂及日本產有煙炭を混じて煉炭を作つてゐた東京炭礦會社は一九二三年に至り相場高きが故にエコス(Écosse)產の購求を中止し、同等品質の日本產松脂を利用するの餘儀なき次第となつたのである。歐洲の各港に於ける松脂相場は一九二三年當初に於て噸當り三八〇法、同年の中期六五〇法に昂騰し、一九二四年の六月及同年十二月に於ける各二五〇法、二四〇法を限度として止つたのであるが、この下落によりて漸く印度支那の本產物は再び新しく輸出さるゝに至つたのである。

亦一方日本產の有煙炭相場は一九二二年以來下記の如く種々であつたが戰前の日本產クリンプレ有煙炭の平均相場九弗七五に漸次近づくの有望さを示した。

上海に於ける城島炭山のクリツプレ炭相場は次の如し。(印度支那弗に換算し)

一九二二年	一五弗七〇
一九二三年	一七弗一〇
一九二四年	一六弗七七

一九二三年及一九二四年に於ては共に煉炭の生產高富に復し、一

九二二年には三〇、九四一噸なりしものが一九二三年四六、四二六噸、一九二四年には七五、二一一噸を產出してゐる。且之等は從來東京炭礦會社により一手に造られてゐたが、最近海防に二煉炭製造所の設立された事は注目に價する。卽一は土人經營の炭礦會社にして、二個のブユウレツト壓搾機を擁し、一時間に八乃至十噸の生產能力を有するも一九二五年の當初に於ては未だ本社の製品は市場に現はれなかつた樣である。他は既に一九二四年十一、十二月に於て煉炭一千噸を生產したブリフオウド氏(M. Briffaud)の製造工場にして一煉炭壓搾機及一ブユウレツト壓搾機を有し、一時間に各目前者は十噸後者は五噸を製造す、然して日本產松脂(八―十%)、日本產有煙炭(二三―二五%)及印度支那產の無煙粉炭を混じて之を造つてゐる。

瀝青炭及半瀝青炭　一九二三年及一九二四年に於ける有煙炭相場は何等の變動を見なかつた。卽、

ファンメ炭坑(Phan-Mé)產炭
ダツプコウ(Dap-Cau)　驛渡値段　一三弗五〇
フノカン炭坑(Phu-Nho-Quan)產炭
ニムビン(Ninh-binh)　驛渡値段　一二弗七五

にして市場の地位は不變であると共に一方需要は益々增加し、且產出高も著しき增加を示してゐる。

ロ、產額の增加

印度支那各炭坑の總生產高は一九二三年に於て一、〇五七、〇〇〇噸にして、その中東京の採掘高は一、〇五三、〇〇〇噸であつた。卽一九二二年に比し、約六四、〇〇〇噸の增產を示したが、一九二二年の產額はその前年よりも約六八、〇〇〇噸の增產なりしを以て一九二二年及一九二三年の增產割合は相均等するの珍現象を示した。次で一九二四年に至り產額は急激に增加し、一、二三五、〇〇〇噸といふ數字を示し、一九二三年に比し實に一七九、〇〇〇噸といふ增產を見たのである。

一九二〇年に於ける各炭坑主の採掘上の非常なる努力は一九二一年に總產額の三一%といふ增加を示すに至りたるがその後一九二四年迄は東京の石炭採掘高は遲々として發達の見るべきものがなかつた。然れども再度の異常なる努力の結果、(一九二四年の產額は前年に比し、一六%を增加するに至つた。此等は特に下記三會社の增產に據る處が多い。卽ケバオ炭礦(Domaine de Kébao)、東京無煙炭礦會社、ドンチユウ炭礦會社にして夫々三〇%――五八%――九三%の增加を示したのである。一方鴻基炭山(東京炭礦會社)の產額は全產額の約八〇%を占むるもその增加割合は僅かに七%に過ぎない。この因つて來る處は目下東京炭礦會社は構外施設の方に主力を盡しつゝあるが故にである。依つてこの新設備の成ると共に近き將來に於ては素晴らしい產額の增加を見るであらう。又同じく東京に於ける他の炭礦會社中最も有力なる二會社、ドンチユウ炭礦、及東京無

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

煙炭礦の二會社によつて行はれてゐる新裝設備は、一九二四年に至り既にその效果を表し、鴻基炭坑の産額の二三%、一九八、〇〇〇噸といふ産額を示してゐる。因に一九二三年度に於ける産額は單に一三%に過ぎなかつたのである。

八、輸　出

次表は石炭及煉炭の仕向地別輸出高表である。

（稅關統計に據る、單位噸）

仕向地	石炭 一九二二年	石炭 一九二三年	石炭 一九二四年	煉炭 一九二二年	煉炭 一九二三年	煉炭 一九二四年
佛蘭西	六、八二三	一五、三六〇	二〇、八八四	一、九〇三	三、五八〇	七、一九一
香港	三六、三三三	二六、一三六	二五、八四六	五九九	一、〇四〇	四、三二八
新嘉坡	六、四六〇	一〇三	四〇〇	七五	—	—
支那	一六八、九一三	一七三、三八八	一九〇、五五九	一、六二八	七、六四三	三、四六七
廣州灣	—	—	—	—	—	六三
日本	一七五、六五六	一九〇、六七九	二〇三、八五二	—	—	—
比律賓	二七、五六七	六四、六三四	四四、一〇三	九五	—	—
暹羅	一四五	七、三七一	一〇、二八九	一二五	—	—
蘭領印度	五、〇八八	五、二六二	—	—	—	—
英領印度	三五六	三、〇八〇	三、四五五	—	—	—
右以外の東洋諸地方	一八九	五〇	—	—	—	—
白耳義	三〇〇	—	八五八	—	—	—
合計	六一七、七一八	六七五、〇六二	六九〇、二四六	四、三〇〇	一二、三八七	二三、九三九

註、政廳の鑛山課作成の統計と比較對象するときこの稅關統計には著しき差異がある、卽鑛山課の統計は各鑛山主により輸出されたることを表明されたる高のみを含み、土人の仲買人により買はれ外國市場に送られる高は之を除外してゐる。

二、石炭市場の氣配

現在印度支那に於ける石炭の需要額は急速なる進歩を爲し、一九二〇年の消費高は二五三、八〇〇噸なりしが一九二三年には四四一、一〇〇噸を超過するに至り、我植民地工業の發達を雄辨に物語つてゐる。

然れども一方東京各炭山の石炭産出高の四三%を占めてゐる粉炭を我印度支那工業界の需要する高は頗る僅少である。この理由如何といふに我印度支那工業界は塊炭（Calibré）使用に馴致すると共に本地工業上の機械裝置も亦本種石炭使用に適するが故にである。

上記の如く我印度支那に於ける塊炭の生産高は緩慢なる發達を爲しつゝあるのに不拘、一方本植民地の塊炭需要高は急速に進歩增加しつゝあるが故に全く本種石炭は目下非常なる恐慌に陷らんとしつゝある有樣である。

然るにこの恐慌は單に炭種別にかゝる恐慌にして一般に全東京産炭額は數に於ては需要を凌駕すると共に重要なる輸出物を爲し、殊に印度支那の消化することゝ困難なる粉炭の如きは重要なる輸出品をなすといふ變則を示してゐる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

かゝるが故に東京炭礦會社の如きはこの粉炭の取引を外國の買主に對して引受くることが出來ない破目に在るのである。蓋し、その取引の際には同時に或一定の割合を以て塊炭をも取引しなければならないからである。是印度支那內地に於ける顧客の抗議を醸す處のものであるが故に結局石炭の輸出は圓滑を缺くの止むなき狀態にある。

石炭・煉炭連年生產高・輸出高及消費高表（單位千噸）

年次	東京炭礦會社（鴻基炭山） 生產高	東京炭礦會社（鴻基炭山） 全輸出高(1)	東京炭礦會社（鴻基炭山） 粉炭輸出高(1)	其他の炭山 生產高	其他の炭山 全輸出高(1)	全生產高	輸出高合計(2)	十二月三十一日に於ける財庫高	印度支那產石炭の內地消費高	輸入石炭合計	印度支那內地の石炭消費高合計
一九一三年	三七一・〇	二三〇・〇	一六〇・〇	一三八・〇	九九・〇	五〇九・〇	三二一・六	四一・六	二〇九・〇	九・四	二一八・四
一九一四年	四九八・〇	二五五・〇	一七六・〇	一二二・〇	七〇・〇	六二〇・〇	三四五・一	一一一・五	二〇五・〇	一八・五	二二三・五
一九一五年	五四〇・〇	三五八・〇	一六九、〇	一〇四・〇	四二・〇	六四四・〇	四五一・〇	一三四・七	一六九・八	六・七	一七六・五
一九一六年	五七六・〇	三三四・〇	二四一・〇	一〇九・〇	二九・〇	六八五・〇	四四八・九	一六一・八	二〇八・九	一六・七	二二五・六
一九一七年	五四〇・〇	二九一・〇	一九二・八	一〇三・〇	三三・〇	六四三・〇	三六九・六	二〇九・七	二二五・五	一〇・五	二三六・〇
一九一八年	五一〇・〇	二四六・〇	一六四・五	一二六・〇	六・〇	六三六・〇	二九七・二	二九八・三	二五〇・三	一四・八	二六五・一
一九一九年	五二〇・〇	三三六・〇	二二一・九	一四五・〇	一八・〇	六六五・〇	三九九・八	三〇一・七	二六一・八	七・六	二六九・四
一九二〇年	五五〇・〇	四二〇・〇	三〇六・〇	一五〇・〇	二四・〇	七〇〇・〇	五七二・五	一七八・八	二五〇・四	三・四	二五三・八
一九二一年	七二〇・〇	四九七・〇	三六二・九	二〇一・〇	二六・六	九二一・〇	六四〇・一	一〇九・〇	三五〇・七	三・九	三五四・六
一九二二年	七六〇・〇	五〇六・〇	三九六・九	二二九・〇	四〇・〇	九八九・〇	六二三・〇	一〇〇・八	三七五・二	九・二	三八四・四
一九二三年	七九八・〇	五二四・〇	四一六・〇	二五九・〇	三三・二	一,〇五七・〇	六七五・一	六三・六	四一九・一	二二・〇	四四一・一
一九二四年	八五九・〇	四七五・〇	三九一・〇	三七七・〇	一〇四・〇	一,二三六・〇	六九〇・三	一〇六・三	五〇三・一	四四・〇	五四七・一

(1) 礦山主によつて輸出されたる高

(2) 稅關統計による輸出高、卽礦山主によつて輸出されたる高及土人の仲介により輸出されたる高を含む。

註、印度支那內にて賣却されてゐる中に土人により輸出されるものを含む事を注意する必要がある。

塊炭・粉炭兩炭の賣上比較表（單位千噸）

	年次	各礦山主の印度支那内地賣上高			各礦山主の輸出高			各礦山主の總賣上高		
		鴻基炭山	其他炭山	合計	鴻基炭山	其他炭山	合計	鴻基炭山	其他炭山	合計
塊炭	一九二〇年	一三八	四七	一八五	一二四	一一	一三五	二五二	五八	三二〇
	一九二一年	一六五	七三	二三八	一三四	七	一四一	二九九	八〇	三七九
	一九二二年	一七三	六四	二三六	一〇九	八	一一七	二八二	七二	三五三
	一九二三年	一八二	八二	二六四	九八	九	一〇七	二八〇	九二	三七二
	一九二四年	一九〇	八八	二七八	八四	四二	一二六	二七四	一三〇	四〇四
粉炭	一九二〇年	三二	六七	九九	三〇六	一三	三一九	三三八	三〇	四一八
	一九二一年	五九	七三	一三二	三六三	二二	三八五	四二二	九四	五一六
	一九二二年	五九	一〇八	一六七	三九七	二二	四一九	四五六	一三〇	五八六
	一九二三年	七九	一二六	二〇五	四一六	二四	四四〇	四九五	一五〇	六四五
	一九二四年	九二	一二七	二一九	三九一	七二	四六三	四八三	二〇九	六九二

右表の説明

一、一九二〇年より一九二三年迄に於て鴻基炭山の粉炭輸出高は不断増加を示してゐるに反し、塊炭の輸出高は逐年減少を示してゐる。こは會社が如何に内地顧客に對し彼等の滿足を購はんと努力してゐることを明示してゐるものである。然して一九二〇年にはこの塊炭の輸出割合は採掘高の四五%であつたものが一九二四年には三〇%を示したのみである。

二、鴻基炭山が植民地の各市場へ出した塊炭は一九二〇年から一九二四年の間に三七%を増加し、其他の炭山は八五%を増加した。

三、粉炭の本植民地内に於ける賣上高は一九二〇年より一九二四年の間に於て一三〇%を増加した、又本植民地内に消費されたる粉炭の量とカリブレ炭の量との差は一九二〇年に於て塊炭五三%を越え、一九二四年に於ては二八%を越えてゐる。然らば前述せるが如き塊炭の恐慌を緩和する方法如何といふに頗る容易であり且可能である。卽唯鴻基炭山が塊炭の賣却高を増加せしめなかつたならそれでよいのである。如斯すれば代りに東京の他炭礦會社は急速塊炭の生産を増長すると共に一方消費者側に於ては粉炭使用の發達を促すといふ二つの良結果を齎すものと見ることが出來るからである。

●●●●●●

西貢の石炭市場　次の二表は何れも税關統計に基きて作成したるものにして自一九二一年至一九二四年の間に交趾支那の石炭需要額が如何に異常なる發達を爲したるかを示してゐる。

交趾支那石炭輸入表

輸入國	一九二一年	一九二二年	一九二三年	一九二四年
東京	三六、三〇九	五六、四七二	八九、〇八一	一二四、八九五
安南	五七五	三一五	六〇	

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蘭領印度	—	一七〇	八、八二三	三三、〇一五
日本	四三五	四、〇八二	二、三九二	四、七一二
香港	—	六一	三九	一二〇
英國	—	一六〇	六四	六、八〇〇
佛蘭西	—	—	二七	六二三
支那	—	—	—	八一七
其他	—	—	—	二
合計	三七、三〇九	六一、二六〇	一〇〇、三三六	一四九、三三四

註、東京、安南より輸入されたる石炭中には煉炭の量を含む。税關統計は沿岸貿易に於ては、炭質の種類を區別してゐない。

交趾支那コークス輸入表

輸入國	一九二一年	一九二二年	一九二三年	一九二四年
佛蘭西	一三三	三三四	一四三	四〇五
香港	三一七	二三四	二九八	二五六
白耳義	五一	—	二	—
日本	八五〇	—	—	一五
合計	一、三五一	五六八	四四三	六七六

前記塊炭恐慌の影響は需要の急激に增加せる西貢市場に於て殊に著しきものがあつた。且本市場は採掘地の中心より最も遠ざかつてゐるといふこともその原因の一である。

然れども一九二四年に至りこの狀態は漸次良くなり、東京產石炭の輸入高は前年の八九、〇八一噸に比し、一一四、八九五噸を示し二八%の增加を見たのであつた。

尙交趾支那の石炭需要は將來益々增加する傾向がある。南部鐵道機關車用燃料としても木材使用及山林の伐材より來る種々の不便を避ける爲めに近き將來には石炭を使用するに至るであらう。鴻基炭山產の無煙粉炭に蘭領印度產の有煙炭を混じて一九二三年に行はれたる西貢——ミト線の試運轉は好成績を齎してゐる。

前掲の表を見るに交趾支那は一九二三年及一九二四年に於て蘭領印度より多額の石炭を輸入してゐることを示してゐる。之れは誠に遺憾な事ではあるが事實今の處未だ東京產の有煙炭を以て本市場を滿足せしめ得る事は不可能の狀態に在る。何故なれば東京に於ける有煙炭の採掘量は依然として增加することなく、加之採掘されたるものは全部東京に於て使用されてゐるからである。

三、東京に於ける主要炭礦會社の發達

イ、無煙炭

東京炭礦會社(鴻基炭山) 本社は一九二三年及一九二四年に於ては豫定の構外施設の完成に努力し之を繼續し來りたるが、後カムファ(Campha)地方に新港を開設するの必要に迫られ先づその場所が定められた。この新港の波止場は八千噸、長一三〇米突、吃水八米突、

の船舶二隻が同時に積荷を爲し得るといふ立派なものである。從來の鴻基港は七十乃至八十米突の長さの波止場一つを有するも六千噸の船を横付けさるゝに過ぎなかつたのである。

この新港の岸壁は豫定通りに行へば一九二五年の終りに竣功するを以て一九二六年の中頃には完全に港としての體裁を備ふるに至るであらう。

又一方中央動力所に於ては四千キロワット三相式交流機を豫定通りに設置した。この動力は一九二五年から運轉を開始する豫定であるが、本機は鴻基、ハトユウ（Hatou）、カムファ（炭坑及船著場）等の各中央部へ三萬ヴォルトの電流を送る。

カムファ炭坑とカムファ船著場との間には電氣軌動車（七五〇ヴォルト）往來し、一時間三四基米突の速力を以て貨車三百噸を索引せしめんとしてゐる。本社は之等の軌道敷設及電機裝置を一九二五年の前半頃迄には完了する豫定である。

かくてこの軌道が完成し、カムファ炭坑より船著場へ採掘物を輸送するに至るならば又一方戎克船積荷に適する様に特別設備を爲し、本植民地内の顧客に送るべき石炭をもこゝより積荷し輸送さるゝに至るであらう。

又本社は一時間の作業能力一二〇噸の篩分け工場及同五噸の洗礦場を等しくカムファ港の附近に設置中である。

目下設備中であるこれ等の構外施設がプログラム通りに完成されたる曉には、又採掘を許可されてゐる西部地方の炭層をも完全に處理される事が出來る。この西部地方の試掘は一九二三年に行はれたるが、此處にはハトユウ炭區の分脈所在し、明かに莫大なる厚層の埋藏され在ることが確かめられてゐる。故に目下本社は此地方に發見した新採掘地を中心に採掘を開始せんとしてゐる。

ケバオ炭礦會社（La Société du Domine de Kébao）本社は一方旺んに本炭坑區の未採掘地の探礦を續けると共に他方既に發見せる頗る有望なる礦層の組織的採掘準備を爲してゐる。

生産高も一九二二年の一五、〇〇〇噸に比し一九二四年には三七、九七七噸といふ増加を示した。資本額は一、〇〇〇、〇〇〇法であつたものが一九二四年の十月六日を以て一〇、〇〇〇、〇〇〇法となり、又一方技術的方面に於ける新管理方法が研究されてゐる。かくて將來は三五〇、〇〇〇噸の産額を擧げんとするのであるが近くこれが第一前提として一〇〇、〇〇〇噸を採掘する豫定である。

故に永らくの間閑却され、僅かに幼稚なる方法により表面的の採掘が行はれてゐた本炭礦の採掘は現在に於て漸くその活動の緒に就いたものと見ることが出來る。

ドンチユウ炭礦會社（Société des Charbonnages du Dontrieu）本社も亦目下急速に構外施設の進歩改善に努力しつゝある。クロチイルドユ、ルイズ（Clotilde-Louise）炭坑の採掘物運送軌道の如きも一九二三年に於てソンダバク（Song-da-Tach）河畔迄延長さるゝに至つ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た。同地に於ては目下六千噸の船舶を横付けにせんとする船着場設置に努力しつゝあるが故に今後積荷は此の船着場に於て行はれるであらう。

又本社はクロテイルドユ、ルイズ炭坑に一時間二十四噸を處理する篩分け工場を設立すると共に、軌道の終點地たるウオンビ(Uong-Bi)に一時間十二噸を處理する洗礦場を設置した。

エスポアール(Espoir)炭坑の採掘も急速に進歩し、軌幅〇・六〇米突の軌道により石炭をソンダバ〃の船着場迄運送し得るに至つた。

本社の總產出高は一九二二年に三〇、三〇〇噸、一九二三年五八、六〇〇噸、一九二四年には一一二、〇〇〇噸に達してゐる。

最後に注目すべき事は、一九二三年より一九二四年の間に於て行はれたる探礦作業の結果、採掘許可地たるデセスポアール(Désespoir)……クロテイルドユ、ルイズ炭坑の採掘中心地より西方二十基米突の所……に現在採掘してゐる層の延長部が所在することが分明したことである。

本社はこの許可地の採掘に就ては種々の研究をなしつゝあるも、本地產石炭の運送路としてはソンキイ(Song-ky)河の低地により鐵道沿線迄は頗る容易の樣である。このソンキイ低地は採掘される層脈と等しく東西に平行して走り、層脈の南方約四基米突の處に位置してゐる。

東京無煙炭礦會社(La Société des Anthracites du Tonkin)本社は組織變成改革の結果、法定價格二、〇〇〇、〇〇〇法の資本組織と爲し、一方ブランジイ炭礦會社(Compagnie des Mines de Houille Blanzy)より、その技術的方面の援助を受け、一九二三年に於てはその構外施設及其他設備の改革を開始し、一九二四年尚之を續行してゐる。

又現在坑道の下方に所在する新礦區は目下旺んなる採掘實行の緒に就くと同時に本社は斜坑により水準以下に位置する層脈の採掘を認め、坑に依る採掘準備を行はんとしその石盤石の採掘作業は一九二四年より之を開始してゐる。

年產額はこの三年來五〇、〇〇〇噸邊を動かなかつたが最近來本作業に與へられたる新規軸の且力強い衝動は一九二四年に至り著しく產額の增加を促し、八五、〇〇〇噸といふ數字を示した。

ロ、半瀝靑炭(Charbon Mi-gras)

安南東京佛拓殖無名會社(Société Anonyme Française de Colonisation en Annam-Tonkin)によつて採掘されてゐるフノカン(Phu-Nho-Quan)盆地の採掘高は最近僅かではあるが從來より減少してゐる。卽一九二二年二六、二〇〇噸、一九二三年二〇、〇〇〇噸、一九二四年二二、〇〇〇噸といふ數字を示してゐる。この減產は本社が種々の困難に遭遇せるが爲めであるがその中資金の不十分なることがその原因の最たるものである。若し本社が水準以下に所在する炭層の採掘に關し、これが揚水作業に十分なる資金を得るならば確かに本社の將來は著しき展開を見るに至るであらう。

一九二四年に至り此點に就ての重要なる進步改良が實現化される

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に至り、同年中雨季を通じ各礦區に於て何等の障害なくこれが續行せられたのである。

本社は又一方に於て一九二四年本社のシャンソン（Chanson）驛附近に小篩け分工場を設立すると共に一九二三年以來ショウボ（Cho-bo）地方に所在する半瀝青炭の露出脈に就ての研究を續けてゐる。本盆地の炭層は石灰地質中に所在し、其間點々として窓狀の露出を見る。炭層脈は倘フノカンの北西に擴がつてゐる樣である。採掘される石炭は目下その運送方法がつくまでこれを貯藏してゐるが、運送方法としては軌幅〇、六〇米突、長さ二基米突の軌道と十噸の艀板の船着場棧橋の設置を計畫中である。

八、瀝青炭（Charbon gras）

東京鑛業會社（La Société Minière du Tonkin）タイニユウエン（Thai-nyu-yen）地方の瀝青炭層を採掘してゐる本社の一九二三年の年産額は二九、八〇〇噸にして前年の三七、〇〇〇噸に比し少し遞減を示した。此原因は一にフアンメ礦區を放棄し、全努力をランカム（Lang-cam）礦區の方に注いだ結果である。此ランカム礦區の採掘は五五米突の坑孔を穿ちその採掘準備成ると共に益々本礦區の有望さは認められ、作業も着々と效果を擧すに至つた。最近の探礦作業の如きも頗る有望なる結果を收め本社企業は益々多望なる將來を持つに至り既に一九二四年には三七、三七〇噸を採掘してゐる。

次に注意を喚起したい事は、最近フアンメ地方の採掘許可地にこれを佛國及佛植民地金融會社（La Société Financière Française et Coloniale）によつて設立されたる印度支那炭礦業及鑛業會社（La Société Indochinoise de Charbonnages et de mines métalliques）に貸與したる事である。賃借人たる會社は目下本礦區を價値づけんが爲めに非常なる努力を拂ひ、既に深さ百米突迄探礦し、層の所在を認めてゐる。

開鑿中であるソンカウ（Song-Cau）河よりソントユオン（Song-Thuong）河への運河は多分一九二六年の終り頃には採掘物を運送し得るに至るであらう。從來現在の水路によるときは非常なる失費を要したるも、本運河はタイニユウエンの上流三基米突の處まで三百噸の艀船が遡行し得られるのである。又約五基米突の礦山軌道によりランカム礦區より本水路に聯絡する時、海防迄の石炭一噸當りの運賃は十分約四弗五〇から一弗七〇を減ずるに至るであらう。

二、褐炭（Lignites）

トユエンカン炭坑の採掘作業は財政上の支障の爲め殆んど全部が中止さるゝの止むなき狀態にあつたが目下再びこれが採掘を始めんとしてその準備中である。La Société Civile des Charbonnages de Tuyen-quang は一九二四年十二月十二日を以て拂込資本全額二、〇〇〇、〇〇〇法の匿名會社に變成した。然して本社は一部坑道の支柱を除去せる炭區の再採掘を企圖し、既に二坑の石盤石採掘に着手した。以て本炭層の處女脈へ到達せんとするのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

エンバイ(Yen-Bay)の北西に在るノイホ(Ngoi-Hop)層脈は一九二二年その採掘の準備に着手し、一九二三年に於て褐炭三、七〇〇噸を採掘した。其後炭礦主は煉炭製造の爲め植物性地層に於ける粉炭の採掘を利用せんと試みたるも一九二四年に至り、豫定通りの採掘を實現させるのに十分なる資金なき故本層脈に對する作業は中止するゝに至つた。

次に注意すべき事は一九二三年に行はれたる採礦作業の結果、ドンザヤオ(Dong-Giao)の層脈は一九二四年の初めより再びこの採掘を始めることゝなつた事である。

一九一一年以前に發見されたる主要なる各炭礦に於ける一九二四年度の產額中北部鐵道部に於て利用されたる高は一〇四、〇〇〇噸に達した。尙最近本礦區の有望なる連脈を發見するに至つた。

ホ、採礦調査

上記の外に余は次の事項を玆に引用する必要がある。卽一は一九二三年に發見されたシエムホア(Chiem-Hoa)(トユエンカン州下)の南東二十五基米突の處に在るコリン(Colinh)に良質の無煙炭層の所在することである。又トユラング鑛業會社(Société des Mines de Trang-Da)は一九二四年ソンガム(Song-Gam)……極く附近に航行可能の水路あり……の東二十基米突の處に所在する露出礦を研究調査した處この層脈は頗る不齊の樣であり且現在に至る迄の作業は採掘可能といふ結論を認容するには不十分の樣であるが、採掘物は揮發物三・八%から七・二%の成分を示してゐる。

カンナム州(Quang-Nam)(安南)のアンナ(An-Nha)からヴインフツク(Vinh-Phonc)地方に於けるブランシユ(Blanche)礦山の採礦作業及その企業準備は一九二三年より一九二四年にかけて續行された。此等地方には豐富なる無煙炭層の所在することが確かめられてゐるのであるが、本炭層脈の採掘を申出でゝゐる一某會社は一九二五年の當初よりこれが採掘準備中であつた。然れども表面近くの變成炭は揮發物一三―二八%を有するも矢張り無煙炭である。何故なら揮發物成分は下層に於ては五―一〇%といふ急速なる低下を示してゐる。

今迄採掘されたるものはそのまゝ貯藏されてゐるがこれ等は水運によりトユウラン迄運送することは容易である。又之等地方の採掘物は中部安南線の汽鑵車用としてラントの石灰工場等に於て利用され得ることが出來ると共に一方交趾支那の方へ輸送することも頗る可能である。(未完)

(Bulletin Economique de L' Indochine No. 171.)

馬來半島

□英領馬來に於ける鑛物

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本稿はウインステッド氏著「英領馬來」中ジエー・ピー・スクリブナー氏の寄稿されたもので、尙ほ鑛業に關しては近日「英領馬來に於ける諸產業」の題下に譯述する積りである。

馬來半島に於て最も重要なる鑛物は、錫石(學名Cassiterite)として知らるゝ錫の酸化物である。錫石は花崗岩中の原鑛即ち冷却中高熱の岩漿の中、花崗岩・石英岩・頁岩・オレオ石・片岩及石灰岩を取卷ける脈(石灰岩中には鑛管)をなせる岩石中及前記岩石より碎屑鑛床竝土壤中に組成せる鑛物として存在して居る。錫鑛は常に花崗岩附近に存在して居るけれども、馬來半島に於ては花崗岩が必ずしも錫鑛を伴ふてない。全然錫鑛を含有しないと思はれる花崗岩地帶もある。其產狀は片々としてゐるが、半島には多少明瞭な錫產地が多數存在して居る。鑛區から掘出す錫礦は砂狀を呈して居る關係上、或地方では稀に美麗な結晶物を發見するけれども、大體に於て結晶錫は殆んど見受けられて居ない。

キンタ地方の石灰岩中、錫石は鑛管及脈狀をなし、通例多量の金屬硫化物殊に毒砂を伴つて居る。又錫石は水成岩中薄脈の鑛儘(Stockwork)を呈し、其一は石灰岩中に發見せられて居る。頁岩中にある鑛儘の實例はペラ州ビドル近在ブルセー(Brusch)に最もよく現れて居る。カムパル近郊ブヤン・マラカ(Bujang Malaka)には一九〇八年重に結晶性錫石より成る碎屑鑛床が發見された。ケママン、ブンテイ(Bundi)には又長く結著せる針狀錫石より成る帶黃色海綿狀の石塊が發見せられた。又錫鑛の鑛屑は一九二〇年頃ペラ州に發見せられてJohoshaphatと命名されて居るが、其理由は詳でない。其のものは石灰岩丘稜の龜裂に生じ方解石によつて堅碎を要する程度の堅い大塊狀に固められた沖積礦物より組成して居る。此礦石採掘作業中曾て野生豚の齒が完全に發見せられた事がある。此他異常な礦床がラハト(Lahat)に發見せられた。

石灰岩中にある含錫鑛床は河流の水道をなして居る。此礦石は方解石の分解によつて破壞せられ、硫化物は深さ三百呎の所迄酸化されて居る。此他、原始構造の存在せる箇所も發見されて居る。其後水の流出は息み、破壞された礦物は方解石によつて鐵赤色の不規則なる塊狀をなして固結して居る。

錫は又時には石灰岩の上に粘土狀をなして多量に發掘されて居る。此の如き錫は其販賣前少しく加工すればよい。通常地中より掘出せる錫礦の量は低く、岩屑鑛床に於ては一立方噚に付き錫何斤と計算せられて居る。現今では一立方噚當り錫半斤あれば、浚泥法によつて有利に採掘する事が出來る。之れはざつと地中より掘出せる錫礦の〇・〇一五パセントに當る。碎石作業を要する鑛脈では產錫量が多く動力が廉價で無ければならない。其採掘が引合ふ爲めには其上約二パセント以上で無ければならぬ。

タングステン礦は馬來半島の數箇所に於て發見されて居る。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ウォルフラムはトレンガノウ州ドンゴン（Dungun）及其他の地方に産出す。大戰中、ケダ、シヤングルーン（Chungloon）附近に於て大鑛層を採掘した。又下方運羅に産出すると云はれて居る。又ペラ、タパ（Tapah）附近では電氣石花崗岩中に在る鑛脈から數年間ウォルフラムを採掘した。ウォルフラムは錫鑛と共に小石英脈中に存在して居る。又ネグリ・スムビランのティティ（Titi）に於ては脈狀をなして採掘されて居る。

灰重石はセランゴル、石灰岩産地及ペラ同産地、又ラウブ金鑛脈中少量を産出して居る。

結晶性タングスタイト（Tungstite）は、キンタ地方にあるプライ（Prai）に發掘されて居る。

タングステン礦は普通錫礦に混在し又は之れと同樣の花崗岩から産出される。ウォルフラムは磁力作用で分離せられる、けれども錫の混つた灰重石は磁力作用では全く不可能である。從て此ものは他地方で化學的處分をなすべく混合物として賣買されて居る。戰時中此地方から供給されたタングステンは鋼鐵の硬化劑に頗る重要視された。

金は重にパハン噴出系統岩石及酸性の少い花崗岩に沿ふて産して居る。其産地はオフイル山（Mt. Ophir）の近村より北走し主脈とタハン並にテカイに在る變岩性露頭との間を過ぎて南ケランタンを過ぎ、次に稍々西方に迂廻し、パンチョル（Panchor）及トモー（Tomoh）に於て下方運羅に入り、ペラ河の水源附近に於て上ペラに進入せる地帶に殆んど限られて居る。其他に金産地は發見されて居ないが、少量づゝ亞細亞人によつて有利に採掘されて居る。The Raub Australian Company の所有に屬する金鑛は現今大規模に採掘せられて居る唯一のものである。即ち此地方では金は脈狀又は砂金をなして産出して居る。併し乍ら脈狀と云つても肉眼で見えるものは極めて稀である。砂金の粒は頗る小さい。又前述したる如く錫と共に金を産出して居る。

方鉛鑛（硫化鉛）は石灰岩地方に産し、ランカイ島及ラルートには現今實際に採掘されて居る。又パーリスの西部州境に在る丘稜山及其他七箇所（此中ケランタンの一箇所も含まれて居るが、未だに大鑛層は發見されない）に産出して居る。通常礦石一噸に對し二、三十弖の銀を含有し尚ほ之れ以上銀分を有する見本が發見せられた。

キンタ地方には白鉛礦を産して居る。

銅は現在小規模に採掘されて居る。キンタには又孔雀石の見本が若干發見せられた。其形狀は非常に微細ではあるが、キンタ地方に錫と共に産出する不純物として土産金屬の完全なる結晶體であることは頗る興味深い。

黄鐵鑛は各地に産出して居るけれども、可なり採掘されそうな鑛層はケママン（Kemaman）にあるものゝみである。砒砂は石灰岩中の錫鑛脈に多い。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

酸化錳も亦豐富である。褐鐵鑛は紅土中に發見される。片麻岩の大脈は柔佛州パハト河に於て採掘せられて居る。イポー附近にも大鑛脈存在し、雲母•片麻岩は主脈の花崗岩に存在すと稱せらる。又磁鐵鑛脈はケダ峯に發見せられ、トレンガノウにも同鑛脈が存在すと報告されて居る。

モナザイトも中々豐富で、錫と共に產出し磁力作用で分離せられて居る。本鑛石はガス•マントル製造用ソリヤを含有するが故に重用であるが、其含有率は頗る區々である。該鑛は普通の鑛物でもあり、中には多分にソリヤを有するけれども、馬來產モナザイトに對する定期市場は今も尙ほ存在して居らない。

高嶺土又は高陸土は現在ゴーペン(Gopeng)に於て試驗的採掘中である。既に優良なるものを多量に供給して居る。從て將來新工業が勃興することを期待せられて居る。

酸化滿俺はキンタ及ランカイ島に發見されて居る。未だに販賣は行はれて居ないし、今後大鑛脈を發見し得る望は多くない。黑色酸化滿俺は時に軟滿俺鑛の結晶物として屢々粘土の下部にある石灰岩の表面に產出して居る。

鋼玉はキンタ峽谷の東方に在る純粹漂礫中、又鋼玉と電氣石若しくは鋼玉と雲母より成る西方の岩石中に存在して居る。電氣石鋼玉にはエメリとして珍重せられるものがある。純鋼玉は僅に地方的に用ひられて居るに過ぎない。

纖維蛇紋種石綿(温石綿)はネグリ•スムビランに發掘せられ、纖維質の透角閃石はキンタ地方プライに於ける石灰岩中鑛盤("Mountain Leather")として產出して居る。

又螢石はキンタ谿谷の東側に灰重石と共に多量產出す。普通此ものは無色である。

重晶石は上ペラのポン(Pong)に產す。

チタニウムは錫鑛と共に產する比重重き不純物卽ちチタン鐵鑛として多量に產す。

柘榴石は數箇所に發見されて居るけれども、裝飾用として重要なる程品質良好でない。且つ又磨礱材として用ひらるゝ程に豐富でもない。

一時シャンテリヤン(Chandeliang)に於て無色小結晶黃玉が盛んに產出せられた。

又ケダ峯附近では小規模に雲母が採掘された。

石英岩はセランゴル及ネグリ•スムビラン兩州に大鑛脈をなして存在して居るが、之れは硝子製造用或は磨礱材として利用されるであらう。

ラウブ系統に屬する石灰岩は大理石として採掘せられる。同岩石は純白色から黑色に變化する。同樣な石灰岩は又石灰及セメントに供されて居る。

燐鑛は石灰岩丘稜中の洞窟をなして存在する。パーリスにある燐

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

脈は最も優良である。

中瀝青炭はセランゴルに採掘せられ、エンゴル([illegible])には同樣な炭脈及パーリスにも薄い炭脈が存在すと稱せられてゐる。

石油頁岩はセランゴル及パーリス州に產出して居るが、含有量は乾溜して引合はないと云ふ事である。(本項完)

□馬來護謨栽培業者間の新傾向

近來護謨の値段が進騰した爲め、馬來栽培業者は、護謨を積出中心地へ運送せんために廉價なる自動車及自轉車を購買せんとする新傾向がある。

最近新嘉坡よりの情報によれば最近數箇月に於て自轉車及其部分品の需要は非常に増加したと云ふ。然し其輸入品の大部分は運輸機關の缺乏を感じてゐる小土人栽培者の住居する附近の地域へ再輸出されるのである。小園栽培者でも現在自轉車などを購買しても、直に護謨の値段が高いのですぐ回復が出來るのである。

又利用せらるゝ道路のある所では、フォード自動車等が購はれる。

一九二五年に於ては一、六〇〇臺のフォード自動車が輸入されたが、此外諸外國製の自動車も輸入されたのである。

(Times Trade and Engineering Supplement. Feb. 16, '26.)

□一九二六年一、二月英領馬來護謨輸出高

仕向國	一九二六年一月	一九二五年一月
英合衆王國	五、三六四・三六	一、四三五・〇五
北米合衆國	三、四一六・八五	四、八〇六・五八
歐洲大陸	一、五四八・二六	一、九〇四・三四
英屬領地	五四〇・一四	四三〇・七八
日本	五七六・七七	六二一・二二
其他	五・七七	五・三九
合計	三〇、四五二・一五	一九、一八三・三五

上揭數字は兩年度一月末日迄に於ける英領馬來各港より輸出入の爲め計上されたるものなれども、必ずしも同月中に積出し若しくは積揚げられたるものではない。

又本年一月中馬來以外の諸國より輸入されたパラ護謨の數量は一

〇、二三七・〇一噸にして、前年は一〇、一三一・六三噸である。

同月中輸出された護謨の價額は九七、三三五、〇〇〇弗（前年同期二五、八五六、〇〇〇弗）で、前年同期の輸出數量に比較すれば一一、二六八・九〇噸の純増加である。

前記輸入パラ護謨を品質別にすれば次の樣である。

スモークド・シート（乾）　二、〇一二・三六噸
クレープ（乾）　四九七・八四噸
スクラップ（ウエット）　七〇六・八九噸
ラムプ（ウエット）　八八七・七八噸
アンスモークド・シート（ウエット）　六、一三二・一四噸
合　計　一〇、二三七・〇一噸

次に二月中に英領馬來より輸出せる護謨の數量・價額は次の樣である。（單位噸）

仕向國	一九二六年二月	一九二五年二月	本年度累計	昨年度累計
英合衆王國	七、二六九・二七	二、九七一・〇三	一三、六三三・六三	四、四〇六・〇七
北米合衆國	一九、九四五・〇七	一五、一三九・九二	四二、三六一・九二	三〇、〇四六・五〇
歐大陸	一、九五六・六五	二、二〇四・三六	三、五〇四・九一	四、一〇八・七〇
英屬領地	五九九・七九	六〇九・七五	一、一三九・九三	一、〇三〇・五三
日本	六六八・三七	五六四・〇五	一、二四五・一四	一、一七五・一六
其他	一・一三	三三・二七	六・八九	三八・七六
合計	三〇、四四〇・二七	二一、六二三・四七	六〇、八九二・四三	四〇、八〇五・七三

之れに對して、本年二月英領馬來以外の各港より輸入せる護謨量は前年の一、〇〇七・六七噸に對し、八、三〇六・三一噸に達して居る。而して之れが本年の累計は一八、五四三・三二噸に對し昨年度は二〇、二〇二・三〇噸である。

尙ほ二月中輸入された護謨の品質を示せば卽ち次の如し。

スモークド・シート（乾）　一、二四五・三一噸
クレープ（乾）　四三六・九七噸
スクラップ（ウエット）　五五五・六五噸
ラムプ（ウエット）　五七四・七五噸
アンスモークド・シート（ウエット）　五、四九三・六三噸
合　計　八、三〇六・三一噸

（新嘉坡フリー・プレス三月三日）

蘭領東印度

□年少者及婦人勞働法

第一條　年齢十二歳以下の年少者は、午後八時より午前五時に至る間事業

に從事し又は其の爲に勞働するを得す。

第二條

年齢十二歳以下の年少者は、次に掲ぐる種類の工場に於て勞働に從事するを得す。

a. 密閉せる又は密閉せられたるものと見做さるゝ場所に於て動力機械を以つて操業する工場。

b. 密閉せる場所に於て、十人以上細工に從事する手工々場。

c. 道路及土木・墓碑並に治水設備の敷設・維持・修理及破壊。

d. 鐵道並に軌道。

e. 港灣・埠頭・船渠・停車場・停留場・荷役場・倉庫及荷作場に於て手にて運搬する以外の荷役。

上述以外の場合と雖も、十二歳以下の年少者は、過重の勞力を要する事明確なる業務に服役するを得す。

本條に抵觸せざる勞働と見做さるゝものは次の如し。

a. 同一家族のみに依り營まるゝ工場に於けるもの。

b. 第一項所掲の勞働にして、家族のみに依り、又は土地の習慣に依り相互扶助の意味に於て爲さるゝ耕作。

c. 公立又は、當局の監督下にある職工及工藝學校に於て爲さるゝもの。

d. 官立養成所・避難所・監獄及政府の監督下にある養育院・避難所及慈善團體に於て爲さるゝもの。

同一事業に從事し別々に行はれ居ると雖も、共同の場所に於て操業する場合に於ては、各自の占むる場所は、合して離隔せられざる場所と見做さる。

八歳以上十二歳以下の年少者にして、密閉せる又は密閉せるものと見做さるゝ工場に居るを發見したる時は、反證無き限り其處に勞働を爲し居たる者と見做す。

第三條

婦人は午後十時及午前五時に至る間、獨特の作業に必要なるが故に許可せられ居る特定工場・作業所又は農園以外の或種の事業に對しては、總督の決定に依り又は其に基くに非ざれば、前條第一項所掲の勞働を爲すを得す。

第四條

事業の經營者又は支配人は、前記三箇條に掲ぐる規定に違反して勞働爲されざる樣留意する義務を有す。

又經營者並に支配人に依り、特に該規定の遵守せらるゝ樣留意すべく其の監督權を付與せられ居る監督者にも、同種の義務存するものとす。

第五條

前條に掲ぐる經營者、支配人及監督すべき地位にある者の義務は、彼等にして必要なる命令を發し、必要なる手段を講じ、該規定の遵守を保證せんが爲道理上要求せられたる監督を行ひ居る事實を表示す

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

る時は、完了せられたるものと見做さる。

第六條

事業經營者又は支配人は官憲の要求する時は、本條令を遵奉すべき事業に關する各種の説明報告書を提出すべきものとす。

第七條

第四條及第五條規定に違反する者は、最高一箇月以内の懲役又は最高百盾以内の罰金に處せらる。本條に於て處罰せらるべき事實は違反と見做す。

第八條

違反搜索の任に當れる官憲の外、勞働局官吏及之に含まるゝ外領勞働監督所並に保安監督所の官吏は、該事務所長の指定する所に從ひ、本條令執行官吏及違反搜索官吏と協力して、本條令の遵奉せらるゝ樣取計らう責任を有す。

第九條

前條に掲ぐる者は、勞働の爲さるゝ又は禁を犯して爲されたる、又は道理上、當該場所に禁を犯して勞働行はれ居るものと思考せらるゝ總ての場所を臨檢するを得。該場所に入るを拒絶せられたる場合に於ては、彼等は必要に應じ、其の筋の强力者を通ちて之を爲す。

彼等は、彼等の本條に基き臨檢せる場所に行はれ居たる事實にして、本法並に他の一般條令の規定に違反せざる事實なる時は其の公表せらるゝ迄、口外するを得ざる義務を有す。

前項に依る秘密維持の義務を故意に破りたる者は、最高六箇月以内の懲役又は最高六百盾以内の罰金に處せらる。本秘密遺漏の責任者は、最高三箇月の禁錮又は最高三百盾以内の罰金に處せらる。但し當該事業の經營者又は支配人の告訴あるに非ざれば執行するを得す。

本條に於て所罰せらる可き事實は、犯罪と見做す。

第十條

本條令第二條の效力發生後三箇年を超過せざる一定期間の間勞働局長は、緊急の理由存する場合又は彼の定むる條件を付し、第二條所掲の場合を除き、一定の工場・作業所に於て十二歳以下十歳以上の兒童の輕き勞働を爲すを臨時に許可するを得。

第十一條

本條令は、一九二六年三月一日より效力を發生するものとす。

（千九百二十六年一月四日スラバヤ・ハンデルスブラッド紙所載）

□米國の護謨計畫

近來米國人は、彼等の護謨計畫に付き喧しく論ずに至りたり。倫敦に於て護謨市場並に其の價格の左右せらるゝは米國人の齊しく不愉快とするところなるは、我々の一應最もなりと思考するところなり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

現今の状態よりして米國は常に原料護謨の大需要者にして、此の需要も間斷なく増加し居るなり。此の理由に付いては、我々の讀者に説明する迄も無く、蘭領印度に於て日常見る事を得、其他米國は電氣界に於ては歐洲諸國より一段の發達を遂げて居るが故に、米國は年々數千噸の此種彈性物を必要とし居るなり。此を以つてするも現今の高價の一因を爲す英國の生産制限に對し彼等の憤慨は敢て怪むに足らざる所なり。

其間英國にして蘭領印度に新護謨園を開き又は既成生産園を買上ぐる時は、米國人は非常に膨れ上り、第一に若し價格下落せざる時は彼等の工場を閉鎖すると云ふ威嚇の下に、護謨生産者に恐怖を感ぜしめ居るなり。

工場の閉鎖は日々數千弗の金を要すれば、彼等は單に之を言ふのみにて、商業家たる彼等は其後アナヂル、比律賓、墨國又はリベリアに自家用の護謨園を開きたる旨を報告宣傳し居るなり。

暫らく米國に滯在せる本地方の有名なる農業技師が、彼等にリベリヤより蘭印度のスマトラ島に百萬英反の護謨園を開拓するの有利なるを説きたる結果、最近自動車タイヤー成金のフイヤーストン氏は、彼の護謨顧問を同伴し來印するとの報に接せり。

既に千九百二十一年、有名なるタイヤー工場に最も有望なる護謨のコンセッションを卽ち二、三の生産中の護謨園の賣物提供を爲すと共に、護謨の大量需要者としての米國は自己の護謨園を所有するの必要を忠告したるに米國人は數年間何等印度に注目することなかりし後、我々は印度に自家用護謨園を所有しやうとするが如き意志を有せざる旨回答し來りたり。

今彼等は其れを欲すれども最優秀のものは既に第三者の手に歸し居るを發見すると共に、價値少き土地又は第三者より高價にて買上ぐるを以つて滿足せざるべからざるなり。吾々は、フイヤーストン氏の護謨顧問が如何なる忠言を彼に爲したるかを好奇心を以つて見る者にして多分彼の忠言は母國に近きを主要條件とする必要あるが故に、リベリアを以つて第一目的地と爲したるものと之と思考するなり。吾々は、蘭國人顧問に、彼の米國の資本を以つて印度に百萬英反の護謨園設立計畫に對し、愼重考慮せりや否やを問はんとするものなり。

是種企業は、一箇所に之を集中するを絶對に必要とするが故に遠く離れ／＼に存在するものよりも一箇に存在するものを選擇するを要し、若しスマトラに於て是る土地を獲得し得たりとするも、彼にして此の百萬英反を如何に區分せんとするか、又何年後に全面積を植付くるか、如何にして必要なる主腦部人物を集むるか、如何にして苦力問題を解決するか、如何にして苦力の食料供給を爲すか、何處より必要なる樹株又は種子等の植付材料を得るか又最後に輕視すべからざるものは、米國の護謨成金にして生産を云々する前に、如何程の資本を之に投ぜんとする意志なるやの問題なり。

五箇年を以つて採液域に達するものと見て、百萬英反に對する必要なる經費を計上すれば大體次の如し。

一英反當り百五十株を植付くるものとする時は一億五千萬株の苗木又は種子を要し、其の内枯死するもの又は發芽せざるものあるに依り、一億六千萬と見做すの當を得たる數と云はざるべからず。到著地に於ける平均相場一株に付安價に見積りて六仙とするも、植付材料のみにても九百六十萬盾を要するなり。

使用人に付ては、少くとも

二萬英反當り總支配人一人宛とするも　五十人の總支配人

五千英反當り支配人一人宛とするも　二百人の支配人

五千英反當り一級傭人一人宛とするも　二百人の一級傭人

五百英反當り助手一人宛とするも　二千人の助手

百英反當り四人の農業機械を使用し耕作に從事する苦力を要すとするも　四萬人の苦力

苦力五百人當り一人の苦力監督を要すとするも　八百人の苦力監督

を必要とし、上記人員を全部爪哇及外領より集むるものと見て、一人當りの旅費及滯在手當を二百五十盾とするも、六十一萬二千五百盾を要し、爪哇より苦力一人に對する全借及移民事務所納入費を四十盾と見積るも百六十萬盾を要するなり。

又爪哇よりの苦力監督一人當りの前借金八十盾とするも、六萬四千盾を要し、其他十人の醫師及十人の藥劑助手を必要とし、之を爪哇より招致するとしても、一人當りの旅費竝に滯在費を二百五十盾として五千盾を要し、是等人員の宿舍も必要にして、其の建築費を計上せんに次の如くとなるなり。

總代理者用	一棟	一棟當り	一萬二千盾として	計	一萬二千盾
代理者用	一棟	同	一萬盾 同	計	一萬盾
秘書用	二棟	同	八千五百盾 同	計	一萬七千盾
總支配人用	五十棟	同	七千五百盾 同	計	三十七萬五千盾
支配人用	二百棟	同	五千盾 同	計	百萬盾
一級傭人用	二百棟	同	三千五百盾 同	計	七十萬盾
助手用	二千棟	同	二千五百盾 同	計	五百萬盾
苦力監督用	八百棟	同	二百盾 同	計	十六萬盾
苦力小屋	一人當り		二十盾 同	計	八十萬盾

企業園を五區に別ち、各區に一病院を必要とし五百人の病人を收容するを得、之に伴ふ藥劑師、藥劑助手及藥劑師宿舍、看護婦宿舍等全部を含み一病院當り十二萬五千盾とするも六十二萬六千盾を要し、各病院には看護婦長一人、歐人看護婦二人土人看護婦二十人として合計五人の看護婦長及十人の歐人看護婦及百人の土人看護婦となり歐人看護婦一人の旅費竝に滯在費を百五十盾、土人看護婦一人當り七十五盾とするも九千七百五十盾を要するなり。

經營事務所々屬員としては、

會計取締長	一人
帳簿取扱人	二人
會計助手	五人
タイピスト	五人
書記	十人

とし此等人員を此地に召集し其の旅費並に滯在費を一人當り平均二百盾とするも四千六百盾となり、其の宿舍建築費を見るに

會計人用	一棟		五千盾
帳簿取扱人用	二棟		七千盾
同助手用	五棟		一萬二千五百盾
タイピスト及書記用	十五棟	一棟當り千盾として	一萬五千盾

何等增給等を行はざるものとして、最初の五箇年間に於ける俸給額を計上すれば左の如し。

總代表者	一人	一人當り平均月額	二千盾として	五箇年合計	十二萬五千盾
代表者	一人	同	千二百盾	同	七萬二千盾
秘書役	二人	同	八百盾	同	九萬六千盾
總支配人	五十人	同	七百盾	同	二百十萬盾
支配人	二百人	同	五百盾	同	六百萬盾
一級傭人	二百人	同	三百盾	同	三百六十萬盾
助手	二千人	同	二百五十盾	同	三千萬盾
醫師	十人	同	千盾	同	六十萬盾
藥劑助手	十人	同	二百五十盾	同	十五萬盾
看護婦長	五人	同	二百盾	同	六萬盾
歐人看護婦	十人	同	百五十盾	同	九萬盾
土人看護婦	百人	同	七十五盾	同	四十五萬盾
會計取締長	一人	同	五百盾	同	三萬盾
帳簿取扱人	二人	同	四百盾	同	四萬八千盾
帳簿係助手	五人	同	二百五十盾	同	七萬五千盾
書記	十五人	同	百二十五盾	同	十一萬二千五百盾
苦力監督	八百人	同	四十盾	同	百九十二萬盾
苦力	四萬人	同	十二盾	同	二千八百八十萬盾
				總計	九千八百八十萬盾

本金額は、百萬英反の面積を有する農園に對して是非支出さるべき金額にして、其他道路、橋梁及び該事業に必要なる技術的設備等に對する費用をも必要とするなり。又農園自身も輸入業を營み、並に特に擴張されたる人員に對する店舗を有せざるべからず。

吾々は、米國人の是る多額の支出に驚愕せず、蘭領印度に大なる進步發達を來らすべき百萬英反の護謨園を設立せんことを希望するものなり。此の問題たるや、單に何處より必要の優秀なる人員を直に得るを得るやの問題にして、吾々は第一にファイヤーストン氏の來印を待たざるべからず。（千九百二十六年二月十九日付ヘット・ニユース・ファン・デン・ダッハ紙所載）

亞米利加の自動車製造高
La Production d' Automobiles en Amérique. (le C. S. Mar. 18, '26. P. 1.)

南 亞 米 利 加

最近南米經濟界一覽
Latin America at A Glance. (Com. R. No. 4, Jan. 25, '26. P. 183.)

最近南米經濟界一覽
Latin America at A Glance. (Com. R. No. 6, Jan. 1, '26. P. 248.)

電信月報―南米
Monthly Cable Reviews—Latin America. (Com. R. No. 6, Feb. 1, '26. P. 249.)

商業中心地としてのリオ・デ・ジャネイロ
Rio as A Commercial Center. (Com. R. No. 6, Feb. 8, '26. P. 321.)

最近南米經濟界一覽
Latin America at A Glance. (Com. R. No. 7, Feb. 15, '26. P. 375.

最近南米經濟界一覽
Latin America at A Glance. (Com. R. No. 8, Feb. 22, '26. P. 439.)

最近南米經濟界一覽
Latin America at A Glance. (Com. R. No. 9, Mar. 1, '26. P. 503.)

ブラヂルの護謨狀況
Braziliaansche Rubbersituatie. (L. N. e. H. No. 11, Mar. 12, '26.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

布哇島の糖業
L' Industrie du Sucre Aux Iles Hawai. (le C. S. Feb. 10, '26. P. 3.)

一九二五年北米合衆國及英本國間の貿易
The Foreign Trade of the United States and the United Kingdom in 1925. (Com. R. No. 4, Jan. 25, '26. P. 179.)

諸外國に於ける米國自動車類需要の增加
Oversea Motor-Cycle Demand Increasing. (Com. R. No. 4, Jan. 25, '26. P. 204.)

米國は護謨に對して何を支拂へるや
Rubber, What America Pays. (S. F. P. Jan. 27, '26.)

護謨價に對する米國側の不平
U. S. Complaint of Rubber Prices. (S. F. P. Jan. 28, '26.)

一九二五年米國の貿易と産業：一九二六年の豫想
U. S. A. : Trade and Industry in 1925 : Prospects for 1926 (B. T. J. No. 1522, Jan. 28, '26. P. 107.)

北米南米間の貿易
United Stater Trade with Latin America. (Com. R. No. 5, Feb. 1, '25. P. 258.)

米國農業機具の輸出一九二五年度は前年度に比し三十%の增加を示す
Agricultural Implement Exports Increase 30 % in 1925. (Com. R. No. 5, Feb. 1, '26. P. 264.)

一九二五年米國海外貿易
Foreign Trade of the United States in 1925. (Com. R. No. 6, Feb. 8, '26. P. 323.)

一九二五年米國の紙貿易
The Paper Trade of the United States During 1925. (Com. R. No. 6, Feb. 8, '26. P. 331.)

自動車輸出の最高記錄を作れる一九二五年
1925 High Automotive Export Year—38 % Gain Over 1924. (Com. R. No. 9, Feb. 8, '26. P. 335.)

一九二五年米國木材輸出
United States Foreign Trade in Lumber in 1925. (Com. R. No. 6, Feb. 8, '26. P. 341.)

米國の護謨對策
Rubberstrijd. (S. Hb. Feb. '26.)

一九二五年米國海外貿易の地理的分布
Geographical Distribution of Foreign Trade in 1925. (Com. R. No. 7, Feb. 15, '26. P. 386.)

米國の對外貿易
De Handel in de Vereeningde Staten. (H. N. v. d. D. Feb. 15, '26.)

米國の護謨計畫
De Americaansche Rubberplanner. (H. N. v. d. D. Feb. 19, '26.)

對西印度米國貿易
Our West Indian Trade. (Com. R. No. 8, Feb. 22, '26. P. 442.)

農場不振の原因としての資本膨脹
Over-Capitalization as A Cause of Farm Depression. By A. P. Chew. (A. Feb. 26, '26.)

米國外國貿易の性質と範圍
The Nature and Extent of U. S. Foreign Trade. (C. W. R. Vol. XXXV. No. 13, Feb. 27, '26. P. 350.)

米國自動車業はスマトラの護謨生産を助長せん
American Auto Industry will Stimulate Rubber Production in Sumatra. (P. H. Feb. 28, '26. P. 20.)

一九二五年米國對南米貿易
1925 Trade Result with Latin America. Com. R. No. 1, '26. P. 519.)

大戰後の利率及株價
Interest Rates and Stock Price Since the War. By D. W. Ellsworth. (A. Mar. 5, '26.)

米國の外交と米國新聞
American Diplomacy and American News. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 1, Mar. 6, '26. P. 1.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

British Wool Trade in 1925. (Com. R. No. 5, Feb. 1, '26. P. 270.)

一九二五年英國海外貿易
British Oversea Trade Continued Steady in 1925. (Com. R. No. 6, Feb. 8, '26. P. 317.)

自由黨の農業政策
Agricultural Policy. (E. No. 4303, Feb. 13, '26. P. 296.)

保險法案
Insurance Legislation. (E. No. 4303, Feb. 13, '26. P. 298.)

敎育と經濟
Education and Economy. (E. No. 4303, Feb. 13, '26. P. 300.)

英本國新食料品輸入規定
New Food Regulations of the United Kingdom. (Com. R. No. 7, Feb. 15, '26. P. 389.)

英帝國の燃料問題
Fuel Problems of the Empire. (S. F. P. Feb. 19, '26.)

英海運界事情
The Shipping Position. (E. No. 4304, Feb. 20, '26. P. 344.)

獨逸及和蘭

獨逸と國際聯盟會議
Germany and the League Council. (E. No. 4304, Feb. 20, '26. P. 343.)

蘭國水害の新消息
Nieuwe Mailberichten van den Watersnood in Nederland. (S. Hb. Feb. 12, '26.)

蘭國水害の新消息(三)
Nieuwe Mailberichten van den Watersnood in Nederland. (3) (S. Hb. Feb. 13, '26.)

一九二五年に於ける蘭國の對外貿易
Buitenlandsche Handel van Nederland Gedurende 1925.) (L. N. e. H. No. 11, Mar. 13, '26.)

佛國及伊國

佛貨法の危機に對する考察
Considérations sur la Crise du Franc. (le C. H. Mar. 20, '26. P. 7.)

佛貨法の危機に對する考察
Considérations sur la Crise du Franc. (le C. H. Mar. 23, '26. P. 7.)

フアスシズムの主張
The Theory of Fascism. (E. No. 4303, Feb. 13, '26. P. 295.)

伊國の財政
The National Finance of Italy. (N. C. D. N. Mar. 8, '26. P. 2.)

西班牙及バルカン半島

國際財界に於ける西班牙の地位
Swedish Participattion in International Finance. (Com. R. No. 25, '26. P. 227.)

希臘新關稅制度
The New Custom Régime in Greece. (Com. R. No. 6, Feb. 1, '26. P. 255.)

兩　米　大　陸

加奈陀及合衆國

一九二六年加奈陀の商況豫想
Canadian Outlook for 1926, More Favourable. (Com. R. No. 4, Jan. 25, '26. P. 193.)

一九二五年加奈陀の鑛產
Canada : Mineral Production in 1925. (P. T. J. No. 1523, Feb. 4, '26. P. 152.)

加奈陀護謨製品の輸出七十%增加す
Seventy Percent Increase in Canadian Rubber Goods Exports. (Com. R. No. 6, Feb. 8, '26. P. 340.)

西部加奈陀の小麥—(一)
The Wheat Pools of Western Canada—I. (E. No. 4303, Feb. 13, '26. P. 302.)

西部加奈陀の小麥—(二)
The Wheat Pools of Western Canada—II. (E. No. 4304, Feb. 20, '26. P. 351.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

濠洲に於ける移民の生活狀態
An Emigrant's Life Conditions in Australia. (S. F. P. Jan. 18, '26.)

サウス・ウエイルス石炭貿易事情
Finance of the South Wales Coal Trade. (E. No. 4304, Feb. 20, '26. P. 347.)

濠洲通信
Our Australian Letter. (N. C. C. N. Mar. 16, '26.)

阿弗利加

一般

アビシニヤ國境に於ける奴隷賣買狀況
The Slave Trade, Abyssinian Border Conditions. (S. F. P. Jan. 18, '26.)

南阿弗利加に於ける地下の關門
Undermining Barriers in South Africa. (C. R. Vol. LVII. No. 3, Mar. '26. P. 186.)

歐羅巴

一般

歐洲最近の經濟界及貿易事情
European Economic and Trade Developments. (Com. R. No. 4, Jan. 25, '26. P. 180.)

電信月報一歐洲
Monthly Cable Reviews—Europe. (Com. R. No. 4, Jan. '26. P. 189.)

最近歐洲經濟界及貿易事情
European Economic and Trade Development. (Com. R. No. 5, Feb. 1, '26. P. 244.)

歐洲貿易方法の戰後の變化
Post war Changes in European Trade Method. (Com. R. No. 6, Feb. 1, '26. P. 253.)

最近歐洲經濟界及貿易事情
European Economic and Trade Developments. (Com. R. No. 6, Feb. 8, '26. P. 307.)

電信月報一歐洲
Monthly Cable Reviews. (Com. R. No. 6, Feb. 8, '26. P. 311.)

最近歐洲經濟界及貿易事情
European Economic and Trade Development. (Com. R. No. 7, Feb. 15, '26. P. 372.)

電信月報一歐洲
Monthly Cable Reviews—Europe. (Com. R. No. 7, Feb. 15, '26. P. 376.)

最近歐洲經濟界及貿易事情
European Trade and Economic Development. (Com. R. No. 8, Feb. 22, '26. P. 436.)

電信月報一歐洲
Monthly Cable Reviews—Europe. (Com. R. No. 8, Feb. 22, '26. P. 448.)

最近歐洲經濟界及貿易事情
European Economic and Trade Development. (Com. R. No. Mar. 1, '26. P. 500.)

英國

一九二四年度英國船舶界：一九二三及一九一三年との比較
British Shipping in 1924 : Comparisons with 1923 and 1913. (B. T. J. No. 1519, Jan. 7, '26. P. 9.)

英合衆王國の對外貿易：一九二五年度の調査
Overseas Trade of the United Kingdom : Survey of 1925. (B. T. J. No. 1520, Jan. 14, '26. P. 36.)

一九二六年度ランカシヤイヤー製品貿易の豫想
Lancashire Trade Outlook for 1926. (Com. R. No. 4, Jan. 25, '26. P. 207.)

一九二五年英炭坑業
British Coal Situation in 1925. (Com. R. No. 4, Jan. 25. '26. P. 218.)

一九二五年の英本國木材貿易及一九二六年の豫想
United Kingkom Lumber Trade in 1925 and Outlook for 1926. (Com. R. No. 5, Feb. 1, '26. P. 262.)

一九二五年英國羊毛貿易

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

護謨シンヂケート
Het Rubbersijndicaat. (S. Hb. Feb. 22, '26.)

英印の失業問題
Het Werkloosheidsvraagstuk in Britsch-Indië. (S. Hb. Feb. 23, '26.)

印度の食料問題
Het Voedsel van Indië. (H. N. v. d. D. Feb. 24, '26.)

土民利益の爲に爪哇糖業組合の取れる方法
Maatregelen van de Java-Suikerindustrie in het belang der Bevolking. (S. Hb. Feb. 25, '26.)

西部ボルネオの繁榮
Welvarende West-Borneo. (H. N. v. d. D. Feb. 25, '26.)

露國對和蘭及其の植民地
Rusland Contra Nederland en Zijn Koloniën. (H. N. v. d. D. Feb. 25, '26.)

一九二五年に於ける爪哇及マヅラの輸出貿易(三)
De Uitvoerhandel van Java en Maddoera Gedurende 1925. (3) (L. N. e. H. No. 9, Feb. 26, '26.)

砂糖シンヂケート顧問委員
Commissie van Advies-Suikersijndicaat. (H. N. v. d. D. Feb. 26, '26.)

砂糖栽培及地質(一)
Suikercultuur en Geologie. (1) (S. Hb. Feb. 26, '26.)

砂糖栽培及地質(二)
Suikercultuur en Geologie. (2) (S. Hb. Feb. 27, '26.)

蘭印土民の經濟的發達
De Economische Ontwikkeling der Inlandsche Bevolking. (H. N. v. d. D. Feb. 29, '26.)

砂糖栽培及地質
De Suikercultuur en Geologie. (S. Hb. Mar. 1, '26.)

爪哇に於ける甘蔗栽培
De Suikerriet-Cultuur op Java. (H. N. v. d. D. Mar. 2, '26.)

護謨價
Rubberprijzen. (H. N. v. d. D. Mar. 2, '26.)

外領に於ける國民教育
Volksonderwijs in de Buitenbezitting. (H. N. v. d. D. Mar. 2, 26.)

護謨の採液よりタイヤーに製造せらるゝ迄
De Rubber van Boom tot Band. (S. Hb. Mar. 8, '26.)

プリオクの錫熔鑛業
De Tinsmelterij te Priok. (S. Hb. Mar. 8, '26.)

護謨の先物賣狀況
Rubbervoorverkoopen. (S. Hb. Mar. 8, '26.)

一九二五年に於ける砂糖貿易
De Suikerhandel in 1925. (S. Hb. Mar. 9, '26.)

爪哇の物價
Prijzen op Java. (H. N. v. d. D. Mar. 17, '26.)

外領自治に關する欧人官吏の態度
Verbonding van Europeesch tot Zelfbestuur in de Buitenbezittingen. (H. N. v. d. D. Mar. 16, '26.)

ニューギニア探險隊
De Niewu-Giunea Expeditie. (H. N. v. d. D. Mar. 16, '26.)

爪哇及スマトラの土人護謨産額
La Production Indigène à Java et Sumatra. (le C. S. Mar. 18, '26. P. 1.)

爪哇スマトラに於けるヘビア接木法に對するヘンリイ氏の結論
Les Conclusions de M. Yves, Henry. La Greffe des Hévéas à Java et Sumatra. (le C. S. Mar. 19, '26. P. 1.)

■太 洋 洲■

濠 洲 一 般

地方分權・選擧條令・市會議員選擧竝に其關聯する新規定(選擧條令・市會議員の部)
Decentralisatie, Kiesordonnantie, Nieuwe Regeling der Verkiezing van Leden van Gemeenteraad en Hetheen Daarop Betrekking heeft (Kiesordonnantie-Gemeenteraad). (Sb. No. 673 1925.)

蘭印護謨調査委員會報告
Netherlands Indies Rubber. (S. F. P. Jan. 19, '26.)

爪哇と其勞働者
Java and its Labour. (S. F. P. Jan. 29, '26.)

蘭領印度の護謨栽培
L' Hévéaculture dans les Indes Neerlandaises. (le C. S. Jan. 30, '26. P. 1.)

稅制整理提案
De Voorstellen tot Herziening van het Belasting Stelsel. (S. Hb. Feb. 8, '26.)

來る可き地方長官會議
De Aanstaande Bestuurs Conferentie. (S. Hb. Feb. 8, '26.)

官營鑛山及び安價なる石炭
Lndsmijnen en Goedkoope Steenkolen. (S. Hb. Feb. 8, '26.)

護謨の價格
Prijzen van Rubber. (S. Hb. Feb. 9, '26.)

護謨會社の配當豫想
De Dividend-Vooruitzichten der Rubbermaasschappij. (S. Hb. Feb. 9, '26.)

蘭國水害の新消息(一)
Nieuwe Mailberichten van den Watersnood in Nederland. (1) (S. Hb. Feb. 11, '26.)

一九二五年に於ける爪哇及マヅラの輸出貿易(一)
De Uitvoerhandel van Java en Madoera Gedurende 1925. (1) (L. N. e. H. No. 7, Feb. 12, '26.)

正貨輸送と爪哇銀行
Goud-Verschepingen en Javasche Bank. (H. N. v. d. D. Feb. 12, '26.)

熱帶地に於ける漁業
Vischerij in de Tropen. (H. N. v. d. D. Feb. 12, '26.)

和蘭・白耳義條約に關して
Nogmaals het Hollandsch-Belgische Verdrag. (S. Hb. Feb. 13, '26.)

スマランの港灣計畫
De Semarangsche Zeehavenplannen. (S. Hb. Feb. 13, '26.)

新護謨シンヂケート
Nieuwe Rubbersyndicaat. (S. Hb. Feb. 13, '26.)

護謨シンヂケートの設立
Oprichting van een Rubbersyndicaat. (H. N. v. d. D. Feb. 15, '26.)

蘭領印度に於ける支那人商界の特殊論文
Monographie over het Chineesche Zakenleven in Nederlandsche-Indië. (H. N. v. d. D. Feb. 15, '26.)

蘭領東印度輸入の增加
Netherland East Indian Import Trade Advancing. (Com. R. No. 7, Feb. 15, '26. P. 426.)

スマランの港灣問題
Het Zeehaven-Vraagstuk voor Semarang. (H. N. v. d. D. Feb. 16, '26.)

蘭領印度と門戸開放
Indië en de Open deur. (H. N. v. d. D. Feb. 18, '26.)

一九二五年に於ける爪哇及マヅラの輸出入貿易(二)
De Uitvoerhandel van Java en Madoera Gedurende 1925. (2) (L. N. e. H. No. 8, Feb. 19, '26.)

蘭領印度と食料問題
Ned-Indië en Zijn Voedsel. (H. N. v. d. D. Feb. 19, '26.)

中部爪哇の不穩
Onrust in Midden Java. (H. N. v. d. D. Feb. 20, '26.)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

比島獨立委員會クーリッヂ大統領に回答す
Commission Pens Reply to Coolidge. (P. H. Feb. 11, '26. P. 1.)

比島の救濟は一に農民の双肩に懸る（ケソン氏述）
P. I. Salvation Rests with Farmers—Quezon. (P. H. Feb. 11, '26. P. 1.)

米國に於て依然多忙を極めつゝあるオスメニア氏
Osmeña is Kept Busy in States. (P. H. Feb. 11, '26. P. 4.)

一九二五年に於ける比島の經濟狀況
De Economische Toestand van de Philippijnen Gedurende 1925. (L. N. e. H. No. 7, Feb. 12, '26.)

比島の存立は產物に依賴す（商工局長リーイース氏述）
Islands' Standing Rests on Products. (P. H. Feb. 12, '26. P. 1.)

葉卷工場同盟罷業に脅さる
Cigar Plant Threatened by Strikers. (P. H. Feb. 14, '26. P. 1.)

比島の財政狀態は漸次恢復しつゝあり（會計檢査院長ライト氏述）
Finances Improving, Says Wright. (P. H. Feb. 14, '26. P. 1.)

比島商務官の必要
Need for Philippine Commercial Agents. (P. H. Feb. 14, '26. P. 19.)

ケソン氏一行のバシラン島護謨園視察旅行
Rubber Plantation on Basilan Island Visited. (P. H. Feb. 14, '26. P. 1.)

比島の護謨
Rubber in Philippijnen. (H. N. v. d. D. Feb. 15, '26.)

比島の砂糖取引
Philippijnsche Suiker-Transastie. (H. N. v. d. D. Feb. 15, '26.)

ナショナリスタ・デモクラタ合同大會來る日曜日に開催
Big Meeting of Coalition Due Sunday. (P. H. Feb. 16, '26. P. 1.)

年々増加しつゝある比島船舶
P. I. Shipping is Annualy Increasing. (P. H. Feb. 17, '26. P. 1.)

護謨栽培には多額の資金必要
Large Sum Necessary for Rubber. (P. H. Feb. 17, '26. P. 1.)

全島民擧つて護謨栽培に當らんとす
Everybody to Plant Rubber. (P. H. Feb. 18, '26. P. 1.)

比島に於ては大規模に護謨生產可能
Rubber to be Produced Here on Big Scale. (P. H. Feb. 19, '26. P. 1.)

一九二五年比島對外貿易
1925 Big Year for P. I. Trade. (P. H. Feb. 20, '26. P. 1.)

四月一日限り製糖所エヂエンシー廢止され監理者評議會創設されん
Sugar Centrals Agency to be Abolished Apr. 1, Trustees Board to be Created. (P. H. Feb. 21, '26. P. 1.)

比島の護謨
Rubber op de Philippijnen. (H. N. v. d. D. Feb. 25, '26.)

新規に公道を布設さるべきミンダナオ
Mindanao to Get New Highways. (P. H. Feb. 25, '26. P. 1.)

比島問題に關する一米人識者の意見
Joint Body Offered for P. I. Problem. (P. H. Feb. 27, '26. P. 1.)

學生基督敎靑年會に於けるモーゲエントー氏の懇談
Morgenthau's Heart-to-Heart Talk with Filipino Students. (P. H. Feb. 28, '26. P. 1.)

蘭領東印度

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二六年護謨生產豫想
Rubber Statistics 1926. Production. (S. F. P. Mar. 1, '26.)

一九二六年二月度護謨輸出高
February Rubber. (S. F. P. Mar. 3, '26.)

聯邦制度改正に對する總督の聲明
"Federal Changes", His Excellency's Statement. (S. F. P. Mar. 10, '26.)

暹羅及英領印度

暹羅の漁業
The Fisheries of Siam. (S. F. P. Jan. 10, '26.)

一九二五年第二四半期暹羅外國貿易
Siam : Foreign Trade in June Quarter, 1925. (B. T. J. No. 1523, Feb. 4, '26. P. 148.)

暹羅に於ける佛人事業
L' Industrie Française au Siam. (E. E. I. No. 359, Mar. 28, '26. P. 10.)

一九二四/二五年英領印度輸出入貿易
British India : Imports and Exports, 1924—25. (B. T. J. No. 1520, Jan. 14, '26. P. 46.)

英印護謨栽培面積と其產額
129,458 Acres Under Rubber Indian Outturn. (S. F. P. Jan. 15, '26.)

印度に於ける灌漑工事狀況
Progress of Irrigation in India. (Com. R. No. 4, Jan. 25, '26. P. 197.)

孟買市會議員の選擧
Bombay Municipal Election Results. (T. O. I. No. 6, Feb. 6, '26. P. 4.)

印度最近事情
India-Indo-Japanese Trade Covention-Gold Standard Proposal-Exchange and Cotton Trade-Railway Development. (E. No. 4303, Feb. 13, '26. P. 313.)

勞働賃銀支拂問題
Weekly Payments. (T. O. I. No. 7, Feb. 13, '26. P. 5.)

印度總督の辭任
Viceroy Designate. (T. O. I. No. 8, Feb. 20, '26. P. 5.)

印度鐵道の利益
Railway Earning. (T. O. I. No. 9, Feb. 27, '26. P. 10.)

印度の虎疫
Le Choléra aux Indes. (le C. S. Mar. 13, '26. P. 2.)

南洋諸島

比律賓

獨立運動を助成せんとする學生團體
Students to Help Fight for Freedom. (P. H. Feb. 2, '26. P. 1.)

ミンダナオ及スールー委員の編成
Committee Formed on Mindanao. (P. H. Feb. 3, '26. P. 1.)

米人に比島の現狀を知らしむる事が最も緊急問題(カラウ氏述)
Intensive Drive in U. S. Urged. (P. H. Feb. 4, '26. P. 1.)

一九二五年度比島對米輸出貿易額一億八千萬比を突破す
100 Million Mark Passed by Exports. (P. H. Feb. 5, '26. P. 1.)

護謨會社馬尼拉に生る
Rubber Co. Being Organized in City. (P. H. Feb. 5, '26. P. 2.)

比島の獨立
De Onafhankelijkheid der Philippijnen. (S. Hb. Feb. 8, '26.)

米國に於ける比島葉卷の需要增加
Demand for P. I. Cigars Increases. (P. H. Feb. 9, '26. P. 1.)

比島獨立國民大祈禱會の祈禱文全文
Official Text of National Prayer. (P. H. Feb. 10, '26. P. 1.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京の漁業工業
L' Industrie de la Pêche au Tonkin. (le C. H. Feb. 20, '26. P. 1.)

印度支那商界と商港
Le Commerce Indochinois et nos Ports Coloniaux. (le C. H. Feb. 27, '26. P. 1.)

粉炭の焚方と其效用
Le Chauffage au Charbon Pulvérisé et ses Avantages. (E. E. I. No. 455, Feb. 28, '26. P. 9.)

印度支那遠洋漁業
La Grande Pêche en Indochine. (E. E. I. No. 456, Mar. 7, '26. P. 5.)

印度支那の棉花栽培
La Culture du Coton en Indochine. (E. E. I. No. 456, Mar. 7, '26. P. 7.)

鑛業彙報
Chronique des Mines. (E. E. I. No. 456, Mar. 7, '26. P. 16.)

土人の抱懷する或種の誤解に就て
De Quelques Erreurs Indigènes. (le C. H. Mar. 9, '26. P. 1.)

先の河内產業共進會は不成功
Le Derniere Foire de Hanoi n'a pas été un Succès. (le C. S. Mar. 15, '26. P. 2.)

印度支那の新關稅率に對する日佛兩國間の交涉は尙繼續されてゐる
Les Negociations Franco--Japonaise Relatives au Nouveau Tarif Douanier Avec l' Indochine se Poursuivent. (le C. S. Mar. 18, '26. P. 1.)

西貢港の輸出品
Les Exportations du Port de Saigon. (le. C. S. Mar. 18, '26. P. 1.)

河内・ビン間線に就て
Sur la Ligne de Hanoi à Vinh. (E. E. I. No. 458, Mar. 21, '26. P. 8.)

一九二五年度產業共進會
La Foire de 1925. (E. E. I. No. 458. Mar. 21, '26. P. 9.)

鑛業彙報
Chronique des Mines. (E. E. I. No. 458, Mar. 21, '26. P. 15.)

一九二五年の產業共進會
La Foire de 1925. (E. E. I. No. 459, Mar. 28, '26. P. 7.)

馬　來　半　島

一九二五年一/九月英領馬來自動車輸入貿易
British Malaya : Motor Car Imports, Jan.—Sept. '25. (B. T. J. No. 1519, Jan. 7, '26. P. 15.)

一九二五年一/十月英領馬來對外貿易
British Malaya : Foreign Trade, Jan.—Oct. '25. (B. T. J. No. 1520, Jan. 14, '26. P. 46.)

一九二五年英領馬來護謨輸出
British Malaya : Exports of Rubber in 1925. (B. T. J. No. 1520, Jan. 14, '26. P. 46.)

一九二四/二五兩年度馬來輸出入統計
Malayan Trade. (S. F. P. Jan. 14, '26.)

護謨園管理問題
Control of Rubber Plantations. (S. F. P. Jan. 19, '26.)

英國護謨生產輸出制限解禁
British Ban on Rubber Suspended. (P. H. Feb. 3, '26. P. 1.)

英領馬來一月度護謨輸出高
British Malaya Rubber January Export. (S. F. P. Feb. 3, '26.)

一九二五年第三四半期馬來聯邦州の外國貿易
F. M. S. : Foreign Trade in Sept. Quarter, 1925. (B. T. J. No. 1523, Feb. 4, '26. P. 146.)

スレムバンに於ける制限問題大會
Restriction, Largely Attended Meeting at Seremban. (S. F. P. Feb. 6, '26.)

生產制限第四年第一期統計
Rubber Restriction Statistics Fourth Restriction Year. (S. F. P. Feb. 24, '26.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二五年の絹絲業
The Year's Business Silk. (Supp't to N. C. D. N. Mar. 17, '26. P. 39.)

綿取引(一九二五年の)
The Cotton Trade. (Supp't to N. C. D. N. Mar. 17, '26. P. 41.)

一九二五年の製綿業
The Cotton Mill Industry. (Supp't to N. C. D. N. Mar. 17, '26. P. 43.)

支那茶の回顧
A Review of China Tea. (Supp't to N. C. D. N. Mar. 17, '26. P. 51.)

支那の煙草業
The Tobacco Industry in China. (Supp't to N. C. D. N. Mar. 17, '27. P. 53.)

染料の輸入
Importation of Dyestuffs. (Supp't to N. C. D. N. Mar. 17, '26. P. 61.)

一九二五年に於ける紙取引
The Paper Trade During 1925. (Supp't to N. C. D. N. Mar. 17, '26. P. 63.)

勞働界の不安
Unrest in the Labour World. By George E. Sokolsky. (N. C. D. N. Mar. 18, '26. P. 14.)

廣東ボルセビズムの解剖
An Analysis of Canton Bolshevism. By Samuel H. Chang. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 3, Mar. 20, '26. P. 56.)

奉天の不安
Trouble in Mukden. By Paul Scheffer. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 3, Mar. 20, '26. P. 57.)

變化しつゝある支那の嗜好
China's Changing Appetite. By Tom Doyle. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 3, Mar. 20, '26. P. 60.)

一九二六年二月度支那對米輸出貿易
Shangai Exports to U. S. A. for February 1926. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 3, Mar. 20, '26. P. 62.)

支那と諸外國
La Chine et les Etrangers. (le C. H. Mar. 20, '26. P. 1.)

現下の爭鬪に於ける赤露と日本
Bolshevik Russia and Japan in the Present Conflict. (N. C. D. N. Mar. 22, '26. P. 10.

英の政略と支那
La Politique Anglaise et la Chine. (le. C. H. Mar. 30, '26. P. 1.)

香港に於ける敎育行政
Educational Administration in Hongkong. S. F. P. Jan. 11, '26.)

香港の過去現在及將來に對する前任總督の所見
Hongkong Past, Present and Future. (S. F. P. Jan. 14, '26.)

一九二五年第二四半期香港外國貿易
Hongkong : Foreign Trade in June Quarter of 1925. (B. T. J. No. 1520, Jan. 14, '26. P. 47.)

一九二五年第二四半期香港船舶界
Hongkong : Shipping in June Quarter. 1925. Jan. 14, '26. P. 50.)

通商上より見たる香港の發達
Le Développement Commercial du Port Hongkong. (le. C. H. Feb. 27, '26. P. 1.)

佛領印度支那

印度支那人の輸入品
Les Importations Indochinoises. (le C. S. Jan. 29, '26. P. 1.)

印度支那の輸出物
Les Exportations de l' Indochine. (le C. S. Feb. 2, '26. P. 1.)

一九二五年度に於ける印度支那鐵道の收入
Les Recettes des Chemins de fer Indochinois en 1925. (le C. S. Feb. 9, '26. P. 1.)

植民地宣傳の機關諜報課
Le Bureau de Presse Outil d' une Propagande Coloniale. (le C. H. Feb. 17, '26. P. 1.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那の同情的理解
Sympathetic Understanding of China. (N. C. D. N. Feb. 15, '26.)

支那の銀行制度(續)
Banking Institutions in China. (Continued) (C. W. R. Vol. XXXV. No. 12, Feb. 20, '26. P. 334.)

中支絹工業の調査(續)
A Survey of the Silk Industry of Central China. (Continued) (C. R. R. Vol. XXXV. No. 12, Feb. 20, '26. P. 338.)

支那と歐洲
La Chine et l' Europe. (le C. H. Feb. 24, '26. P. 1.)

支那に於ける農業の改良法
Better Agriculture in China. By John H. Reisner. (C. W. R. Vol. XXXV. No. 13, Feb. 27, '26. P. 353.)

一九二五年支那に於ける紡織工場表
List of Cotton Mills in China 1925. By the Chinese Economic Bulletine. (C. W. R. Vol. XXXV. No. 13, Feb. 27, P. 354.)

上海軌道車系統
Shanghai Tram System. (C. W. R. Vol. XXXV. No. 13, Feb. 27, '26. P. 362.)

中支絹工業の調査(續)
A Survey of the Silk Industry of Central China. (Continued) (C. W. R. Vol. XXXV. No. 13, Feb. 27, '26. P. 364.)

馮玉祥軍に於ける平和事業
Works of Peace in Marshal Fen's Army. By Luella Miner. (C. R. Vol. LVII. No. 3, Mar. '26. P. 183.)

新國民主義に於ける勞働者側
Labor's Part in the New Nationalism. By Ta Chen, Ph. D. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 1, Mar. 6, '26. P. 6.)

一九二六年正月度支那對米輸出貿易
China's Exports to U. S. for January 1926. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 1, Mar. 6, '26. P. 8.)

一九二五年支那に於ける紡織工場表
List of Cotton Mills in China 1925. (Continued) (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 1, Mar. 6, P. 14.)

北京に於ける自由の言論と高等財政
Free Speech and High Finance in Peking. By Charles Dailey. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 2, Mar. 13, '26. P. 28.)

支那の混亂は無定限ならんか
Is Chinese Chaos to be Indefinite ? By Peter S. Jowe. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 2, Mar. 13, '26. P. 30.)

支那貿易の幼稚時代
Salad Days in the China Trade. By Tom Doyle. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 2, Mar. 13, '26. P. 31.)

一九二五年支那に於ける紡織工場表(續)
List of Cotton Mills in China 1925. (Continued) (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 2, Mar. 13, '26. P. 38.)

一九二五年の支那の回顧
China in 1925 : A Retrospect. By O. M. Green. (Supp't to N. C. D. N. Mar. 17, '26. P. 1.)

一九二五年の支那經濟調査
An Economic Survey of China. By G. A. Ashley. (Supp't to N. C. D. N. Mar. 17, '26. P. 7.)

地金銀及爲替
Bullion and Exchange. By E. Kaun. (Supp't to N. C. D. N. Mar. 17, '26. P. 11.)

船舶界と造船界
Shipping and Shipbuilding. (Supp't to N. C. D. N. Mar. 17, '26. P. 17.)

上海の築港問題
The Port Problems of Shanghai. (Supp't to N. C. D. N. Mar. 17, '26. P. 25.)

反物の成行
How Piece Goods Fared. (Supp't to N. C. D. N. Mar. 17, '26. P. 36.)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

荷物船としての客船
Passenger Ship as a Cargo Carriers. (Com. R. No. 7, Feb. 15, '26. P. 388.)

一九二五年度の護謨市場
Rubber Market for 1925. (C. E. T. No. 3265, Mar. 4, '26. P. 165.)

世界の砂糖狀況
Wereldsituatie van Suiker. (I. N. e. H. No. 11, Mar. 12, '26.)

最近數年來の世界護謨産額及消費高
La Production et la Consommation au Cours des Prochaines Années. (le C. S. Mar. 18, '26. P. 1.)

人絹の調査
Survey of Artificial Silk. (N. C. D. N. Mar. 20, '26. P. 2.)

【亞 細 亞】

一 般

電信月報—極東
Monthly Cable Reviews—Far East. (Com. R. No. 4, Jan. 25, '26. P. 184.)

最近極東貿易事情
Far Eastern Trade News. (Com. R. No. 5, Feb. 1, '26. P. 247.)

最近極東貿易界事情
Far Eastern Trade News. (Com. R. No. 6, Feb. 8, '26. P. 309.)

電信月報—極東
Monthly Cable Reviews—Far East. (Com. R. No. 6, Feb. 8, '26. P. 316.)

極東貿易界事情
Far Eastern Trade News. (Com. R. No. 8, Feb. 22, '26. P. 439.)

海賊史
Histoires de Pirates. (le C. H. Mar. 7, '26 P. 1.)

日 本

一九二五年日本貿易事情
Japan's Foreign Trade Establishes New Record in 1925. (Com. R. No. 6, Feb. 8, '26.)

日本商業の發展及性質
Development and Character of Japanese Business. (Com. R. No. 9, Mar. 1, '26. P. 514.)

日露間の暗闘
Under-Surface War Between Japan and Russia. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 3, Mar. 20, '26. P. 55.)

支 那 及 香 港

支那に於ける銑鐵及び鋼鐵市場の擴大
China a Growing Market for Iron and Steel. (E. E. No. 13, Dec. 24, '25. P. 449.)

支那に於ける工業の進歩
Industrial Progress of China. (E. E. No. 13, Dec. 24, '25. P. 455.)

支那語研究に對する現任香港總督の演舌要旨
The Chinese Language. (S. F. P. Jan. 25, '26.)

日本の支那政策
Japan's Policy in China. (F. E. R. Feb. '26. P. 50.)

東支鐵道
The Chinese Eastern Railway. (F. E. R. Feb. '26. P. 55.)

滿洲の經濟資源
The Economic Resources of Manchuria. (F. E. R. Feb. '26. P. 61.)

上海水道の擴張
Extensions of the Shanghai Waterworks. (F. E. R. Feb. '26. P. 67.)

現今の支那陸軍
Chinese Army of To-day. (S. F. P. Feb. 11, '26.)

日支關係に就て
Les Relations Sino—Japonaise. (le C. S. Feb. 13, '26. P. 1.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋其他
海外重要記事索引

臺灣總督官房調查課

■ 新聞雜誌略號一覽表 ■

A. Annalist.
(Jan. 1—Mar. 5, '26.)

B. T. J. Board of Trade Journal.
(Nos. 1519—1529, Jan. 7—Feb. 4, '26.)

C. E. T. China Express and Telegraph.
(No. 3265, Mar. 4, '26.)

C. R. Chinese Recorder.
(Mar. '26.)

Com. R. Commerce Report.
(Jan. 25, No. 4—Mar. 1, '26. No. 9.)

C. W. R. China Weekly Review.
(Feb. 20—Mar. 20, '26.)

E. Economist.
(No. 4,303—No. 4,304.)

E. E. Eastern Engineering.
(No. 13, Dec. 24, '25.)

E. E. I. L' Eveil Economique de L' Indochine.
(Feb. 21—Mar. 28, '26.)

F. E. R. Far Eastern Review.
(No. 2, Feb. '26.)

H. N. v. d. D. Het Nieuws van den Dag.
(Feb. 10—Mar. 6, '26.)

le C. H. Le Courrier d' Haiphong.
(Feb. 11—Mar. 30, '26.)

le C. S. Le Courrier d' Saigonais.
(Jan. 31—Mar. 19, '26.)

L. N. e. H. Landbouw, Nijverheid en Handel.
(Feb. 12, No. 7—Mar. 2, No. 11, '26.)

N. C. D. N. North China Daily News.
(Feb. 24—Mar. 30, '26.)

P. H. Philippine Herald.
(Feb. 2—28, '26.)

S. Staatsblad.
(No. 653, '25.)

S. F. P. Singapore Free Press.
(Jan. 1—Mar. 10, '26.)

S. Hb. Soerabajasch Handelsblad.
(Feb. 8—Mar. 12, '26.)

T. O. I. Times of India.
(Feb. 6—Feb. 27, '26.)

■ 世　界 ■

一　般

理論及實際上より見たる金本位制(續く)
The Gold Standard in Theory and Practice—I—IV. (S. Jan. 9, 16, 23, 30, '26.)

シリイ問題
La Question de Syrii by Henry Fontanier. (le C. S. Jan. 29, '26. P. 1.)

理論及實際上より見たる金本位制(續く)
The Gold Standard in Theory and Practice—V—VII. (S. Feb. 6, 13, 20, '26.)

一九二五年に於ける世界の造船界
World Shipbuilding in 1925. (N. C. D. N. Feb. 8, '26.)

人造絹絲製造業發展の危險
The Danger of Over-Expansion in the Rayon Industry. By A. F. Lucas. (A. Feb. 12, '26.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN